

平成26年度
草加市民アンケート

草加市

はじめに

市民の皆さまにご協力いただきました、草加市民アンケートを取りまとめましたので、お届けいたします。

本調査は、2年ごとに無作為抽出された方3,500人を対象に実施しており、今回も皆さまから貴重なご意見をお寄せいただきました。

さて、私はこれまで「つよいまち」を築くための取組を行ってまいりましたが、これをさらに進め、誰もが安心して暮らすことのできる草加市を、市民の皆様とともに作り上げていきたいと考えております。

「つよいまち」を実現するためには、市民同士、また、市民と行政との「つよい結束力」が必要です。

今回、いただいたご意見を参考に、厳しい時代だからこそ、市民と行政の協働で活気あるまちづくりを行い、市政を前進させてまいる決意です。

引き続き市政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今回の調査に当たりましては、ご多用中、多くの皆さまにご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

平成27年3月

草加市長 **田中和明**

目次

第1章	調査の概要	
1	調査目的	3
2	調査項目	3
3	調査設計	3
4	回収結果	4
5	地域別回収結果	4
6	居住地域区分	5
第2章	回答者の属性	
1	性別	9
2	年齢別	9
3	職業別	10
4	家族構成別	10
5	住居形態別	11
6	同居家族の65歳以上高年者の有無別	11
7	居住年数別	12
8	居住地域別	12
第3章	調査結果の分析	
A	市民生活に関すること	15
1	草加市のイメージや将来像について	
(1)	草加市及び居住地域のイメージ	15
(2)	草加市の自慢できるもの・誇れるもの	37
(3)	草加市が目指すべき将来像	39
(4)	知名度を高めるために有効な取組	42
2	国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」について	
(1)	「草加松原」の名勝指定の認知状況	45
(2)	「草加松原」への訪問の有無	47
(3)	「草加松原」のアピールポイント	50
(4)	「草加松原」の保存・管理に必要なこと	52

3	市の暮らしやすさ・日ごろのことについて	
(1)	市の暮らしやすさ	54
(2)	暮らしやすい理由・暮らしにくい理由	56
(3)	市への定住意向	61
(4)	最も多く利用する駅乗降口	65
(5)	最も多く利用する駅乗降口付近の安全性・快適性	66
(6)	日常の買物の際の交通手段	68
(7)	消費生活センター	70
4	防災の取組について	
(1)	市が進めるべき「地震に強いまちづくり」	72
(2)	家庭での防災対策	76
5	市民自治について	
(1)	町会・自治会に期待すること	78
(2)	参加・協力できる地域のまちづくり	80
6	駐輪対策について	
(1)	駐輪対策の現状について	83
(2)	地下駐輪場を利用するか	86
7	まちづくりについて	
(1)	草加市がより良くなるまちづくり計画	89
(2)	道路整備に必要なこと	92
(3)	市のまちなみや風景を美しいと感じているか	95
(4)	良好なまちなみ景観づくりに必要なこと	97
8	市の観光について	
(1)	草加市は観光地として魅力的か	99
(2)	草加市の観光資源	101
9	男女共同参画社会について	
(1)	男女の地位は平等か	103
10	子育て・教育について	
(1)	子育てに楽しみや喜びを感じるか	105
(2)	子育ての悩み・不安	106
(3)	小中学校教育で力を入れていくべきこと	108
(4)	生涯学習で力を入れていくべきこと	110
(5)	人権教育で力を入れていくべきこと	113

11	健康・スポーツ・医療について	
(1)	胃がん検診受診の有無	115
(2)	歯科健診受診の有無	117
(3)	スポーツに取り組みたいか	119
(4)	スポーツを行う頻度	121
(5)	S K T24 の認知度	123
(6)	行いたいスポーツ	125
(7)	「かかりつけ医」の有無	128
(8)	二次医療機関としての市立病院について	130
12	水道水について	
(1)	自宅で水道水を飲んでいるか	132
(2)	自宅で水道水を飲まない理由	134
B	草加市の基本となる施策に関すること	137
1	34 施策の満足度	
(1)	全体	138
(2)	全体・満足度順位	140
(3)	性別・満足度順位	141
(4)	年齢別・満足度順位	142
(5)	居住地域別・満足度順位	146
2	34 施策の重要度	
(1)	全体	151
(2)	全体・重要度順位	153
(3)	性別・重要度順位	154
(4)	年齢別・重要度順位	155
(5)	居住地域別・重要度順位	159
3	34 施策の散布図	
(1)	散布図の考え方	164
(2)	性別・年齢別・居住地域別平均値の比較	165
(3)	全体	166
(4)	性別	168
(5)	年齢別	172
(6)	居住地域別	186

4 各施策の満足度・重要度・経年比較	
施策1 水環境の改善	206
施策2 緑の保全と創出	207
施策3 環境を守り育てる	208
施策4 心地よいまちづくりの推進	209
施策5 良好なまちづくりの推進	210
施策6 総合的な治水対策の推進	211
施策7 交通安全対策の推進	212
施策8 危機管理体制の強化	213
施策9 防犯対策の推進	214
施策10 安全で安定した水の供給	215
施策11 地域とともに栄える産業の振興	216
施策12 地域情報化の推進	217
施策13 公共交通網の充実	218
施策14 安全で快適な道路の整備	219
施策15 高年者福祉の推進	220
施策16 児童福祉の推進	221
施策17 信頼される学校教育の推進	222
施策18 子ども・青少年の育成の充実	223
施策19 市民自治の推進	224
施策20 地域福祉の推進	225
施策21 勤労者・雇用対策の推進	226
施策22 障がい者福祉の推進	227
施策23 生活保護世帯の自立助長	228
施策24 国際交流・地域間交流の充実	229
施策25 人権の尊重	230
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	231
施策27 消費者の自立と支援	232
施策28 心と体の健康づくり	233
施策29 医療環境の充実	234
施策30 市民参画制度の推進	235
施策31 市民と協働できる職員の育成	236
施策32 便利な市民サービスの推進	237
施策33 効果的効率的行政の推進	238
施策34 質の高い広域連携の推進	239

C 市の行政やまちづくりについてのご意見・ご要望 240

資料

調査票 245

第1章

調査の概要

1 調査目的

市民の生活や市政に対するご意見やご要望を把握し、今後の市政運営のあり方の基礎資料とすることを目的としている。

2 調査項目

この調査は、次のテーマについて調査した。

調査テーマ		問番号
A 市民の生活に関すること	1 草加市のイメージや将来像	問 1～問 4
	2 国指定名勝「草加松原」	問 5～問 8
	3 暮らしやすさや日ごろの生活	問 9～問 13
	4 防災の取組	問 14～問 15
	5 市民自治	問 16～問 17
	6 駐輪対策	問 18～問 19
	7 まちづくり	問 20～問 23
	8 市の観光	問 24～問 25
	9 男女共同参画社会	問 26
	10 子育て・教育	問 27～問 30
	11 健康・スポーツ・医療	問 31～問 38
	12 水道水	問 39
B 草加市の基本となる施策に関すること	問 40	

3 調査設計

- (1) 調査地域 草加市全域
- (2) 調査対象 草加市内在住の満 20 歳以上の男女個人 (3,500 人)
- (3) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送法 (郵送配付－郵送回収法・ハガキによる督促 1 回)
- (5) 調査時期 平成 26 年 11 月 4 日 (火) ～11 月 25 日 (火)

4 回収結果

標本数	回収数	回収率
3,500 標本	1,988 件	56.8%

5 地域別回収結果

地域名	満20歳以上人口 (抽出時)	満20歳以上人口における 構成比(%)	標本数	回収数	回収率 (%)
新田西部	32,734	16.3	572	324	56.6
新田東部	25,973	13.0	454	262	57.7
草加川柳	14,726	7.4	257	154	59.9
草加安行	26,238	13.1	458	277	60.5
草加西部	23,288	11.6	408	230	56.4
草加東部	22,763	11.4	398	212	53.3
草加稻荷	7,423	3.7	129	67	51.9
谷塚西部	20,927	10.4	366	202	55.2
谷塚中央	14,141	7.1	247	138	55.9
谷塚東部	12,056	6.0	211	121	57.3
地域不明	—	—	—	1	—
合計	200,269	100.0	3,500	1,988	56.8

6 居住地域区分

地域的特性を把握するために、草加市内を以下の10の地域に分類した。



◆居住地域該当町丁目表

地域名	地域該当町丁目
新田西部	新栄1～4丁目・長栄1～4丁目・清門1～3丁目・新善町・金明町・旭町1～6丁目
新田東部	八幡町・弁天1～6丁目・中根1～3丁目・松江1～4丁目・栄町1～3丁目
草加川柳	青柳1～8丁目・青柳町・柿木町
草加安行	原町1～3丁目・北谷1～3丁目・北谷町・苗塚町・花栗1～4丁目・小山1～2丁目・松原1～5丁目・学園町
草加西部	草加1～5丁目・西町・氷川町
草加東部	神明1～2丁目・住吉1～2丁目・手代町・中央1～2丁目・高砂1～2丁目・吉町1～5丁目
草加稲荷	稲荷1～6丁目・松江5～6丁目
谷塚西部	柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町
谷塚中央	谷塚町・谷塚1～2丁目
谷塚東部	瀬崎1～7丁目

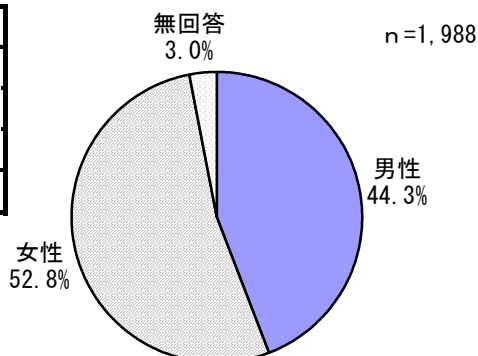
第2章

回答者の属性

1. 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
2. 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
3. アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
4. グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。
5. クロス集計では、例えば性別の場合、性別を回答していない人がいるため、男性と女性の合計が「全体」にならない。年齢や他の設問間クロス集計においても同様となる。
6. 平成26年度草加市民アンケート（以下、「平成26年度調査」、グラフ・表内では「H26年度調査」または「平成26年度」と表記する。）においては、平成24年度調査と同様の設問項目に限り比較している。平成22年度調査及び平成20年度調査においても同様とする。

1 性別

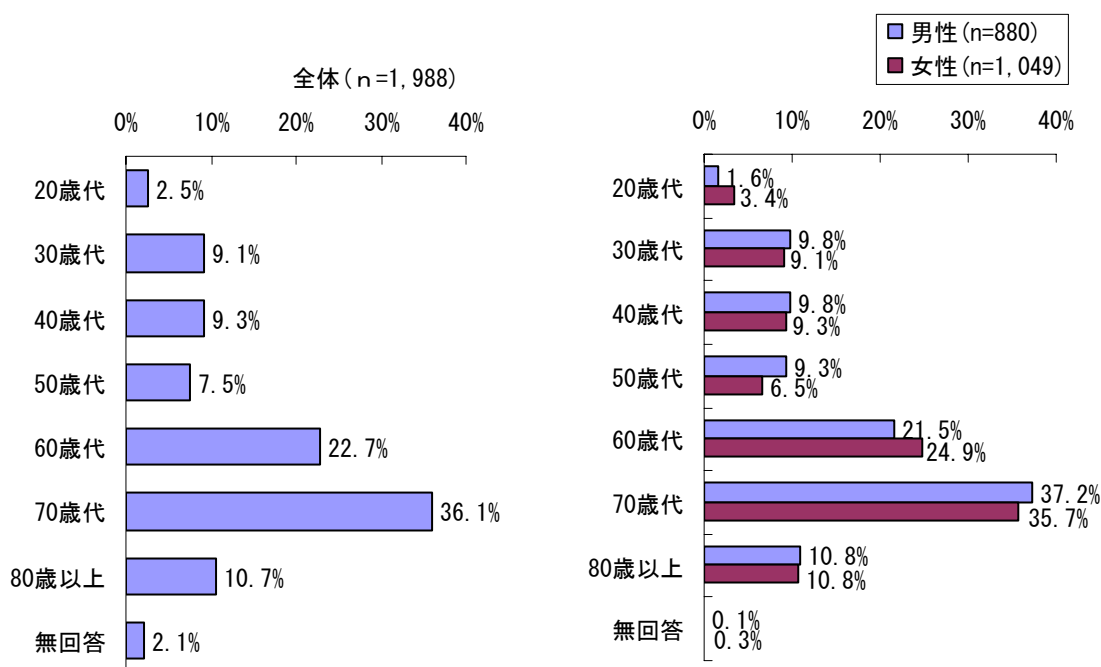
	基数	構成比(%)
男性	880	44.3
女性	1,049	52.8
無回答	59	3.0
合計	1,988	100.0



2 年齢別

	全体		男性		女性	
	基数	構成比(%)	基数	構成比(%)	基数	構成比(%)
20歳代	50	2.5	14	1.6	36	3.4
30歳代	181	9.1	86	9.8	95	9.1
40歳代	184	9.3	86	9.8	98	9.3
50歳代	150	7.5	82	9.3	68	6.5
60歳代	452	22.7	189	21.5	261	24.9
70歳代	718	36.1	327	37.2	375	35.7
80歳以上	212	10.7	95	10.8	113	10.8
無回答	41	2.1	1	0.1	3	0.3
合計	1,988	100.0	880	100.0	1,049	100.0

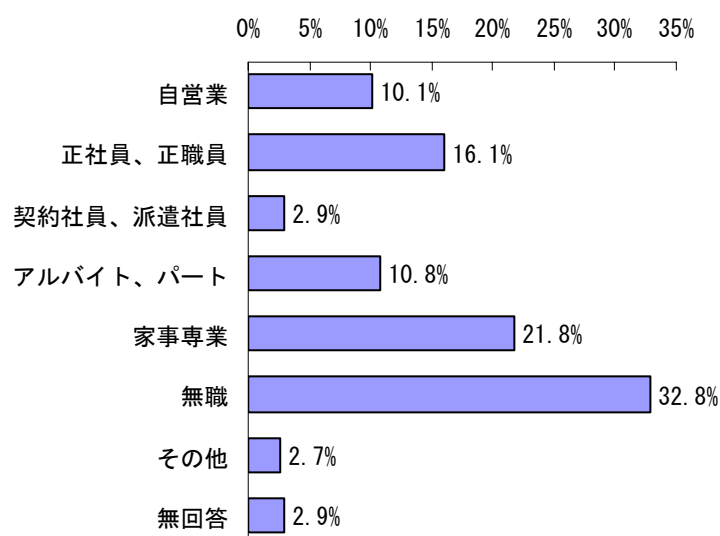
※性別の無回答が59人いるため、「男性」と「女性」を合わせても「全体」の人数にはならない。以下、同様。



3 職業別

	基 数	構 成 比 (%)
自営業	200	10.1
正社員、正職員	320	16.1
契約社員、派遣社員	58	2.9
アルバイト、パート	215	10.8
家事専業	433	21.8
無職	652	32.8
その他	53	2.7
無回答	57	2.9
合 計	1,988	100.0

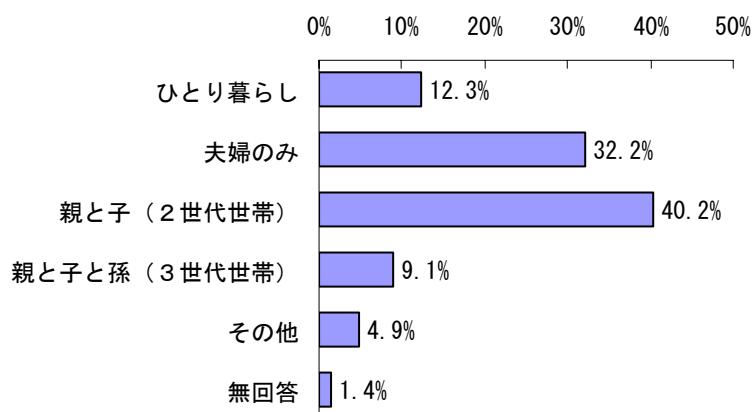
n=1,988



4 家族構成別

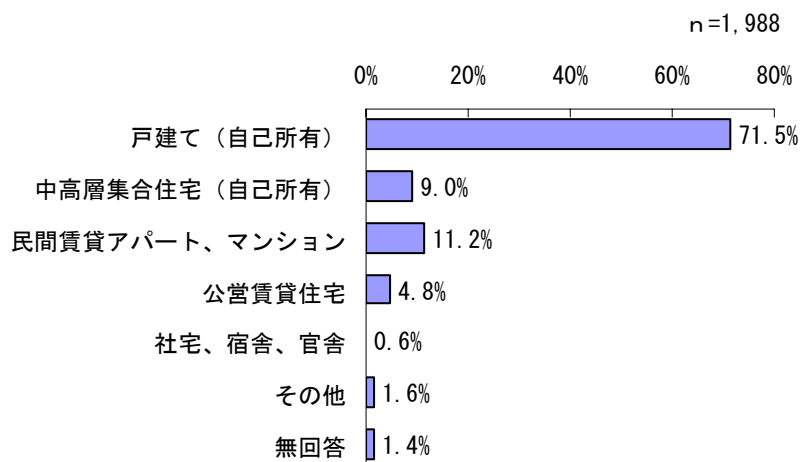
	基 数	構 成 比 (%)
ひとり暮らし	244	12.3
夫婦のみ	640	32.2
親と子 (2世代世帯)	800	40.2
親と子と孫 (3世代世帯)	180	9.1
その他	97	4.9
無回答	27	1.4
全体	1,988	100.0

n=1,988



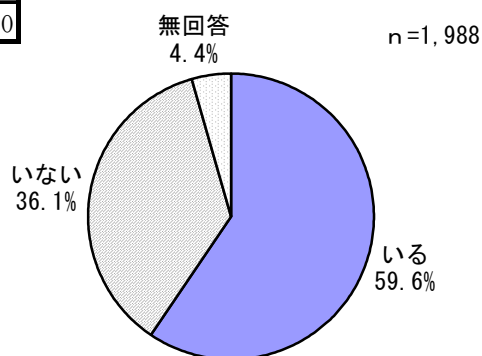
5 住居形態別

	基 数	構成比 (%)
戸建て (自己所有)	1,421	71.5
中高層集合住宅 (自己所有)	178	9.0
民間賃貸アパート、マンション	223	11.2
公営賃貸住宅	95	4.8
社宅、宿舍、官舎	11	0.6
その他	32	1.6
無回答	28	1.4
全体	1,988	100.0



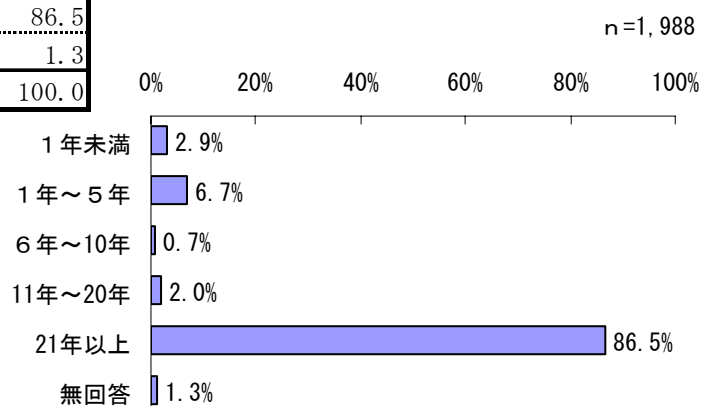
6 同居家族の65歳以上高年者の有無別

	基 数	構成比 (%)
いる	1,184	59.6
いない	717	36.1
無回答	87	4.4
合計	1,988	100.0



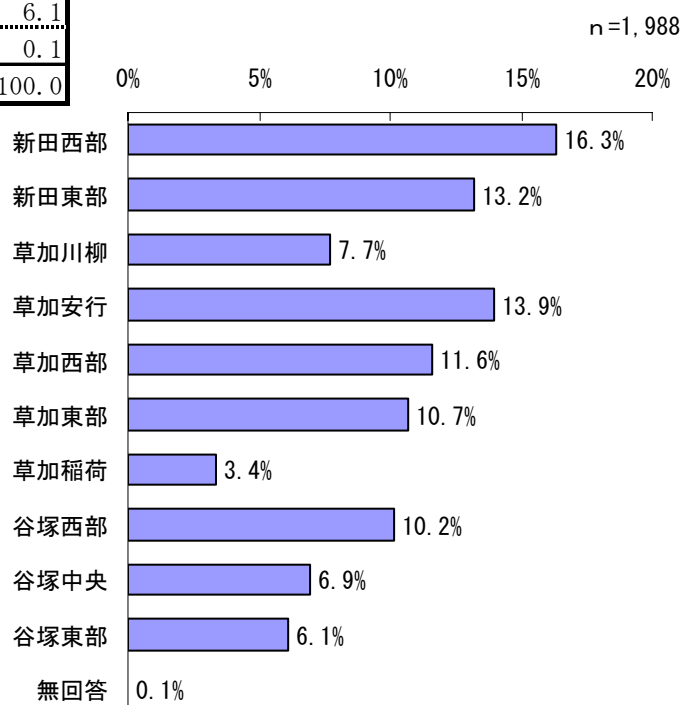
7 居住年数別

	基 数	構 成 比 (%)
1年未満	57	2.9
1年～5年	134	6.7
6年～10年	13	0.7
11年～20年	40	2.0
21年以上	1,719	86.5
無回答	25	1.3
合 計	1,988	100.0



8 居住地域別

	基 数	構 成 比 (%)
新田西部	324	16.3
新田東部	262	13.2
草加川柳	154	7.7
草加安行	277	13.9
草加西部	230	11.6
草加東部	212	10.7
草加稲荷	67	3.4
谷塚西部	202	10.2
谷塚中央	138	6.9
谷塚東部	121	6.1
無回答	1	0.1
合 計	1,988	100.0



第3章

調査結果の分析

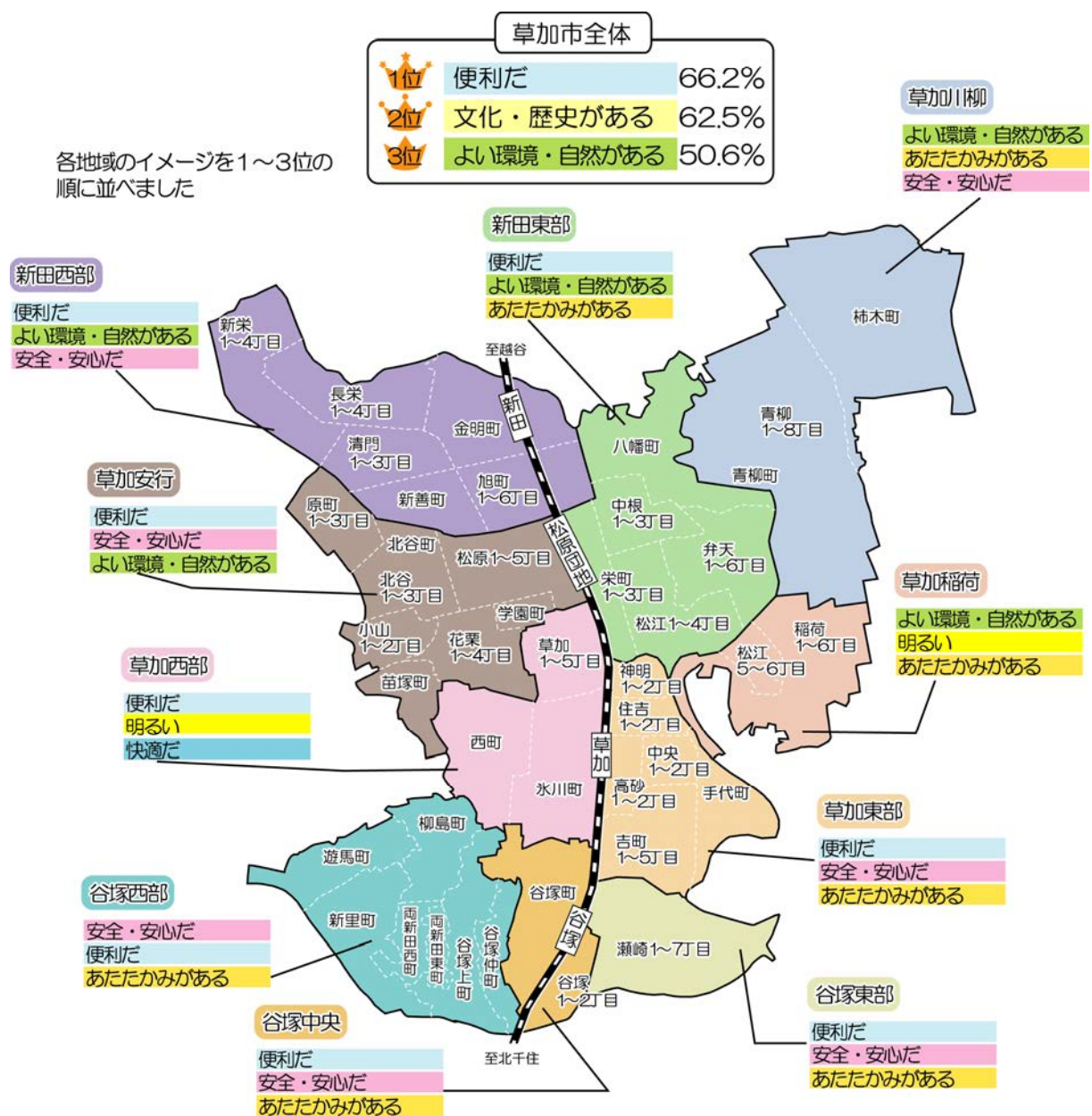
A 市民生活に関すること

1 草加市のイメージや将来像について

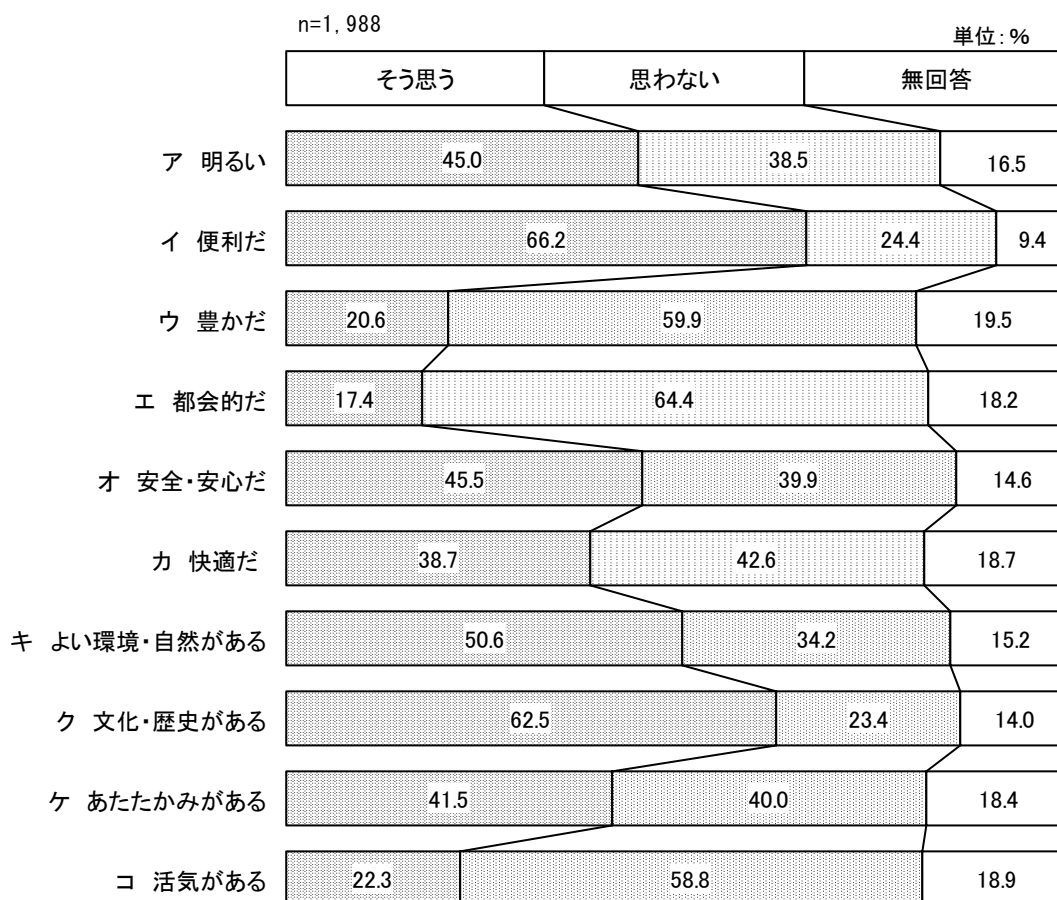
(1) 草加市及び居住地のイメージ

問1 あなたは、草加市全体とお住まいの地域についてどのようなイメージをお持ちですか。
(ア～コのすべてで該当する番号に○を)

◎「便利だ」「文化・歴史がある」が6割を超える



◆草加市全体のイメージ



草加市全体のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「便利だ」66.2%、「文化・歴史がある」62.5%、「よい環境・自然がある」50.6%がある。

一方、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」64.4%、「豊かだ」59.9%、「活気がある」58.8%がある。

また、半数には達していないが、「そう思う」との回答が「思わない」との回答を上回ったものに、「明るい」「安全・安心だ」「あたたかみがある」があり、逆に「思わない」との回答が「そう思う」との回答を上回ったものに「快適だ」がある。

◆草加市全体のイメージ 「明るい」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位：%

	そう思う	思わない	無回答	
全体(1,988人)	45.0	38.5	16.5	
〔年齢〕	20歳代(50人)	60.0	38.0	
	30歳代(181人)	58.0	38.1	3.9
	40歳代(184人)	45.7	52.2	
	50歳代(150人)	44.7	50.0	5.3
	60歳代(452人)	41.2	47.1	11.7
	70歳代(718人)	44.8	32.9	22.3
	80歳以上(212人)	40.6	23.1	36.3
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	66.7	28.1
1年～5年(134人)		49.3	47.8	3.0
6年～10年(13人)		46.2	23.1	30.8
11年～20年(40人)		40.0	47.5	12.5
21年以上(1,719人)		43.9	38.3	17.9
〔居住地域〕	新田西部(324人)	45.1	38.6	16.4
	新田東部(262人)	48.5	32.4	19.1
	草加川柳(154人)	48.1	36.4	15.6
	草加安行(277人)	47.3	39.0	13.7
	草加西部(230人)	42.6	41.3	16.1
	草加東部(212人)	41.5	39.2	19.3
	草加稲荷(67人)	58.2	29.9	11.9
	谷塚西部(202人)	34.7	46.5	18.8
	谷塚中央(138人)	49.3	34.8	15.9
	谷塚東部(121人)	43.8	42.1	14.0

注：3%未満の数値は表記していない

草加市は「明るい」と思うかについて、年齢別にみると、「70歳代」の「そう思う」の割合が「50歳代」よりやや高くなっている以外、年齢が若いほど「そう思う」の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、「そう思う」は「1年未満」66.7%が多くなっている。

居住地域別でみると、「そう思う」は「草加稲荷」58.2%で最も多くなっており、その他の地域では「谷塚西部」34.7%を除き、「そう思う」の割合が「思わない」を上回っている。

◆草加市全体のイメージ 「便利だ」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位: %

		そう思う	思わない	無回答
全体(1,988人)		66.2	24.4	9.4
〔年齢〕	20歳代(50人)	80.0		18.0
	30歳代(181人)	62.4	35.4	
	40歳代(184人)	72.8	25.0	
	50歳代(150人)	70.7	26.7	
	60歳代(452人)	67.0	27.2	5.8
	70歳代(718人)	65.6	21.6	12.8
	80歳以上(212人)	60.4	19.3	20.3
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	75.4	21.1
1年～5年(134人)		66.4	32.1	
6年～10年(13人)		69.2	15.4	15.4
11年～20年(40人)		55.0	32.5	12.5
21年以上(1,719人)		66.1	23.9	10.1
〔居住地域〕		新田西部(324人)	61.7	27.5
	新田東部(262人)	68.3	23.3	8.4
	草加川柳(154人)	46.8	43.5	9.7
	草加安行(277人)	72.2	20.2	7.6
	草加西部(230人)	74.3	19.6	6.1
	草加東部(212人)	75.9	12.7	11.3
	草加稲荷(67人)	68.7	23.9	7.5
	谷塚西部(202人)	50.0	35.1	14.9
	谷塚中央(138人)	73.2	16.7	10.1
	谷塚東部(121人)	71.1	24.0	5.0

注: 3%未満の数値は表記していない

草加市は「便利だ」と思うかについて、年齢別にみると、「そう思う」割合が「20歳代」が80.0%と最も多く、全体に6割以上と高くなっている。「思わない」の割合では、最も多いのは「30歳代」35.4%となっている。

居住年数別にみると、「そう思う」の割合は「1年未満」75.4%が最も多く、すべての年数で55.0%を超えており、「思わない」を大幅に上回っている。

居住地域別でみると、全体的に「そう思う」の割合は「思わない」を上回っているが、「草加川柳」46.8%と「谷塚西部」50.0%では他地域よりも「そう思う」の割合が低くなっている。

◆草加市全体のイメージ 「豊かだ」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

		単位：%		
		そう思う	思わない	無回答
	全体(1988人)	20.6	59.9	19.5
〔年齢〕	20歳代(50人)	48.0	50.0	
	30歳代(181人)	33.1	60.8	6.1
	40歳代(184人)	25.5	71.2	3.3
	50歳代(150人)	25.3	68.0	6.7
	60歳代(452人)	16.8	69.7	13.5
	70歳代(718人)	16.4	56.5	27.0
	80歳以上(212人)	18.9	40.1	41.0
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	33.3	61.4
1年～5年(134人)		33.6	62.7	3.7
6年～10年(13人)		30.8	38.5	30.8
11年～20年(40人)		20.0	62.5	17.5
21年以上(1,719人)		19.1	59.7	21.2
〔居住地域〕	新田西部(324人)	19.1	63.0	17.9
	新田東部(262人)	26.0	51.9	22.1
	草加川柳(154人)	18.2	57.8	24.0
	草加安行(277人)	19.5	64.6	15.9
	草加西部(230人)	20.4	63.0	16.5
	草加東部(212人)	18.9	57.1	24.1
	草加稲荷(67人)	28.4	58.2	13.4
	谷塚西部(202人)	15.8	61.9	22.3
	谷塚中央(138人)	24.6	52.9	22.5
	谷塚東部(121人)	21.5	64.5	14.0

注：3%未満の数値は表記していない

草加市は「豊かだ」と思うかについて、年齢別にみると、「20歳代」48.0%と「そう思う」の割合が最も多くなっているが「思わない」よりも2ポイント低く、他の年代では「思わない」が「そう思う」を大幅に上回っている。

居住年数別にみると、「そう思う」の割合は各区分を通じて2～3割程度となっており、全体的に「思わない」が大幅に上回っている。

居住地域別でみると、全体的に「思わない」の割合が「そう思う」を大幅に上回っている。「そう思う」の割合は「草加稲荷」28.4%、「新田東部」26.0%、「谷塚中央」24.6%の順に多く、「谷塚西部」15.8%が最も低いほかは2割前後となっている。

◆草加市全体のイメージ 「都会的だ」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位：％

		そう思う	思わない	無回答
全体(1988人)		17.4	64.4	18.2
〔年齢〕	20歳代(50人)	28.0	70.0	
	30歳代(181人)	18.2	78.5	3.3
	40歳代(184人)	15.2	82.6	
	50歳代(150人)	16.0	77.3	6.7
	60歳代(452人)	15.9	72.1	11.9
	70歳代(718人)	18.1	56.0	25.9
	80歳以上(212人)	18.9	42.0	39.2
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	22.8	73.7
1年～5年(134人)		20.9	76.1	3.0
6年～10年(13人)		7.7	69.2	23.1
11年～20年(40人)		10.0	72.5	17.5
21年以上(1,719人)		17.2	63.1	19.8
〔居住地域〕	新田西部(324人)	12.7	69.1	18.2
	新田東部(262人)	14.1	65.3	20.6
	草加川柳(154人)	11.0	69.5	19.5
	草加安行(277人)	23.8	61.7	14.4
	草加西部(230人)	22.2	63.0	14.8
	草加東部(212人)	18.4	59.9	21.7
	草加稲荷(67人)	22.4	65.7	11.9
	谷塚西部(202人)	14.9	63.4	21.8
	谷塚中央(138人)	21.0	58.7	20.3
	谷塚東部(121人)	17.4	67.8	14.9

注：3%未満の数値は表記していない

草加市は「都会的だ」と思うかについて、年齢別にみると、「20歳代」28.0%と「そう思う」の割合が最も多くなっているが、全体的に「思わない」の割合が「そう思う」を大幅に上回っており、「70歳代」56.0%、「80歳以上」42.0%以外は7割以上となっている。

居住年数別にみると、全体的に「思わない」の割合が「そう思う」を大幅に上回っている。

居住地域別でみると、「思わない」の割合は「草加東部」59.9%と「谷塚中央」58.7%以外6割を超えており、全体的に「そう思う」を大幅に上回っている。「そう思う」の割合は「草加安行」23.8%、「草加稲荷」22.4%、「草加西部」22.2%の順に多くなっている。

◆草加市全体のイメージ 「安全・安心だ」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位: %

		そう思う	思わない	無回答
全体(1,988人)		45.5	39.9	14.6
〔年齢〕	20歳代(50人)	30.0	68.0	
	30歳代(181人)	38.1	57.5	4.4
	40歳代(184人)	43.5	53.8	
	50歳代(150人)	43.3	52.0	4.7
	60歳代(452人)	49.8	40.9	9.3
	70歳代(718人)	46.8	31.9	21.3
	80歳以上(212人)	47.2	25.0	27.8
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	45.6	49.1
1年～5年(134人)		37.3	59.0	3.7
6年～10年(13人)		46.2	30.8	23.1
11年～20年(40人)		22.5	67.5	10.0
21年以上(1,719人)		46.6	37.6	15.8
〔居住地域〕	新田西部(324人)	45.1	39.5	15.4
	新田東部(262人)	49.6	33.2	17.2
	草加川柳(154人)	42.2	40.9	16.9
	草加安行(277人)	48.7	40.1	11.2
	草加西部(230人)	40.9	45.7	13.5
	草加東部(212人)	46.7	38.2	15.1
	草加稲荷(67人)	53.7	37.3	9.0
	谷塚西部(202人)	42.1	40.6	17.3
	谷塚中央(138人)	42.0	42.0	15.9
	谷塚東部(121人)	46.3	43.8	9.9

注: 3%未満の数値は表記していない

草加市は「安全・安心だ」と思うかについて、年齢別にみると、20歳代～50歳代までは「思わない」の割合が「そう思う」を上回っているが、60歳代以上では「そう思う」の割合が多くなっており、「60歳代」49.8%が最も多くなっている。

居住年数別にみると、「6年～10年」と「21年以上」以外、「思わない」の割合が「そう思う」を上回っている。特に「11年～20年」は「そう思う」が22.5%と最も低くなっている。

居住地域別でみると、「そう思う」の割合は「草加西部」40.9%、「谷塚中央」42.0%以外、全体的に「思わない」を上回っている。「そう思う」の割合は「草加稲荷」53.7%、「新田東部」49.6%、「草加安行」48.7%の順に多くなっている。

◆草加市全体のイメージ 「快適だ」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

		単位：%		
		そう思う	思わない	無回答
全体(1988人)		38.7	42.6	18.7
〔年齢〕	20歳代(50人)	66.0	28.0	6.0
	30歳代(181人)	59.1	35.4	5.5
	40歳代(184人)	55.4	41.8	
	50歳代(150人)	42.7	49.3	8.0
	60歳代(452人)	35.6	50.7	13.7
	70歳代(718人)	32.3	41.9	25.8
	80歳以上(212人)	27.8	34.9	37.3
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	63.2	31.6
1年～5年(134人)		58.2	35.1	6.7
6年～10年(13人)		30.8	38.5	30.8
11年～20年(40人)		37.5	47.5	15.0
21年以上(1,719人)		36.4	43.5	20.1
〔居住地域〕	新田西部(324人)	39.8	42.9	17.3
	新田東部(262人)	43.1	35.9	21.0
	草加川柳(154人)	31.8	47.4	20.8
	草加安行(277人)	37.2	47.7	15.2
	草加西部(230人)	43.0	38.7	18.3
	草加東部(212人)	40.6	36.8	22.6
	草加稲荷(67人)	52.2	37.3	10.4
	谷塚西部(202人)	30.2	50.0	19.8
	谷塚中央(138人)	36.2	41.3	22.5
	谷塚東部(121人)	36.4	47.9	15.7

注：3%未満の数値は表記していない

草加市は「快適だ」と思うかについて、年齢別にみると、「そう思う」の割合は「20歳代」66.0%が最も多く、年齢が高くなるとともに少なくなる傾向にある。

居住年数別にみると、「そう思う」の割合が居住年数5年以下で6割前後となっており、6年以上では「思わない」の割合が「そう思う」を上回っている。

居住地域別でみると、「そう思う」の割合は「草加稲荷」52.2%が最も多く、「新田東部」43.1%、「草加西部」43.0%、「草加東部」40.6%と続いており、それ以外の地域では「思わない」の割合が「そう思う」を上回っている。

◆草加市全体のイメージ 「よい環境・自然がある」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位：%

		そう思う	思わない	無回答
全体(1,988人)		50.6	34.2	15.2
〔年齢〕	20歳代(50人)	50.0	44.0	6.0
	30歳代(181人)	55.2	40.3	4.4
	40歳代(184人)	48.4	48.9	
	50歳代(150人)	42.0	50.7	7.3
	60歳代(452人)	53.3	35.8	10.8
	70歳代(718人)	52.4	26.6	21.0
	80歳以上(212人)	44.3	26.9	28.8
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	59.6	36.8
1年～5年(134人)		54.5	39.6	6.0
6年～10年(13人)		46.2	23.1	30.8
11年～20年(40人)		57.5	30.0	12.5
21年以上(1,719人)		49.9	34.0	16.2
〔居住地域〕	新田西部(324人)	53.7	33.3	13.0
	新田東部(262人)	61.8	23.7	14.5
	草加川柳(154人)	64.3	20.1	15.6
	草加安行(277人)	54.5	33.6	11.9
	草加西部(230人)	41.7	41.7	16.5
	草加東部(212人)	39.6	39.6	20.8
	草加稲荷(67人)	70.1	22.4	7.5
	谷塚西部(202人)	44.6	38.1	17.3
	谷塚中央(138人)	39.9	40.6	19.6
	谷塚東部(121人)	39.7	47.1	13.2

注：3%未満の数値は表記していない

草加市は「よい環境・自然がある」と思うかについて、年齢別にみると、「40歳代」「50歳代」以外は「そう思う」が上回っている。

居住年数別にみると、全体的に「そう思う」の割合が「思わない」を大幅に上回っており、「1年未満」59.6%、「11年～20年」57.5%の順に多くなっている。

居住地域別でみると、「そう思う」の割合は「草加稲荷」70.1%が最も多く、「草加川柳」64.3%、「新田東部」61.8%と続いている。「草加西部」と「草加東部」で「そう思う」と「思わない」の割合が同じになっており、「谷塚中央」「谷塚東部」では「思わない」の割合が多くなっている。

◆草加市全体のイメージ 「文化・歴史がある」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

		単位: %		
		そう思う	思わない	無回答
全体(1,988人)		62.5	23.4	14.0
〔年齢〕	20歳代(50人)	70.0	24.0	6.0
	30歳代(181人)	68.0	27.6	4.4
	40歳代(184人)	72.8	24.5	
	50歳代(150人)	60.7	34.0	5.3
	60歳代(452人)	66.2	23.7	10.2
	70歳代(718人)	59.1	21.2	19.8
	80歳以上(212人)	57.1	18.9	24.1
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	73.7	21.1
1年～5年(134人)		70.1	24.6	5.2
6年～10年(13人)		61.5	15.4	23.1
11年～20年(40人)		57.5	27.5	15.0
21年以上(1,719人)		61.8	23.3	14.8
〔居住地域〕	新田西部(324人)	61.4	23.1	15.4
	新田東部(262人)	67.2	20.2	12.6
	草加川柳(154人)	64.3	20.8	14.9
	草加安行(277人)	65.3	23.8	10.8
	草加西部(230人)	61.7	26.1	12.2
	草加東部(212人)	59.0	21.2	19.8
	草加稲荷(67人)	70.1	20.9	9.0
	谷塚西部(202人)	54.0	30.2	15.8
	谷塚中央(138人)	65.9	19.6	14.5
	谷塚東部(121人)	61.2	26.4	12.4

注: 3%未満の数値は表記していない

草加市は「文化・歴史がある」と思うかについて、年齢別にみると、全体的に「そう思う」の割合が「思わない」を大幅に上回っており、「40歳代」72.8%、「20歳代」70.0%が7割を超えている。

居住年数別にみると、全体的に「そう思う」の割合が「思わない」を大幅に上回っており、「1年未満」73.7%、「1年～5年」70.1%が7割を超えている。

居住地域別でみると、全体的に「そう思う」の割合が「思わない」を大幅に上回っており、「草加稲荷」70.1%が最も多くなっており、「草加東部」59.0%、「谷塚西部」54.0%を除き「そう思う」が6割を超えている。

◆草加市全体のイメージ 「あたたかみがある」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位: %

		そう思う	思わない	無回答
全体(1,988人)		41.5	40.0	18.4
〔年齢〕	20歳代(50人)	50.0	44.0	6.0
	30歳代(181人)	59.1	35.4	5.5
	40歳代(184人)	50.5	47.3	
	50歳代(150人)	46.7	47.3	6.0
	60歳代(452人)	37.6	48.9	13.5
	70歳代(718人)	38.4	35.7	25.9
	80歳以上(212人)	34.9	29.7	35.4
〔居住年数〕	1年未満(57人)	50.9	43.9	5.3
	1年～5年(134人)	53.7	40.3	6.0
	6年～10年(13人)	38.5	38.5	23.1
	11年～20年(40人)	35.0	52.5	12.5
	21年以上(1,719人)	40.4	39.6	20.0
〔居住地域〕	新田西部(324人)	41.7	41.0	17.3
	新田東部(262人)	46.6	33.2	20.2
	草加川柳(154人)	46.8	34.4	18.8
	草加安行(277人)	38.6	45.1	16.2
	草加西部(230人)	37.4	44.8	17.8
	草加東部(212人)	39.6	37.3	23.1
	草加稲荷(67人)	52.2	35.8	11.9
	谷塚西部(202人)	35.6	45.0	19.3
	谷塚中央(138人)	41.3	38.4	20.3
	谷塚東部(121人)	46.3	38.8	14.9

注: 3%未満の数値は表記していない

草加市は「あたたかみがある」と思うかについて、年齢別にみると、「そう思う」の割合は「30歳代」59.1%が最も多く、「50歳代」「60歳代」以外は、「思わない」を上回っている。

居住年数別にみると、「そう思う」の割合は5年以下で5割を超えており、一方で「思わない」の割合は「11年～20年」52.5%で5割を超えている。

居住地域別でみると、「草加稲荷」52.2%が最も多くなっており、「草加安行」38.6%、「草加西部」37.4%、「谷塚西部」35.6%以外は、全体的に「そう思う」の割合が「思わない」を上回っている。

◆草加市全体のイメージ 「活気がある」
【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

		単位: %		
		そう思う	思わない	無回答
	全体(1,988人)	22.3	58.8	18.9
〔年齢〕	20歳代(50人)	36.0	58.0	6.0
	30歳代(181人)	35.4	59.7	5.0
	40歳代(184人)	28.8	68.5	
	50歳代(150人)	25.3	68.7	6.0
	60歳代(452人)	19.7	67.0	13.3
	70歳代(718人)	18.7	54.9	26.5
	80歳以上(212人)	17.9	42.9	39.2
	〔居住年数〕	1年未満(57人)	45.6	49.1
1年～5年(134人)		37.3	57.5	5.2
6年～10年(13人)		30.8	38.5	30.8
11年～20年(40人)		22.5	62.5	15.0
21年以上(1,719人)		20.0	59.5	20.5
〔居住地域〕	新田西部(324人)	21.0	59.6	19.4
	新田東部(262人)	25.2	54.6	20.2
	草加川柳(154人)	17.5	59.7	22.7
	草加安行(277人)	22.4	61.7	15.9
	草加西部(230人)	27.0	56.1	17.0
	草加東部(212人)	24.1	53.3	22.6
	草加稲荷(67人)	29.9	56.7	13.4
	谷塚西部(202人)	15.3	63.9	20.8
	谷塚中央(138人)	21.0	60.1	18.8
	谷塚東部(121人)	22.3	63.6	14.0

注: 3%未満の数値は表記していない

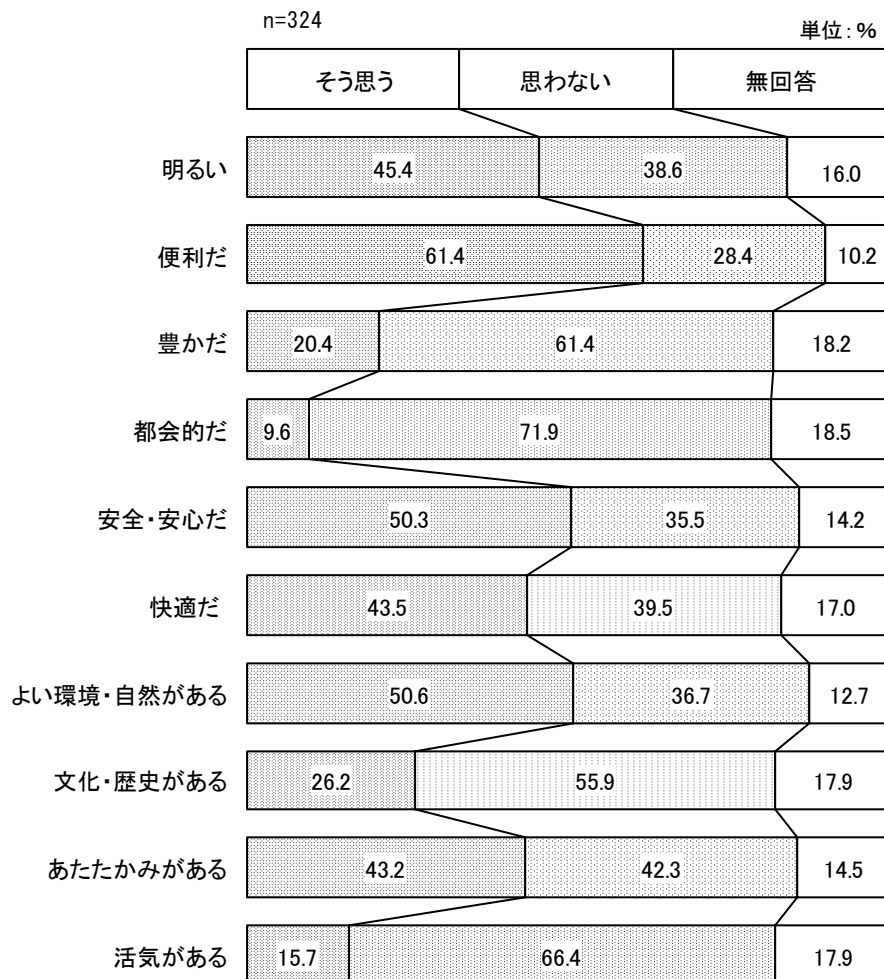
草加市は「活気がある」と思うかについて、年齢別にみると、全体的に「そう思う」の割合は「思わない」を下回っており、年齢が高くなるとともに少なくなる傾向にある。

居住年数別にみると、全体的に「そう思う」の割合は「思わない」を下回っており、居住年数が長くなるほど少なくなる傾向にある。

居住地域別でみると、全体的に「そう思う」の割合は3割以下で、「思わない」を大幅に下回っており、最も多い「草加稲荷」でも29.9%にとどまっている。

1. 新田西部のイメージ

(新栄1～4丁目・長栄1～4丁目・清門1～3丁目・新善町・金明町・旭町1～6丁目)



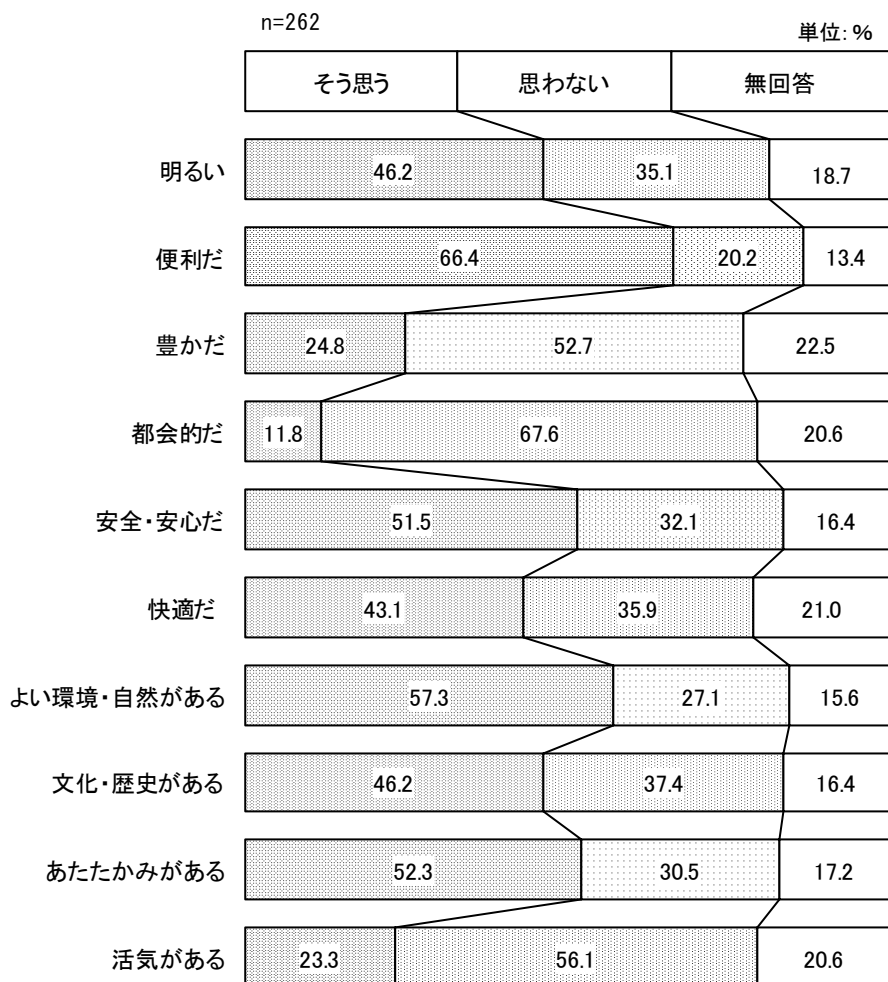
新田西部にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「便利だ」61.4%、「よい環境・自然がある」50.6%、「安全・安心だ」50.3%がある。

一方、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」71.9%、「活気がある」66.4%、「豊かだ」61.4%、「文化・歴史がある」55.9%がある

上記以外の「明るい」「快適だ」「あたたかみがある」はいずれも、「そう思う」という回答が「思わない」を上回っている。

2. 新田東部のイメージ

(八幡町・弁天1～6丁目・中根1～3丁目・松江1～4丁目・栄町1～3丁目)



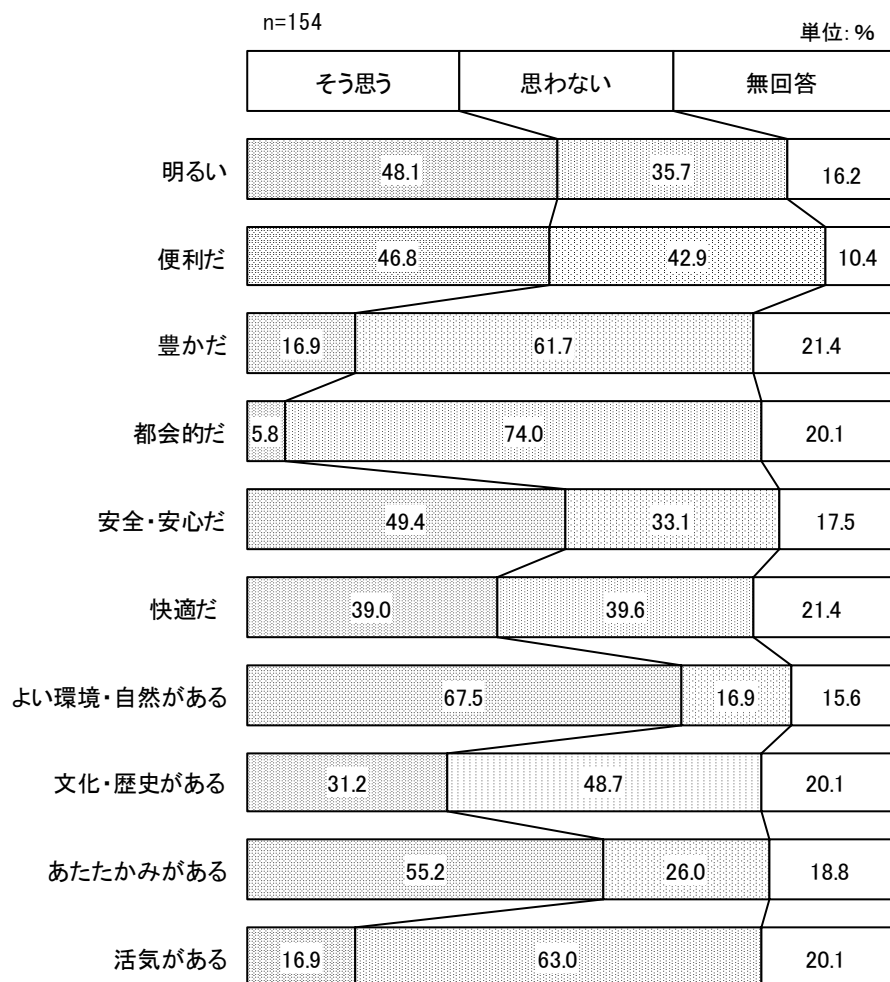
新田東部にお住まいの方の、居住地のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「便利だ」66.4%、「よい環境・自然がある」57.3%、「あたたかみがある」52.3%、「安全・安心だ」51.5%がある。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」67.6%、「活気がある」56.1%、「豊かだ」52.7%がある。

上記以外の「明るい」「快適だ」「文化・歴史がある」はいずれも、「そう思う」という回答が「思わない」を上回っている。

3. 草加川柳のイメージ

(青柳1～8丁目・青柳町・柿木町)



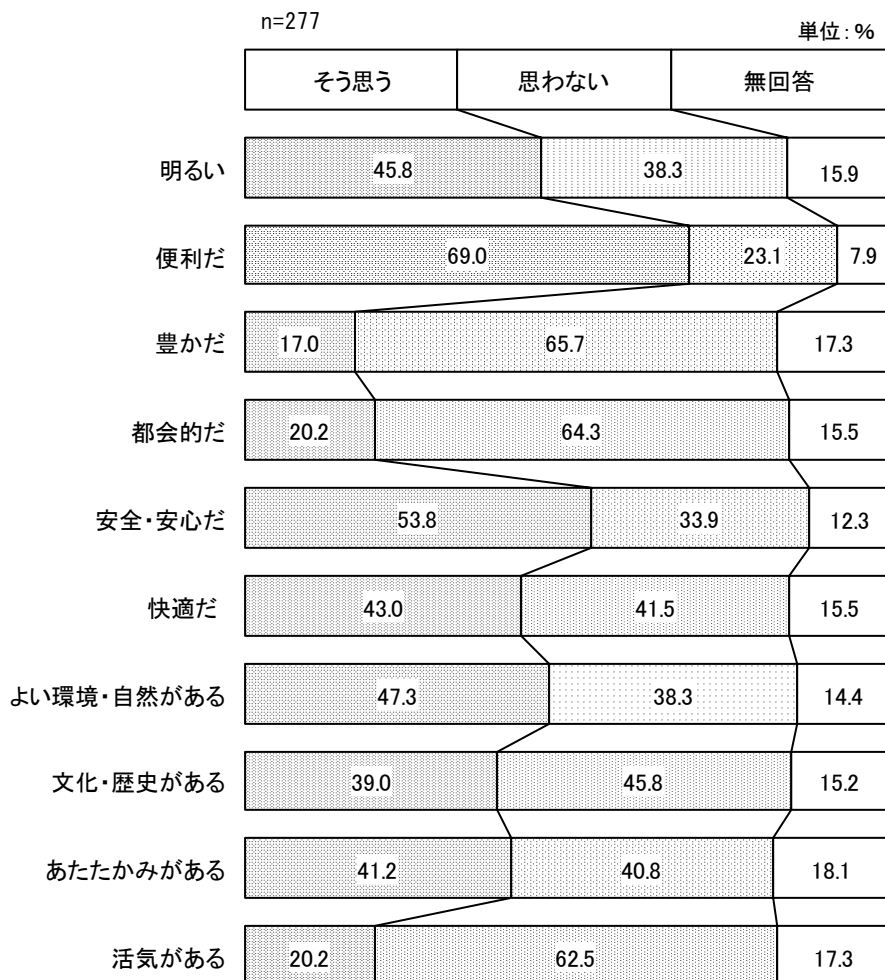
草加川柳にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「よい環境・自然がある」67.5%、「あたたかみがある」55.2%があり、「安全・安心だ」49.4%、「明るい」48.1%、「便利だ」46.8%といった回答の割合も半数近くを占めている。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」74.0%、「活気がある」63.0%、「豊かだ」61.7%があり、「文化・歴史がある」48.7%の割合も半数近くに達している。

また、「快適だ」という項目では「そう思う」39.0%と「思わない」39.6%との回答の割合がほぼ同じになっている。

4. 草加安行のイメージ

(原町1～3丁目・北谷1～3丁目・北谷町・苗塚町・花栗1～4丁目・小山1～2丁目・松原1～5丁目・学園町)



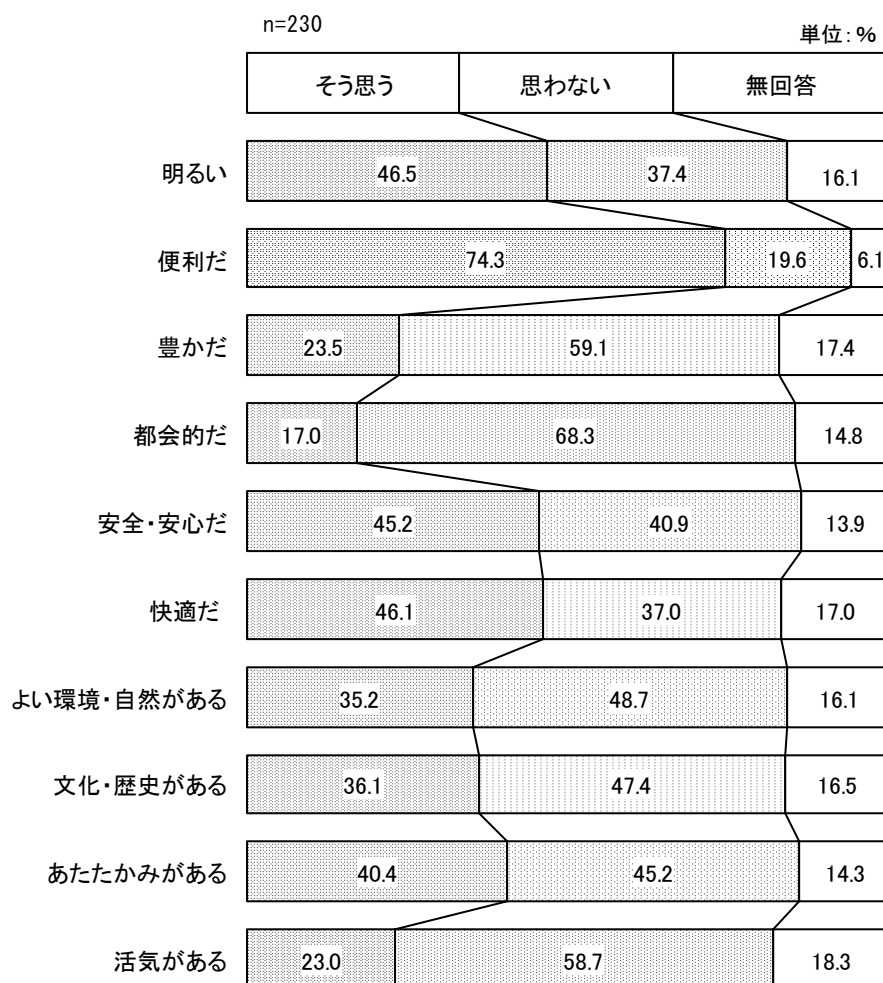
草加安行にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「便利だ」69.0%、「安全・安心だ」53.8%がある。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「豊かだ」65.7%、「都会的だ」64.3%、「活気がある」62.5%があり、「文化・歴史がある」45.8%についても「思わない」との回答が半数近くに達している。

上記以外の「明るい」「快適だ」「よい環境・自然がある」「あたたかみがある」はいずれも、「そう思う」という回答が「思わない」を上回っている。

5. 草加西部のイメージ

(草加1～5丁目・西町・氷川町)



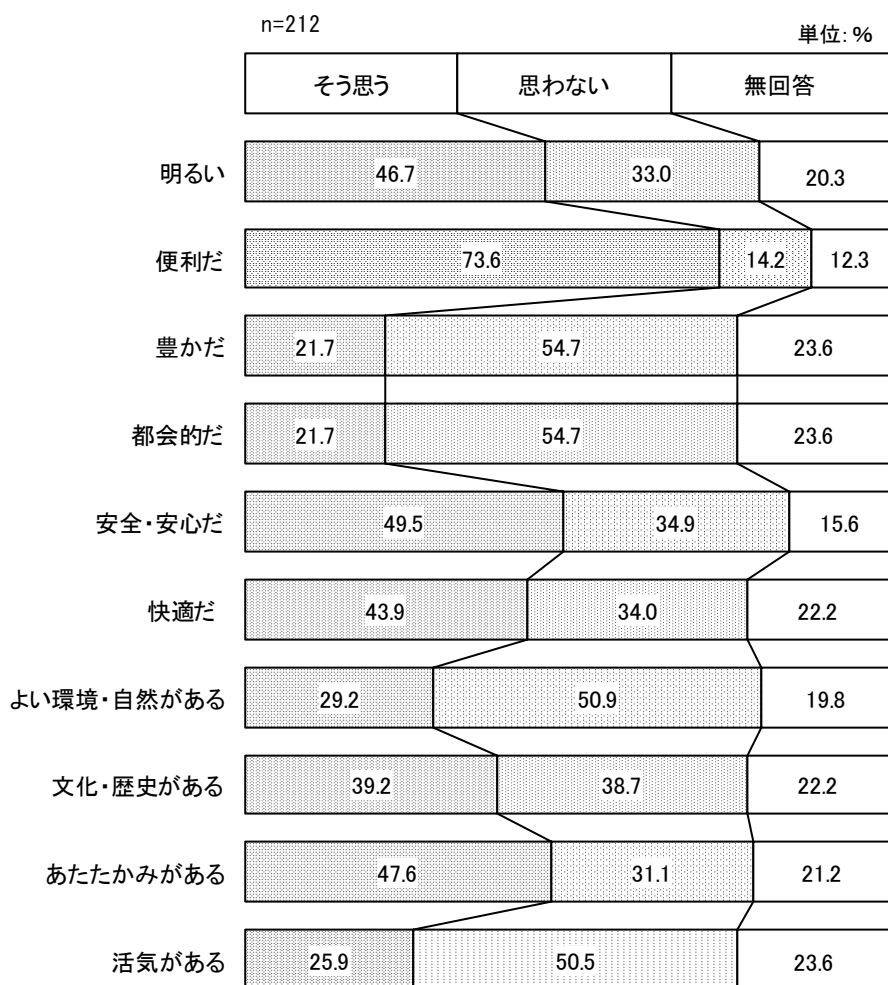
草加西部にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「便利だ」74.3%と回答した割合が最も多く、それ以外の回答は半数に達していない。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」68.3%、「豊かだ」59.1%、「活気がある」58.7%があり、「よい環境・自然がある」48.7%、「文化・歴史がある」47.4%の割合も半数近くに達している。

上記以外の「明るい」「安全・安心だ」「快適だ」は「そう思う」という回答の割合が多く、「あたたかみがある」は「思わない」という回答の割合が多くなっている。

6. 草加東部のイメージ

(神明1～2丁目・住吉1～2丁目・手代町・中央1～2丁目・高砂1～2丁目・吉町1～5丁目)



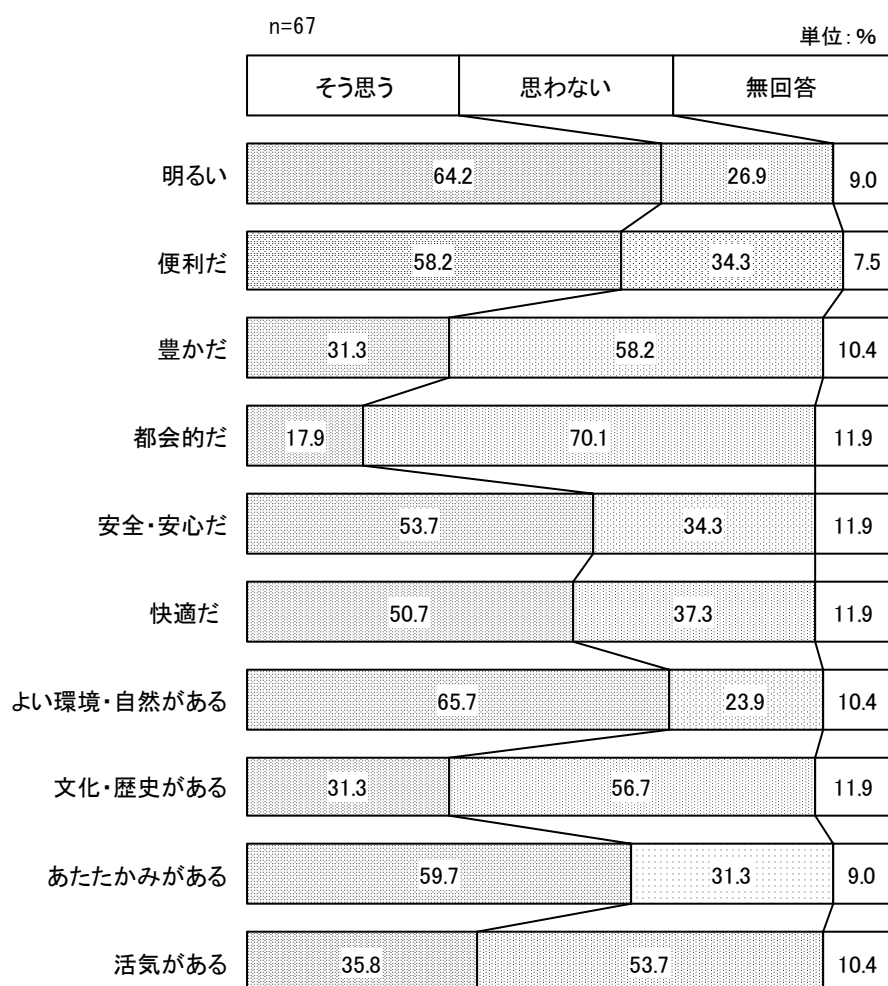
草加東部にお住まいの方の、居住地のイメージとしては、「便利だ」73.6%と回答した割合が最も多く、それ以外の回答は、「安全・安心だ」49.5%を筆頭にいずれも半数に達していない。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「豊かだ」54.7%、「都会的だ」54.7%、「よい環境・自然がある」50.9%、「活気がある」50.5%がある

上記以外の「明るい」「快適だ」「文化・歴史がある」「あたたかみがある」は、いずれも「そう思う」という回答が「思わない」を上回っている。

7. 草加稲荷のイメージ

(稲荷1～6丁目・松江5～6丁目)

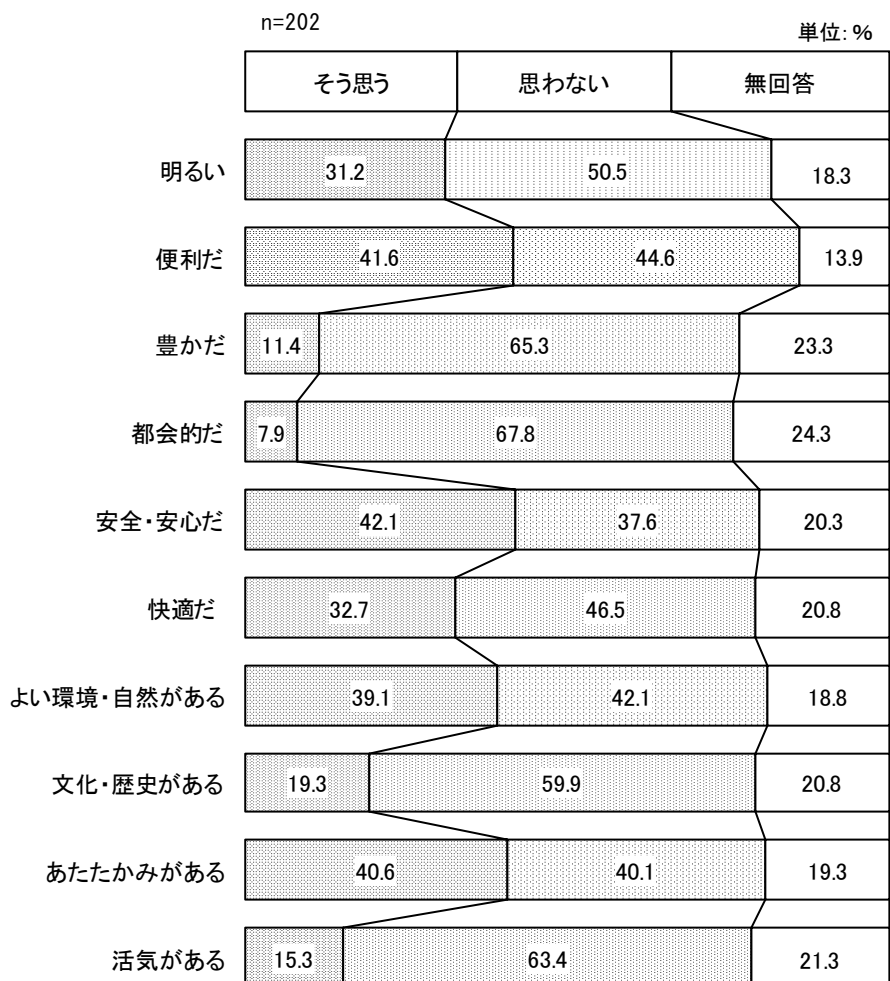


草加稲荷にお住まいの方の、居住地のイメージとしては、「そう思う」との回答が6割前後となったものに、「よい環境・自然がある」65.7%、「明るい」64.2%、「あたたかみがある」59.7%、「便利だ」58.2%があり、「安全・安心だ」「快適だ」との回答の割合も半数を超えている。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」70.1%、「豊かだ」58.2%、「文化・歴史がある」56.7%、「活気がある」53.7%がある。

8. 谷塚西部のイメージ

(柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町)

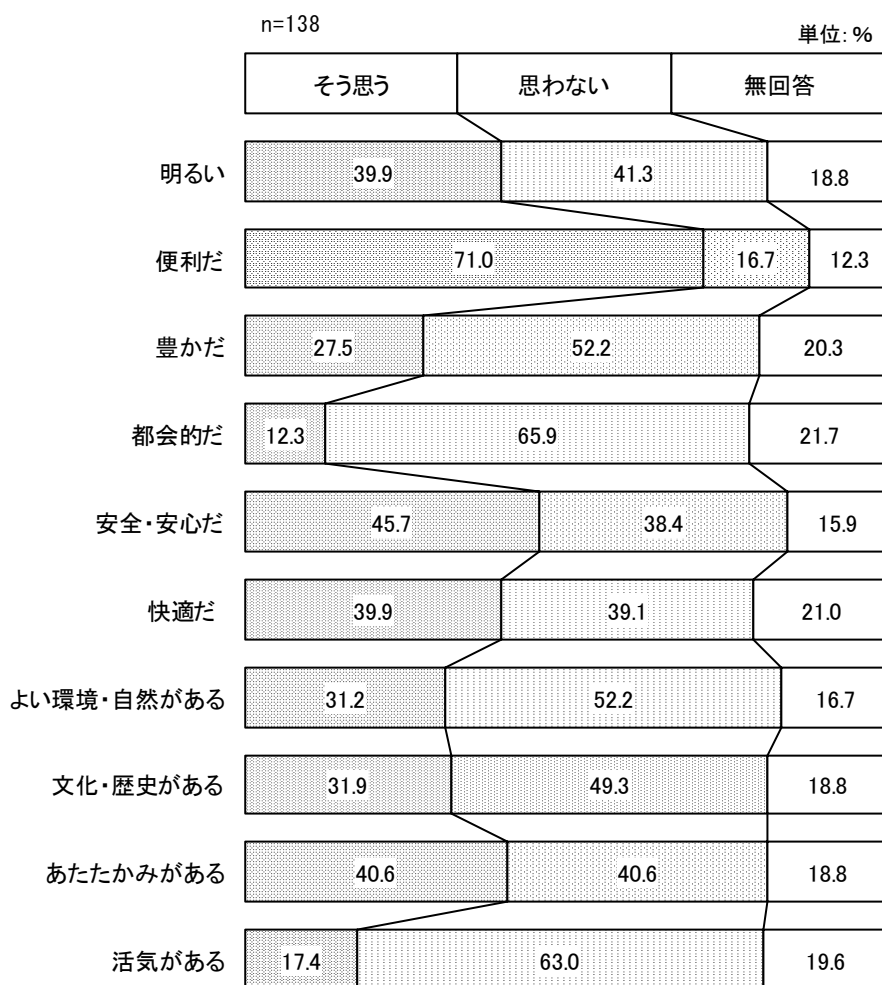


谷塚西部にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「そう思う」との回答は、「安全・安心だ」42.1%が最も多く、その他の項目はいずれも半数に達していない。

一方で、「思わない」との回答の割合は「都会的だ」67.8%が最も多くなっており、その他の項目では「あたたかみがある」を除き、いずれも「思わない」という回答が「そう思う」を上回っている。

9. 谷塚中央のイメージ

(谷塚町・谷塚1～2丁目)



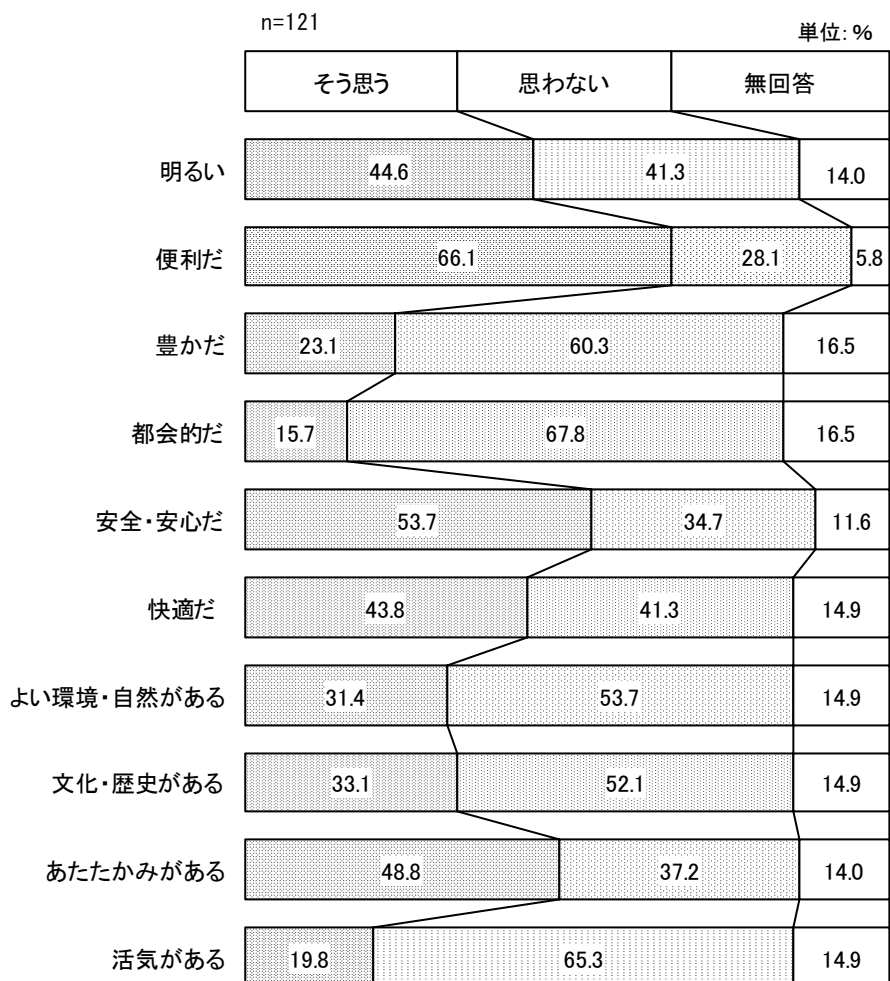
谷塚中央にお住まいの方の、居住地域のイメージとしては、「便利だ」71.0%と回答した割合が最も多く、それ以外の回答は、「安全・安心だ」45.7%を筆頭にいずれの項目も半数に達していない。

一方で、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」65.9%、「活気がある」63.0%、「豊かだ」52.2%、「よい環境・自然がある」52.2%があり、「文化・歴史がある」49.3%もほぼ半数に達している。

上記以外の「明るい」「快適だ」「あたたかみがある」は、「そう思う」と「思わない」との回答の差が最大でも1.4ポイントとほぼ同じ割合になっている。

10. 谷塚東部のイメージ

(瀬崎1～7丁目)



谷塚東部にお住まいの方の、居住地のイメージとしては、「そう思う」との回答が半数を超えたものに、「便利だ」66.1%、「安全・安心だ」53.7%がある。また、「あたたかみがある」48.8%も半数近くに達している。

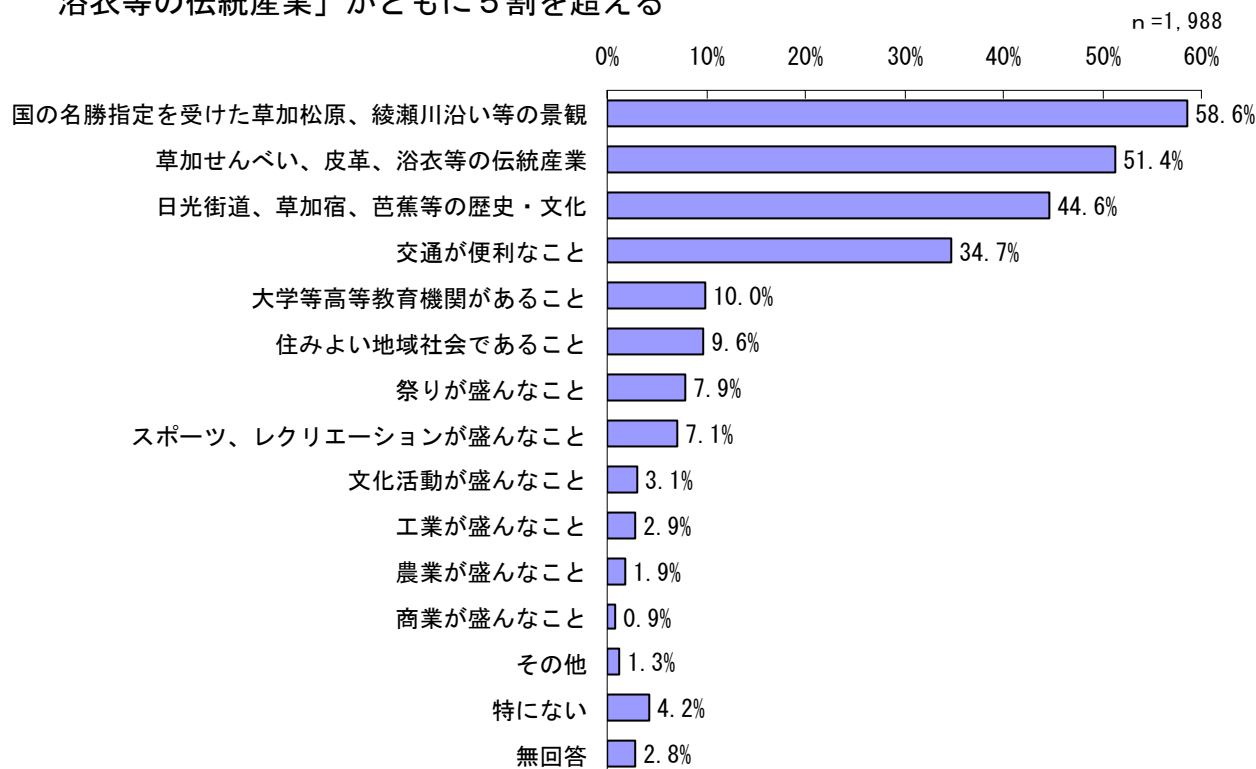
なお、「明るい」「快適だ」は、「そう思う」という回答が「思わない」をやや上回っている。

一方、上記以外では、「思わない」との回答が半数を超えたものに、「都会的だ」67.8%、「活気がある」65.3%、「豊かだ」60.3%、「よい環境・自然がある」53.7%、「文化・歴史がある」52.1%がある。

(2) 草加市の自慢できるもの・誇れるもの

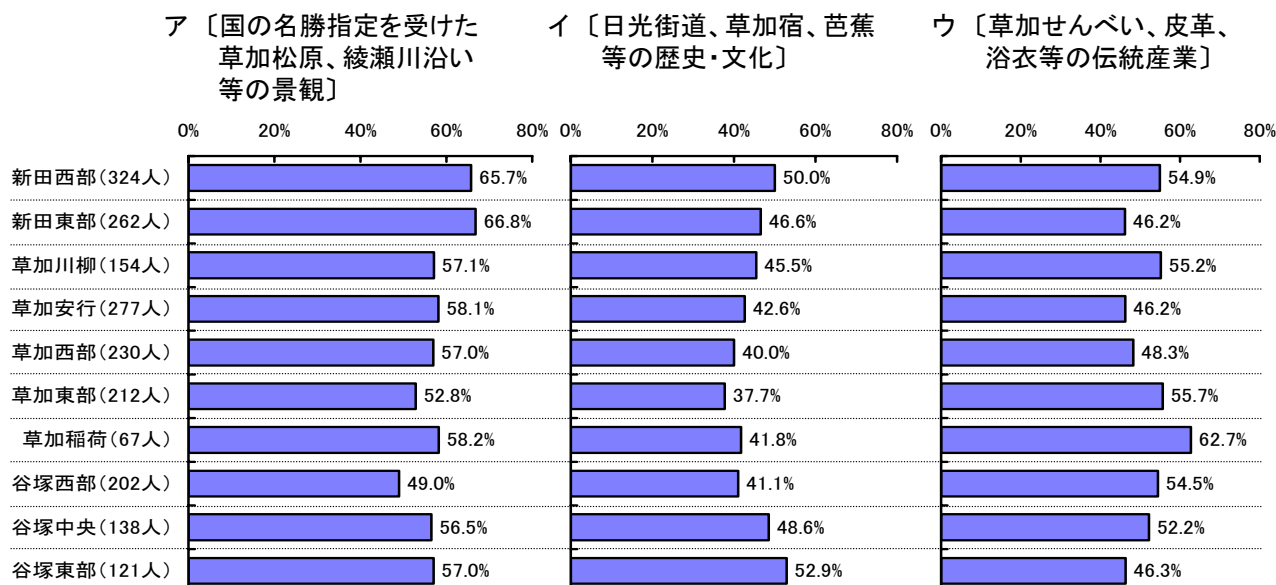
問2 あなたが、草加市の自然・歴史・文化・産業・生活環境等で自慢できるもの、誇れるものは何ですか。(〇は3つまで)

◎「国の名勝指定を受けた草加松原、綾瀬川沿い等の景観」「草加せんべい、皮革、浴衣等の伝統産業」がともに5割を超える

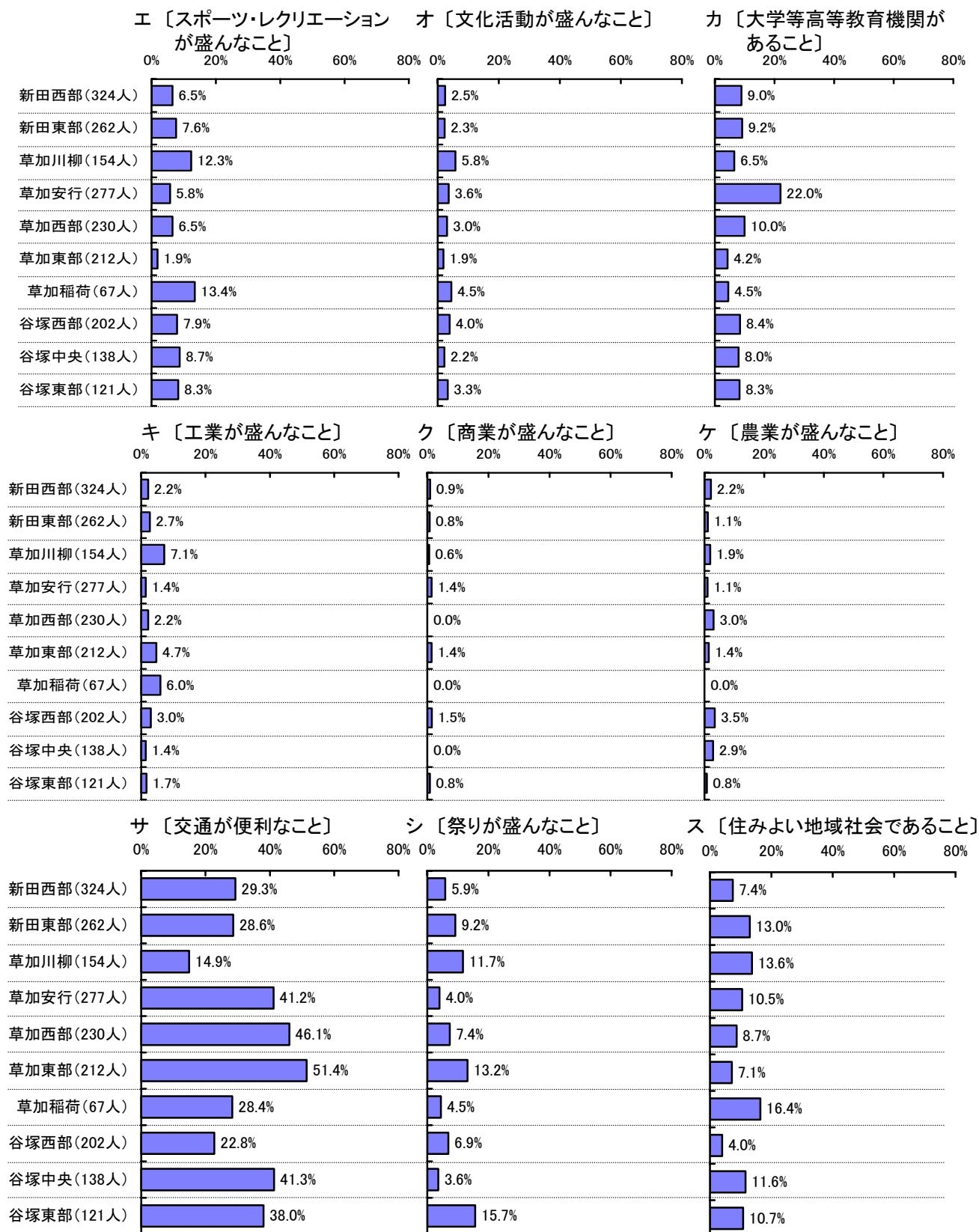


草加市の自慢できるもの・誇れるものは、「国の名勝指定を受けた草加松原、綾瀬川沿い等の景観」58.6%、「草加せんべい、皮革、浴衣等の伝統産業」51.4%が半数を超えている。次いで「日光街道、草加宿、芭蕉等の歴史・文化」44.6%、「交通が便利なこと」34.7%と続いている。

【居住地域別クロス集計】



第3章 調査結果の分析

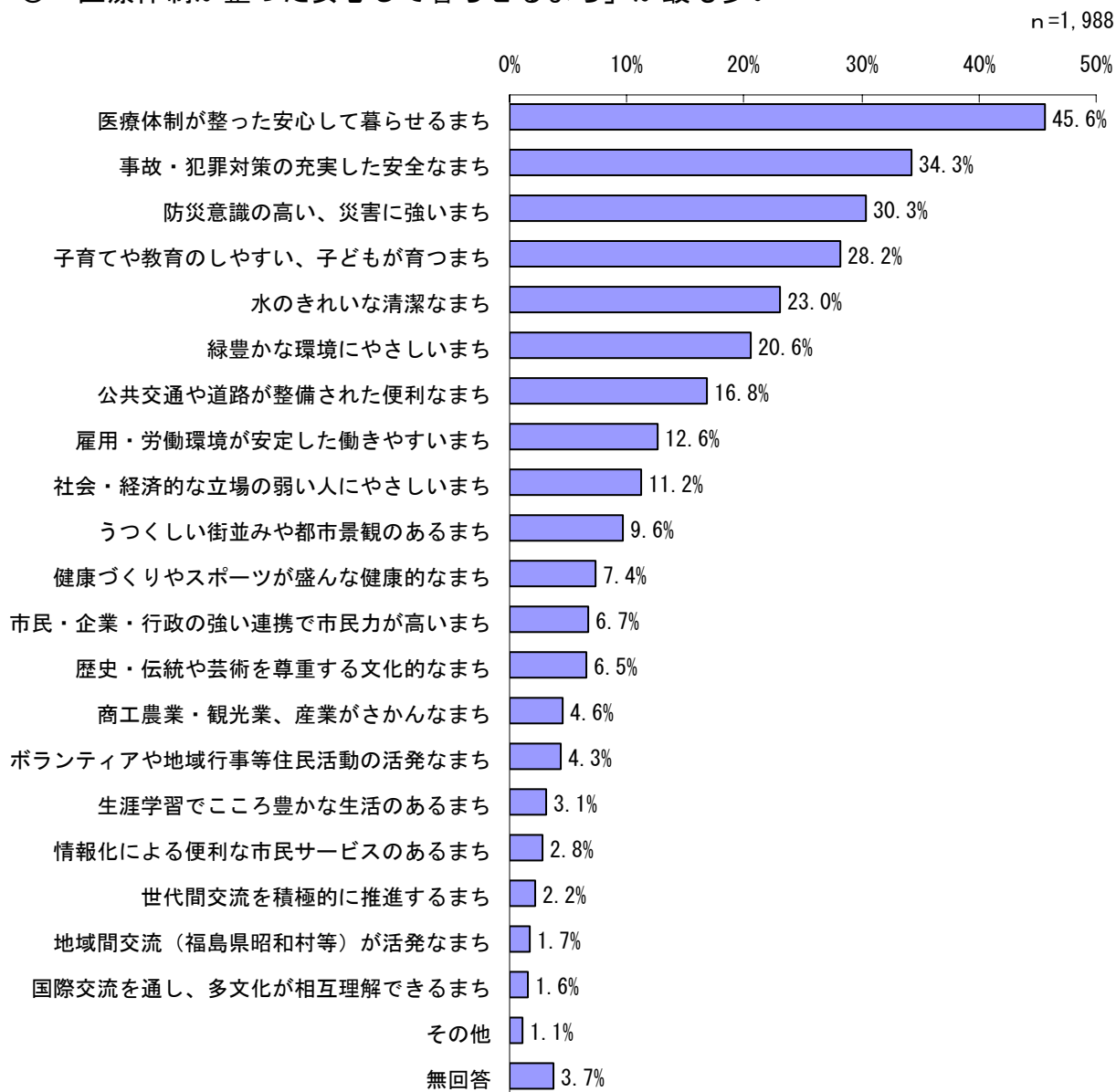


草加市の自慢できるもの・誇れるものについて、居住地域別にみると、「サ 交通が便利なこと」は「草加東部」51.4%が半数を超えて最も多く、次に「草加西部」46.1%、「谷塚中央」41.3%、「草加安行」41.2%と続いている。またそれ以外の地域では「谷塚東部」38.0%を除くと全て3割を切っており、特に「草加川柳」は14.9%と最も少ない。

(3) 草加市が目指すべき将来像

問3 あなたは、草加市が目指すべき将来像として、最も望ましいと思うものはどのようなものですか。(〇は3つまで)

◎「医療体制が整った安心して暮らせるまち」が最も多い



草加市が目指すべき将来像について、「医療体制が整った安心して暮らせるまち」45.6%、「事故・犯罪対策の充実した安全なまち」34.3%、「防災意識の高い、災害に強いまち」30.3%の順に多くなっており、市で生活する上での『安全・安心』な環境を望んでいることがうかがえる。次いで「子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち」28.2%、「水のきれいな清潔なまち」23.0%、「緑豊かな環境にやさしいまち」20.6%などが続いている。

【年齢別クロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 45.6	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 34.3	防災意識の高い、災害に強いまち 30.3	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 28.2	水のきれいな清潔なまち 23.0	
年齢別	20歳代 (50人)	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 66.0	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 42.0	医療体制が整った安心して暮らせるまち 28.0	緑豊かな環境にやさしいまち 22.0	防災意識の高い、災害に強いまち 22.0
	30歳代 (181人)	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 63.0	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 51.9	医療体制が整った安心して暮らせるまち 39.8	防災意識の高い、災害に強いまち 23.2	緑豊かな環境にやさしいまち 19.3
	40歳代 (184人)	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 44.0	医療体制が整った安心して暮らせるまち 41.3	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 37.5	防災意識の高い、災害に強いまち 26.6	水のきれいな清潔なまち 19.0
	50歳代 (150人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 50.7	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 40.0	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 31.3	防災意識の高い、災害に強いまち 26.0	公共交通や道路が整備された便利なまち 22.0
	60歳代 (452人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 46.9	防災意識の高い、災害に強いまち 34.1	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 32.7	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 27.2	水のきれいな清潔なまち 23.2
	70歳代 (718人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 47.8	防災意識の高い、災害に強いまち 32.9	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 28.1	水のきれいな清潔なまち 27.9	緑豊かな環境にやさしいまち 20.3
	80歳以上 (212人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 45.3	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 31.1	防災意識の高い、災害に強いまち 30.2	水のきれいな清潔なまち 22.6	緑豊かな環境にやさしいまち 19.3

※ は、表の中で特徴的な項目を表す。

草加市が目指すべき将来像について、年齢別でみると、20歳代、30歳代の上位3位の項目は同一となっている。

1位に「子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち」が20歳代、30歳代でそれぞれ60%を超えており、40歳代37.5%と50歳代31.3%でも3位に入っている。

全体の順位と異なり「事故・犯罪対策の充実した安全なまち」が20歳代42.0%と30歳代51.9%で2位、40歳代で1位44.0%と、「医療体制が整った安心して暮らせるまち」よりも高い順位に入っている。年齢が高くなるほど「医療体制が整った安心して暮らせるまち」の順位が上がり、50歳代50.7%、60歳代46.9%、70歳代47.8%、80歳代以上45.3%の各世代で1位になっている。

「防災意識の高い、災害に強いまち」は60歳代34.1%、70歳代32.9%で2位となっており、他の年代と異なって、「事故・犯罪対策の充実した安全なまち」よりも上位に入っている。

【居住地地域別クロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 45.6	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 34.3	防災意識の高い、災害に強いまち 30.3	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 28.2	水のきれいな清潔なまち 23.0	
居住地地域別	新田西部 (324人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 49.4	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 34.0	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 29.3	防災意識の高い、災害に強いまち 29.0	水のきれいな清潔なまち 24.7
	新田東部 (262人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 44.3	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 33.2	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 29.8	水のきれいな清潔なまち 29.0	防災意識の高い、災害に強いまち 27.9
	草加川柳 (154人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 44.2	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 37.0	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 27.3	公共交通や道路が整備された便利なまち 26.0	防災意識の高い、災害に強いまち 25.3
	草加安行 (277人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 47.7	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 33.9	防災意識の高い、災害に強いまち 30.7	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 23.5	緑豊かな環境にやさしいまち 21.7
	草加西部 (230人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 41.3	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 36.5	防災意識の高い、災害に強いまち 32.6	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 30.0	緑豊かな環境にやさしいまち 20.9
	草加東部 (212人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 46.2	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 32.5	防災意識の高い、災害に強いまち 31.6	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 28.8	水のきれいな清潔なまち 24.1
	草加稲荷 (67人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 43.3	防災意識の高い、災害に強いまち 40.3	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 32.8	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 28.4	水のきれいな清潔なまち 20.9
	谷塚西部 (202人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 47.0	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 33.7	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 29.7	防災意識の高い、災害に強いまち 26.7	水のきれいな清潔なまち 23.8
	谷塚中央 (138人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 41.3	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 38.4	防災意識の高い、災害に強いまち 29.7	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 26.8	水のきれいな清潔なまち 23.9
	谷塚東部 (121人)	医療体制が整った安心して暮らせるまち 46.3	防災意識の高い、災害に強いまち 39.7	事故・犯罪対策の充実した安全なまち 29.8	子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち 28.1	水のきれいな清潔なまち 20.7

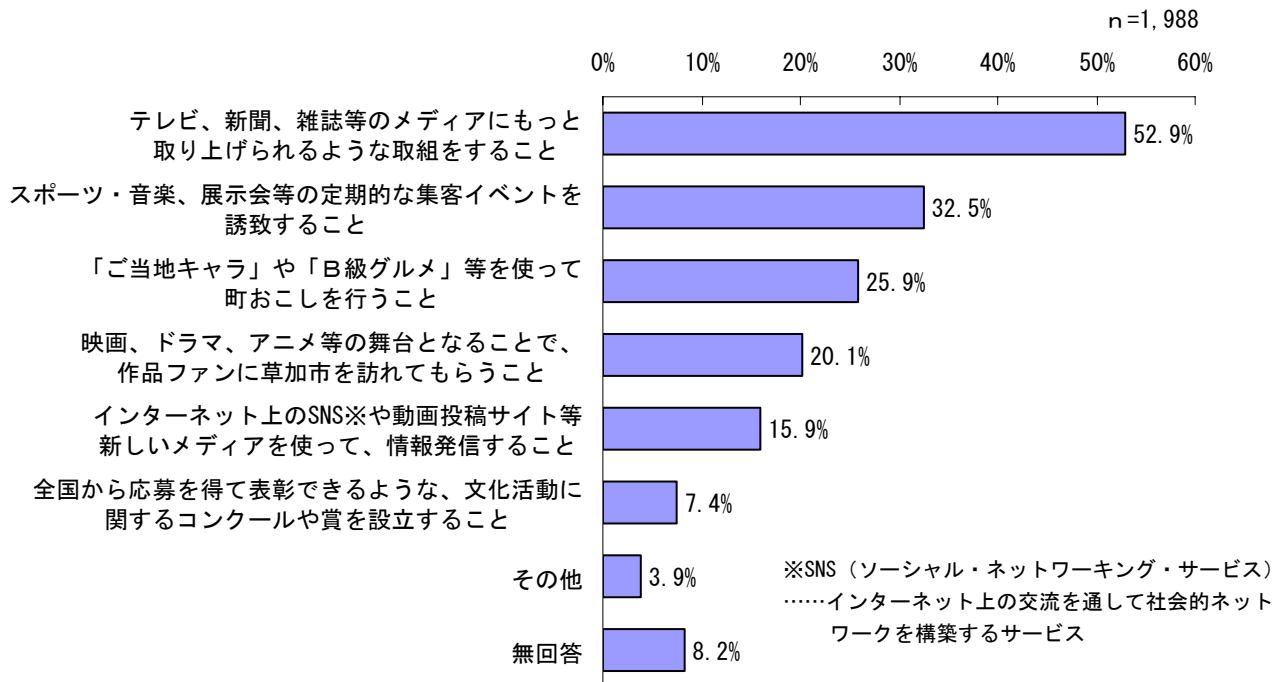
草加市が目指すべき将来像について、居住地地域別でみると、1位の項目はすべての地域で全体の1位の項目と同じ「医療体制が整った安心して暮らせるまち」であるが、全体と異なるものでは、草加稲荷と谷塚東部で、2位に「防災意識の高い、災害に強いまち」、3位に「事故・犯罪対策の充実した安全なまち」が入っている。さらに、新田西部、新田東部、草加川柳、谷塚西部では「子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち」がそれぞれ3位に入っている。

また、全体の項目と異なるものでは、「緑豊かな環境にやさしいまち」が草加安行21.7%、草加西部20.9%と5位に入っており、「公共交通や道路が整備された便利なまち」が草加川柳26.0%にのみ4位に入っている。

(4) 知名度を高めるために有効な取組

問4 これからの草加市の知名度を高めるために有効だと思われる取組はどのようなものだと思いますか。(〇は2つまで)

◎「テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること」が5割を超える



草加市の知名度を高めるために有効だと思われる取組について、「テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること」52.9%、「スポーツ・音楽、展示会等の定期的な集客イベントを誘致すること」32.5%、「ご当地キャラやB級グルメ等を使って町おこしを行うこと」25.9%の順に多くなっている。

【居住地地域別クロス集計】

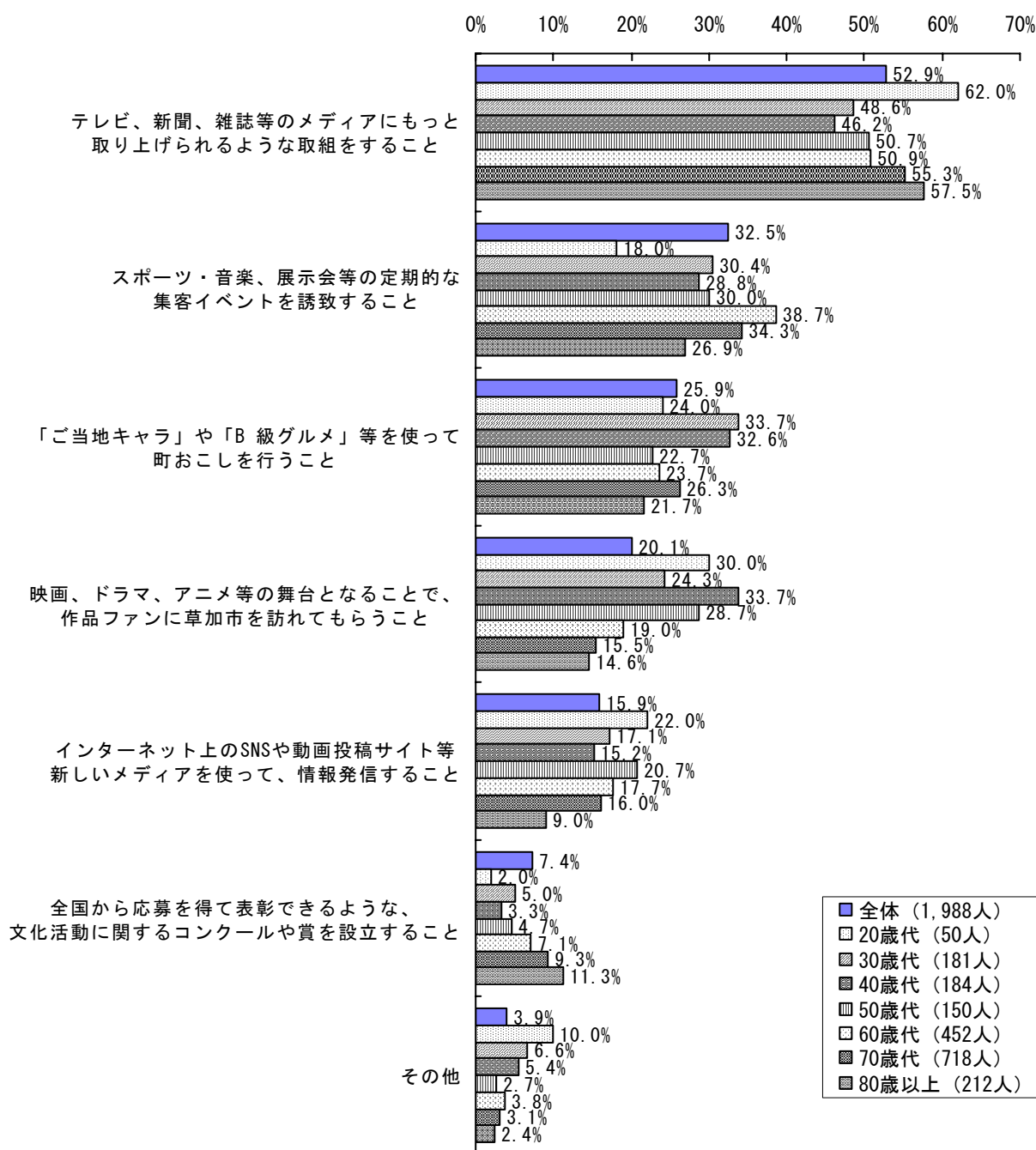
* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	合計	テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること	インターネット上のSNS※や動画投稿サイト等新しいメディアを使って、情報発信すること	「ご当地キャラ」や「B級グルメ」等を使って町おこしを行うこと	映画、ドラマ、アニメ等の舞台となることで、作品ファンに草加市を訪れてもらうこと	スポーツ・音楽、展示会等の定期的な集客イベントを誘致すること	全国から応募を得て表彰できるような、文化活動に関するコンクールや賞を設立すること	その他	無回答	
全体	1,988 100.0	1,051 52.9	316 15.9	515 25.9	400 20.1	646 32.5	147 7.4	77 3.9	164 8.2	
居住地	新田西部	324 100.0	171 52.8	59 18.2	79 24.4	65 20.1	109 33.6	19 5.9	12 3.7	31 9.6
	新田東部	262 100.0	141 53.8	37 14.1	70 26.7	52 19.8	80 30.5	12 4.6	7 2.7	22 8.4
	草加川柳	154 100.0	79 51.3	18 11.7	56 36.4	40 26.0	50 32.5	7 4.5	7 4.5	5 3.2
	草加安行	277 100.0	140 50.5	36 13.0	61 22.0	49 17.7	106 38.3	29 10.5	11 4.0	24 8.7
	草加西部	230 100.0	122 53.0	37 16.1	50 21.7	51 22.2	88 38.3	24 10.4	9 3.9	19 8.3
	草加東部	212 100.0	100 47.2	49 23.1	51 24.1	37 17.5	60 28.3	21 9.9	8 3.8	19 9.0
	草加稲荷	67 100.0	43 64.2	11 16.4	23 34.3	15 22.4	19 28.4	3 4.5	4 6.0	2 3.0
	谷塚西部	202 100.0	116 57.4	29 14.4	62 30.7	33 16.3	51 25.2	15 7.4	8 4.0	20 9.9
	谷塚中央	138 100.0	78 56.5	25 18.1	31 22.5	26 18.8	38 27.5	12 8.7	6 4.3	14 10.1
	谷塚東部	121 100.0	61 50.4	15 12.4	31 25.6	31 25.6	45 37.2	5 4.1	5 4.1	8 6.6

※ ■ は、表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

草加市の知名度を高めるために有効だと思われる取組について、居住地地域別で見ると、「テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること」は「草加稲荷」が64.2%で6割を超えて最も多く、「インターネット上のSNSや動画投稿サイト等新しいメディアを使って、情報発信すること」は「草加東部」が23.1%と最も多い。「ご当地キャラ」や「B級グルメ」等を使って町おこしを行うこと」と「映画、ドラマ、アニメ等の舞台となることで、作品ファンに草加市を訪れてもらうこと」は「草加川柳」が他の地域よりも多く、「スポーツ・音楽、展示会等の定期的な集客イベントを誘致すること」と「全国から応募を得て表彰できるような、文化活動に関するコンクールや賞を設立すること」は「草加安行」「草加西部」が他の地域よりも多くなっている。

【年齢別クロス集計】



草加市の知名度を高めるために有効だと思われる取組について、年齢別で見ると、全ての年代で「テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること」が最も多くなっている。「映画、ドラマ、アニメ等の舞台となることで、作品ファンに草加市を訪れてもらうこと」は20歳代30.0%、40歳代33.7%で30%を超えており、「ご当地キャラやB級グルメ等を使って町おこしを行うこと」は30歳代33.7%、40歳代32.6%が30%を超えて多くなっている。

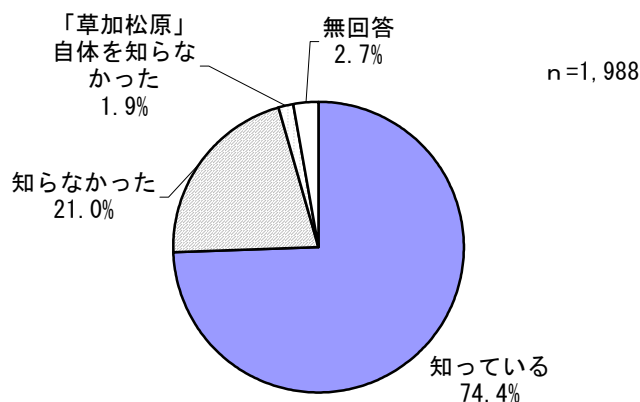
「スポーツ・音楽、展示会等の定期的な集客イベントを誘致すること」は各年代で30%前後と多くなっているが、20歳代だけ18.0%と少なくなっている。

2 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」について

(1) 「草加松原」の名勝指定の認知状況

問5 平成26年3月に、松尾芭蕉も訪れた「おくのほそ道」ゆかりの地「草加松原」が、国を代表する「おくのほそ道の風景地」として国指定名勝になりましたが、あなたは名勝に指定されていたことを知っていましたか。(○は1つ)

◎名勝指定の認知度は7割、「知らなかった」は2割



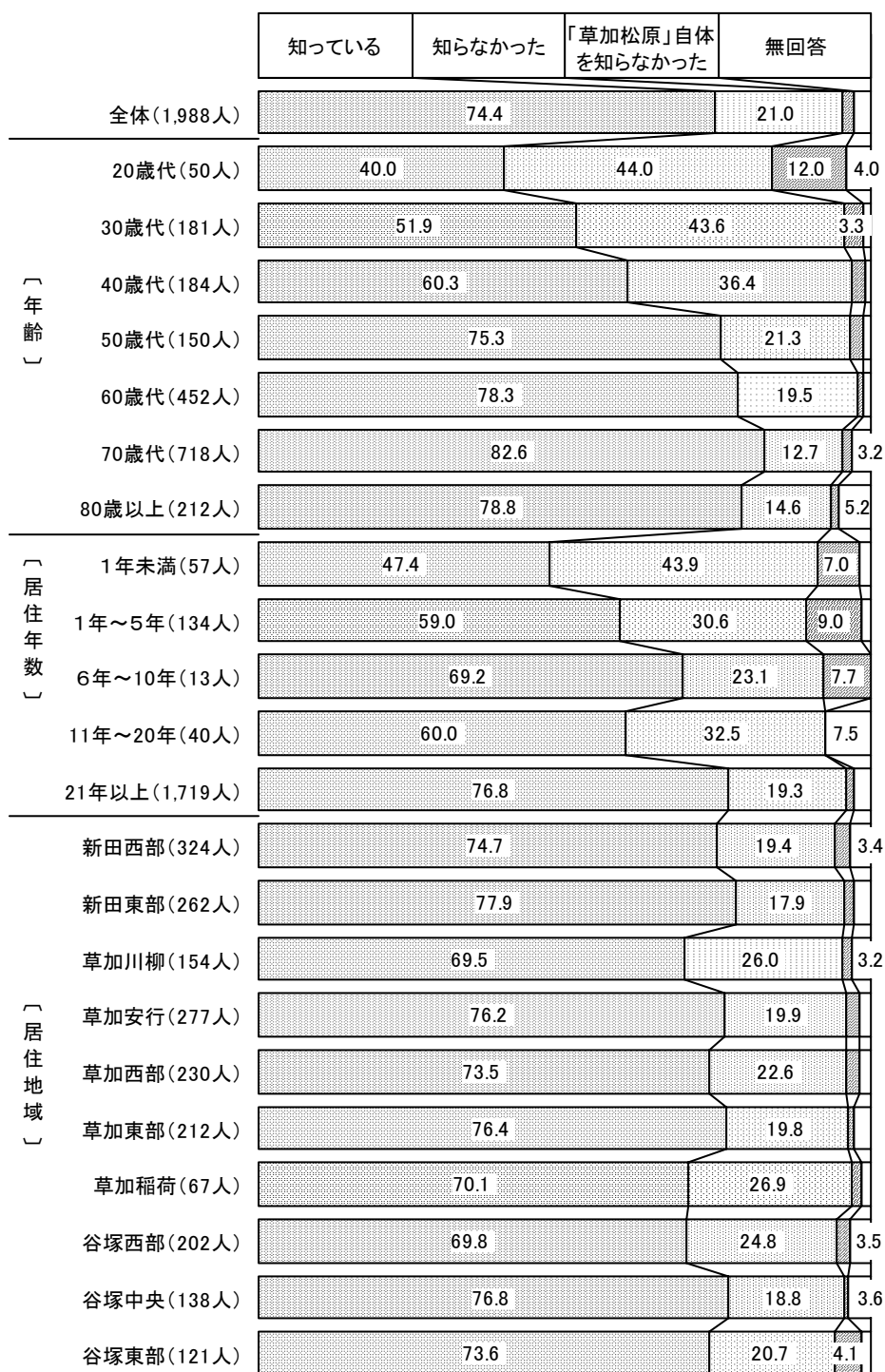
「草加松原」が国指定名勝に指定されたことについて、「知っている」74.4%との回答が全体のおよそ4分の3と高くなっている。一方で「草加松原」が国指定名勝になったことを「知らなかった」21.0%と回答した人は全体の約2割となっている。

◆草加松原

旧日光街道（現県道・足立越谷線）の神明2丁目から旭町1丁目南端までの綾瀬川沿い1.5キロメートルの松並木。遊歩道内は、石畳が敷かれ、百代橋や矢立橋など県道をまたぐ歩道橋も架けられ、安全で快適なウォーキングコースとなっています。平成26年3月、「おくのほそ道」の時代の雰囲気伝える風致景観として国の名勝に指定されました。



【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】



注: 3%未満の数値は表記していない

「草加松原」が国指定名勝になったことの認知状況について、年齢別でみると、年齢が高くなるほど「知っている」の割合が増加する傾向にある。

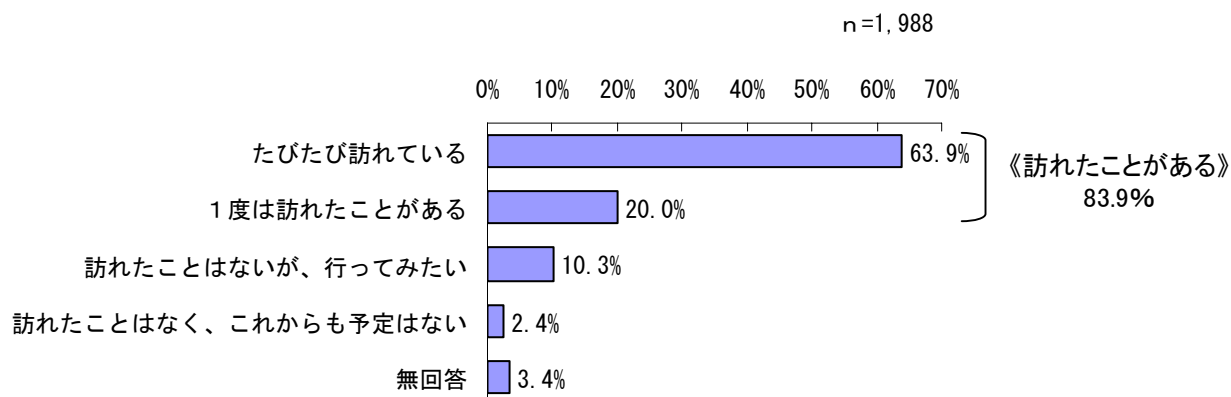
居住年数別でみると、「11年～20年」60.0%が「1年～5年」59.0%とほぼ同じになる以外では、居住年数が長くなるほど「知っている」が増加傾向にある。

居住地域別でみると、「草加川柳」69.5%、「谷塚西部」69.8%以外はいずれも7割を超えて高くなっている。

(2) 「草加松原」への訪問の有無

問6 あなたは、「草加松原」を訪れたことがありますか。(〇は1つ)

◎ 《訪れたことがある》が8割を超える



「草加松原」を訪れたことがあるかについては、「たびたび訪れている」63.9%が最も多く6割を超えている。次に「1度は訪れたことがある」20.0%、「訪れたことはないが、行ってみたい」10.3%と、「訪れたことはなく、これからも予定がない」2.4%と続いている。

◆ 『訪れた』目的

「たびたび訪れている」及び「1度は訪れたことがある」目的を回答した1,022人の主な回答内容は下記の通りである。

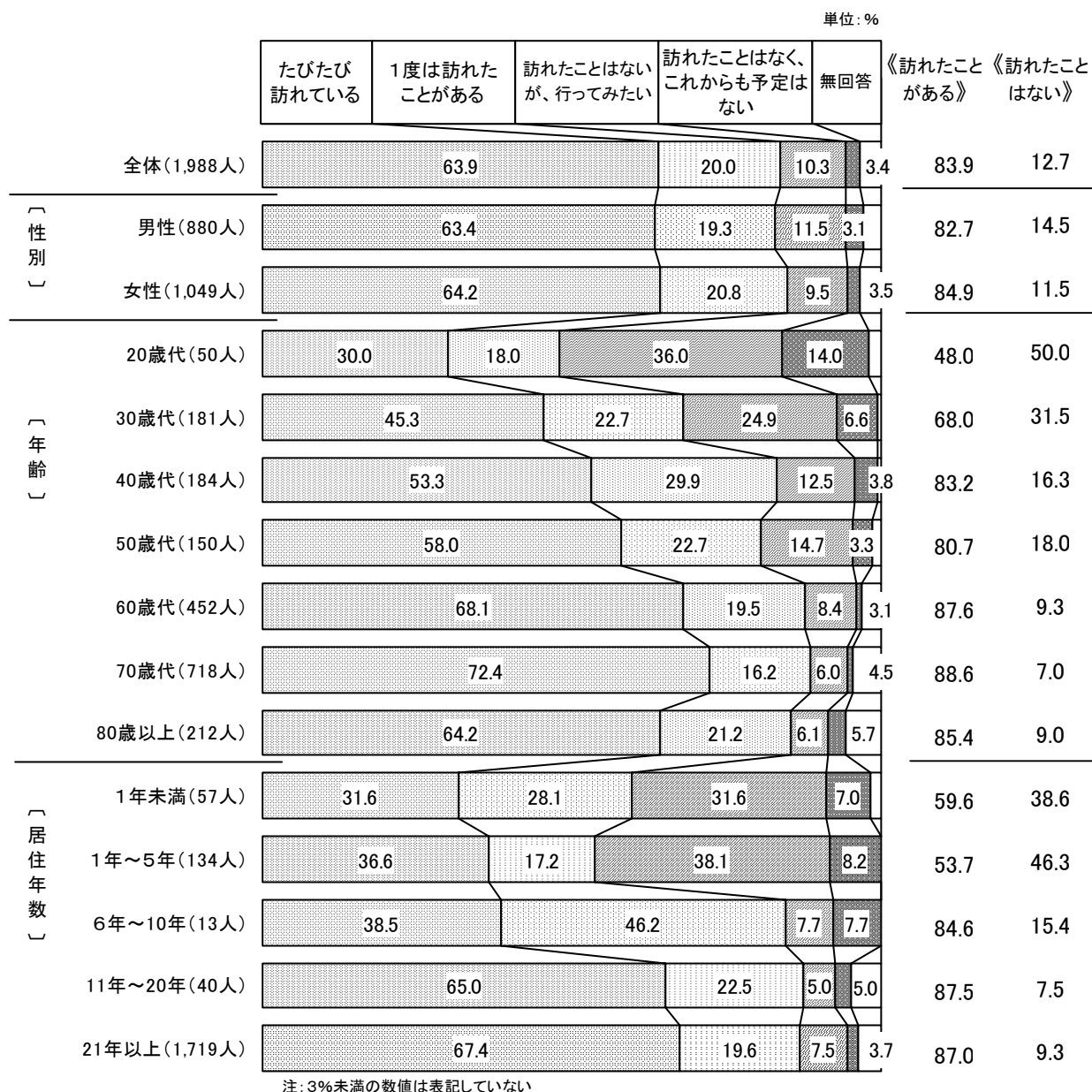
- 散策 (311件)
- 買い物、通勤・通学等生活道路として (198件)
- ウォーキング (119件)
- 祭り・イベント (118件)
- 健康・運動 (40件)
- 花見、松並木鑑賞 (24件)
- 憩いの場として (24件)
- 文化会館等施設利用のため (22件)
- 趣味のため (12件)

◆ 『訪れる予定がない』理由

「訪れたことはなく、これからも予定がない」理由を回答した26人の主な回答内容は下記の通りである。

- 興味がない (9件)
- 遠いので (4件)
- 交通・駐車に不便なので (3件)
- 足が悪いので (2件)
- 魅力がない (2件)

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

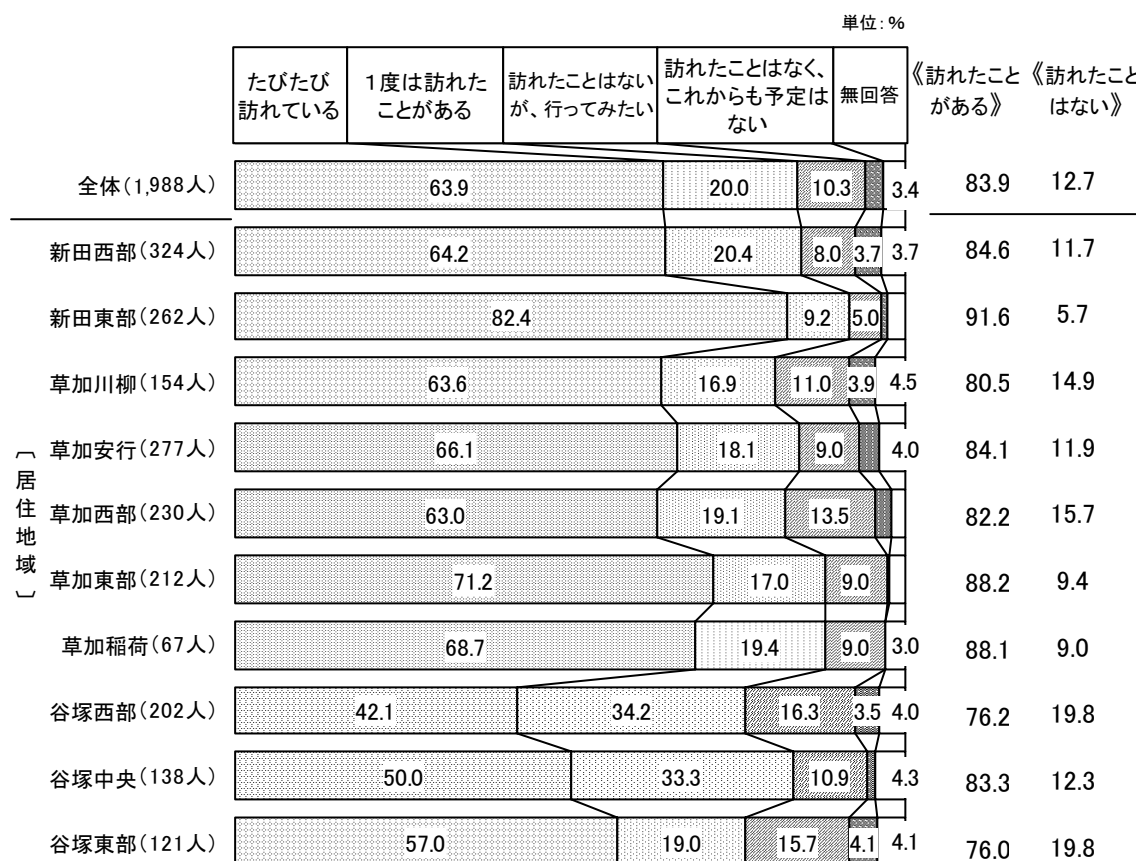


「草加松原」を訪れたことがあるかについて、性別で見ると、「草加松原」を《訪れたことがある》は、女性84.9%が男性82.7%より2.2ポイント高く、《訪れたことはない》は、男性14.5%が女性11.5%より3.0ポイント高い。

年齢で見ると、《訪れたことがある》は、「40歳代」から「80歳代」で80%を超えて多くなっている。《訪れたことはない》は、「20歳代」50.0%が半数となっており、次いで「30歳代」31.5%、「50歳代」18.0%の順に多くなっている。

居住年数で見ると、《訪れたことがある》は、6年以上住んでいる人で80%を超えており、《訪れたことはない》は、「1～5年」46.3%、「1年未満」38.6%、「6年～10年」15.4%の順となっている。

【居住地域別クロス集計】



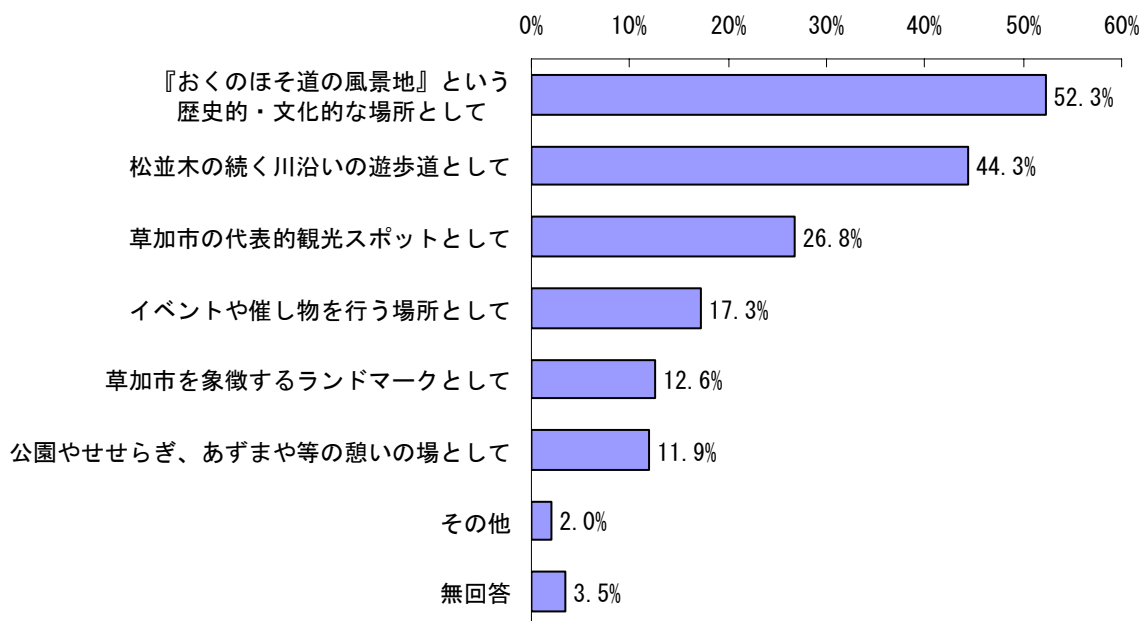
注：3%未満の数値は表記していない

「草加松原」を訪れたことがあるかについて、居住地域別でみると、《訪れたことがある》は、「谷塚西部」76.2%、「谷塚東部」76.0%を除くすべての地域で8割を超えており、草加松原に近い地域を含む「新田東部」が91.6%で9割を超え最も多く、「草加東部」88.2%、「草加稲荷」88.1%と続いている。《訪れたことはない》は、「谷塚西部」19.8%と「谷塚東部」19.8%が同率で最も多く約2割となっている。

(3) 「草加松原」のアピールポイント

問7 あなたは、「草加松原」をPRする場合、どのような側面をアピールするべきだと思いますか。(〇は2つまで)

◎半数の市民が『おくのほそ道の風景地』をアピールポイントとしてあげている
n=1,988



「草加松原」のどの側面をアピールしたらいいかについては、「『おくのほそ道の風景地』という歴史的・文化的な場所として」が52.3%で半数を超えて最も多く、次に「松並木の続く川沿いの遊歩道として」44.3%、「草加市の代表的観光スポットとして」26.8%の順が続いている。

【性別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

性別	全体	『おくのほそ道の風景地』という歴史的・文化的な場所として	松並木の続く川沿いの遊歩道として	公園やせせらぎ、あずまや等の憩いの場として	草加市を象徴するランドマークとして	イベントや催し物を行う場所として	草加市の代表的観光スポットとして	その他	無回答
		人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
全体	1,988	1,040	881	236	250	344	533	39	69
	100.0	52.3	44.3	11.9	12.6	17.3	26.8	2.0	3.5
男性	880	436	393	109	128	164	237	25	21
	100.0	49.5	44.7	12.4	14.5	18.6	26.9	2.8	2.4
女性	1,049	585	467	119	119	171	281	10	40
	100.0	55.8	44.5	11.3	11.3	16.3	26.8	1.0	3.8

「草加松原」のどの側面をアピールしたらいいかについて、性別でみると、5ポイント以上の差があるものは、『『おくのほそ道の風景地』という歴史的・文化的な場所として』で、女性 55.8%が男性 49.5%よりも 6.3 ポイント高い。その他の回答では、いずれも男性の方が女性を上回っている。

【年齢別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	『おくのほそ道の風景地』という歴史的・文化的な場所として	松並木の続く川沿いの遊歩道として	公園やせせらぎ、あずまや等の憩いの場として	草加市を象徴するランドマークとして	イベントや催し物を行う場所として	草加市の代表的な観光スポットとして	その他	無回答	
全体	1,988 100.0	1,040 52.3	881 44.3	236 11.9	250 12.6	344 17.3	533 26.8	39 2.0	69 3.5	
年齢	20歳代	50 100.0	26 52.0	18 36.0	11 22.0	5 10.0	7 14.0	1 2.0	2 4.0	
	30歳代	181 100.0	90 49.7	71 39.2	30 16.6	21 11.6	51 28.2	37 20.4	3 1.7	2 1.1
	40歳代	184 100.0	97 52.7	75 40.8	24 13.0	28 15.2	43 23.4	33 17.9	3 1.6	1 0.5
	50歳代	150 100.0	75 50.0	62 41.3	15 10.0	23 15.3	26 17.3	43 28.7	2 1.3	2 1.3
	60歳代	452 100.0	226 50.0	207 45.8	52 11.5	54 11.9	73 16.2	145 32.1	7 1.5	12 2.7
	70歳代	718 100.0	386 53.8	331 46.1	74 10.3	103 14.3	100 13.9	206 28.7	18 2.5	32 4.5
	80歳以上	212 100.0	124 58.5	100 47.2	24 11.3	14 6.6	35 16.5	51 24.1	3 1.4	13 6.1

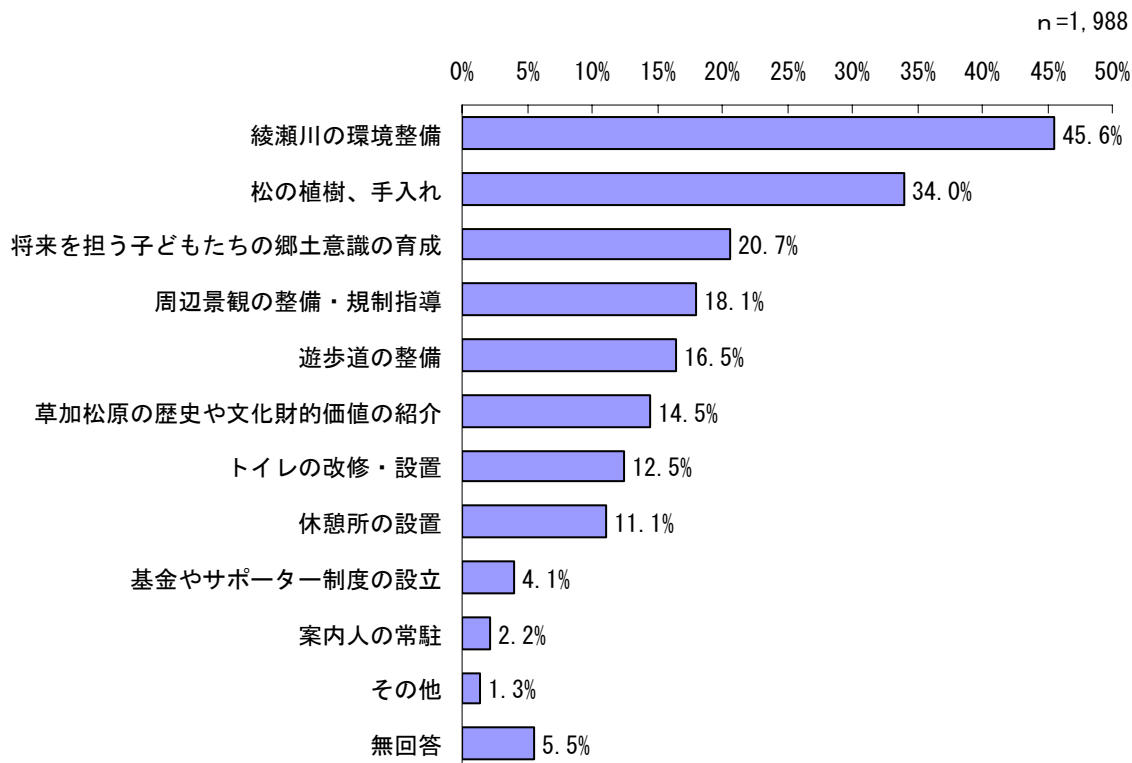
※ 表の上部にある選択肢欄をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

「草加松原」のどの側面をアピールしたらいいかについて、年齢別でみると、『『おくのほそ道の風景地』という歴史的・文化的な場所として』と「松並木の続く川沿いの遊歩道として」では「80歳以上」が最も多く、「公園やせせらぎ、あずまや等の憩いの場として」では「20歳代」22.0%、「草加市を象徴するランドマークとして」では「50歳代」15.3%、「イベントや催し物を行う場所として」では「30歳代」28.2%、「草加市の代表的な観光スポットとして」では「60歳代」32.1%が最も多く、年代ごとに最もアピールすべき側面が異なっている。

(4) 「草加松原」の保存・管理に必要なこと

問8 あなたは、「草加松原」を末永く保存・管理していくため、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

◎綾瀬川の環境整備や松の植樹・手入れが必要との回答が多い



「草加松原」の保存・管理に必要なことについては、「綾瀬川の環境整備」の45.6%が最も多く、次に「松の植樹、手入れ」34.0%、「将来を担う子どもたちの郷土意識の育成」20.7%の順が続いている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	綾瀬川の環境整備	遊歩道の整備	トイレの改修・設置	松の植樹・手入れ	休憩所の設置	案内人の常駐	周辺景観の整備・規制指導	基金やサポーター制度の設立	草加松原の歴史や文化財的価値の紹介	将来を担う子どもたちの郷土意識の育成	その他	無回答		
全体	1,988 100.0	906 45.6	328 16.5	248 12.5	676 34.0	221 11.1	43 2.2	359 18.1	81 4.1	289 14.5	411 20.7	26 1.3	109 5.5		
性別	男性	880 100.0	416 47.3	138 15.7	104 11.8	281 31.9	103 11.7	19 2.2	188 21.4	30 3.4	158 18.0	150 17.0	14 1.6	43 4.9	
	女性	1,049 100.0	468 44.6	184 17.5	136 13.0	381 36.3	112 10.7	22 2.1	159 15.2	51 4.9	125 11.9	249 23.7	12 1.1	56 5.3	
年齢	20歳代	50 100.0	26 52.0	11 22.0	16 32.0	9 18.0	9 18.0	0 0.0	5 10.0	1 2.0	4 8.0	7 14.0	1 2.0	1 2.0	
	30歳代	181 100.0	87 48.1	48 26.5	27 14.9	57 31.5	18 9.9	5 2.8	38 21.0	3 1.7	10 5.5	27 14.9	4 2.2	8 4.4	
	40歳代	184 100.0	85 46.2	55 29.9	21 11.4	66 35.9	14 7.6	4 2.2	35 19.0	10 5.4	18 9.8	28 15.2	5 2.7	5 2.7	
	50歳代	150 100.0	71 47.3	23 15.3	13 8.7	65 43.3	13 8.7	1 0.7	38 25.3	10 6.7	13 8.7	30 20.0	0 0.0	4 2.7	
	60歳代	452 100.0	233 51.5	60 13.3	36 8.0	156 34.5	55 12.2	10 2.2	91 20.1	26 5.8	64 14.2	100 22.1	7 1.5	18 4.0	
	70歳代	718 100.0	300 41.8	93 13.0	97 13.5	242 33.7	74 10.3	18 2.5	126 17.5	25 3.5	148 20.6	160 22.3	7 1.0	47 6.5	
	80歳以上	212 100.0	90 42.5	33 15.6	31 14.6	67 31.6	34 16.0	5 2.4	17 8.0	6 2.8	30 14.2	51 24.1	2 0.9	19 9.0	
	居住年数	1年未満	57 100.0	27 47.4	14 24.6	12 21.1	12 21.1	7 12.3	0 0.0	13 22.8	4 7.0	4 7.0	8 14.0	0 0.0	2 3.5
		1年～5年	134 100.0	58 43.3	36 26.9	26 19.4	41 30.6	15 11.2	2 1.5	20 14.9	5 3.7	20 14.9	16 11.9	2 1.5	7 5.2
6年～10年		13 100.0	5 38.5	4 30.8	1 7.7	4 30.8	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7	
11年～20年		40 100.0	14 35.0	13 32.5	7 17.5	10 25.0	6 15.0	0 0.0	5 12.5	2 5.0	1 2.5	11 27.5	0 0.0	2 5.0	
21年以上		1,719 100.0	797 46.4	258 15.0	195 11.3	605 35.2	184 10.7	39 2.3	318 18.5	69 4.0	258 15.0	371 21.6	21 1.2	92 5.4	

※ 〇は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目（表の上側にあらる選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

「草加松原」の保存・管理に必要なことについて、性別で見ると、5ポイント以上の差があるものは、「周辺景観の整備・規制指導」では、男性が女性より6.2ポイント高い。また、「草加松原の歴史や文化財的価値の紹介」では、男性が女性より6.1ポイント高く、「将来を担う子どもたちの郷土意識の育成」では、女性が男性より6.7ポイント高い。

年齢別で見ると、「綾瀬川の環境整備」「トイレの改修・設置」「休憩所の設置」で「20歳代」の回答割合が他の年代と比較して多くなっており、「松の植樹・手入れ」「周辺景観の整備・規制指導」「基金やサポーター制度の設立」では「50歳代」の割合が多い。

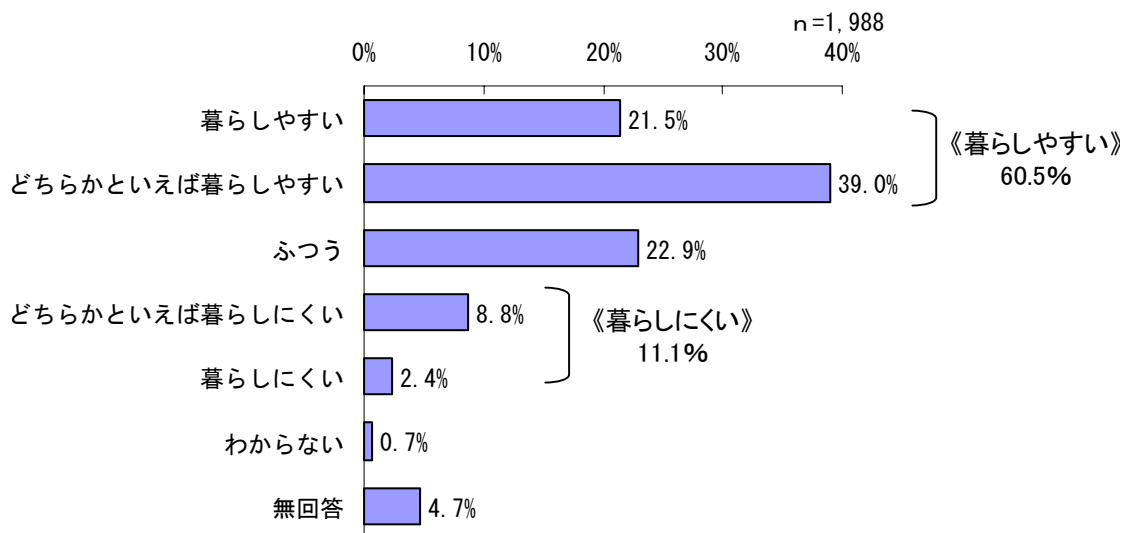
居住年数別で見ると、「21年以上」で「松の植樹、手入れ」が35.2%と多くなっている。

3 市の暮らしやすさ・日ごろのことについて

(1) 市の暮らしやすさ

問9 あなたは、今住んでいる草加市を暮らしやすい所であると思いますか。(〇は1つ)

◎ 《暮らしやすい》が6割を超える



今住んでいる草加市の暮らしやすさは、「どちらかといえば暮らしやすい」が39.0%で最も多く、次いで「ふつう」22.9%、「暮らしやすい」21.5%などである。

「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた《暮らしやすい》は60.5%と6割を超え、「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」を合わせた《暮らしにくい》の11.1%を大きく上回っている。

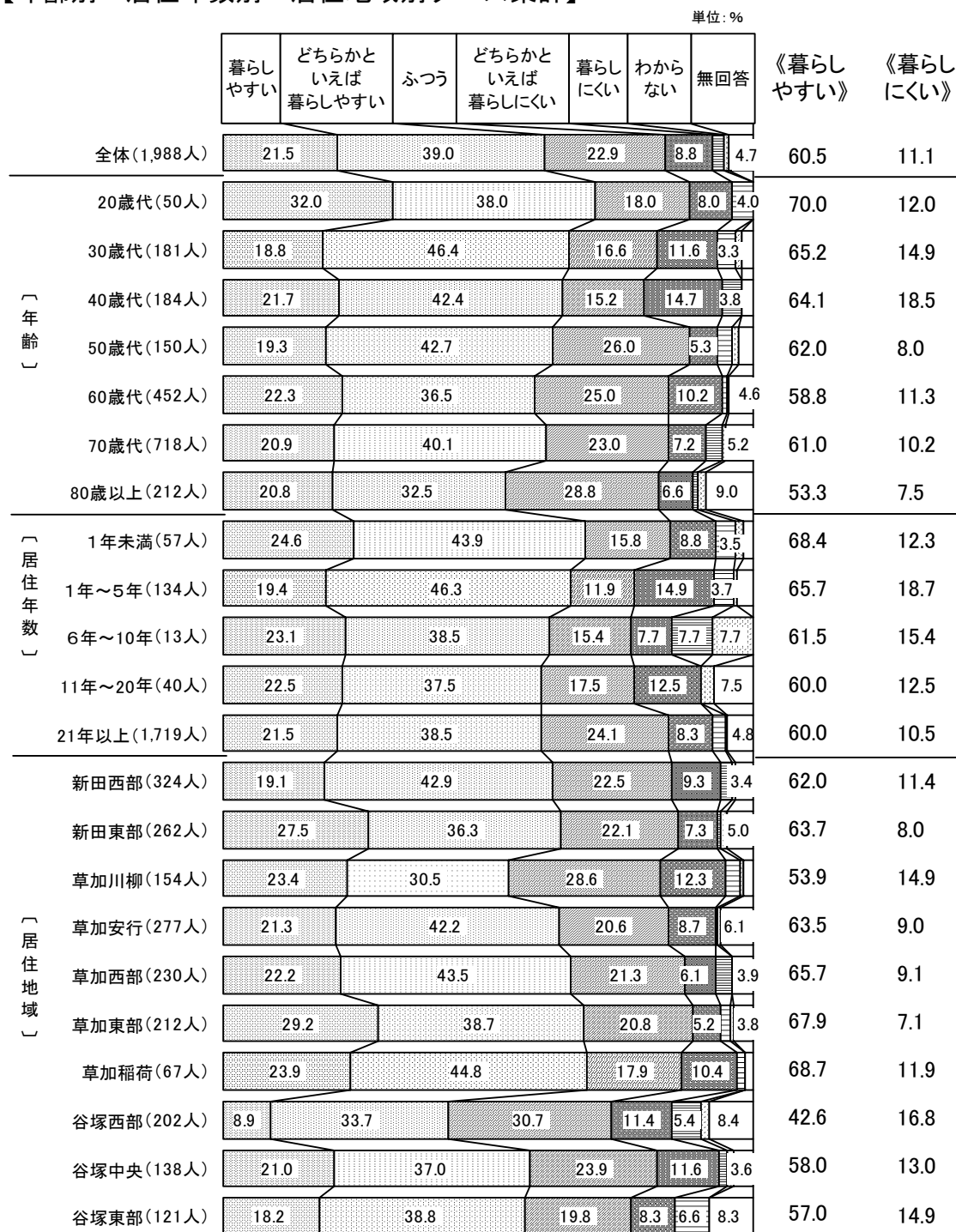
【過去の調査結果との比較】

	暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	ふつう	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	わからない	無回答	《暮らしやすい》	《暮らしにくい》
H26年度調査(1,988人)	21.5	39.0		8.8	22.9	0.7	4.7	60.5	11.1
H24年度調査(1,891人)	17.5	35.1		13.1	26.7		3.8	52.6	16.1
H22年度調査(1,973人)	12.8	32.4		3.9	25.8	17.3	6.5	45.2	21.2

注: 3%未満の数値は表記していない

平成24年度調査と比較すると、「暮らしやすい」は4.0ポイント、《暮らしやすい》では7.9ポイントそれぞれ増加、《暮らしにくい》は5.0ポイント減少し、全体で《暮らしやすい》の割合が多くなった。また、22年度調査と比較すると、《暮らしやすい》では15.3ポイント増加、《暮らしにくい》は10.1ポイント減少している。

【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】



注：3%未満の数値は表記していない

暮らしやすさを年齢別で見ると、《暮らしやすい》は「20歳代」が最も多く7割となっており、「30歳代」「40歳代」「50歳代」「70歳代」でも6割台、「60歳代」「80歳以上」では5割台を超える。

居住年数別で見ると、《暮らしやすい》は、居住年数に関わらず6割を超えて多い。

居住地域別で見ると、《暮らしやすい》は、草加稲荷が最も多く68.7%、次いで草加東部、草加西部がいずれも6割半ばを超えている一方、谷塚西部が4割台と低い。

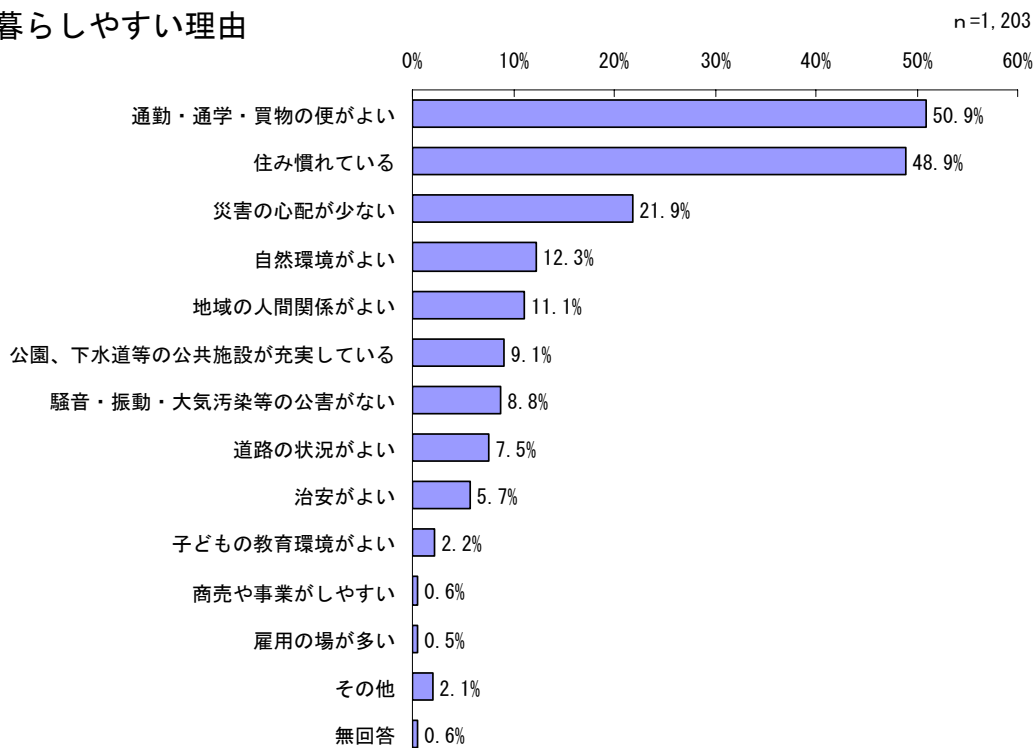
(2) 暮らしやすい理由・暮らしにくい理由

◇問9で「1 暮らしやすい」または「2 どちらかといえば暮らしやすい」とお答えの方にお伺いします。

問9-1 その理由として、最も近いものを下から選んでください。(〇は2つまで)

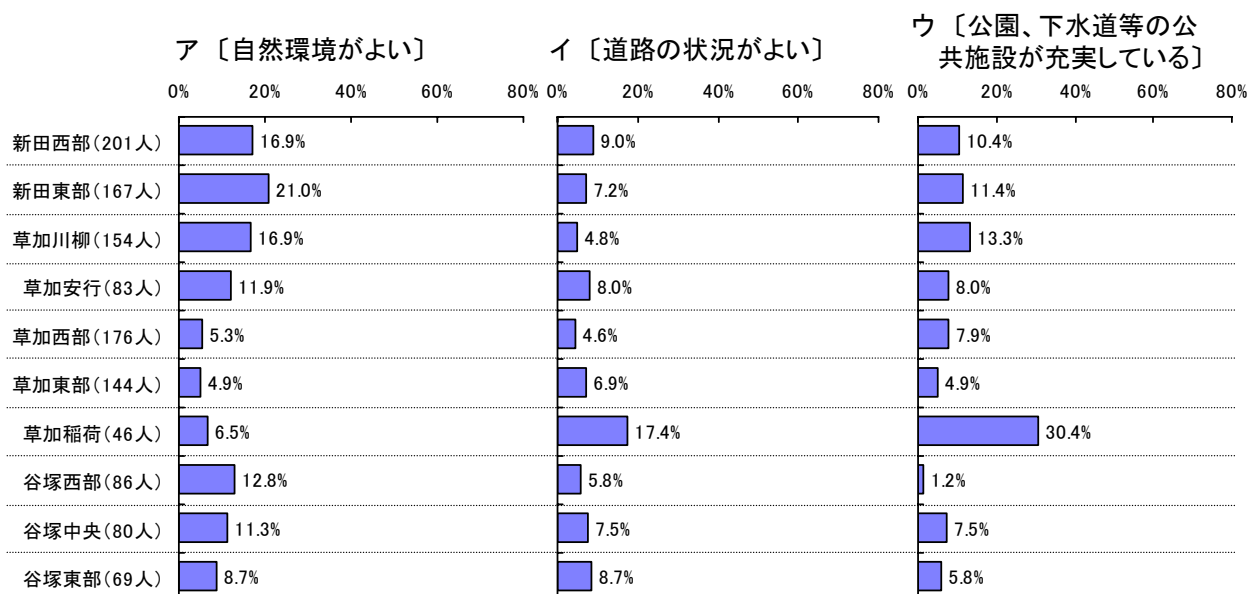
◎「通勤・通学・買物の便がよい」が5割を超える

◆暮らしやすい理由

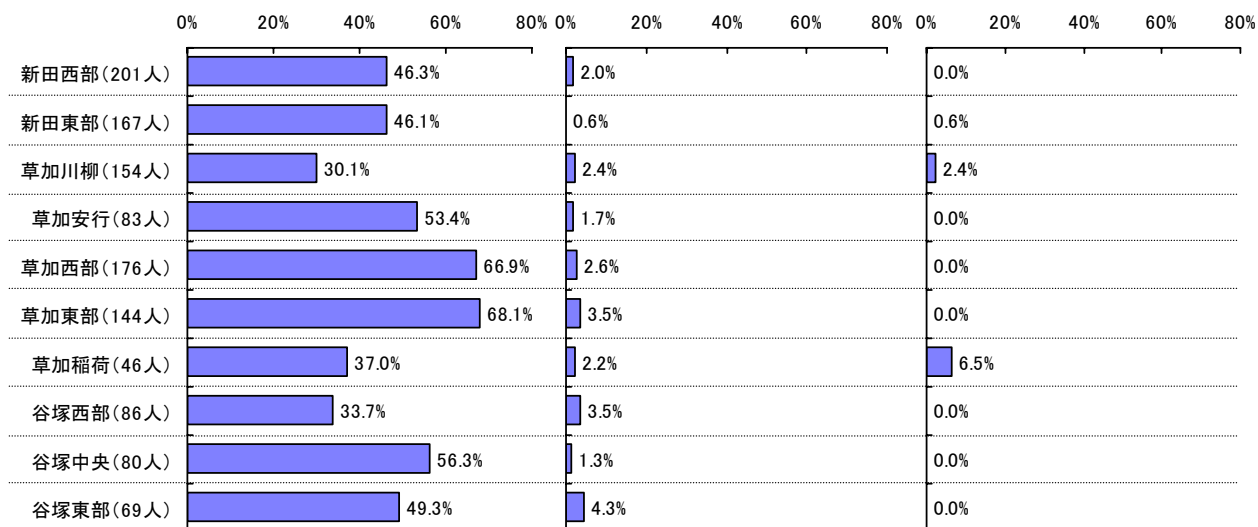


問9で「暮らしやすい」または「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した1,203人にその理由を尋ねたところ、「通勤・通学・買物の便がよい」50.9%が最も多く半数を超え、次いで「住み慣れている」48.9%、「災害の心配が少ない」21.9%と多くなっている。

【居住地別クロス集計】

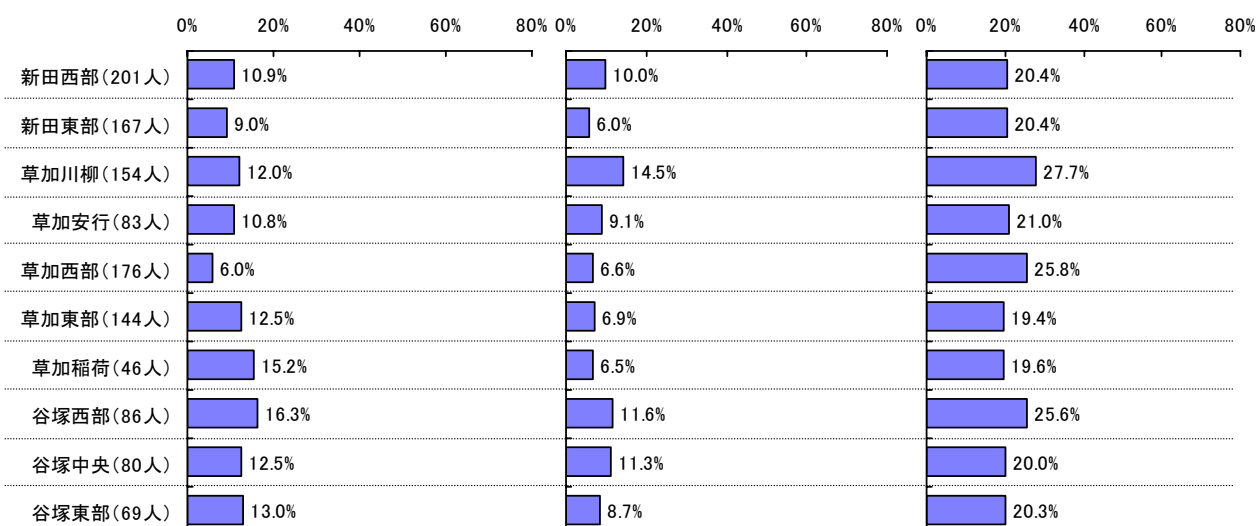


エ〔通勤・通学・買物の便がよい〕 オ〔子どもの教育環境がよい〕 カ〔雇用の場が多い〕

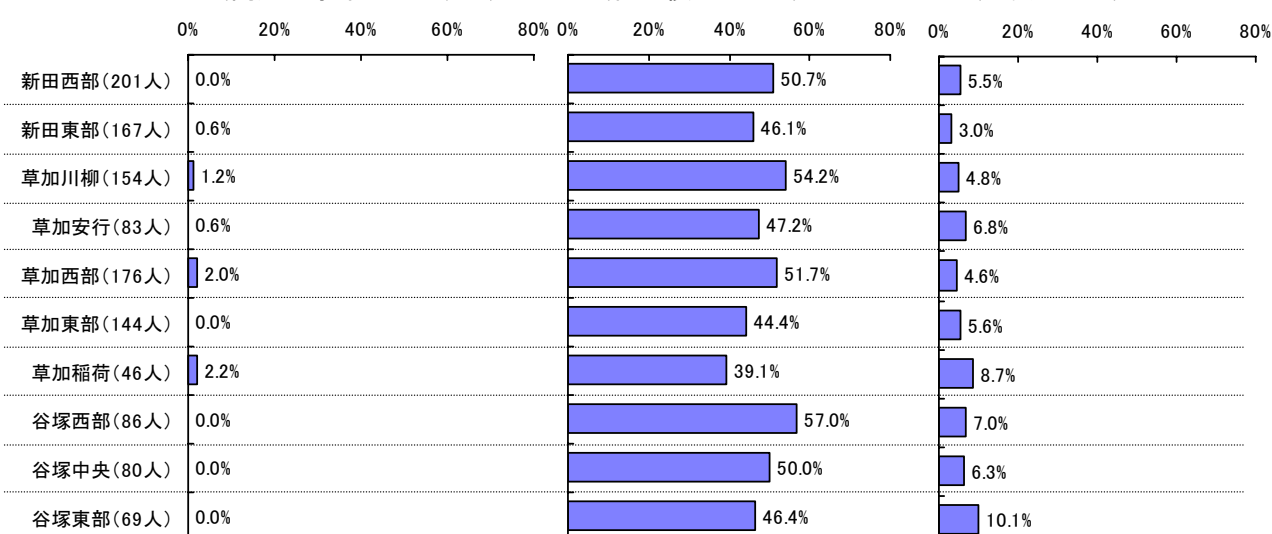


ク〔騒音・振動・

キ〔地域の人間関係がよい〕 ク〔騒音・振動・大気汚染等の公害がない〕 ケ〔災害の心配が少ない〕



コ〔商売や事業しやすい〕 サ〔住み慣れている〕 シ〔治安がよい〕



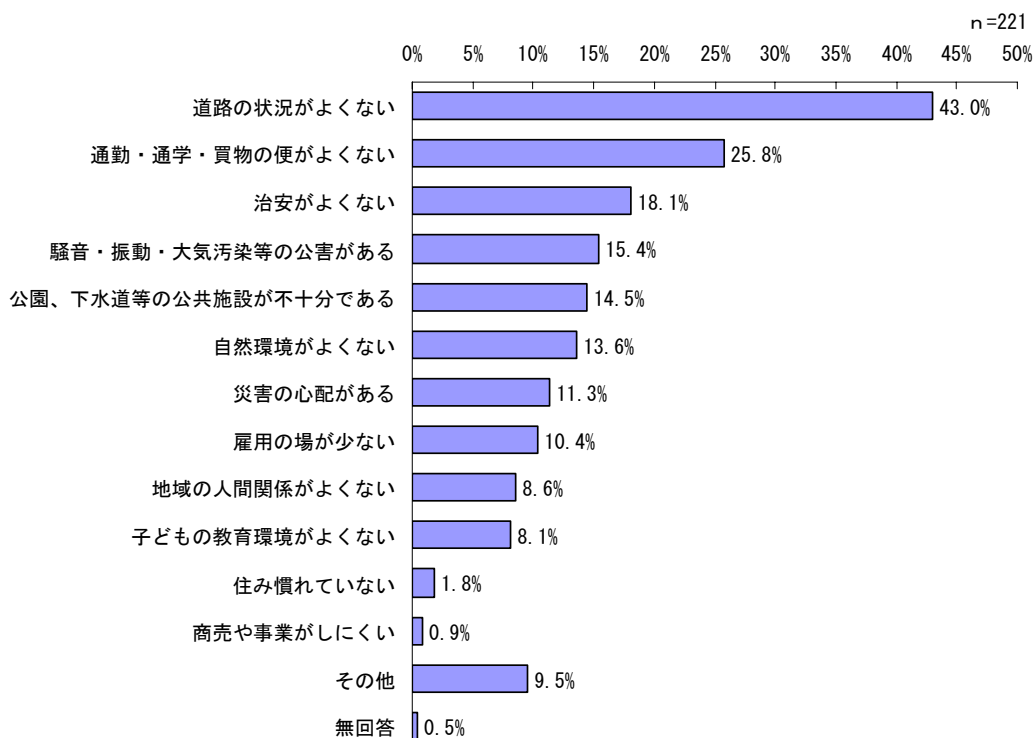
暮らしやすい理由について、居住地域別にみると、「ウ 公園、下水道等の公共施設が充実している」が草加稲荷で 30.4%と他の地域より多くなっている。「エ 通勤・通学・買物の便がよい」は鉄道駅周辺地域とそうでない地域で差が出ており、草加川柳、草加稲荷、谷塚西部では3割台にとどまっている。

◇問9で「4 どちらかといえば暮らしにくい」または「5 暮らしにくい」とお答えの方にお伺いします。

問9-2 その理由として、最も近いものを下から選んでください。(〇は2つまで)

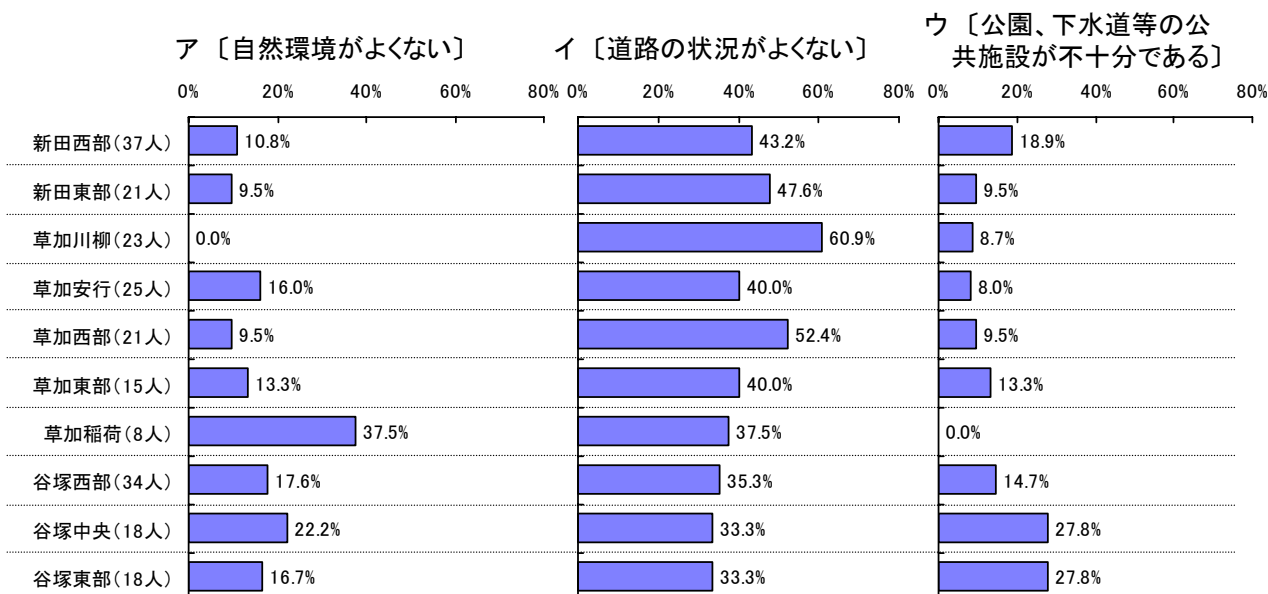
◎「道路の状況がよくない」が4割を超える

◆暮らしにくい理由

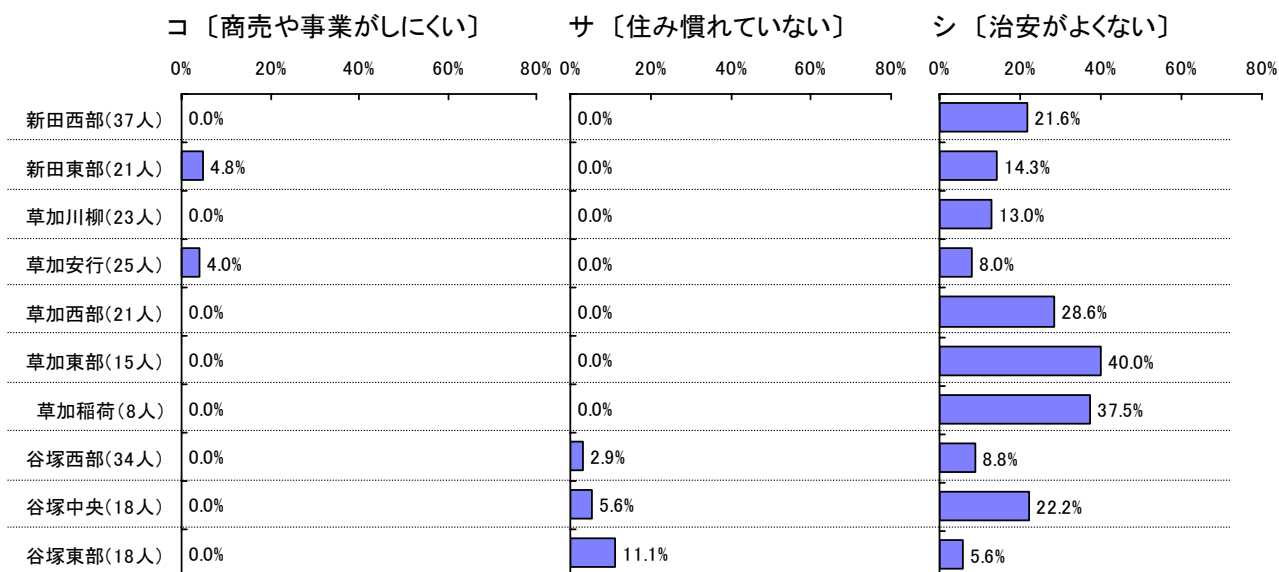
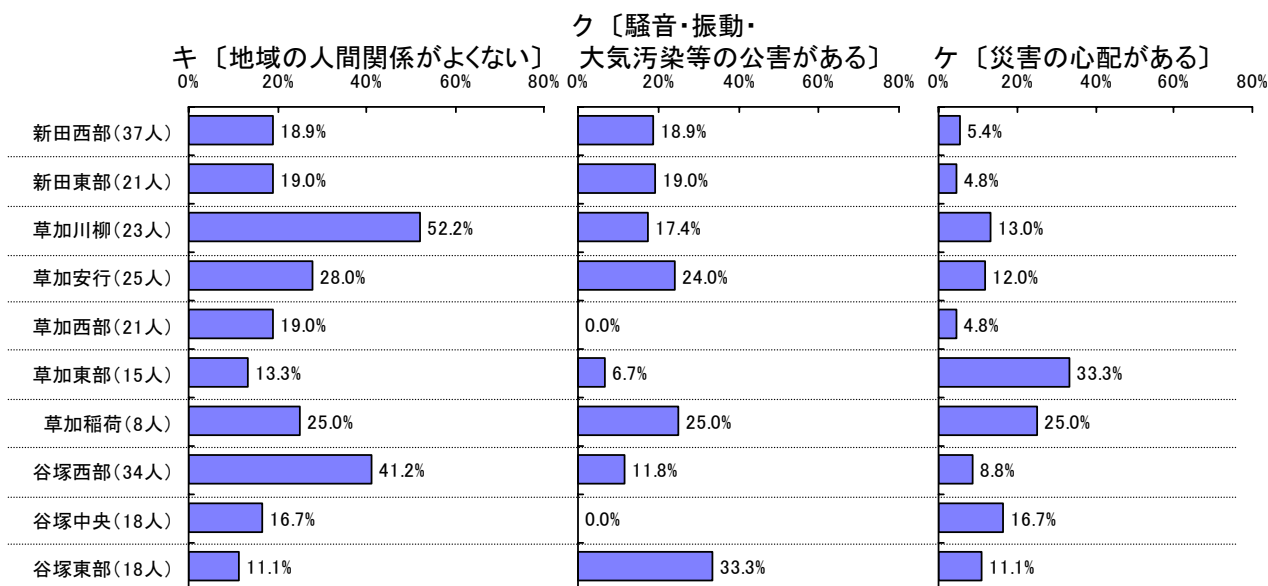
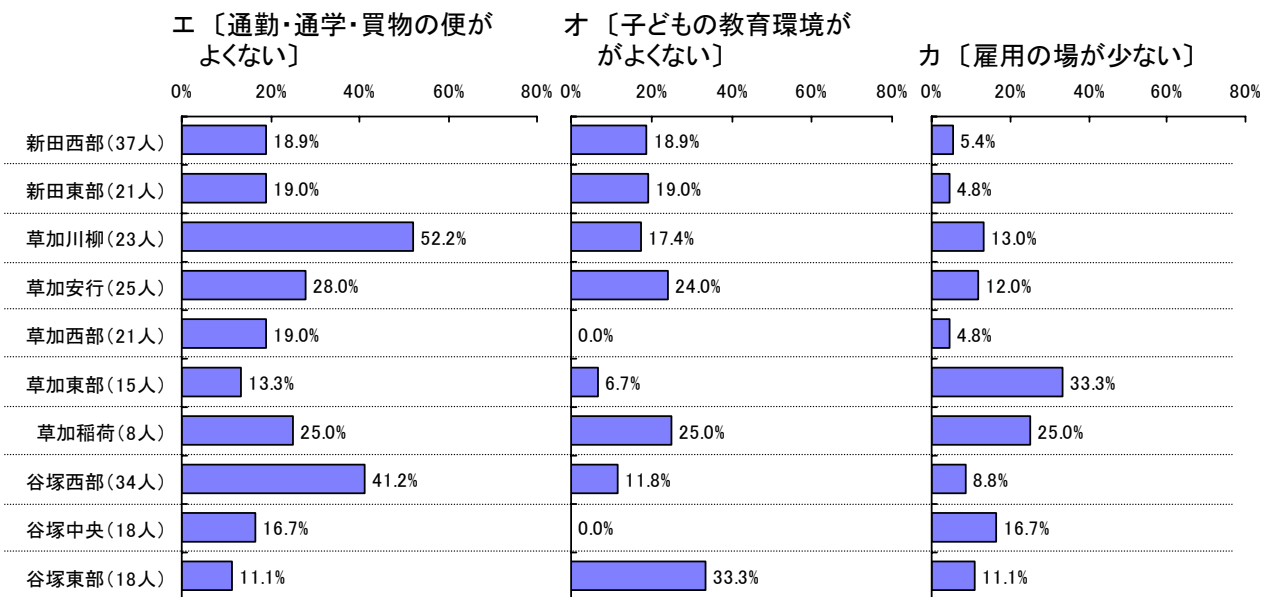


問9で「どちらかといえば暮らしにくい」または「暮らしにくい」と回答した221人にその理由をたずねたところ、「道路の状況がよくない」43.0%が最も多く、次いで「通勤・通学・買物の便がよくない」25.8%、「治安がよくない」18.1%、「騒音・振動・大気汚染等の公害がある」15.4%などである。

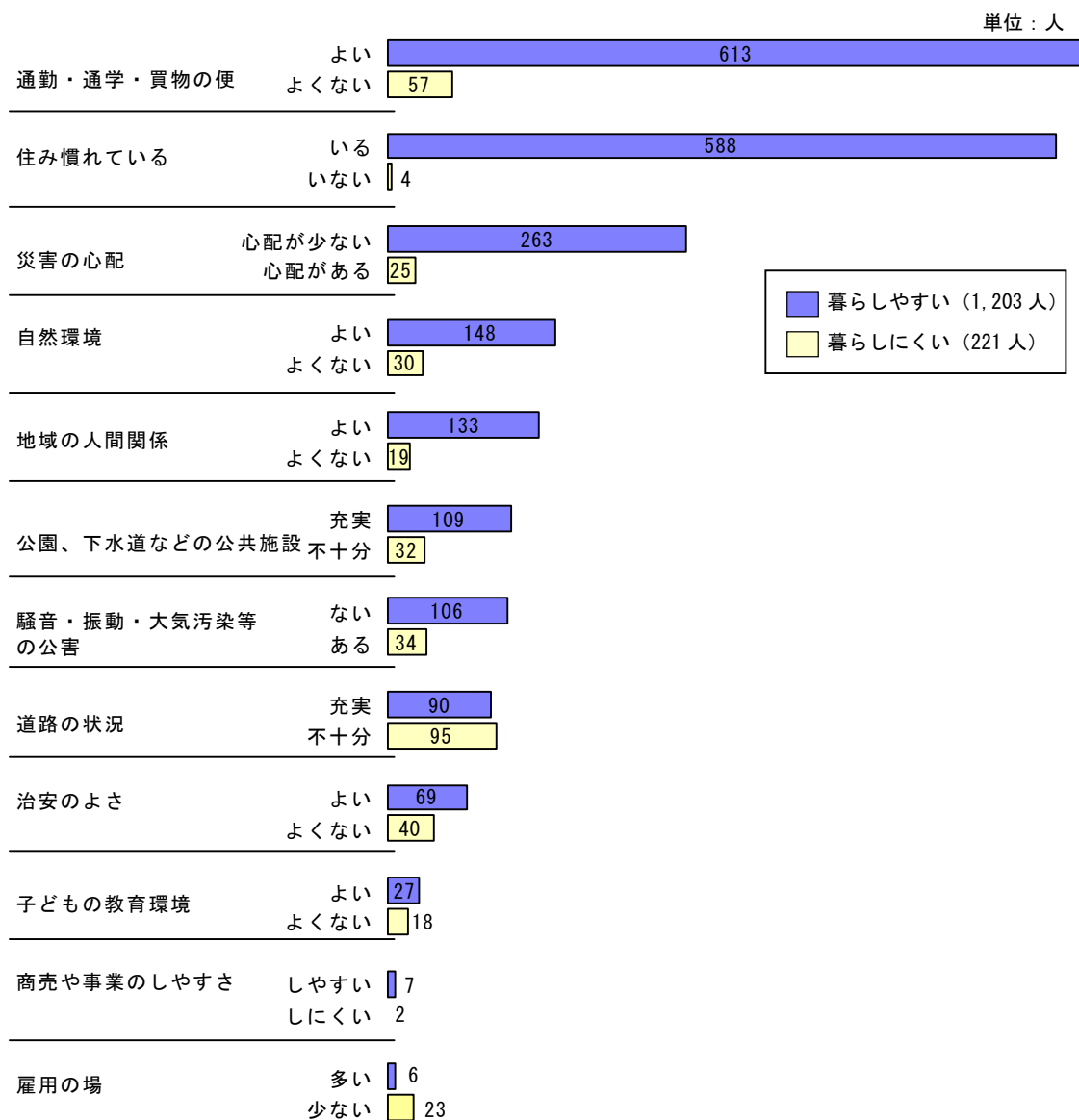
【居住地域別クロス集計】



A 市民生活に関すること



◆暮らしやすい理由と暮らしにくい理由の比較

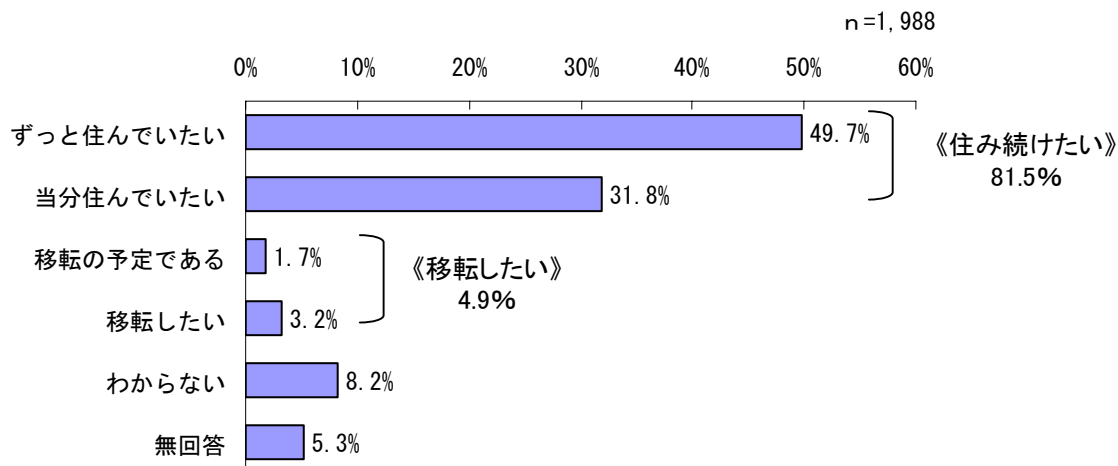


暮らしやすい理由と暮らしにくい理由を回答した人数で比較すると、暮らしやすい理由は、「通勤・通学・買物の便がよい」「住み慣れている」が突出して多い。一方、暮らしにくい理由が暮らしやすい理由としてあげた人数を上回るものは、「道路の状況がよくない」「雇用の場が少ない」である。

(3) 市への定住意向

問 10 あなたは、今後も草加市に住み続けたいとお考えですか。(〇は1つ)

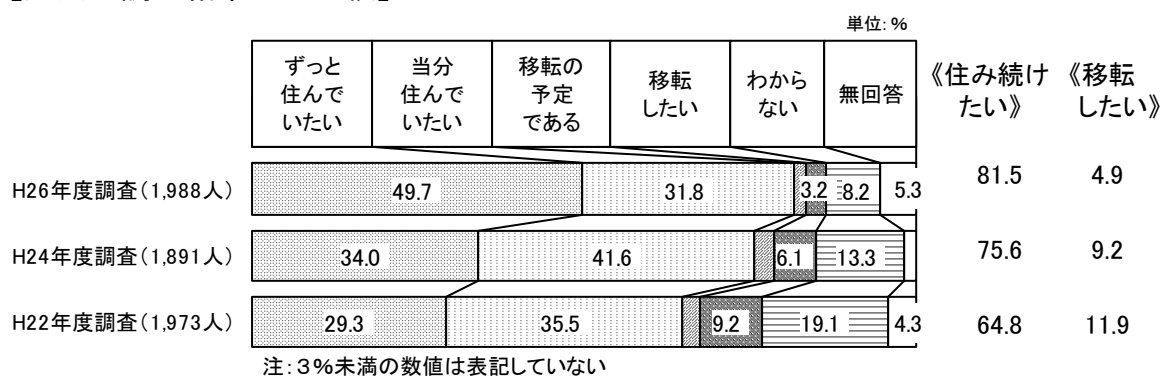
◎ 《住み続けたい》が8割を超える



定住意向は、「ずっと住んでいたい」が49.7%で最も多く、次いで「当分住んでいたい」31.8%、「わからない」8.2%などである。

「ずっと住んでいたい」と「当分住んでいたい」を合わせた《住み続けたい》は81.5%であり、「移転の予定である」と「移転したい」を合わせた《移転したい》は4.9%と5%を切っている。

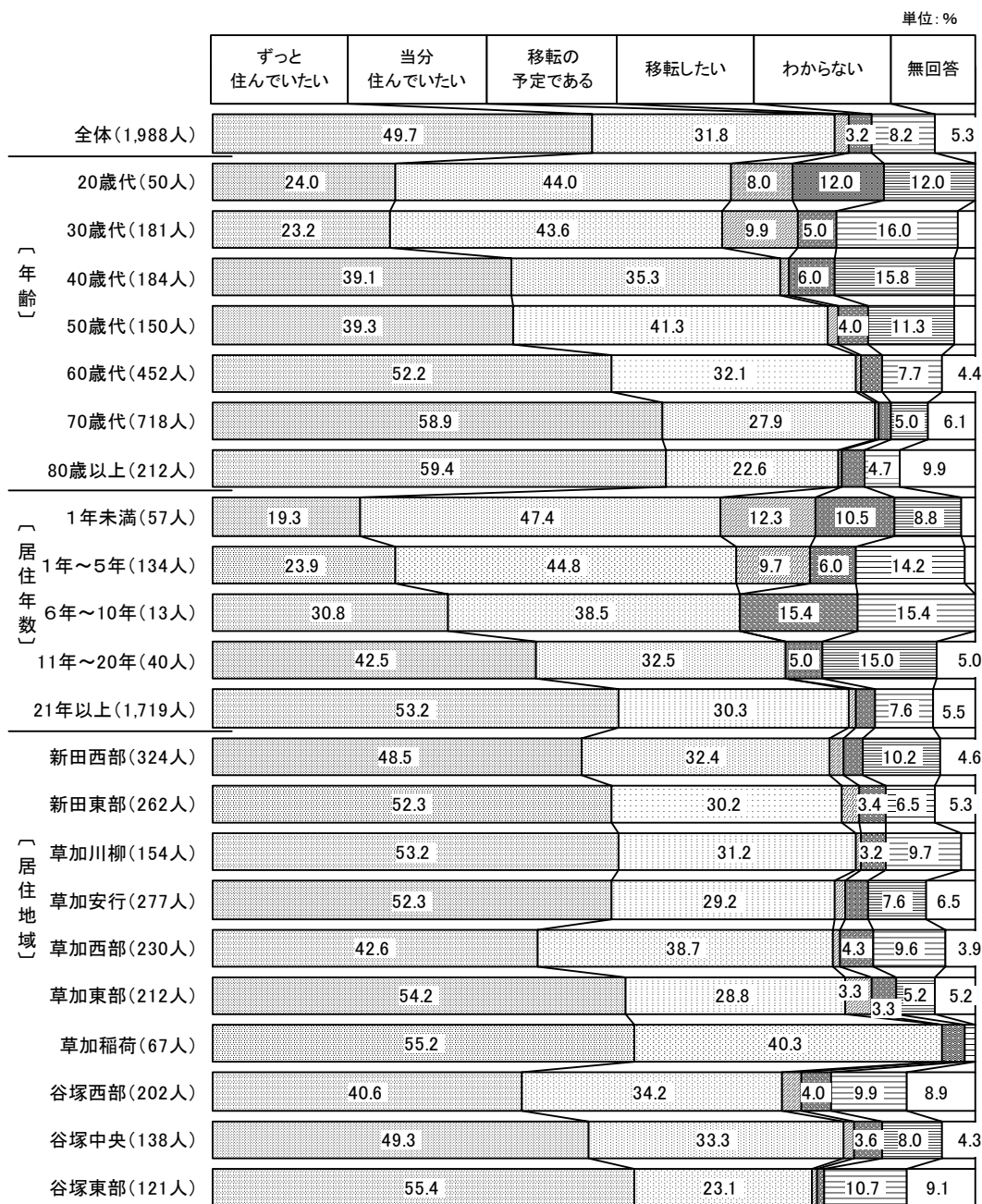
【過去の調査結果との比較】



平成24年度調査と比較すると、「ずっと住んでいたい」と「当分住んでいたい」はいずれも増加し、それらの合計である《住み続けたい》は5.9ポイント増加した。また、「移転の予定である」と「移転したい」の合計である《移転したい》は4.3ポイント減少した。

22年度調査から比較すると、《住み続けたい》は16.7ポイント増加し、《移転したい》は7.0ポイント減少した。

【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】



注：3%未満の数値は表記していない

定住意向を年齢別で見ると、「ずっと住んでいたい」及び《住み続けたい》は、年齢が高くなるとともに多くなる傾向にある。

居住年数別で見ると、「ずっと住んでいたい」及び《住み続けたい》は、居住年数が長くなるほど多くなる傾向にある。一方、「当分住んでいたい」は、少なくなる傾向にある。

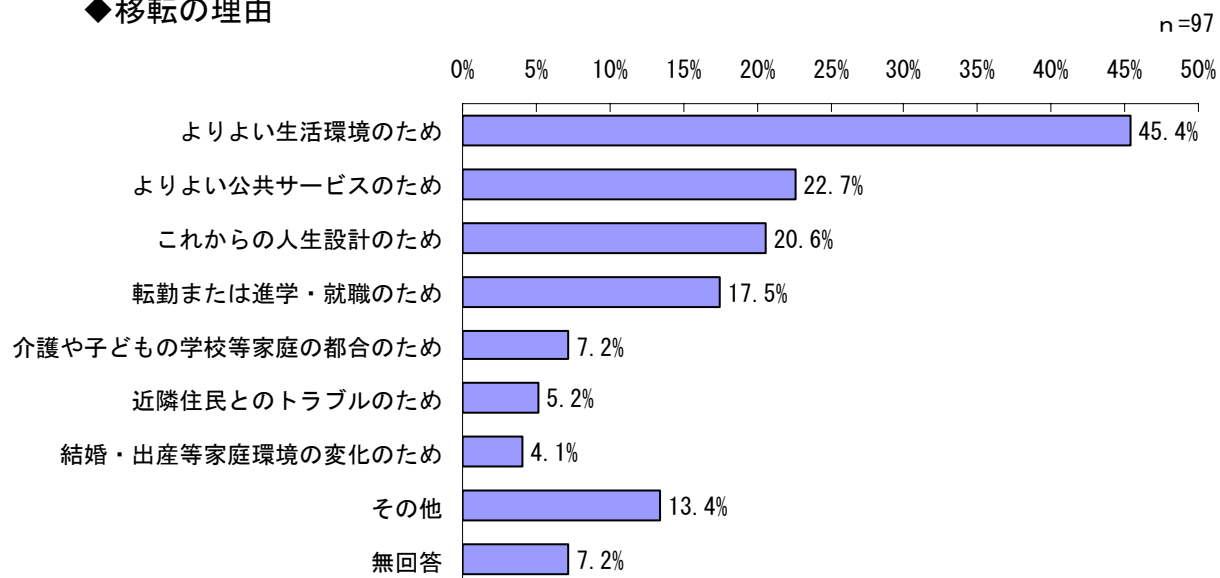
居住地域別で見ると、「ずっと住んでいたい」は「谷塚東部」55.4%で最も多く、次いで「草加稲荷」55.2%、「草加東部」54.2%が続いている。

◇問 10 で「3 移転の予定である」または「4 移転したい」のいずれかをお答えの方にお伺いします。

問 10-1 その移転予定または移転希望の理由として、最も近いものを下から選んでください。
(○は 2 つまで)

◎「よりよい生活環境のため」が 4 割を超える

◆移転の理由



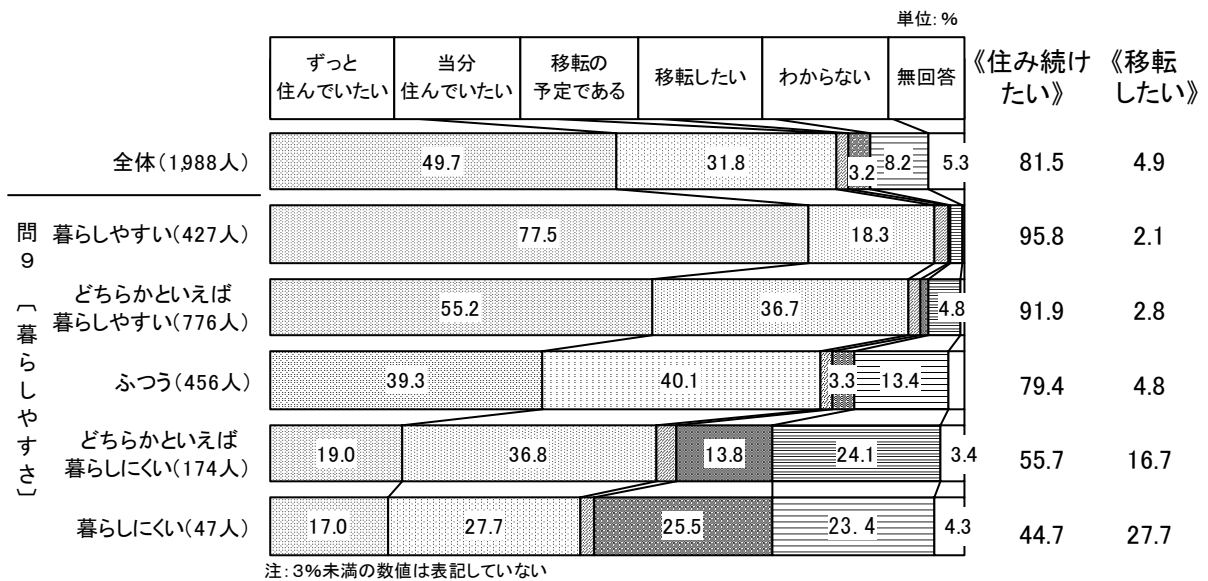
問 10 で「移転の予定である」または「移転したい」と回答した 97 人にその理由をたずねたところ、「よりよい生活環境のため」が 45.4%で最も多く、次いで「よりよい公共サービスのため」22.7%、「これからの人生設計のため」20.6%、「転勤または進学・就職のため」17.5%などである。

◆移転予定・希望先

「移転の予定である」及び「移転したい」と回答した 97 人のうち具体的な移転予定・希望先は下記の通りである。(計 33 件)

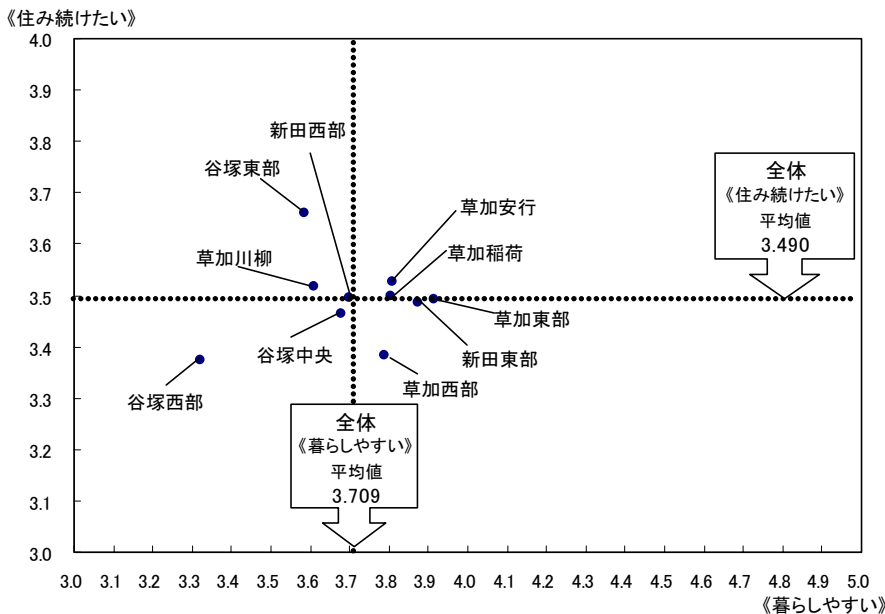
- 都内・足立区・墨田区 (19 件)
- さいたま市・八潮市・越谷市・川口市 (6 件)
- 神奈川県・横浜市 (4 件)
- 船橋市・木更津市 (2 件)
- 長野県 (1 件)
- 伊東市 (1 件)

【暮らしやすさ・定住意向クロス集計】



定住意向について、問9暮らしやすさの回答別でみると、問9で「暮らしやすい」と回答した427人のうち77.5%が「ずっと住んでいたい」と回答し、「当分住んでいたい」と合わせると95.8%が《住み続けたい》と回答している一方、問9で「暮らしにくい」と回答した47人のうち25.5%が「移転したい」と回答している。

【暮らしやすさ・定住意向居住地域別相関図】



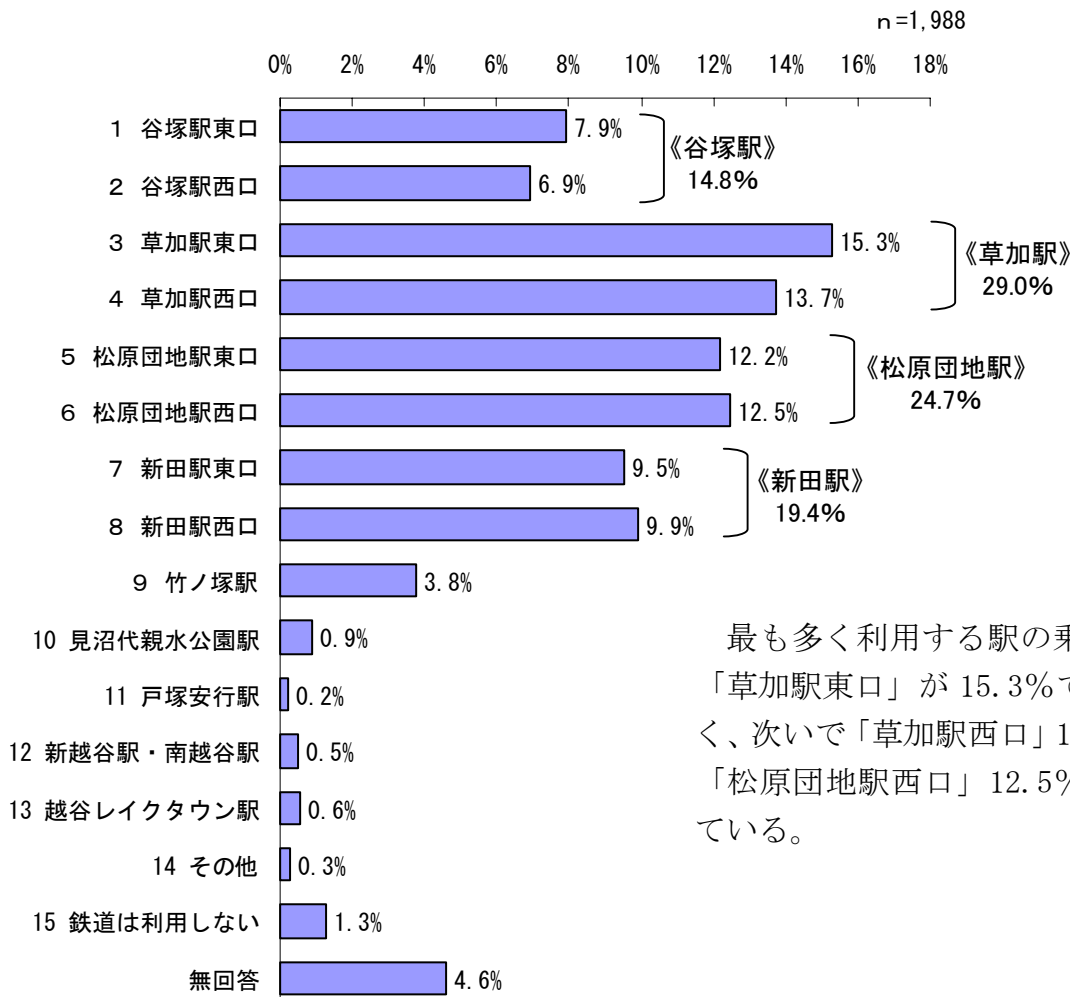
暮らしやすさ及び定住意向の回答を点数化し、地域別の相関でみると、新田西部は《暮らしやすい》《住み続けたい》の値が全体の平均値とほぼ等しく、草加安行、草加稲荷、草加東部が、それぞれ全体の平均を上回っている。

項目	点数	項目	点数
暮らしやすい	5	ずっと住んでいたい	4
どちらかという暮らしやすい	4	当分住んでいたい	3
普通	3	移転の予定である	2
どちらかという暮らしにくい	2	移転したい	1
暮らしにくい	1		

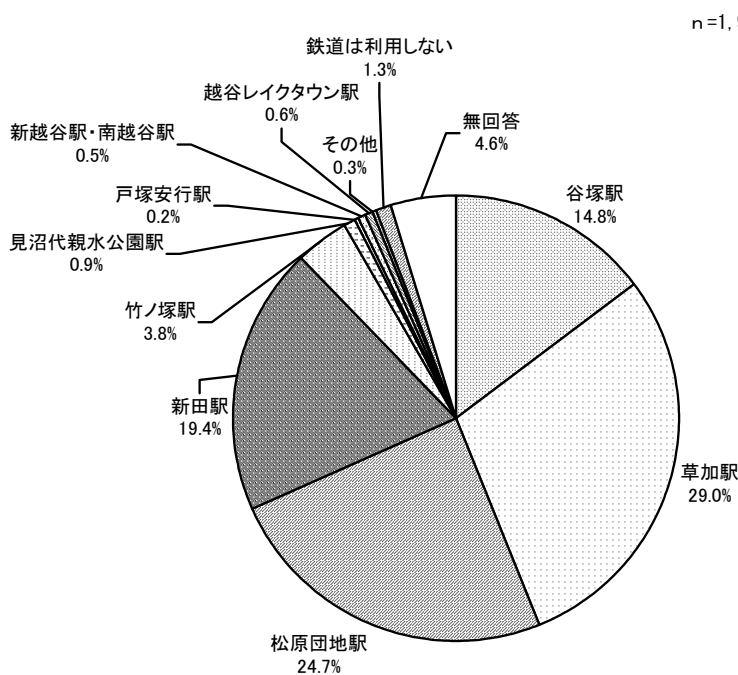
(4) 最も多く利用する駅乗降口

問 11 あなたが最も多く利用する駅の乗降口はどれですか。(〇は1つ)

◎「草加駅東口」が15.3%で最も多い



最も多く利用する駅の乗降口は、「草加駅東口」が15.3%で最も多く、次いで「草加駅西口」13.7%、「松原団地駅西口」12.5%が続いている。

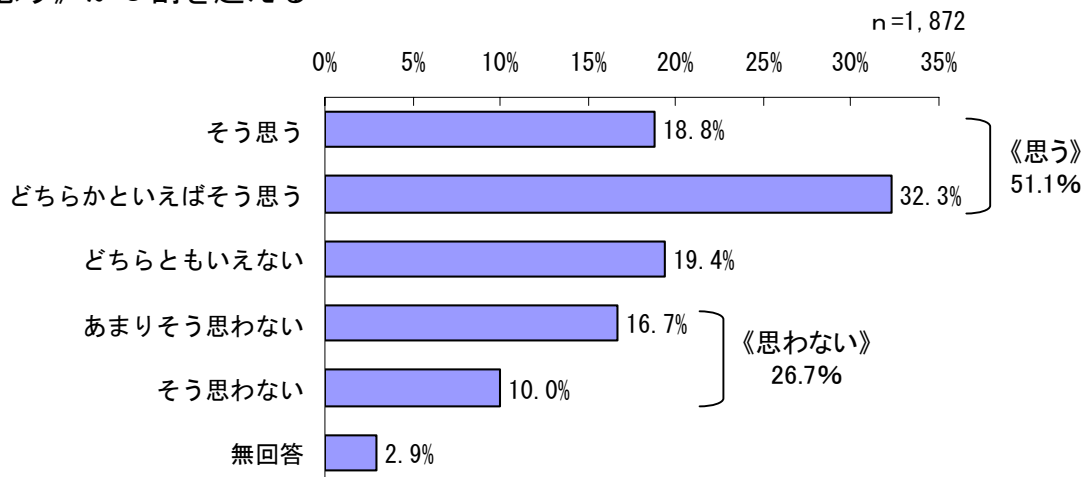


それぞれの駅の「東口」と「西口」を合わせた駅別でみると、利用する駅は、「草加駅」が29.0%で最も多く、次いで「松原団地駅」24.7%、「新田駅」19.4%、「谷塚駅」14.8%が続いている。

(5) 最も多く利用する駅乗降口付近の安全性・快適性

◇問 11 で「1 谷塚駅東口」から「14 その他」のいずれかをお答えの方にお伺いします。
 問 11-1 あなたが最も多く利用する駅の周辺は、商業、コミュニティ、交通の拠点として、安全で快適に利用できていると思いますか。(〇は1つ)

◎ 《思う》が5割を超える



問 11 で駅を利用していると回答した 1,872 人に、その駅周辺は、商業、コミュニティ、交通の拠点として、安全で快適に利用できていると思うかを尋ねたところ、「どちらかといえばそう思う」が 32.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」19.4%、「そう思う」18.8%などである。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《思う》は 51.1%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《思わない》は 26.7%であり、《思う》が《思わない》を 24.4 ポイント上回っている。

【過去の調査結果との比較】

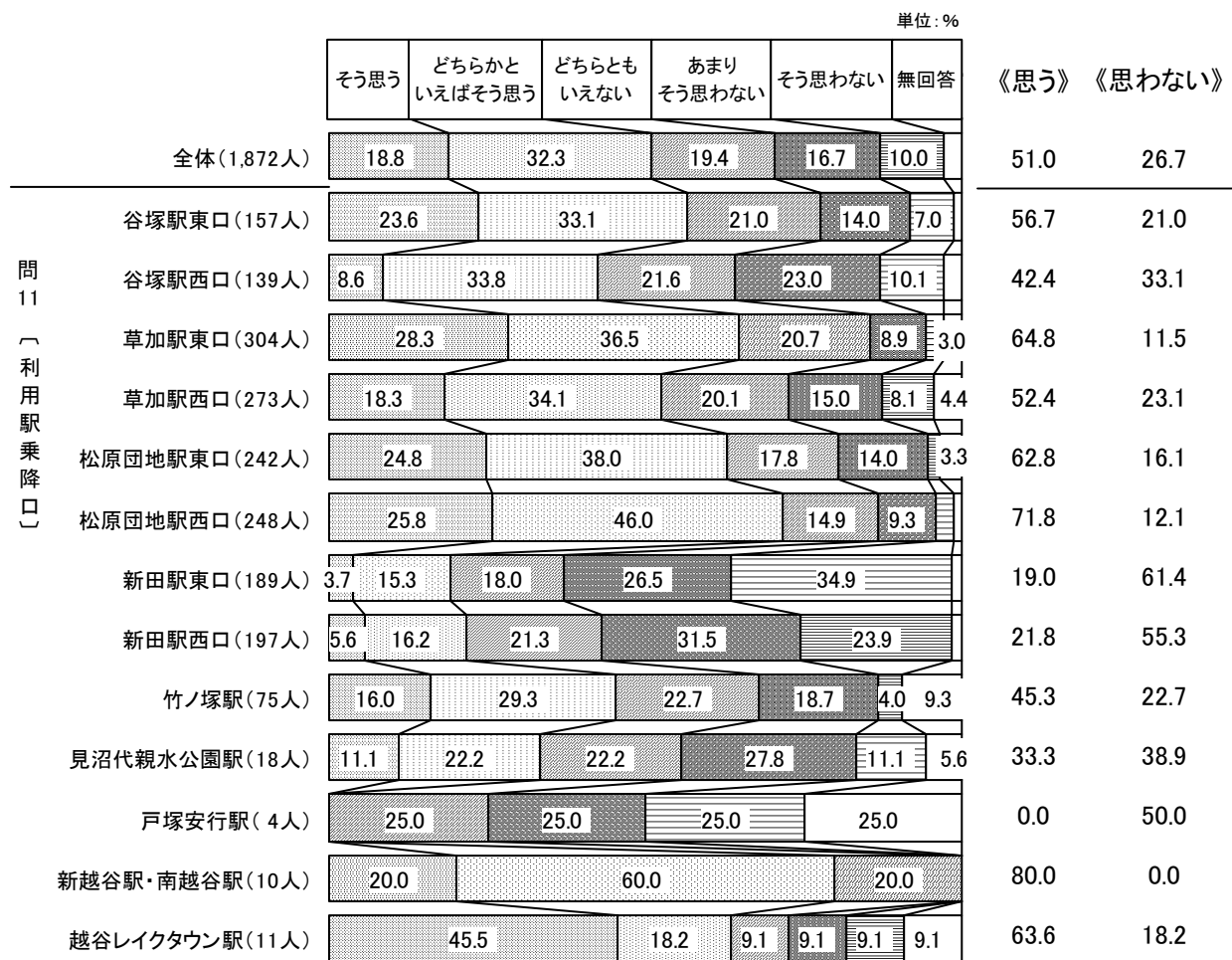
調査年度 (調査人数)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	《思う》	《思わない》
H26年度調査 (1,872人)	18.8	32.3	19.4	16.7	10.0		51.1	26.7
H24年度調査 (1,818人)	13.3	30.5	18.4	24.1	12.4		43.8	36.5
H22年度調査 (1,854人)	9.8	30.5	15.5	26.1	17.2		40.3	43.3

注: 3%未満の数値は表記していない

過去の調査結果と比較すると、「そう思う」及び《思う》は調査ごとに増加傾向にあり、平成 26 年度は 24 年度と比較すると《思う》は 7.3 ポイント増加した。

「そう思わない」及び《思わない》は調査ごとに減少傾向にあり、26 年度は前々回の 22 年度と比較すると《思わない》は 16.6 ポイント減少した。

【問 11 利用駅乗降口クロス集計】



注：3%未満の数値は表記していない

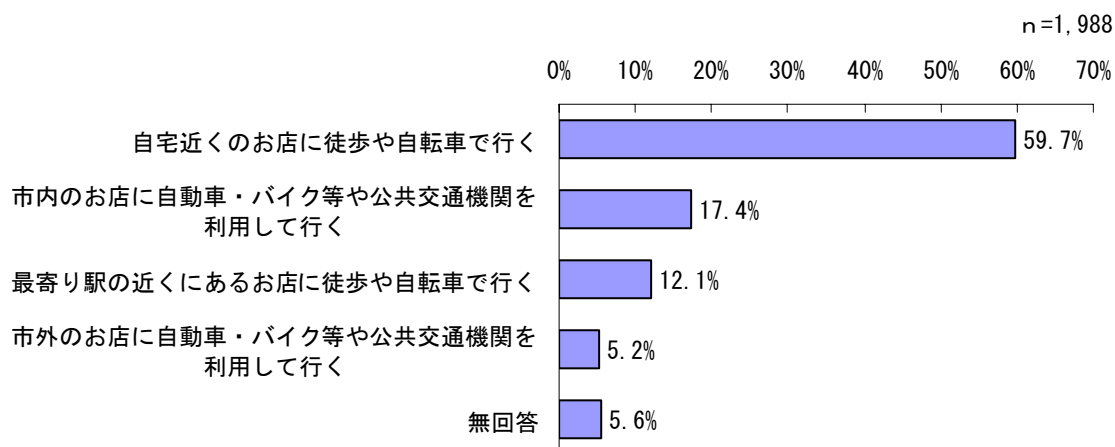
問 11 の最も多く利用する駅乗降口別でみると、《思う》が《思わない》を上回る駅乗降口は、「谷塚駅東口」56.7%、「谷塚駅西口」42.4%、「草加駅東口」64.8%、「草加駅西口」52.4%、「松原団地駅東口」62.8%、「松原団地駅西口」71.8%、「竹ノ塚駅」45.3%、「新越谷駅・南越谷駅」80.0%、「越谷レイクタウン駅」63.6%と、13 駅乗降口中 9 駅乗降口となっている。

一方、《思わない》が《思う》を上回る駅乗降口は、「新田駅東口」61.4%、「新田駅西口」55.3%、「見沼代親水公園駅」38.9%、「戸塚安行駅」50.0%の 4 駅乗降口となっている。

(6) 日常の買物の際の交通手段

問12 あなたは、食品、日用品のお買い物をどのようにされていますか。(〇は1つ)

◎「自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く」が約6割



日常の買物の際の交通手段については「自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く」が59.7%で半数を超えて最も多く、次いで「市内のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く」17.4%、「最寄り駅の近くにあるお店に徒歩や自転車で行く」12.1%などである。

【性別・年齢別クロス集計】

単位：%

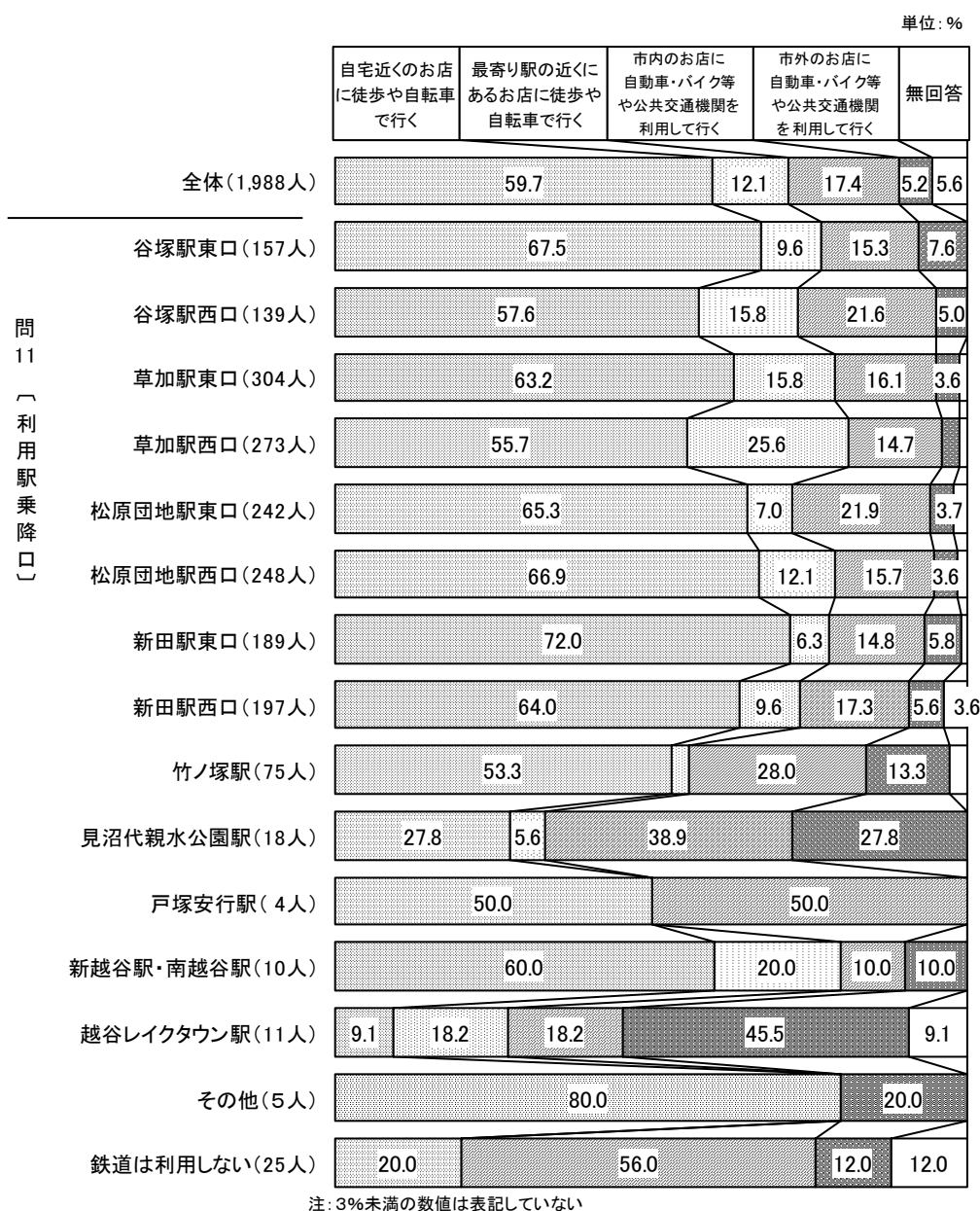
	自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く	最寄り駅の近くにあるお店に徒歩や自転車で行く	市内のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く	市外のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く	無回答
全体(1,988人)	59.7	12.1	17.4	5.2	5.6
〔性別〕					
男性(880人)	59.4	9.0	21.0	5.8	4.8
女性(1,049人)	60.2	15.0	14.5	4.7	5.6
〔年齢〕					
20歳代(50人)	54.0	22.0	18.0	4.0	
30歳代(181人)	52.5	12.2	21.0	12.2	
40歳代(184人)	54.3	8.2	25.0	9.8	
50歳代(150人)	56.7	10.0	26.0	4.0	3.3
60歳代(452人)	59.7	11.9	19.2	4.9	4.2
70歳代(718人)	63.2	13.5	14.2	3.2	5.8
80歳以上(212人)	63.7	10.4	9.4	3.3	13.2

注：3%未満の数値は表記していない

性別で見ると、市内・市外に関わらず男性は「自動車・バイク等や公共交通機関を利用」する割合が女性より多く、女性は「徒歩や自転車で行く」割合が男性より多い。

年齢別にみると、「自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く」割合は、年齢が高くなるとともに多くなる傾向にある。

【利用駅乗降口別クロス集計】



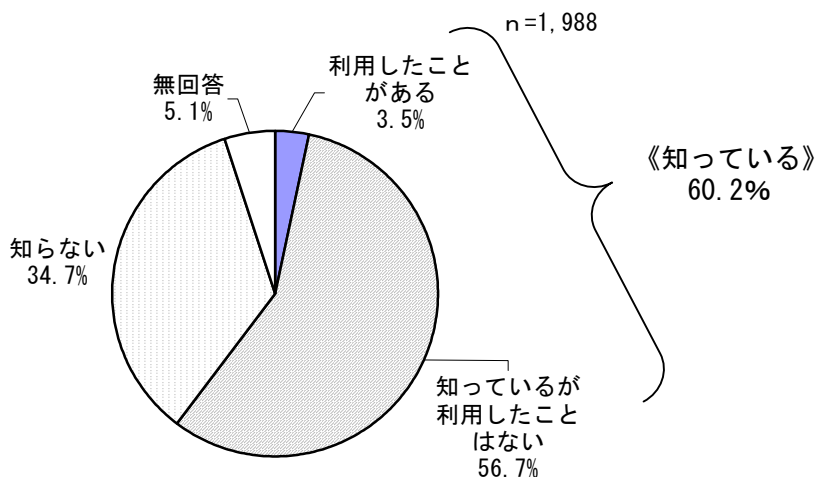
問 11 の最も多く利用する駅乗降口別でみると、「自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く」という回答が最も多かったのは「谷塚駅東口」67.5%、「谷塚駅西口」57.6%、「草加駅東口」63.2%、「草加駅西口」55.7%、「松原団地駅東口」65.3%、「松原団地駅西口」66.9%、「新田駅東口」72.0%、「新田駅西口」64.0%、「竹ノ塚駅」53.3%、「新越谷駅・南越谷駅」60.0%である。

「市内のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く」という回答が最も多かったのは、「見沼代親水公園駅」38.9%、「鉄道は利用しない」56.0%で、「市外のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く」が最も多かったのは、「越谷レイクタウン駅」45.5%である。

(7) 消費生活センター

問 13 草加市には、悪質商法などの相談窓口として消費生活センター※があります、あなたをご存知ですか。(〇は1つ)
 ※消費生活センターは、勤労福祉会館(旭町六丁目)内にあります。

◎ 《知っている》が6割を超える



消費生活センターについては、「知っているが利用したことはない」が56.7%で半数を超え、次いで「知らない」が34.7%、「利用したことがある」が3.5%である。

【過去の調査結果との比較】

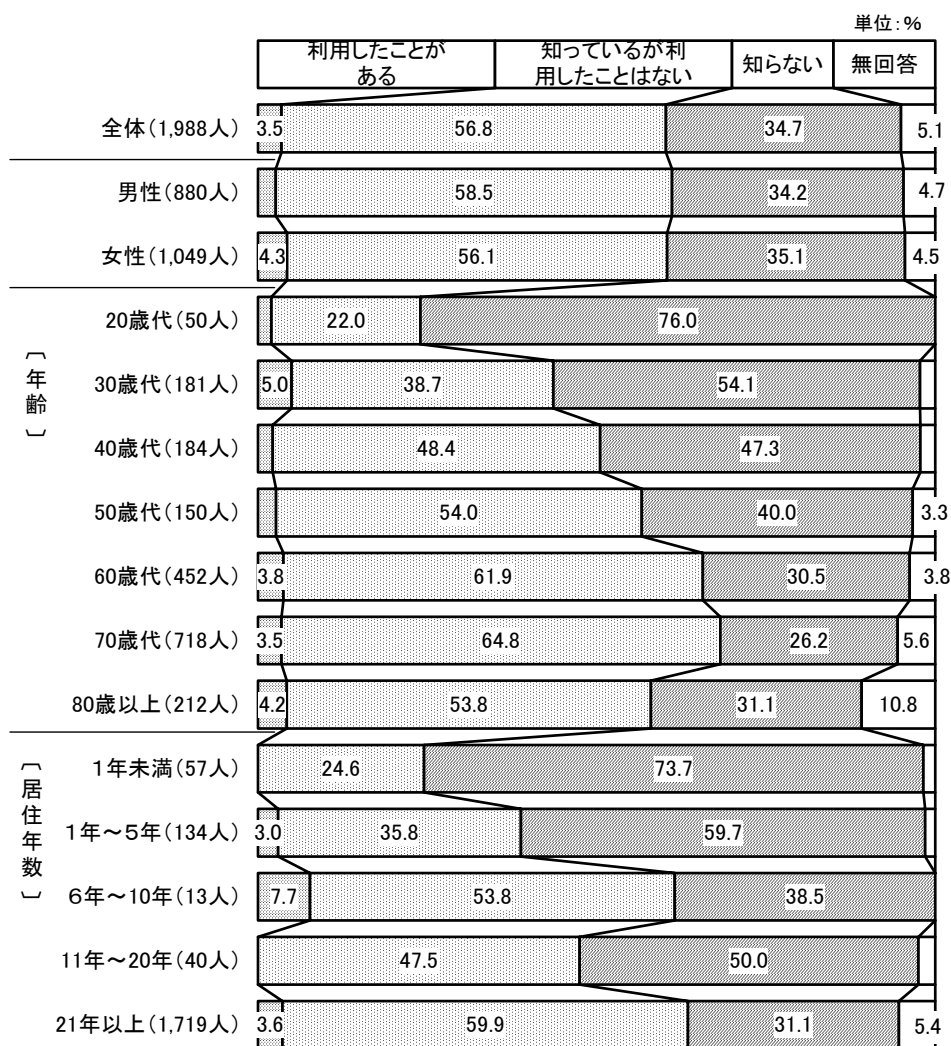
単位: %

	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
H26年度調査(1,988人)	3.5	56.8	34.7	5.1
H24年度調査(1,891人)	3.2	40.9	54.6	
H22年度調査(1,973人)	3.8	43.6	46.5	6.2

注: 3%未満の数値は表記していない

消費生活センターについて、平成24年度調査と比較すると、「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」はいずれも増加し、一方、「知らない」が19.9ポイント減少するなど、認知度が上昇している。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】



注：3%未満の数値は表記していない

消費生活センターについて、男女別にみると、「利用したことがある」は、女性4.3%が男性2.6%よりも僅かに多くなっている。

年齢別でみると、「利用したことがある」は、「30歳代」の5.0%が最も多く、次いで「80歳以上」4.2%、「60歳代」3.8%となっている。「知らない」は「20歳代」の76.0%が最も多く、年齢が高くなるとともに減少傾向にある。

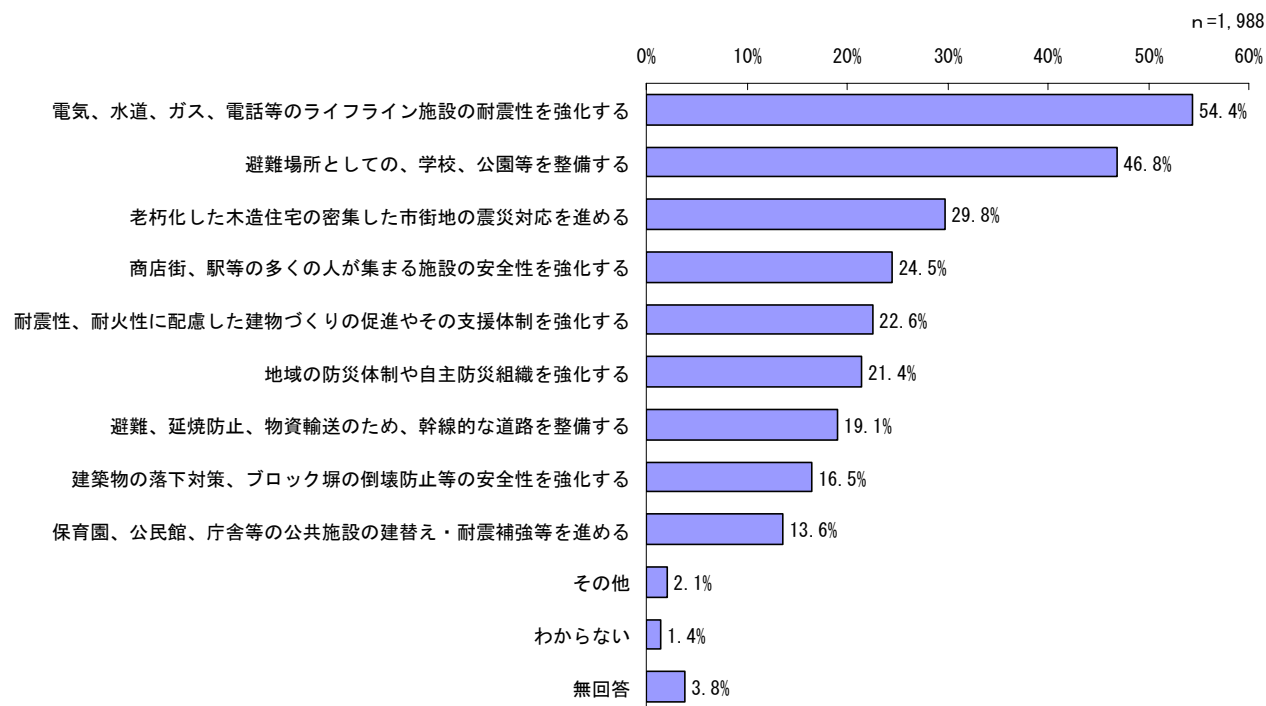
居住年数別でみると、「利用したことがある」は「6～10年」の7.7%が最も多く、次いで「21年以上」3.6%、「1年～5年」3.0%と多くなっている。

4 防災の取組について

(1) 市が進めるべき「地震に強いまちづくり」

問 14 東日本大震災の教訓として、今後、地震に強いまちづくりが求められていくと考えられますが、草加市では具体的に何を進めていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

◎ライフラインの耐震性の強化が5割を超える



東日本大震災の教訓として、今後、地震に強いまちづくりにおいて市が進めるべきことは、「電気、水道、ガス、電話等のライフライン施設の耐震性を強化する」が54.4%で最も多く半数を超え、次いで「避難場所としての、学校、公園等を整備する」46.8%、「老朽化した木造住宅の密集した市街地の震災対応を進める」29.8%が続いている。

【18歳以下の子育てをしている方、・65歳以上の同居家族がいる方のクロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.4	避難場所(学校・公園等)の整備 46.8	老朽化した木造住宅密集地の再開発 29.8	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.5	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 22.6	
同居家族	18歳以下の子どもを育てている (224人)	ライフライン施設の耐震性を強化 53.6	避難場所(学校・公園等)の整備 47.3	老朽化した木造住宅密集地の再開発 29.5	公共施設の建替え・耐震補強 28.1	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 22.3
	65歳以上の方がいる (1,184人)	ライフライン施設の耐震性を強化 55.2	避難場所(学校・公園等)の整備 47.4	老朽化した木造住宅密集地の再開発 30.1	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.7	地域の防災情報連絡網・自主防災組織の強化 24.3

※ 背景色は、表の中で特徴的な項目を表す。

18歳以下の子育てをしている回答者は、上位3位までと5位は全体と項目と順位が一致しているが、4位に「公共施設の建替え・耐震補強」が28.1%で入る点異なる。

同居家族に65歳以上の方がいる回答者は、上位4位までは全体と同じ項目と順位であるが、5位に「地域の防災情報連絡網・自主防災組織の強化」が24.3%で入る点が異なっている。

【年齢別クロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (1,988人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.4	避難場所(学校・公園等)の整備 46.8	老朽化した木造住宅密集地の再開発 29.8	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.5	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 22.6
年齢別	20歳代 (50人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.0	避難場所(学校・公園等)の整備／ 老朽化した木造住宅密集地の再開発 40.0	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 32.0	公共施設の建替え・耐震補強 26.0
	30歳代 (181人)	ライフライン施設の耐震性を強化 61.3	避難場所(学校・公園等)の整備 51.4	老朽化した木造住宅密集地の再開発 30.4	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 27.6
	40歳代 (184人)	ライフライン施設の耐震性を強化 57.6	避難場所(学校・公園等)の整備 43.5	老朽化した木造住宅密集地の再開発 31.0	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 23.4
	50歳代 (150人)	ライフライン施設の耐震性を強化 52.7	避難場所(学校・公園等)の整備 50.0	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 27.3	老朽化した木造住宅密集地の再開発 24.7
	60歳代 (452人)	ライフライン施設の耐震性を強化 55.8	避難場所(学校・公園等)の整備 46.5	老朽化した木造住宅密集地の再開発 27.2	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.1
	70歳代 (718人)	ライフライン施設の耐震性を強化 53.5	避難場所(学校・公園等)の整備 49.3	老朽化した木造住宅密集地の再開発 31.9	商店街・駅などの施設の安全性を強化 25.8
	80歳以上 (212人)	ライフライン施設の耐震性を強化 51.4	避難場所(学校・公園等)の整備 41.0	老朽化した木造住宅密集地の再開発 29.7	商店街・駅などの施設の安全性を強化 26.4

※ は、表の中で特徴的な項目を表す。

地震に強いまちづくりにおいて市が進めるべきことについて、年齢別でみると、上位3位の項目と順位は「50歳代」以外は全体の項目・順位と同じであるが、「50歳代」は3位に「耐震性に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化」が27.3%で入っている。

4位に入っているもので、全体の項目と異なるものは、「耐震性に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化」で、「20歳代」32.0%、「30歳代」27.6%、「40歳代」23.4%、「老朽化した木造住宅密集地の再開発」で「50歳代」24.7%がある。

5位に入っているもので、全体の項目と異なるものは、「20歳代」及び「30歳代」で「公共施設の建替え・耐震補強」の26.0%、「40歳代」で「建造物の落下・倒壊防止等の安全性強化」22.8%となっている。また、「50歳代」で「商店街・駅などの施設の安全性を強化」が24.0%、「70歳代」、「80歳以上」で「地域の防災情報連絡網・自主防災組織の強化」が23.4%、21.2%となっている。

【居住地域別クロス集計・上位5位】

単位:%

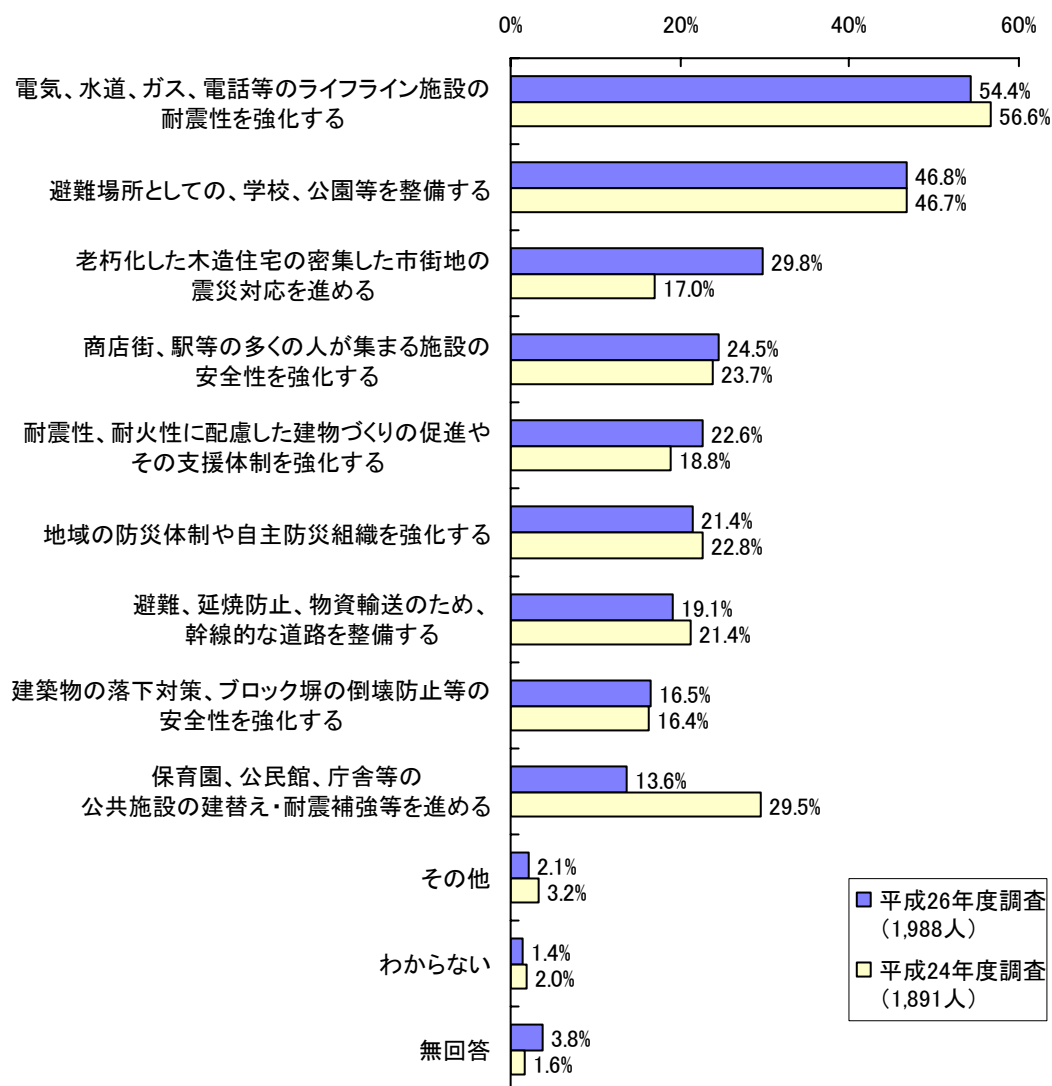
区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	ライフライン施設の耐震性を強化 54.4	避難場所(学校・公園等)の整備 46.8	老朽化した木造住宅密集地の再開発 29.8	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.5	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 22.6	
居住地域別	新田西部 (324人)	ライフライン施設の耐震性を強化 53.4	避難場所(学校・公園等)の整備 42.9	老朽化した木造住宅密集地の再開発 26.2	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 25.0	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.4
	新田東部 (262人)	ライフライン施設の耐震性を強化 58.0	避難場所(学校・公園等)の整備 45.4	老朽化した木造住宅密集地の再開発 33.6	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.0	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 22.1
	草加川柳 (154人)	避難場所(学校・公園等)の整備 55.2	ライフライン施設の耐震性を強化 48.7	地域の防災体制や自主防災組織を強化する 29.9	老朽化した木造住宅密集地の再開発／避難、物資輸送等のため幅の広い道路整備 25.3	
	草加安行 (277人)	ライフライン施設の耐震性を強化 53.8	避難場所(学校・公園等)の整備 48.0	老朽化した木造住宅密集地の再開発 26.4	商店街・駅などの施設の安全性を強化 25.6	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 23.5
	草加西部 (230人)	ライフライン施設の耐震性を強化 59.6	避難場所(学校・公園等)の整備 50.4	商店街・駅などの施設の安全性を強化 33.9	老朽化した木造住宅密集地の再開発 32.2	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 20.9
	草加東部 (212人)	ライフライン施設の耐震性を強化 56.1	避難場所(学校・公園等)の整備 42.5	老朽化した木造住宅密集地の再開発 34.0	商店街・駅などの施設の安全性を強化 24.5	地域の防災体制や自主防災組織を強化する 21.7
	草加稲荷 (67人)	ライフライン施設の耐震性を強化 50.7	避難場所(学校・公園等)の整備 49.3	老朽化した木造住宅密集地の再開発 25.4	商店街・駅などの施設の安全性を強化／地域の防災体制や自主防災組織を強化する 25.4	
	谷塚西部 (202人)	ライフライン施設の耐震性を強化 50.0	避難場所(学校・公園等)の整備 46.0	老朽化した木造住宅密集地の再開発 31.2	地域の防災体制や自主防災組織を強化する 22.8	避難、物資輸送等のため幅の広い道路整備 21.3
	谷塚中央 (138人)	ライフライン施設の耐震性を強化 53.6	避難場所(学校・公園等)の整備 47.8	老朽化した木造住宅密集地の再開発 35.5	商店街・駅などの施設の安全性を強化／耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化 25.4	
	谷塚東部 (121人)	ライフライン施設の耐震性を強化 55.4	避難場所(学校・公園等)の整備 47.1	老朽化した木造住宅密集地の再開発 27.3	耐震性等に配慮した建物づくりの促進・支援体制強化／地域の防災体制や自主防災組織を強化する 24.8	

※ は、表の中で特徴的な項目を表す。

地震に強いまちづくりにおいて市が進めるべきことについて、居住地域別で見ると、全体の上位2位の項目はどの地域においても全体の項目と同じであるが、「草加川柳」は全体の1位の項目・2位の項目の順位が逆転している。全体と異なるものでは、3位に「地域の防災情報連絡網・自主防災組織の強化」が「草加川柳」で29.9%、「商店街・駅などの施設の安全性を強化」が「草加西部」で33.9%となっている。

「地域の防災体制や自主防災組織を強化する」は、「谷塚西部」22.8%、「草加稲荷」25.4%、「谷塚東部」24.8%でそれぞれ4位に、「草加東部」21.7%で5位に、「避難、物資輸送等のため幅の広い道路整備」は、「草加川柳」25.3%で4位に、「谷塚西部」21.3%で5位に入っている。

【過去の調査結果との比較】

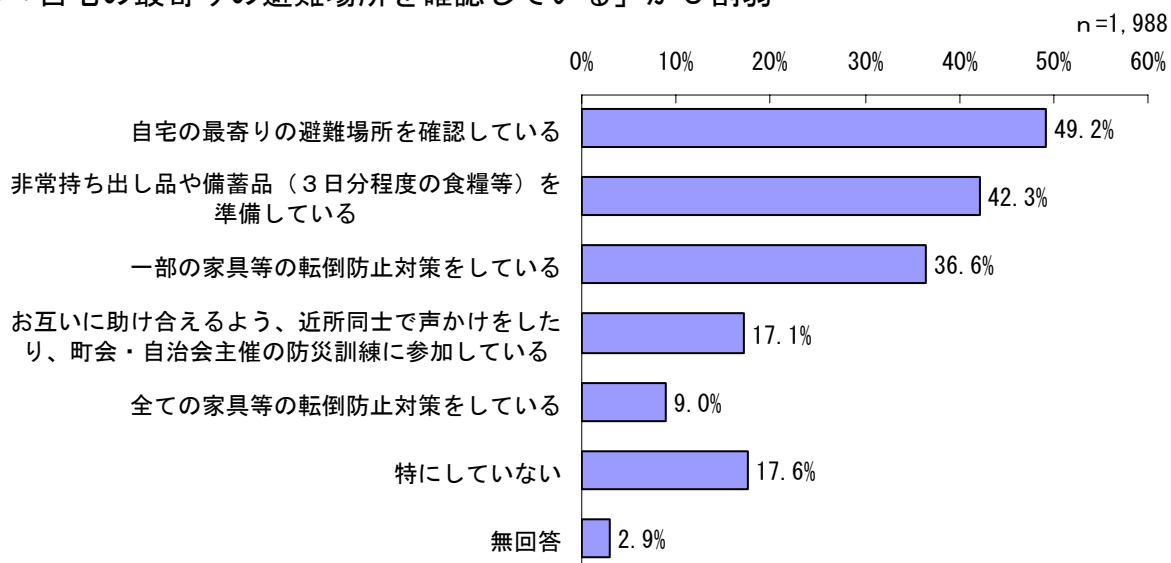


地震に強いまちづくりにおいて市が進めるべきことについて、平成24年度調査と比較すると、大きく変化しているものは、「老朽化した木造住宅の密集した市街地の震災対応を進める」が12.8ポイント増加している。一方、25年度に小学校などの耐震化が完了したためか、「保育園、公民館、庁舎等の公共施設の建替え・耐震補強等を進める」が15.9ポイントと大きく減少している。

(2) 家庭での防災対策

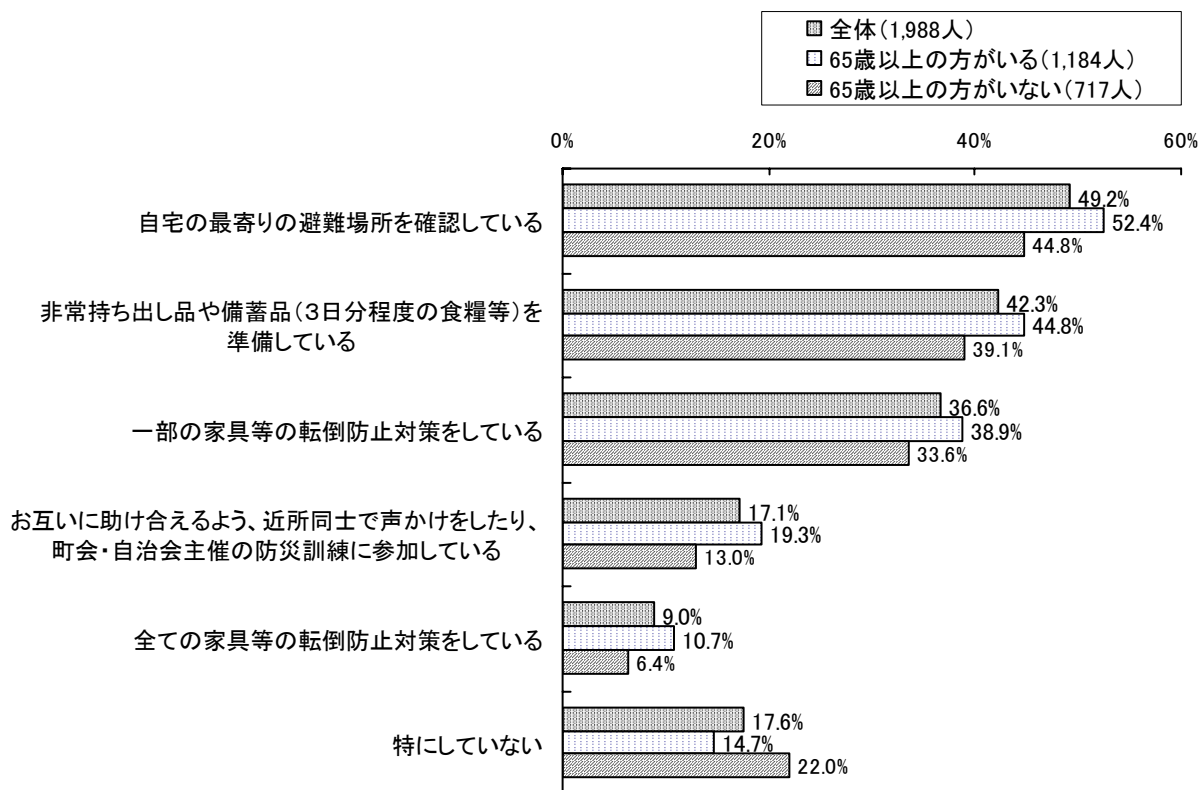
問 15 あなたは、災害時に備えてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

◎「自宅の最寄りの避難場所を確認している」が5割弱



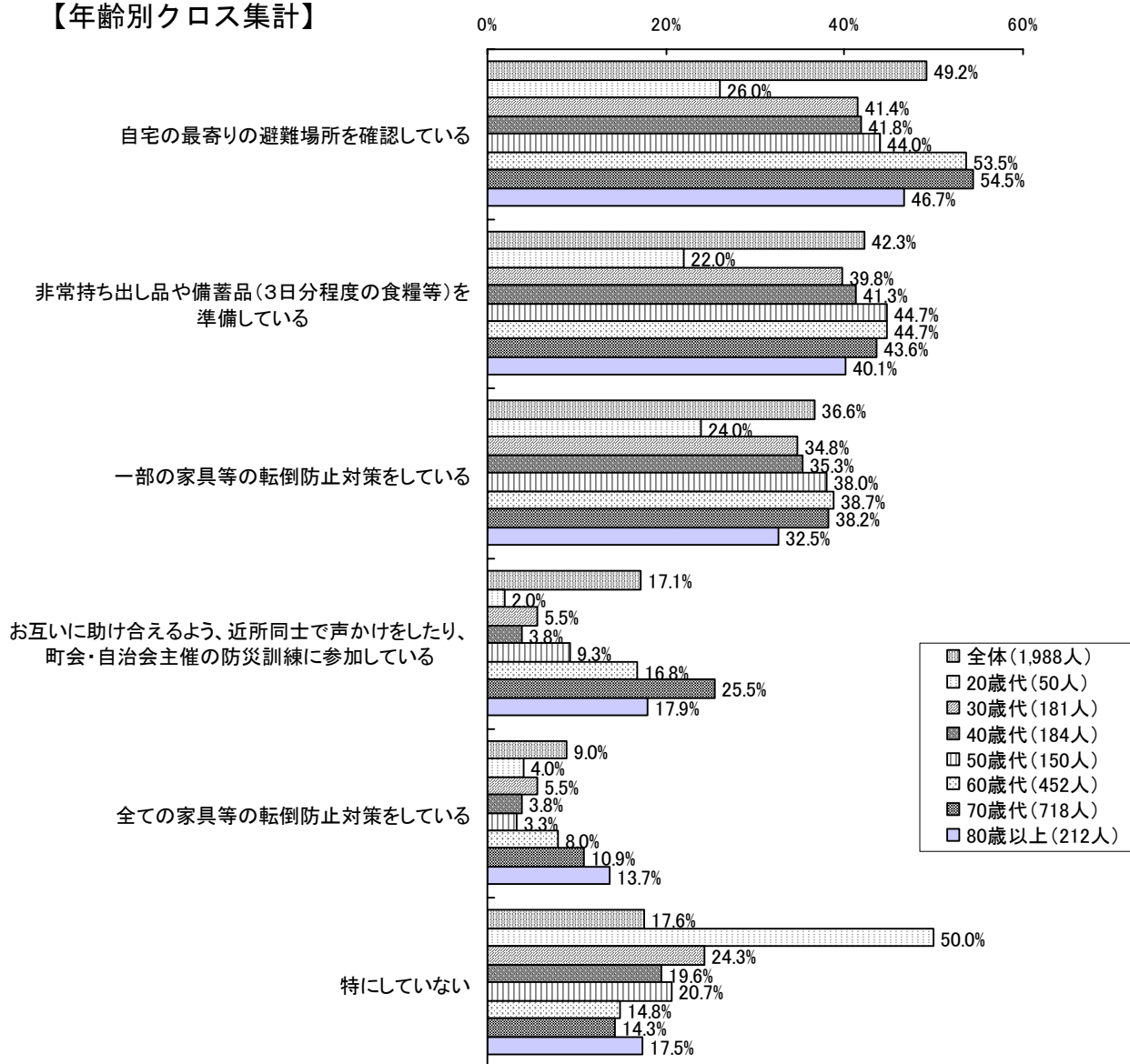
災害時に備えた対策は、「自宅の最寄りの避難場所を確認している」が49.2%で最も多く、次いで「非常持ち出し品や備蓄品（3日分程度の食糧等）を準備している」42.3%、「一部の家具等の転倒防止対策をしている」36.6%などである。

【同居家族に65歳以上の方の有無別クロス集計】



同居家族に 65 歳以上の方がいる回答者は、いない回答者と比較して、「特にしていない」以外の災害対策すべての項目で上回っている。

【年齢別クロス集計】



災害時に備えた対策について、年齢別で見ると、「非常持ち出し品や備蓄品（3日分程度の食糧等）を準備している」「一部の家具等の転倒防止対策をしている」は「20歳代」から「60歳代」にかけて増加し、「70歳代」から「80歳以上」にかけては減少している。

「自宅の最寄りの避難場所を確認している」「お互いに助け合えるよう、近所同士で声かけをしたり、町会・自治会主催の防災訓練に参加している」は「70歳代」が最も多くなっている。

また、「全ての家具等の転倒防止対策をしている」は「50歳代」3.3%で最も少なくなり、最も多い「80歳以上」13.7%にかけて年齢が高くなるとともに増加傾向にある。

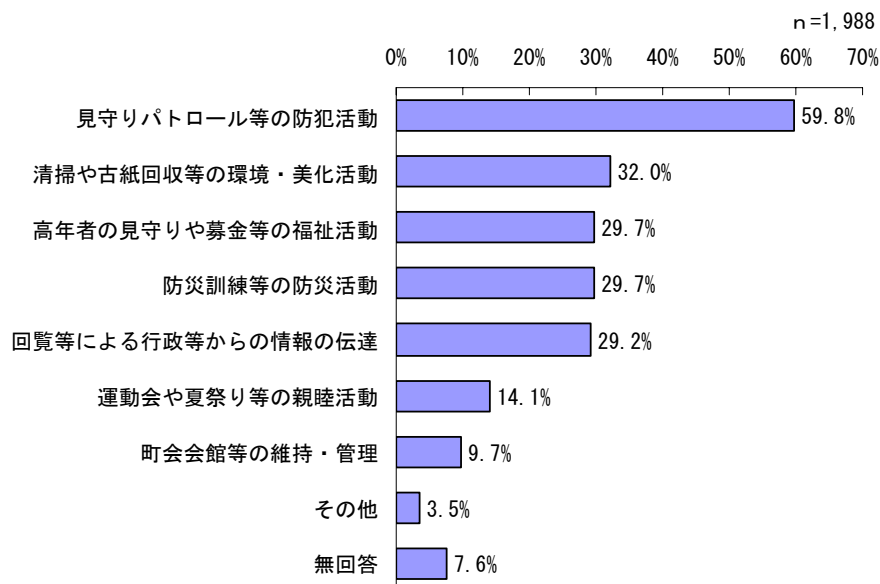
一方「特にしていない」は「20歳代」50.0%が特に多くなっている。

5 市民自治について

(1) 町会・自治会に期待すること

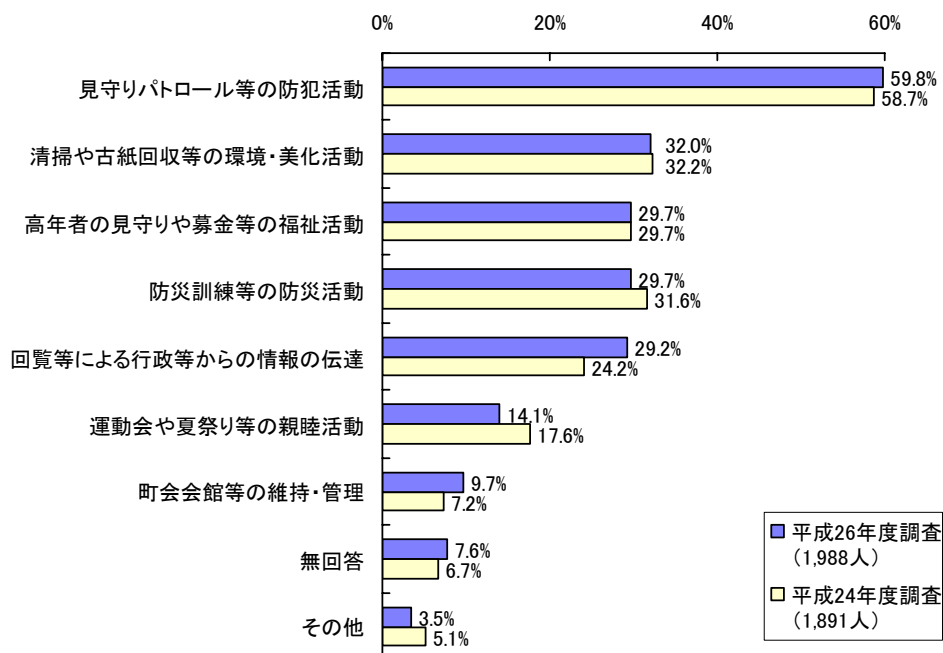
問 16 あなたがお住まいの地域の町会・自治会に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

◎「見守りパトロール等の防犯活動」が約6割



お住まいの地域の町会・自治会に期待することは、「見守りパトロール等の防犯活動」が59.8%で約6割と最も多く、次いで「清掃や古紙回収等の環境・美化活動」32.0%、「高齢者の見守りや募金等の福祉活動」「防災訓練等の防災活動」がそれぞれ29.7%と続いている。

【過去の調査結果との比較】



お住まいの地域の町会・自治会に期待することについて、平成24年度調査と比較すると、26年度調査では「回覧等による行政からの情報の伝達」が5.0ポイント、「町会会館等の維持・管理」が2.5ポイント増加している。一方、「防災訓練等の防災活動」が1.9ポイント、「運動会や夏祭り等の親睦活動」が3.5ポイント減少している。

【居住地域別クロス集計】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	見守りパトロール等の 防犯活動 59.8	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 32.0	高齢者の見守りや募金等の福祉活動/ 防災訓練等の防災活動 29.7	回覧等による行政等から の情報の伝達 29.2	回覧等による行政等から の情報の伝達 29.2	
居住地域別	新田西部 (324人)	見守りパトロール等の 防犯活動 60.2	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 31.5	回覧等による行政等 からの情報の伝達 28.4	防災訓練等の 防災活動 26.9	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 25.3
	新田東部 (262人)	見守りパトロール等の 防犯活動 64.5	回覧等による行政等 からの情報の伝達 32.1	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 30.2	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 28.6	防災訓練等の 防災活動 26.7
	草加川柳 (154人)	見守りパトロール等の 防犯活動 55.2	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 37.7	防災訓練等の 防災活動 37.0	回覧等による行政等 からの情報の伝達 31.2	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 27.3
	草加安行 (277人)	見守りパトロール等の 防犯活動 55.2	防災訓練等の 防災活動 30.7	回覧等による行政等 からの情報の伝達 30.3	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 28.9	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 28.2
	草加西部 (230人)	見守りパトロール等の 防犯活動 60.0	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 34.3	回覧等による行政等 からの情報の伝達 30.4	防災訓練等の 防災活動 28.7	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 26.5
	草加東部 (212人)	見守りパトロール等の 防犯活動 57.1	防災訓練等の 防災活動 34.4	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 34.0	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 27.4	回覧等による行政等 からの情報の伝達 24.5
	草加稲荷 (67人)	見守りパトロール等の 防犯活動 77.6	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 44.8	防災訓練等の防災活動/ 回覧等による行政等からの情報の伝達 37.3	回覧等による行政等 からの情報の伝達 37.3	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 32.8
	谷塚西部 (202人)	見守りパトロール等の 防犯活動 52.5	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 36.1	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 32.2	防災訓練等の 防災活動 30.7	回覧等による行政等 からの情報の伝達 26.2
	谷塚中央 (138人)	見守りパトロール等の 防犯活動 63.8	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 37.0	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 29.7	防災訓練等の 防災活動 29.0	回覧等による行政等 からの情報の伝達 27.5
	谷塚東部 (121人)	見守りパトロール等の 防犯活動 66.9	清掃や古紙回収等の 環境・美化活動 34.7	高齢者の見守りや募金等の福祉活動 30.6	回覧等による行政等 からの情報の伝達 28.9	防災訓練等の 防災活動 20.7

※ 〇〇は、表の中で特徴的な項目を表す。

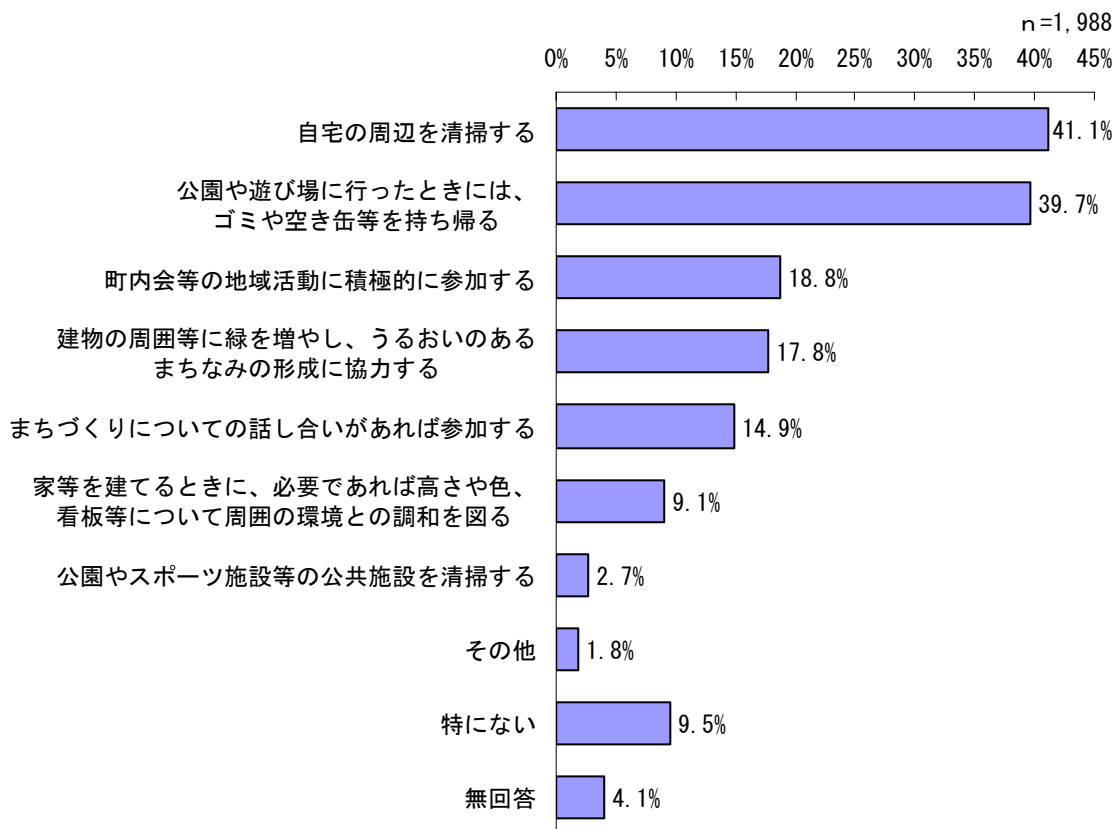
お住まいの地域の町会・自治会に期待することについて、居住地域別でみると、いずれも1位は「見守りパトロール等の防犯活動」である。

「清掃や古紙回収等の環境・美化活動」「高齢者の見守りや募金等の福祉活動」「防災訓練等の防災活動」「回覧等による行政等からの情報の伝達」は、いずれの地域においても2位から5位の上位に入っている。

(2) 参加・協力できる地域のまちづくり

問 17 あなたが住まいの地域活動については、どのようなかたちで参加・協力できると思いますか。(〇は2つまで)

◎「自宅の周辺を清掃する」が4割以上



地域のまちづくりについて参加・協力できるものは、「自宅の周辺を清掃する」が41.1%で最も多く、次いで「公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る」39.7%、「町内会等の地域活動に積極的に参加する」18.8%が続いている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	自宅の周辺を清掃する	公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る	町内会等の地域活動に積極的に参加する	建物の周囲等に緑を増やし、うるおいのあるまちなみの形成に協力する	まちづくりについての話し合いがあれば参加する	家等を建てるときに、必要であれば高さや色、看板等について周囲の環境との調和を図る	公園やスポーツ施設等の公共施設を清掃する	その他	特にない	無回答
全体		1,988 100.0	817 41.1	789 39.7	374 18.8	354 17.8	296 14.9	180 9.1	53 2.7	35 1.8	189 9.5	81 4.1
性別	男性	880 100.0	325 36.9	308 35.0	173 19.7	171 19.4	170 19.3	81 9.2	30 3.4	12 1.4	100 11.4	28 3.2
	女性	1,049 100.0	467 44.5	467 44.5	191 18.2	167 15.9	116 11.1	98 9.3	22 2.1	21 2.0	84 8.0	45 4.3
年齢	20歳代	50 100.0	9 18.0	24 48.0	8 16.0	5 10.0	5 10.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	12 24.0	1 2.0
	30歳代	181 100.0	68 37.6	103 56.9	21 11.6	16 8.8	15 8.3	26 14.4	5 2.8	2 1.1	15 8.3	2 1.1
	40歳代	184 100.0	71 38.6	89 48.4	22 12.0	24 13.0	24 13.0	19 10.3	2 1.1	1 0.5	24 13.0	3 1.6
	50歳代	150 100.0	65 43.3	71 47.3	23 15.3	20 13.3	16 10.7	12 8.0	3 2.0	2 1.3	24 16.0	2 1.3
	60歳代	452 100.0	198 43.8	175 38.7	89 19.7	100 22.1	61 13.5	48 10.6	10 2.2	9 2.0	40 8.8	11 2.4
	70歳代	718 100.0	313 43.6	255 35.5	160 22.3	142 19.8	138 19.2	61 8.5	25 3.5	13 1.8	49 6.8	34 4.7
	80歳以上	212 100.0	75 35.4	63 29.7	44 20.8	35 16.5	31 14.6	12 5.7	6 2.8	6 2.8	20 9.4	24 11.3
居住年数	1年未満	57 100.0	10 17.5	30 52.6	8 14.0	7 12.3	10 17.5	6 10.5	0 0.0	1 1.8	7 12.3	1 1.8
	1年～5年	134 100.0	42 31.3	70 52.2	23 17.2	17 12.7	15 11.2	15 11.2	3 2.2	2 1.5	13 9.7	4 3.0
	6年～10年	13 100.0	6 46.2	6 46.2	0 0.0	2 15.4	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	0 0.0
	11年～20年	40 100.0	14 35.0	15 37.5	6 15.0	7 17.5	7 17.5	3 7.5	1 2.5	0 0.0	7 17.5	1 2.5
	21年以上	1,719 100.0	737 42.9	662 38.5	331 19.3	315 18.3	255 14.8	156 9.1	48 2.8	32 1.9	158 9.2	71 4.1

※ ■は、表頭の項目(表の上側にある選択肢欄)をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

地域のまちづくりについて、参加・協力できるものを性別で見ると、男女の差が5ポイント以上あるものでは、「まちづくりについての話し合いがあれば参加する」は男性が女性より8.2ポイント、「自宅の周辺を清掃する」「公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る」は女性が男性よりそれぞれ7.6ポイント、9.5ポイント高い。

年齢別で見ると、「20歳代」では「特にない」24.0%と「公園やスポーツ施設等の公共施設を清掃する」4.0%、「30歳代」では「公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る」56.9%と「家等を建てるときに、必要であれば高さや色、看板等について周囲の環境との調和を図る」14.4%、「60歳代」では「自宅

第3章 調査結果の分析

の周辺を清掃する」43.8%と「建物の周囲等に緑を増やし、うるおいのあるまちなみの形成に協力する」22.1%、「70歳代」では「町内会等の地域活動に積極的に参加する」22.3%と「まちづくりについての話し合いがあれば参加する」19.2%がそれぞれ多くみられる。

居住年数別でみると、「1年未満」では「公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る」52.6%、「1年～5年」では「家等を建てるときに、必要であれば高さや色、看板等について周囲の環境との調和を図る」11.2%、「21年以上」では「町内会等の地域活動に積極的に参加する」19.3%と「建物の周囲等に緑を増やし、うるおいのあるまちなみの形成に協力する」18.3%がそれぞれ多くみられる。

【居住地域別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	自宅の周辺を清掃する	公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶等を持ち帰る	町内会等の地域活動に積極的に参加する	建物の周囲等に緑を増やし、うるおいのあるまちなみの形成に協力する	まちづくりについての話し合いがあれば参加する	家等を建てるときに、必要であれば高さや色、看板等について周囲の環境との調和を図る	公園やスポーツ施設等の公共施設を清掃する	その他	特にない	無回答	
												人数
全体	1,988 100.0	817 41.1	789 39.7	374 18.8	354 17.8	296 14.9	180 9.1	53 2.7	35 1.8	189 9.5	81 4.1	
居住地域	新田西部	324 100.0	148 45.7	132 40.7	51 15.7	59 18.2	42 13.0	31 9.6	9 2.8	4 1.2	25 7.7	18 5.6
	新田東部	262 100.0	110 42.0	119 45.4	56 21.4	39 14.9	38 14.5	19 7.3	2 0.8	3 1.1	27 10.3	9 3.4
	草加川柳	154 100.0	70 45.5	66 42.9	32 20.8	28 18.2	13 8.4	17 11.0	3 1.9	1 0.6	15 9.7	2 1.3
	草加安行	277 100.0	107 38.6	100 36.1	47 17.0	59 21.3	46 16.6	15 5.4	10 3.6	3 1.1	31 11.2	10 3.6
	草加西部	230 100.0	86 37.4	89 38.7	32 13.9	46 20.0	38 16.5	28 12.2	5 2.2	7 3.0	20 8.7	10 4.3
	草加東部	212 100.0	70 33.0	80 37.7	51 24.1	35 16.5	25 11.8	25 11.8	4 1.9	4 1.9	23 10.8	11 5.2
	草加稲荷	67 100.0	26 38.8	32 47.8	21 31.3	16 23.9	10 14.9	8 11.9	2 3.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5
	谷塚西部	202 100.0	83 41.1	73 36.1	41 20.3	34 16.8	36 17.8	17 8.4	7 3.5	3 1.5	18 8.9	12 5.9
	谷塚中央	138 100.0	60 43.5	54 39.1	27 19.6	22 15.9	28 20.3	10 7.2	5 3.6	5 3.6	14 10.1	3 2.2
	谷塚東部	121 100.0	57 47.1	44 36.4	16 13.2	16 13.2	20 16.5	10 8.3	6 5.0	4 3.3	14 11.6	5 4.1

※ 表の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

地域のまちづくりについて、参加・協力できるものを居住地域別で多く見られる意見は、「公園や遊び場に行ったときは、ゴミや空き缶などを持ち帰る」は「草加稲荷」が47.8%、「自宅の周辺を清掃する」が「谷塚東部」で47.1%である。

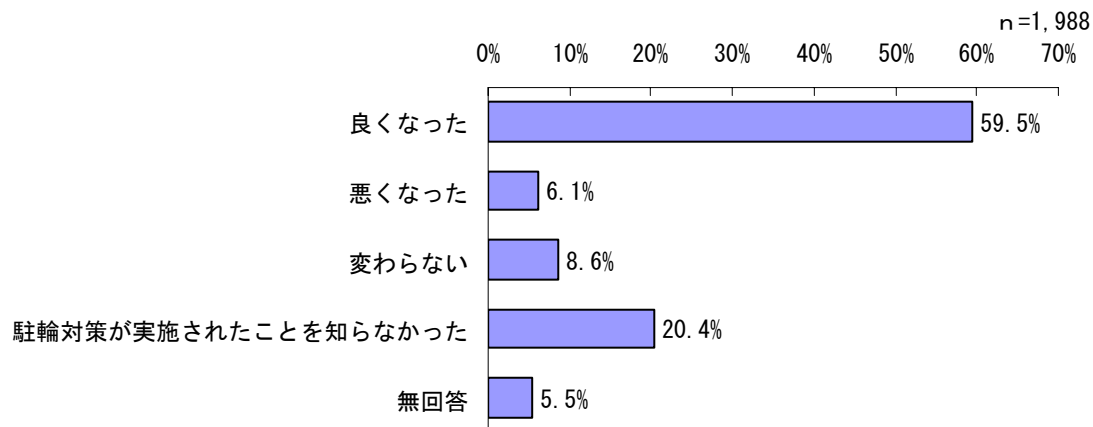
6

駐輪対策について

(1) 駐輪対策の現状について

問 18 草加駅周辺に一定時間無料の駐輪ラックや駐輪場が開設され、路上駐輪がなくなりましたが、こうした駐輪対策の現状についてどう思いますか。(〇は1つ)

◎「良くなった」が約6割



駐輪対策の現状については、「良くなった」が59.5%で約6割と最も多く、次いで「駐輪対策が実施されたことを知らなかった」20.4%、「変わらない」8.6%と続いており、「悪くなった」は6.1%で「良くなった」の約10分の1である。

◆「良くなった」と思う理由

「良くなった」と回答した734人の主な回答内容は下記の通りである。

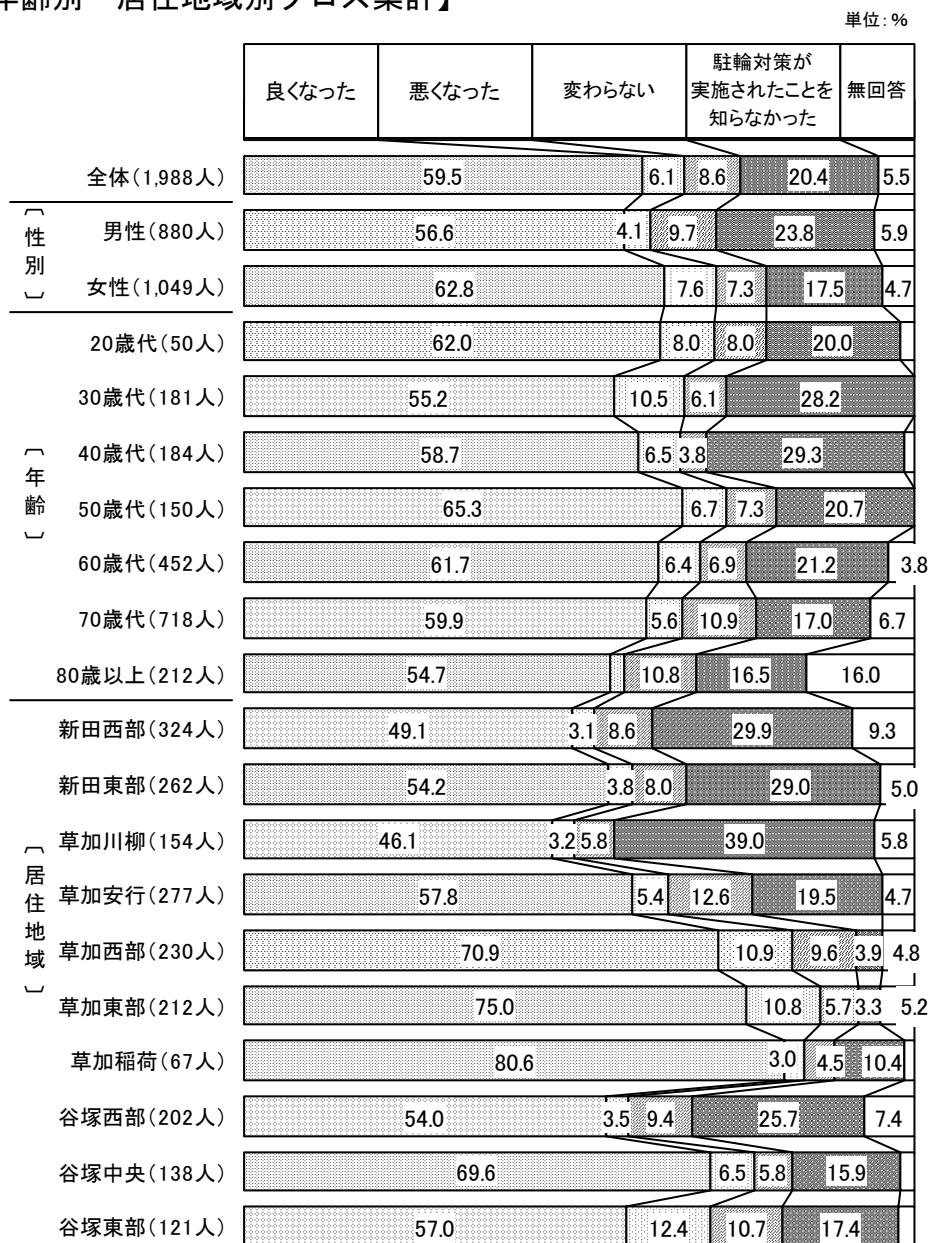
- 歩きやすい・通行しやすい (300件)
- 整理されてきれいになった・すっきりした (142件)
- 景観・環境が良くなった (97件)
- 安全になった (74件)
- 路上駐輪・放置自転車が少なくなった (43件)

◆「悪くなった」と思う理由

「悪くなった」と回答した106人の主な回答内容は下記の通りである。

- 買い物などが不便になった (31件)
- 駐輪場所が少ない (24件)
- 駐輪場が混んでいる (16件)
- 駐輪場が使いにくい (13件)
- 駅周辺を利用しにくくなった (9件)

【性別・年齢別・居住地域別クロス集計】



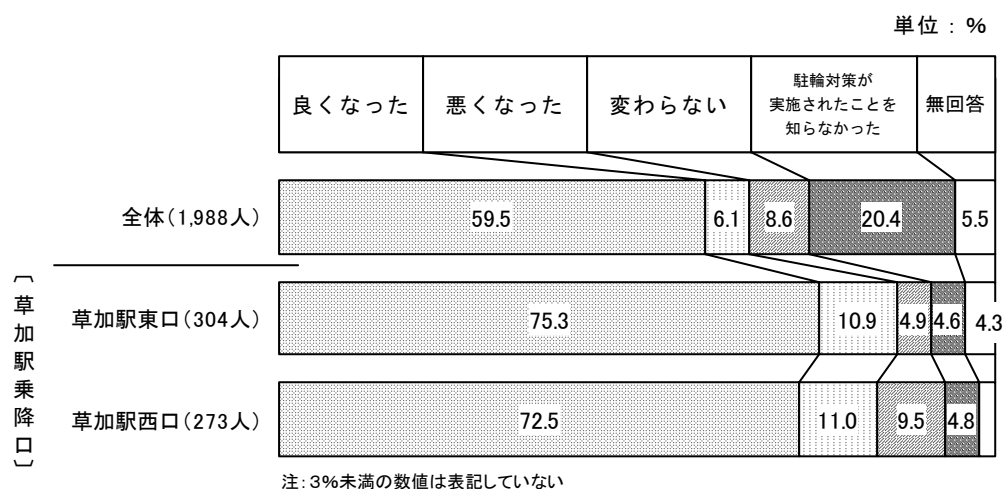
注：3%未満の数値は表記していない

駐輪対策の現状について、男女別にみると、駐輪対策の現状について「良くなった」は女性62.8%が男性56.6%よりも多くなっており、「悪くなった」も女性7.6%が男性4.1%を上回っている。

年齢別でみると、「良くなった」は全ての年代で5割を超えており、特に「50歳代」65.3%、「20歳代」62.0%、「60歳代」61.7%は6割を超えている。「悪くなった」は「30歳代」10.5%が最も多く、その他の年代は全て10%を切っている。

居住地域別でみると、「良くなった」は草加稲荷の80.6%が最も多く8割を超えており、次いで草加東部75.0%、草加西部70.9%と多くなっている。傾向としては、駐輪対策が実施された草加駅の自転車利用圏内では「良くなった」の割合が多くなっている。

【草加駅乗降口別クロス集計】



駐輪対策の現状について「最も多く利用する駅乗降口」調査の草加駅で見ると、「良くなった」は、「草加駅東口」が75.3%、「草加駅西口」が72.5%と、ともに7割を超えている。

また、「悪くなった」は、「草加駅西口」が11.0%、「草加駅東口」が10.9%で、ほぼ同じ割合となっている。

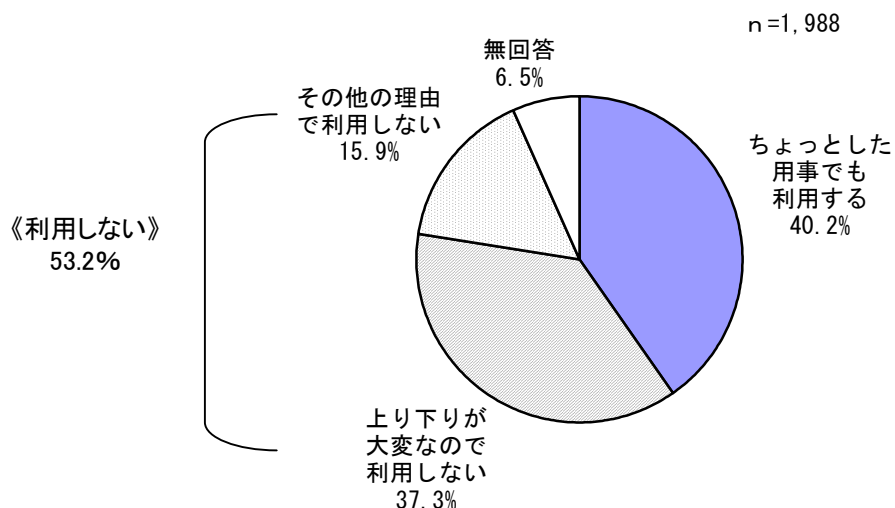
「変わらない」は「草加駅西口」が9.5%で、「草加駅東口」の4.9%よりも4.6ポイント高い。

「駐輪対策が実施されたことを知らなかった」は「草加駅西口」が4.8%、「草加駅東口」が4.6%とほぼ同じ割合になっている。

(2) 地下駐輪場を利用するか

問 19 あなたは、自転車で駅周辺のお店等を訪れる際、駅前に地下駐輪場があったら利用しますか。(○は1つ)

◎ 《利用しない》が5割を超える



駅周辺に地下駐輪場があったら利用するかについて、「上り下りが大変なので利用しない」37.3%及び「その他の理由で利用しない」15.9%を合わせた《利用しない》が53.2%で、「ちょっとした用事でも利用する」40.2%を上回っている。

◆利用しないその他の理由

「その他の理由で利用しない」と回答した272人の主な回答内容は下記の通りである。

- 自転車を持っていない・使わないから (116件)
- 主に自動車を利用しているから (24件)
- 主に歩いているから (21件)
- 高年や足腰に問題があるから (18件)
- 電車やバスなどの公共交通機関を利用しているから (15件)

【性別・年齢別・居住地域別クロス集計】

		単位：%				
		ちょっとした用事でも利用する	上り下りが大変なので利用しない	その他の理由で利用しない	無回答	《利用しない》
	全体(1,988人)	40.2	37.3	15.9	6.5	53.2
〔性別〕	男性(880人)	48.3	32.6	13.9	5.2	46.5
	女性(1,049人)	34.1	41.7	17.3	6.9	59.0
〔年齢〕	20歳代(50人)	42.0	44.0	10.0	4.0	54.0
	30歳代(181人)	53.6	30.9	14.9		45.9
	40歳代(184人)	50.5	31.0	16.3		47.3
	50歳代(150人)	48.0	37.3	14.0		51.3
	60歳代(452人)	37.6	43.1	14.4	4.9	57.5
	70歳代(718人)	38.4	39.3	14.9	7.4	54.2
	80歳以上(212人)	28.3	28.8	24.5	18.4	53.3
	〔居住地域〕	新田西部(324人)	41.0	35.5	15.7	7.7
新田東部(262人)		45.8	34.4	12.6	7.3	46.9
草加川柳(154人)		46.8	31.2	16.2	5.8	47.4
草加安行(277人)		40.1	33.2	19.5	7.2	52.7
草加西部(230人)		36.5	44.8	16.1		60.9
草加東部(212人)		37.3	37.3	19.3	6.1	56.6
草加稲荷(67人)		40.3	35.8	14.9	9.0	50.7
谷塚西部(202人)		35.1	39.1	16.3	9.4	55.4
谷塚中央(138人)		39.1	45.7	12.3		58.0
谷塚東部(121人)		40.5	39.7	12.4	7.4	52.1

注：3%未満の数値は表記していない

駅周辺に地下駐輪場があったら利用するかについて、男女別にみると、地下駐輪場があったら「ちょっとした用事でも利用する」は男性 48.3%が女性 34.1%よりも多くなっており、《利用しない》は女性が 59.0%で、男性の 46.5%を 12.5ポイント上回っている。

年齢別でみると、「ちょっとした用事でも利用する」は、「30歳代」53.6%、「40歳代」50.5%で5割を超えているが、それ以外の年代では《利用しない》が全て5割を超えている。

居住地域別でみると、「ちょっとした用事でも利用する」は「草加川柳」46.8%が最も多く、次いで「新田東部」45.8%と多くなっている。一方それ以外の地域では《利用しない》が全て5割を超えており、「草加西部」60.9%が最も多くなっている。

【草加駅乗降口別クロス集計】

単位：%

		ちょっとした用事でも利用する	上り下りが大変なので利用しない	その他の理由で利用しない	無回答	《利用しない》
全体(1,988人)		40.2	37.3	15.9	6.5	53.2
〔草加駅乗降口〕	草加駅東口(304人)	39.5	37.5	16.8	6.3	54.3
	草加駅西口(273人)	34.1	46.5	16.8		63.4

注：3%未満の数値は表記していない

駐輪対策の現状について「最も多く利用する駅乗降口」調査の草加駅で見ると、「ちょっとした用事でも利用する」は「草加駅東口」が39.5%で、「草加駅西口」の34.1%を5.4ポイント上回っている。

《利用しない》は「草加駅西口」が63.4%と6割を超えており、「草加駅東口」の54.3%を9.1ポイント上回っている。

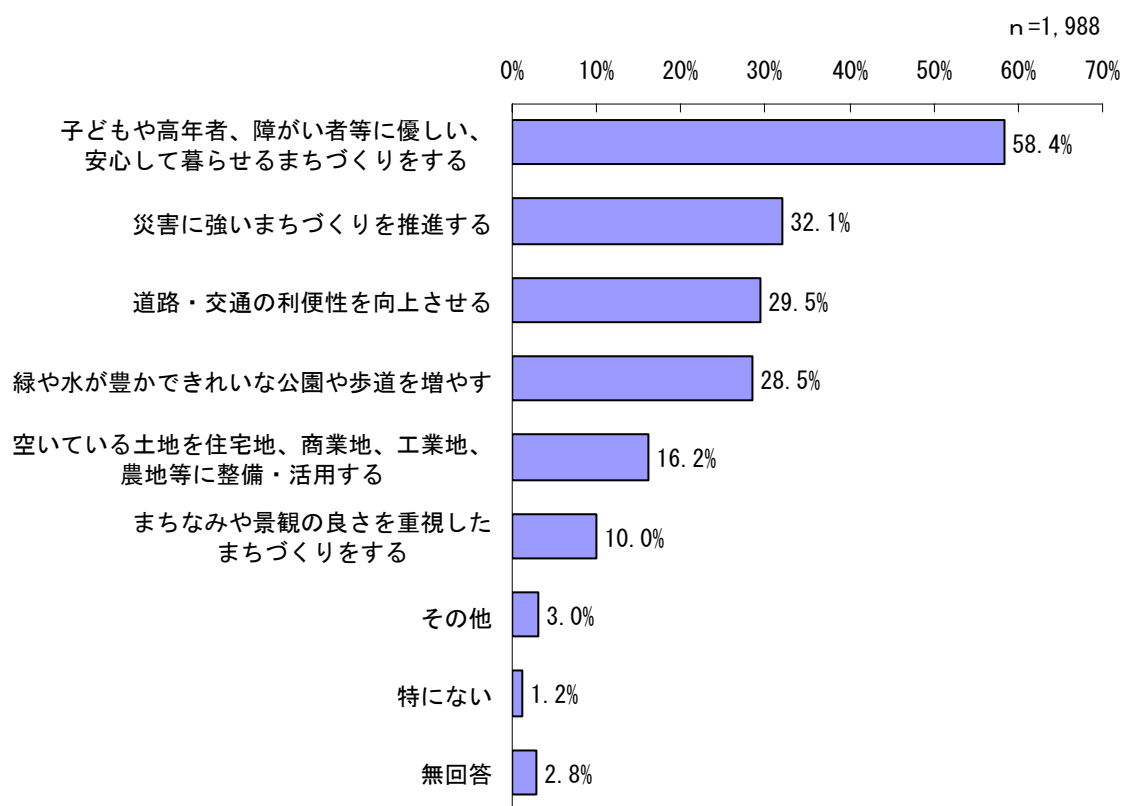
7 まちづくりについて

◇都市計画・整備について

(1) 草加市がより良くなるまちづくり計画

問 20 あなたは、今の草加市がより良くなるためのまちづくり計画は何であると思いますか。(〇は2つまで)

◎「子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする」が約6割



草加市がより良くなるためのまちづくり計画については、「子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする」が58.4%で約6割と最も多く、次いで「災害に強いまちづくりを推進する」32.1%、「道路・交通の利便性を向上させる」29.5%、「緑や水が豊かできれいな公園や歩道を増やす」28.5%と続いている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	空いている土地を住宅地、商業地、工業地、農地等に整備・活用する	道路・交通の利便性を向上させる	災害に強いまちづくりを推進する	緑や水が豊かできれいな公園や歩道を増やす	まちなみや景観の良さを重視したまちづくりをする	子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする	その他	特にない	無回答
全体		1,988 100.0	323 16.2	586 29.5	639 32.1	567 28.5	198 10.0	1,162 58.5	59 3.0	23 1.2	55 2.8
性別	男性	880 100.0	161 18.3	265 30.1	268 30.5	272 30.9	101 11.5	482 54.8	24 2.7	12 1.4	17 1.9
	女性	1,049 100.0	156 14.9	306 29.2	355 33.8	280 26.7	92 8.8	654 62.3	33 3.1	8 0.8	31 3.0
年齢	20歳代	50 100.0	14 28.0	13 26.0	11 22.0	15 30.0	6 12.0	20 40.0	7 14.0	1 2.0	1 2.0
	30歳代	181 100.0	53 29.3	48 26.5	47 26.0	63 34.8	24 13.3	101 55.8	4 2.2	1 0.6	0 0.0
	40歳代	184 100.0	44 23.9	67 36.4	44 23.9	48 26.1	16 8.7	95 51.6	7 3.8	1 0.5	3 1.6
	50歳代	150 100.0	19 12.7	57 38.0	40 26.7	51 34.0	20 13.3	77 51.3	6 4.0	2 1.3	2 1.3
	60歳代	452 100.0	59 13.1	110 24.3	162 35.8	158 35.0	57 12.6	277 61.3	7 1.5	2 0.4	6 1.3
	70歳代	718 100.0	96 13.4	208 29.0	262 36.5	175 24.4	62 8.6	449 62.5	20 2.8	11 1.5	26 3.6
	80歳以上	212 100.0	32 15.1	71 33.5	63 29.7	46 21.7	11 5.2	126 59.4	7 3.3	3 1.4	13 6.1
	居住年数	1年未満	57 100.0	13 22.8	14 24.6	13 22.8	24 42.1	7 12.3	28 49.1	3 5.3	1 1.8
1年～5年		134 100.0	39 29.1	40 29.9	33 24.6	41 30.6	20 14.9	72 53.7	5 3.7	0 0.0	1 0.7
6年～10年		13 100.0	2 15.4	3 23.1	3 23.1	6 46.2	3 23.1	8 61.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11年～20年		40 100.0	6 15.0	12 30.0	13 32.5	13 32.5	3 7.5	21 52.5	4 10.0	1 2.5	1 2.5
21年以上		1,719 100.0	261 15.2	509 29.6	569 33.1	477 27.7	162 9.4	1,022 59.5	47 2.7	21 1.2	48 2.8

※ ■■■ は、表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

草加市がより良くなるためのまちづくり計画について、性別で見ると、5ポイント以上の差があるものは、「子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする」で、女性が62.3%と、男性の54.8%を7.5ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「空いている土地を住宅地、商業地、工業地、農地等に整備・活用する」では「30歳代」、「道路・交通の利便性を向上させる」では「50歳代」、

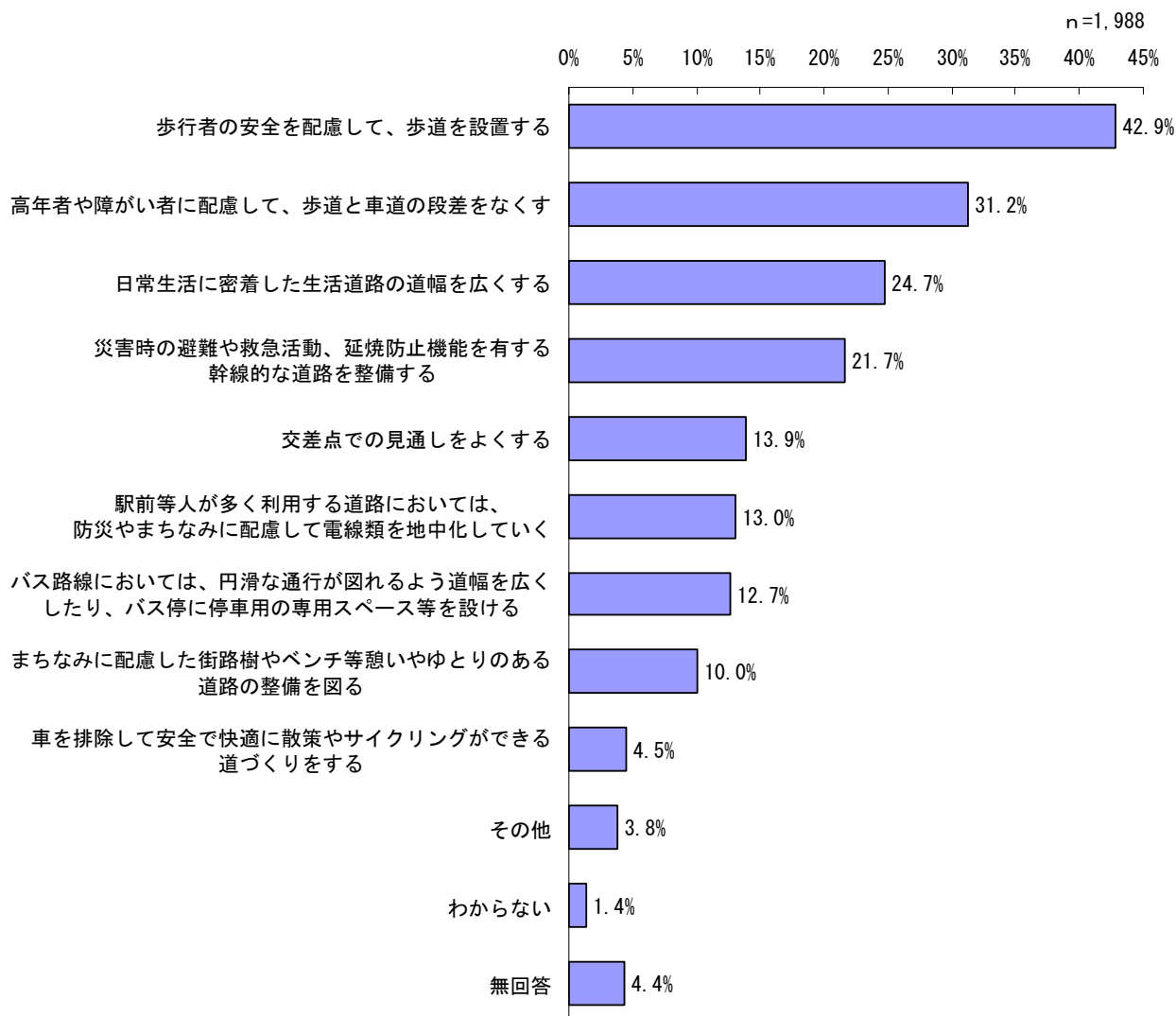
「緑や水が豊かできれいな公園や歩道を増やす」では「60歳代」、「災害に強いまちづくりを推進する」と「子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする」では「70歳代」の回答割合が他の年代に比べ多い。また「まちなみや景観の良さを重視したまちづくりをする」は「30歳代」と「50歳代」がそれぞれ13.3%と多くなっている。

居住年数別で見ると、「空いている土地を住宅地、商業地、工業地、農地等に整備・活用する」では「1～5年」、「まちなみや景観の良さを重視したまちづくりをする」と「子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする」では「6～10年」、「道路・交通の利便性を向上させる」と「緑や水が豊かできれいな公園や歩道を増やす」では「11～20年」、「災害に強いまちづくりを推進する」では「21年以上」の回答割合が他の居住年数に比べ多くなっている。

(2) 道路整備に必要なこと

問 21 道路には、国道4号のような幅の広い幹線道路から、市民の生活に密着した身のまわりの生活道路までがあります。あなたは、こうした道路整備をしていく上で特に何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

◎「歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する」が4割を超える



道路整備をしていく上で重要なことは、「歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する」が42.9%で最も多く、次いで「高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす」31.2%、「日常生活に密着した生活道路の道幅を広くする」24.7%、「災害時の避難や救急活動、延焼防止機能を有する幹線的な道路を整備する」21.7%と続いている。

【性別・年齢別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	災害時の避難や救急活動、延焼防止機能有する幹線的な道路を整備する	日常生活に密着した生活道路の道幅を広くする	歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する	車を排除して安全で快適に散策やサイクリングができる道づくりをする	バス路線においては、円滑な通行が図れるよう道幅を広くしたり、バス停に停車用の専用スペース等を設ける	まちなみに配慮した街路樹や公園・ベンチ等憩いやゆとりのある道路の整備を図る	駅前等人が多く利用する道路においては、防災やまちなみに配慮して、電線類を地中化していく	高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす	交差点での見通しをよくする	その他	わからない	無回答	
全体	1,988 100.0	431 21.7	492 24.7	852 42.9	90 4.5	252 12.7	199 10.0	259 13.0	621 31.2	276 13.9	76 3.8	28 1.4	87 4.4	
性別	男性	880 100.0	195 22.2	224 25.5	366 41.6	48 5.5	125 14.2	93 10.6	129 14.7	247 28.1	120 13.6	42 4.8	11 1.3	31 3.5
	女性	1,049 100.0	229 21.8	257 24.5	468 44.6	37 3.5	120 11.4	102 9.7	123 11.7	352 33.6	151 14.4	33 3.1	15 1.4	46 4.4
年齢	20歳代	50 100.0	9 18.0	13 26.0	18 36.0	8 16.0	5 10.0	8 16.0	4 8.0	7 14.0	11 22.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0
	30歳代	181 100.0	34 18.8	51 28.2	98 54.1	9 5.0	27 14.9	13 7.2	21 11.6	27 14.9	48 26.5	8 4.4	1 0.6	3 1.7
	40歳代	184 100.0	29 15.8	53 28.8	97 52.7	6 3.3	33 17.9	10 5.4	20 10.9	45 24.5	33 17.9	14 7.6	2 1.1	0 0.0
	50歳代	150 100.0	28 18.7	50 33.3	56 37.3	7 4.7	22 14.7	15 10.0	21 14.0	40 26.7	20 13.3	9 6.0	2 1.3	4 2.7
	60歳代	452 100.0	108 23.9	114 25.2	191 42.3	23 5.1	55 12.2	51 11.3	70 15.5	136 30.1	57 12.6	20 4.4	5 1.1	16 3.5
	70歳代	718 100.0	182 25.3	160 22.3	280 39.0	30 4.2	88 12.3	84 11.7	95 13.2	269 37.5	83 11.6	16 2.2	10 1.4	36 5.0
	80歳以上	212 100.0	37 17.5	44 20.8	97 45.8	4 1.9	17 8.0	15 7.1	24 11.3	82 38.7	21 9.9	8 3.8	4 1.9	21 9.9

※ 〇は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

道路整備をしていく上で重要なことを性別でみると、5ポイント以上の差があるものは、「高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす」が、女性33.6%が男性28.1%で5.5ポイント上回っている。

年齢別でみると、「高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす」は、「80歳以上」38.7%が多く、年齢が高くなるとともに増加傾向にある。また「20歳代」では「車を排除して安全で快適に散策やサイクリングができる道づくりをする」「まちなみに配慮した街路樹や公園・ベンチ等憩いやゆとりのある道路の整備を図る」の回答割合が他の年代と比べ比較的多くなっている。

【居住地域別クロス集計】

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	災害時の避難や救急活動、延焼防止機能を有する幹線的な道路を整備する	日常生活に密着した生活道路の道幅を広くする	歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する	車を排除して安全で快適に散策やサイクリングができる道づくりをする	バス路線においては、円滑な通行が図れるよう道幅を広くしたり、バス停に停車用の専用スペース等を設ける	まちなみに配慮した街路樹や公園・ベンチ等憩いやゆとりのある道路の整備を図る	駅前等人が多く利用する道路においては、防災やまちなみに配慮して、電線類を地中化していく	高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす	交差点での見通しをよくする	その他	わからない	無回答	
全体	1,988 100.0	431 21.7	492 24.7	852 42.9	90 4.5	252 12.7	199 10.0	259 13.0	621 31.2	276 13.9	76 3.8	28 1.4	87 4.4	
居住地域	新田西部	324 100.0	73 22.5	74 22.8	141 43.5	12 3.7	26 8.0	32 9.9	39 12.0	103 31.8	55 17.0	18 5.6	2 0.6	21 6.5
	新田東部	262 100.0	49 18.7	65 24.8	113 43.1	12 4.6	30 11.5	26 9.9	37 14.1	81 30.9	42 16.0	6 2.3	3 1.1	16 6.1
	草加川柳	154 100.0	25 16.2	38 24.7	70 45.5	8 5.2	30 19.5	9 5.8	18 11.7	51 33.1	27 17.5	6 3.9	3 1.9	3 1.9
	草加安行	277 100.0	62 22.4	69 24.9	121 43.7	14 5.1	39 14.1	32 11.6	36 13.0	93 33.6	28 10.1	10 3.6	5 1.8	8 2.9
	草加西部	230 100.0	47 20.4	59 25.7	98 42.6	16 7.0	23 10.0	23 10.0	34 14.8	74 32.2	39 17.0	7 3.0	4 1.7	8 3.5
	草加東部	212 100.0	54 25.5	48 22.6	74 34.9	10 4.7	28 13.2	28 13.2	38 17.9	57 26.9	27 12.7	8 3.8	3 1.4	8 3.8
	草加稲荷	67 100.0	13 19.4	16 23.9	35 52.2	1 1.5	13 19.4	4 6.0	7 10.4	19 28.4	9 13.4	4 6.0	2 3.0	1 1.5
	谷塚西部	202 100.0	40 19.8	57 28.2	85 42.1	5 2.5	42 20.8	18 8.9	13 6.4	63 31.2	21 10.4	6 3.0	3 1.5	12 5.9
	谷塚中央	138 100.0	38 27.5	35 25.4	67 48.6	5 3.6	12 8.7	14 10.1	18 13.0	45 32.6	9 6.5	5 3.6	1 0.7	5 3.6
	谷塚東部	121 100.0	30 24.8	31 25.6	48 39.7	6 5.0	9 7.4	13 10.7	19 15.7	35 28.9	18 14.9	6 5.0	2 1.7	5 4.1

※ 〇は、表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

道路整備をしていく上で重要なことを居住地域別で見ると、「日常生活に密着した生活道路の道幅を広くする」28.2%及び「バス路線においては、円滑な通行が図れるよう道幅を広くしたり、バス停に停車用の専用スペース等を設ける」20.8%が「谷塚西部」で多くなっている。

「まちなみに配慮した街路樹や公園・ベンチ等憩いやゆとりのある道路の整備を図る」13.2%及び「駅前等人が多く利用する道路においては、防災やまちなみに配慮して電線類を地中化していく」17.9%が、「草加東部」で多くなっている。

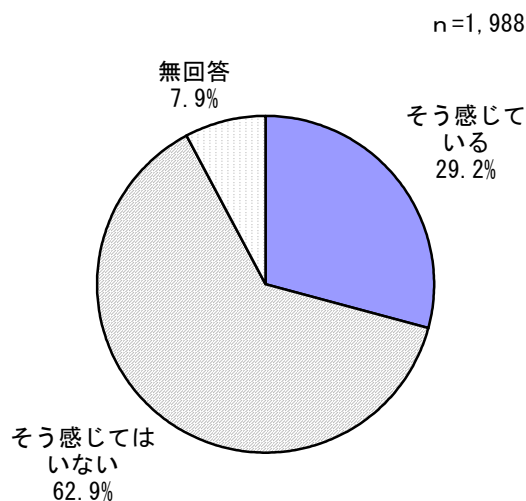
その他の項目では「災害時の避難や救急活動、延焼防止機能を有する幹線的な道路を整備する」は「谷塚中央」27.5%、「歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する」は「草加稲荷」52.2%、「車を排除して安全で快適に散策やサイクリングができる道づくりをする」は「草加西部」7.0%、「高年者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす」は「草加安行」33.6%、「交差点での見通しをよくする」は「草加川柳」で17.5%と最も多い。

◇景観について

(3) 市のまちなみや風景を美しいと感じているか

問 22 あなたは、草加市のまちなみや風景が美しく心地よいと感じていますか。(〇は1つ)

◎「そう感じてはいない」は6割を超え、「そう感じている」は約3割



草加市のまちなみや風景が美しく心地よいと感じるかについては、「そう感じてはいない」62.9%、「そう感じている」29.2%である。

【過去の調査結果との比較】

単位：%

	そう感じている	そう感じていない	無回答
H26年度調査(1,988人)	29.2	62.9	7.9
H24年度調査(1,891人)	31.8	62.5	5.8

過去の調査結果と比較すると、「そう感じている」は平成26年度を24年度と比較すると2.6ポイント減少した。

「そう感じていない」は、26年度は24年度と比較すると0.4ポイント微増した。

【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位: %

	そう感じている	そう感じている	無回答
全体(1,988人)	29.2	62.9	7.9
〔年齢〕			
20歳代(50人)	38.0	62.0	
30歳代(181人)	34.8	61.9	3.3
40歳代(184人)	28.3	69.6	
50歳代(150人)	19.3	76.7	4.0
60歳代(452人)	27.0	64.6	8.4
70歳代(718人)	30.8	60.0	9.2
80歳以上(212人)	31.1	55.7	13.2
〔居住年数〕			
1年未満(57人)	29.8	63.2	7.0
1年～5年(134人)	36.6	56.7	6.7
6年～10年(13人)	46.2	46.2	7.7
11年～20年(40人)	32.5	65.0	
21年以上(1,719人)	28.5	63.5	8.0
〔居住地域〕			
新田西部(324人)	28.4	62.7	9.0
新田東部(262人)	40.5	48.5	11.1
草加川柳(154人)	32.5	63.0	4.5
草加安行(277人)	30.7	65.0	4.3
草加西部(230人)	28.3	63.9	7.8
草加東部(212人)	23.6	69.8	6.6
草加稲荷(67人)	31.3	53.7	14.9
谷塚西部(202人)	20.8	69.3	9.9
谷塚中央(138人)	22.5	71.7	5.8
谷塚東部(121人)	31.4	60.3	8.3

注: 3%未満の数値は表記していない

草加市のまちなみや風景が美しく心地よいと感じるかについて、年齢別でみると、「そう感じている」は、「20歳代」が38.0%で最も多く、「20歳代」から「50歳代」にかけて年齢が高くなるとともに減少し、「60歳代」から再び増加する。

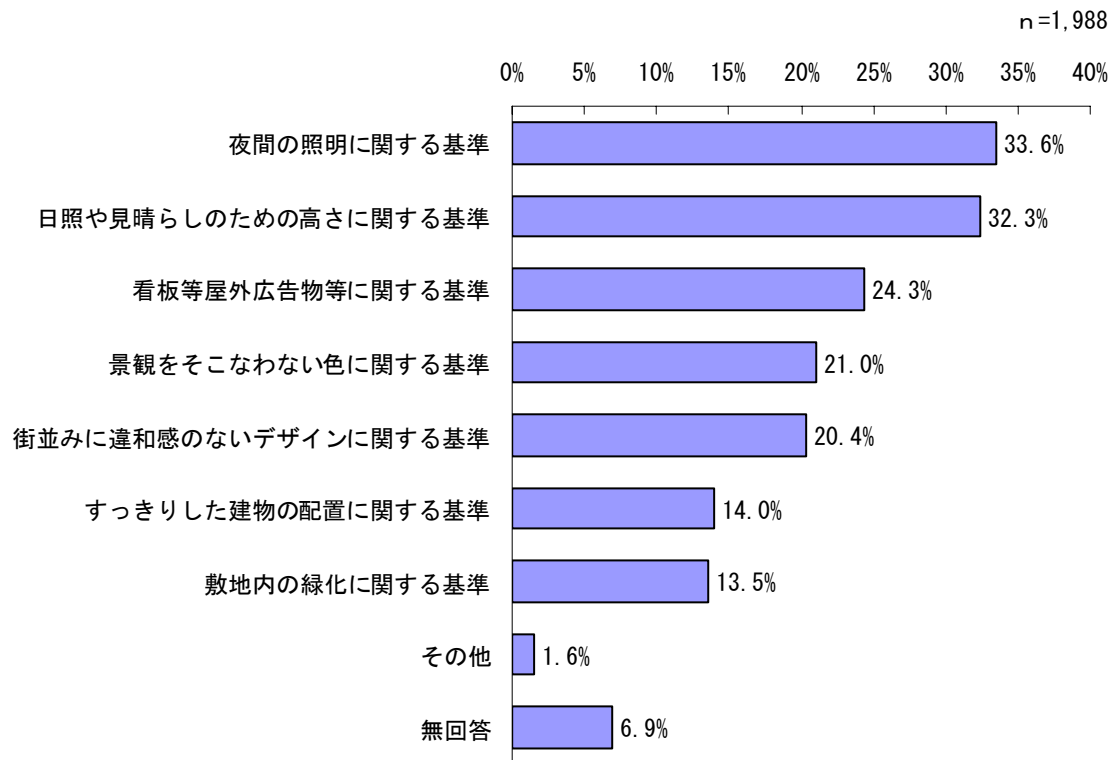
居住年数別でみると、「そう感じている」は、最も多い「6～10年」46.2%を頂点としピラミッド型の推移となっている。

居住地域別でみると、「そう感じている」は、「新田東部」40.5%が最も多く、次いで「谷塚東部」31.4%、「草加稲荷」31.3%が続いている。

(4) 良好なまちなみ景観づくりに必要なこと

問 23 あなたは、草加市の良好なまちなみ景観づくりのため、建築物等に対してどのような基準（ルールづくり）が重要だと思いますか。（〇は2つまで）

◎「夜間の照明に関する基準」「日照や見晴らしのための高さに関する基準」が3割を超える



草加市の良好なまちなみ景観づくりのため、建築物等に対してどのような基準が重要かについては、「夜間の照明に関する基準」の33.6%が最も多く、次に「日照や見晴らしのための高さに関する基準」32.3%、「看板等屋外広告等に関する基準」24.3%が続いている。

【居住地域別クロス集計・上位5位】

単位:%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	夜間の照明に関する基準 33.6	日照や見晴らしのための高さに関する基準 32.3	看板等屋外広告物等に関する基準 24.3	景観をそこなわない色に関する基準 21.0	街並みに違和感のないデザインに関する基準 20.4	
居住地域別	新田西部 (324人)	夜間の照明に関する基準 33.0	日照や見晴らしのための高さに関する基準 32.1	看板等屋外広告物等に関する基準 26.9	景観をそこなわない色に関する基準 24.1	街並みに違和感のないデザインに関する基準 19.1
	新田東部 (262人)	夜間の照明に関する基準 33.6	日照や見晴らしのための高さに関する基準 28.2	看板等屋外広告物等に関する基準 25.2	景観をそこなわない色に関する基準 22.5	街並みに違和感のないデザインに関する基準 19.8
	草加川柳 (154人)	日照や見晴らしのための高さに関する基準 33.8	看板等屋外広告物等に関する基準 31.8	夜間の照明に関する基準 28.6	景観をそこなわない色に関する基準 20.8	街並みに違和感のないデザインに関する基準 17.5
	草加安行 (277人)	日照や見晴らしのための高さに関する基準 31.0	夜間の照明に関する基準 29.6	街並みに違和感のないデザインに関する基準 22.7	景観をそこなわない色に関する基準 20.9	看板等屋外広告物等に関する基準 18.8
	草加西部 (230人)	夜間の照明に関する基準 38.3	日照や見晴らしのための高さに関する基準 32.6	看板等屋外広告物等に関する基準 23.9	街並みに違和感のないデザインに関する基準 20.4	景観をそこなわない色に関する基準 19.1
	草加東部 (212人)	夜間の照明に関する基準 34.4	日照や見晴らしのための高さに関する基準 30.2	景観をそこなわない色に関する基準／街並みに違和感のないデザインに関する基準 22.6		
	草加稲荷 (67人)	日照や見晴らしのための高さに関する基準 38.8	夜間の照明に関する基準／看板等屋外広告物等に関する基準 29.9		街並みに違和感のないデザインに関する基準 23.9	景観をそこなわない色に関する基準 17.9
	谷塚西部 (202人)	夜間の照明に関する基準 40.1	日照や見晴らしのための高さに関する基準 32.2	看板等屋外広告物等に関する基準 21.3	街並みに違和感のないデザインに関する基準 18.8	景観をそこなわない色に関する基準 15.3
	谷塚中央 (138人)	日照や見晴らしのための高さに関する基準 40.6	夜間の照明に関する基準 34.8	看板等屋外広告物等に関する基準 28.3	街並みに違和感のないデザインに関する基準 19.6	景観をそこなわない色に関する基準 18.1
	谷塚東部 (121人)	日照や見晴らしのための高さに関する基準 33.1	夜間の照明に関する基準 29.8	景観をそこなわない色に関する基準 25.6	街並みに違和感のないデザインに関する基準 21.5	看板等屋外広告物等に関する基準 19.0

※ は、表の中で特徴的な項目を表す。

草加市の良好なまちなみ景観づくりのため、建築物等に対してどのような基準が重要かについて、居住地域別でみると、1位、2位の項目で全体と違うものは、「看板等屋外広告物等に関する基準」が「草加川柳」の2位に入っている。

3位は、「夜間の照明に関する基準」が「草加川柳」、「街並みに違和感のないデザインに関する基準」が「草加安行」に入っている他は、全体と同じ「看板等屋外広告物等に関する基準」である。

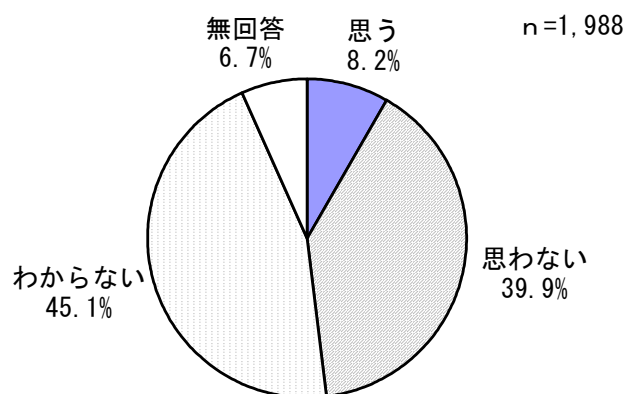
4位、5位の項目で全体と違うものは、「看板等屋外広告物等に関する基準」が「草加安行」の5位に入っている。

8 市の観光について

(1) 草加市は観光地として魅力的か

問 24 あなたは、草加市が観光として市外から訪れてみたいと思う魅力的なところだと思いますか。(〇は1つ)

◎「わからない」が4割半ば



草加市が観光として市外から訪れてみたいと思う魅力的なところだと思うかについては、「わからない」の45.1%が最も多く、「思わない」39.9%、「思う」8.2%となっている。

◆『思う』理由

「思う」と回答した主な理由として次のものがあげられている。

- 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」があるから
- 松並木が素晴らしいから
- せんべいが有名だから
- 伝統産業が盛んだから

◆『思わない』理由

「思わない」と回答した主な理由として次のものがあげられている。

- 草加松原以外の観光資源がないから
- 何度も来たいと思わせるものがないから
- 観光のための宿泊施設等が整っていないから

【年齢別・居住年数別・居住地域別クロス集計】

単位：%

	思う	思わない	わからない	無回答
全体(1,988人)	8.2	39.9	45.1	6.7
〔年齢〕				
20歳代(50人)	4.0	52.0	44.0	
30歳代(181人)	7.2	59.7	31.5	
40歳代(184人)		57.1	39.7	
50歳代(150人)		52.0	41.3	4.0
60歳代(452人)	7.3	39.2	48.5	5.1
70歳代(718人)	10.6	32.9	48.5	8.1
80歳以上(212人)	12.7	26.4	46.2	14.6
〔居住年数〕				
1年未満(57人)	3.5	52.6	40.4	3.5
1年～5年(134人)	9.0	59.0	30.6	
6年～10年(13人)		46.2	53.8	
11年～20年(40人)	10.0	45.0	37.5	7.5
21年以上(1,719人)	8.4	38.0	46.5	7.0
〔居住地域〕				
新田西部(324人)	8.0	38.0	47.2	6.8
新田東部(262人)	13.0	33.6	46.6	6.9
草加川柳(154人)	7.8	37.0	48.7	6.5
草加安行(277人)	9.4	39.7	45.1	5.8
草加西部(230人)	7.8	45.7	40.4	6.1
草加東部(212人)	6.6	47.6	40.1	5.7
草加稲荷(67人)	11.9	38.8	41.8	7.5
谷塚西部(202人)	4.5	35.6	49.0	10.9
谷塚中央(138人)	6.5	47.1	40.6	5.8
谷塚東部(121人)	6.6	38.8	49.6	5.0

注：3%未満の数値は表記していない

草加市が観光として市外から訪れてみたいと思う魅力的なところだと思うかについて、年齢別でみると、「思わない」は、「30歳代」59.7%が最も多く、20歳代から「30歳代」にかけて増加しているが、「40歳代」から年齢とともに減少傾向にある。

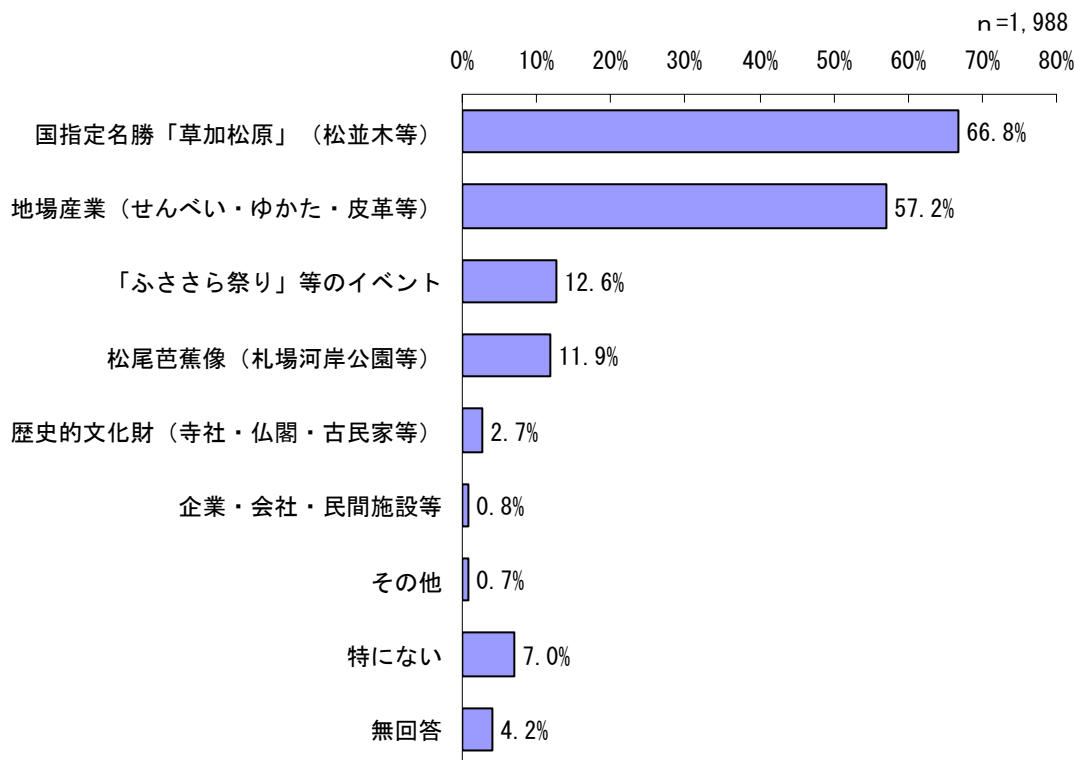
居住年数別でみると、「思わない」は、「1～5年」59.0%、「1年未満」52.6%と5割を超えている。

居住地域別でみると、「思う」は、「新田東部」13.0%が最も多く、次いで「草加稲荷」11.9%が続いている。「思わない」は「草加東部」47.6%、「谷塚中央」47.1%「草加西部」45.7%と4割を超えている。

(2) 草加市の観光資源

問 25 あなたは、草加市の観光資源といえば、何をイメージしますか。(〇は2つまで)

◎「国指定名勝「草加松原」(松並木等)」が6割、せんべい・ゆかた・皮革の地場産業が5割台後半



草加市の観光資源のイメージについては、「国指定名勝「草加松原」(松並木等)」が66.8%で6割を超えて最も多く、続く「地場産業(せんべい・ゆかた・皮革等)」が57.2%と、他の回答と比較して飛びぬけて多い。

【性別・年齢別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	国指定名勝「草加松原」 (松並木等)	松尾芭蕉像 (札幌河岸公園等)	(寺社・仏閣・古民家等) 歴史的文化財	(せんべい・ゆかた・皮革等) 地場産業	「ふささら祭り」等のイベント	企業・会社・民間施設等	その他	特にない	無回答
全体		1,988 100.0	1,328 66.8	236 11.9	53 2.7	1,137 57.2	250 12.6	15 0.8	13 0.7	141 7.1	83 4.2
性別	男性	880 100.0	565 64.2	109 12.4	23 2.6	487 55.3	104 11.8	7 0.8	8 0.9	80 9.1	29 3.3
	女性	1,049 100.0	732 69.8	121 11.5	28 2.7	626 59.7	141 13.4	7 0.7	5 0.5	57 5.4	41 3.9
年齢	20歳代	50 100.0	23 46.0	2 4.0	0 0.0	39 78.0	7 14.0	0 0.0	2 4.0	3 6.0	0 0.0
	30歳代	181 100.0	85 47.0	13 7.2	2 1.1	120 66.3	23 12.7	2 1.1	0 0.0	20 11.0	3 1.7
	40歳代	184 100.0	111 60.3	11 6.0	0 0.0	128 69.6	20 10.9	3 1.6	0 0.0	19 10.3	1 0.5
	50歳代	150 100.0	96 64.0	11 7.3	2 1.3	93 62.0	23 15.3	0 0.0	0 0.0	15 10.0	3 2.0
	60歳代	452 100.0	313 69.2	53 11.7	12 2.7	264 58.4	52 11.5	2 0.4	4 0.9	35 7.7	16 3.5
	70歳代	718 100.0	525 73.1	99 13.8	26 3.6	380 52.9	101 14.1	6 0.8	6 0.8	34 4.7	35 4.9
	80歳以上	212 100.0	151 71.2	43 20.3	9 4.2	97 45.8	21 9.9	1 0.5	1 0.5	13 6.1	16 7.5

※ ■ は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目(表の上側にある選択肢欄)をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

草加市の観光資源のイメージについて、性別で見ると、5ポイント以上の差があるものとしては、「国指定名勝「草加松原」(松並木等)」が、女性69.8%が男性64.2%より5.6ポイント高い。

年齢別で見ると、「国指定名勝「草加松原」(松並木等)」は、年齢が高くなるほど増加傾向にあり、70歳代及び80歳以上では7割を超えている。「松尾芭蕉像(札幌河岸公園等)」「歴史的文化財(寺社・仏閣・古民家等)」では80歳以上、「地場産業(せんべい・ゆかた・皮革等)」「企業・会社・民間施設等」では40歳代、「ふささら祭り」等のイベント」では50歳代の回答割合が他の年代と比べ比較的多くなっている。

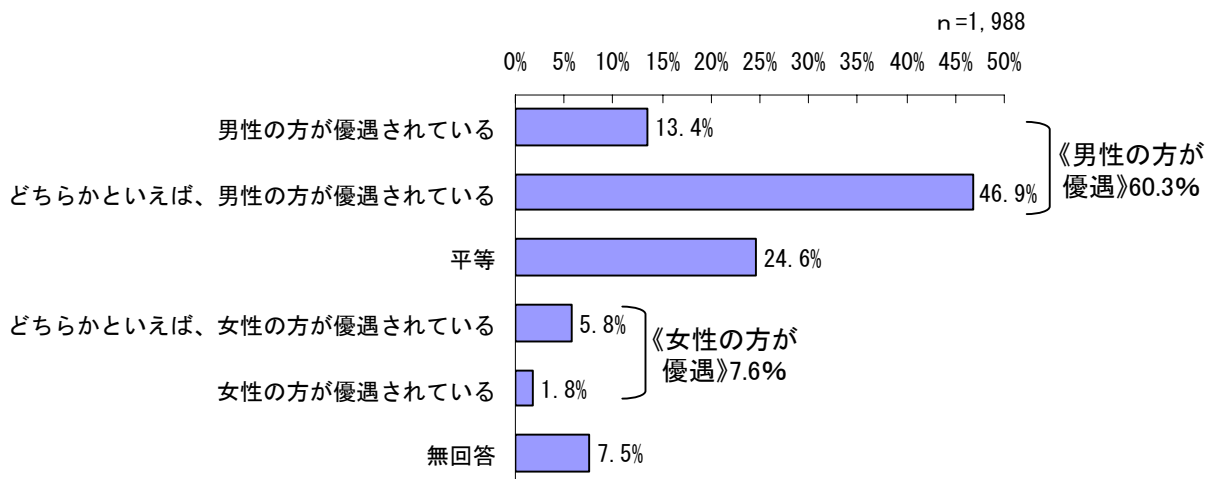
9

男女共同参画社会について

(1) 男女の地位は平等か

問 26 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)

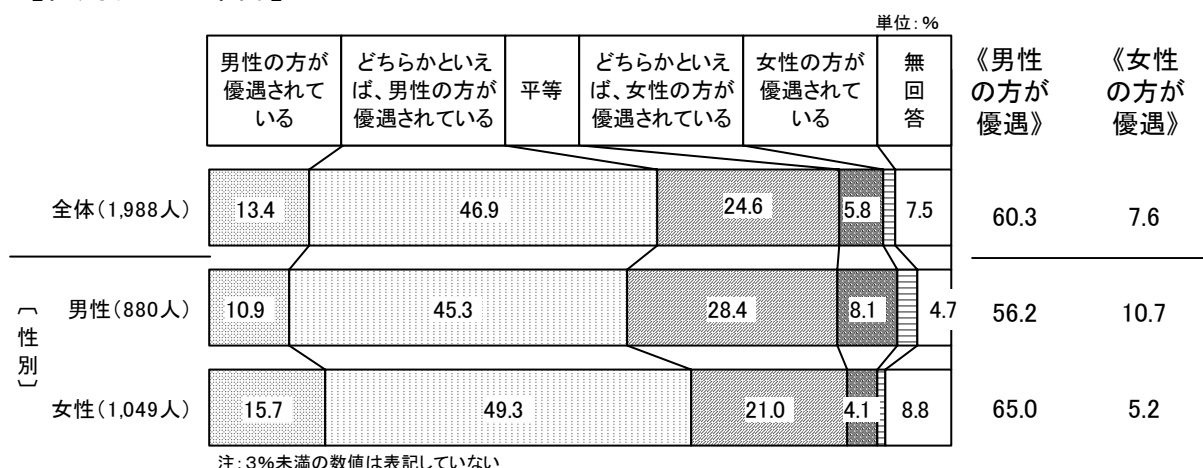
◎ 《男性の方が優遇》が6割を超える



男女の地位について、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が46.9%で最も多く、次いで「平等」24.6%、「男性の方が優遇されている」13.4%などである。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」を合わせた《男性の方が優遇》は、60.3%と6割を超えて多く、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」を合わせた《女性の方が優遇》は、7.6%と1割を切っている。

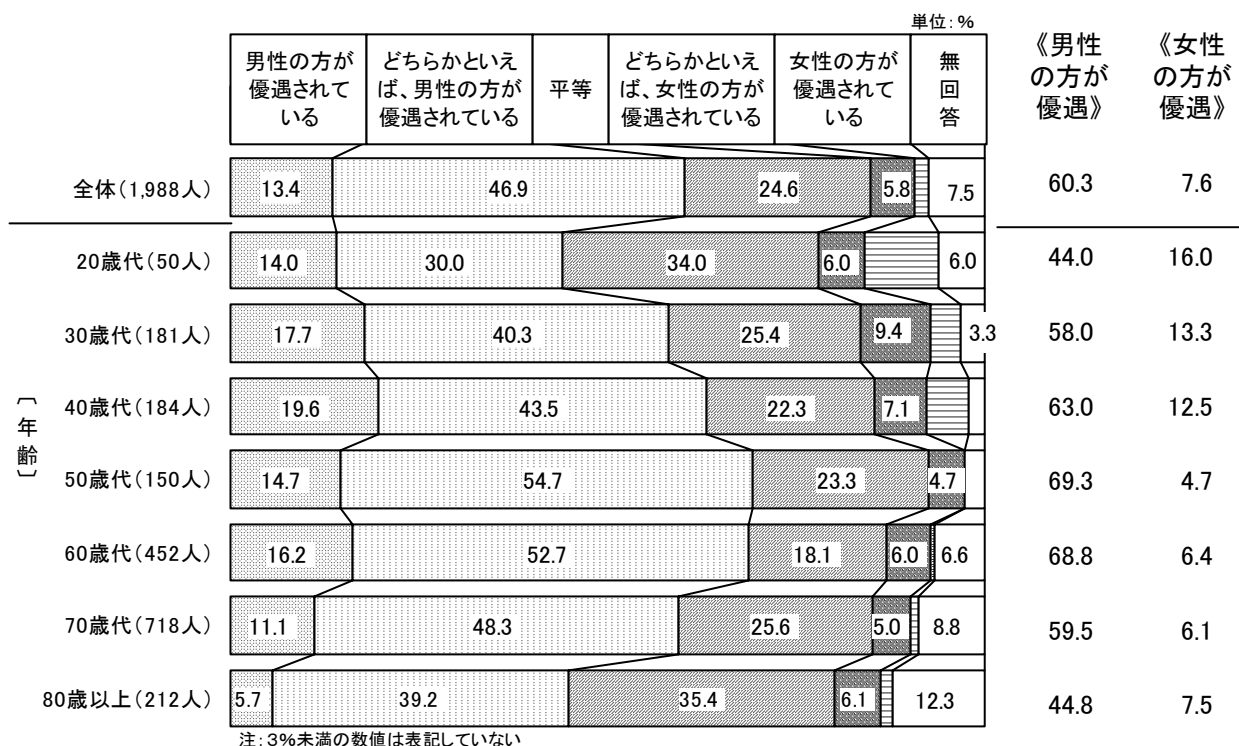
【性別クロス集計】



男女の地位について、性別で見ると、女性は《男性の方が優遇》65.0%が男性56.2%より多く、男性は《女性の方が優遇》10.7%が女性5.2%より多い。

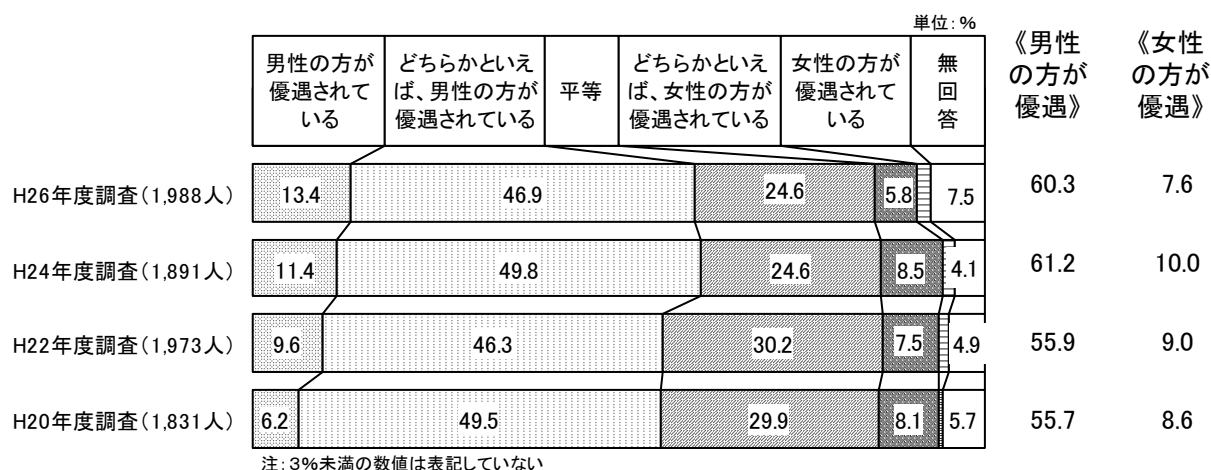
第3章 調査結果の分析

【年齢別クロス集計】



男女の地位について、年齢別でみると、《男性の方が優遇》が、「50歳代」69.3%と「60歳代」68.8%で7割近く、「20歳代」44.0%、「80歳以上」44.8%で半数を下回って低い。一方、《女性の方が優遇》は、「20歳代」16.0%と最も多く、「30歳代」「40歳代」はいずれも1割強、「50歳以上」では1割を下回る。

【過去の調査結果との比較】



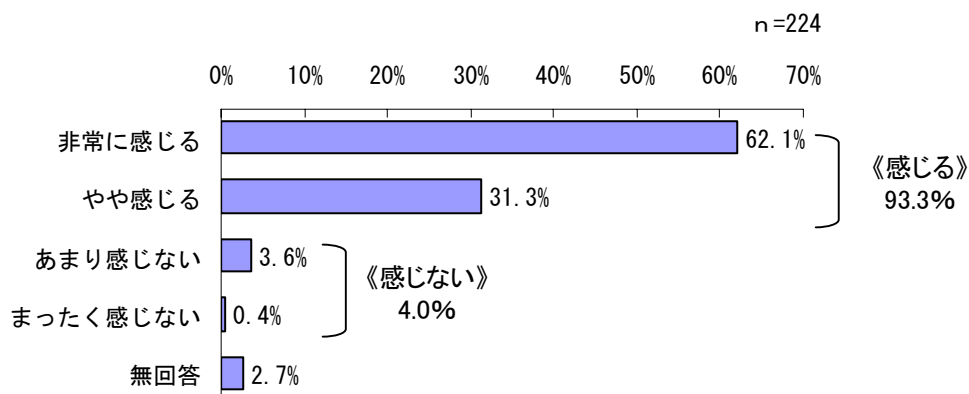
男女の地位について、過去の調査結果と比較すると、平成24年度から26年度にかけて「平等」の割合は変化していない。《男性の方が優遇》は、22年度から24年度にかけて5.3ポイント増となっているが、26年度では0.9ポイント微減した。《女性の方が優遇》は、24年度から26年度にかけて2.4ポイント減少した。

10 子育て・教育について

(1) 子育てに楽しみや喜びを感じるか

◇現在0歳～18歳のお子さんの子育てをしている方にお伺いします。
問 27-1 子育てに楽しみや喜びを感じますか。(○は1つ)

◎「非常に感じる」が6割を超える



子育てに楽しみや喜びを感じますかという設問について、「非常に感じる」が62.1%で6割を超えて特に多く、次いで「やや感じる」31.3%、「あまり感じない」3.6%などである。

「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた《感じる》は、93.3%と9割を超えており、「あまり感じない」と「まったく感じない」を合わせた《感じない》は、4.0%と非常に低い値となっている。

【性別・年齢別クロス集計】

単位：%

	非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	《感じる》	《感じない》
全体(224人)	62.1	31.3	3.6	0.4	2.7	93.3	4.0
〔性別〕							
男性(104人)	69.2	24.0	3.8	0.4	2.6	93.3	2.9
女性(118人)	55.9	38.1	4.2	0.4	2.4	94.1	5.1
〔年齢〕							
20歳代(15人)	60.0	26.7	6.7	6.7	0.0	86.7	13.3
30歳代(76人)	71.1	25.0	0.0	0.0	0.0	96.1	2.6
40歳代(77人)	59.7	36.4	3.9	0.0	0.0	96.1	3.9
50歳代(22人)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
60歳代(8人)	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0
70歳代(20人)	45.0	35.0	5.0	15.0	0.0	80.0	5.0
80歳以上(5人)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0

注：3%未満の数値は表記していない

子育てに楽しみや喜びを感じますかという設問について、性別で見ると、《感じる》は女性のほうが男性よりも若干多く9割を超えている。また、《感じない》は女性が5.1%で男性を2.2ポイント上回っている。

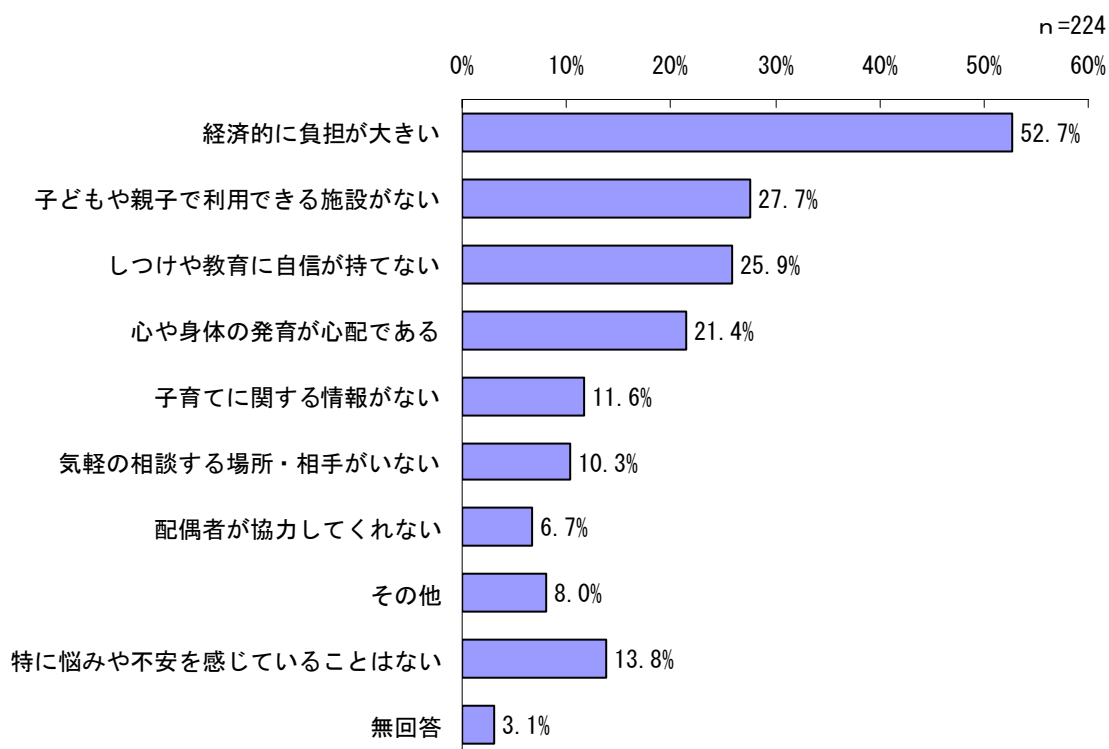
年齢別にみると、《感じる》が最も多いのは「50歳代」100.0%で、「30歳代」と「40歳代」がそれぞれ96.1%と9割を超えており、その他の年代も全て8割を超えて高くなっている。

(2) 子育ての悩み・不安

◇現在0歳～18歳のお子さんの子育てをしている方にお伺いします。

問 27-2 子育てをしていて悩みや不安はありますか。(〇はいくつでも)

◎「経済的に負担が大きい」が5割を超える



子育ての悩みや不安について、「経済的に負担が大きい」が52.7%で5割を超えて最も多く、次いで「子どもや親子で利用できる施設がない」27.7%、「しつけや教育に自信がない」25.9%と続いている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	しつけや教育に自信が持てない	気軽の相談する場所・相手がいない	子育てに関する情報がない	経済的に負担が大きい	配偶者が協力してくれない	心や身体の発育が心配である	子どもや親子で利用できる施設がない	その他	特に悩みや不安を感じていることはない	無回答
全体		224 100.0	58 25.9	23 10.3	26 11.6	118 52.7	15 6.7	48 21.4	62 27.7	18 8.0	31 13.8	7 3.1
性別	男性	104 100.0	21 20.2	9 8.7	13 12.5	55 52.9	2 1.9	24 23.1	34 32.7	10 9.6	16 15.4	4 3.8
	女性	118 100.0	37 31.4	14 11.9	13 11.0	63 53.4	13 11.0	24 20.3	28 23.7	8 6.8	14 11.9	2 1.7
年齢	20歳代	15 100.0	5 33.3	4 26.7	2 13.3	7 46.7	2 13.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0	0 0.0
	30歳代	76 100.0	23 30.3	9 11.8	12 15.8	31 40.8	3 3.9	14 18.4	31 40.8	10 13.2	8 10.5	1 1.3
	40歳代	77 100.0	19 24.7	6 7.8	7 9.1	53 68.8	7 9.1	24 31.2	21 27.3	6 7.8	7 9.1	0 0.0
	50歳代	22 100.0	5 22.7	1 4.5	2 9.1	15 68.2	1 4.5	1 4.5	2 9.1	0 0.0	5 22.7	0 0.0
	60歳代	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0
	70歳代	20 100.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	6 30.0	3 15.0
	80歳以上	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
	居住年数	1年未満	17 100.0	7 41.2	6 35.3	3 17.6	6 35.3	3 17.6	4 23.5	8 47.1	3 17.6	2 11.8
1年～5年		57 100.0	18 31.6	5 8.8	7 12.3	25 43.9	2 3.5	11 19.3	23 40.4	7 12.3	8 14.0	0 0.0
6年～10年		5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
11年～20年		13 100.0	3 23.1	1 7.7	2 15.4	7 53.8	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	2 15.4	1 7.7
21年以上		131 100.0	29 22.1	10 7.6	12 9.2	79 60.3	9 6.9	30 22.9	27 20.6	8 6.1	18 13.7	5 3.8

※ ■は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目(表の上側にある選択肢欄)をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

子育ての悩みや不安ついて、性別で見ると、男女差が5ポイント以上あるもので、「しつけや教育に自信がもてない」は女性が31.4%、男性が20.2%で、女性が男性より11.2ポイント高い。次に「配偶者が協力してくれない」は、女性が11.0%、男性が1.9%で、女性が男性より9.1ポイント高い。

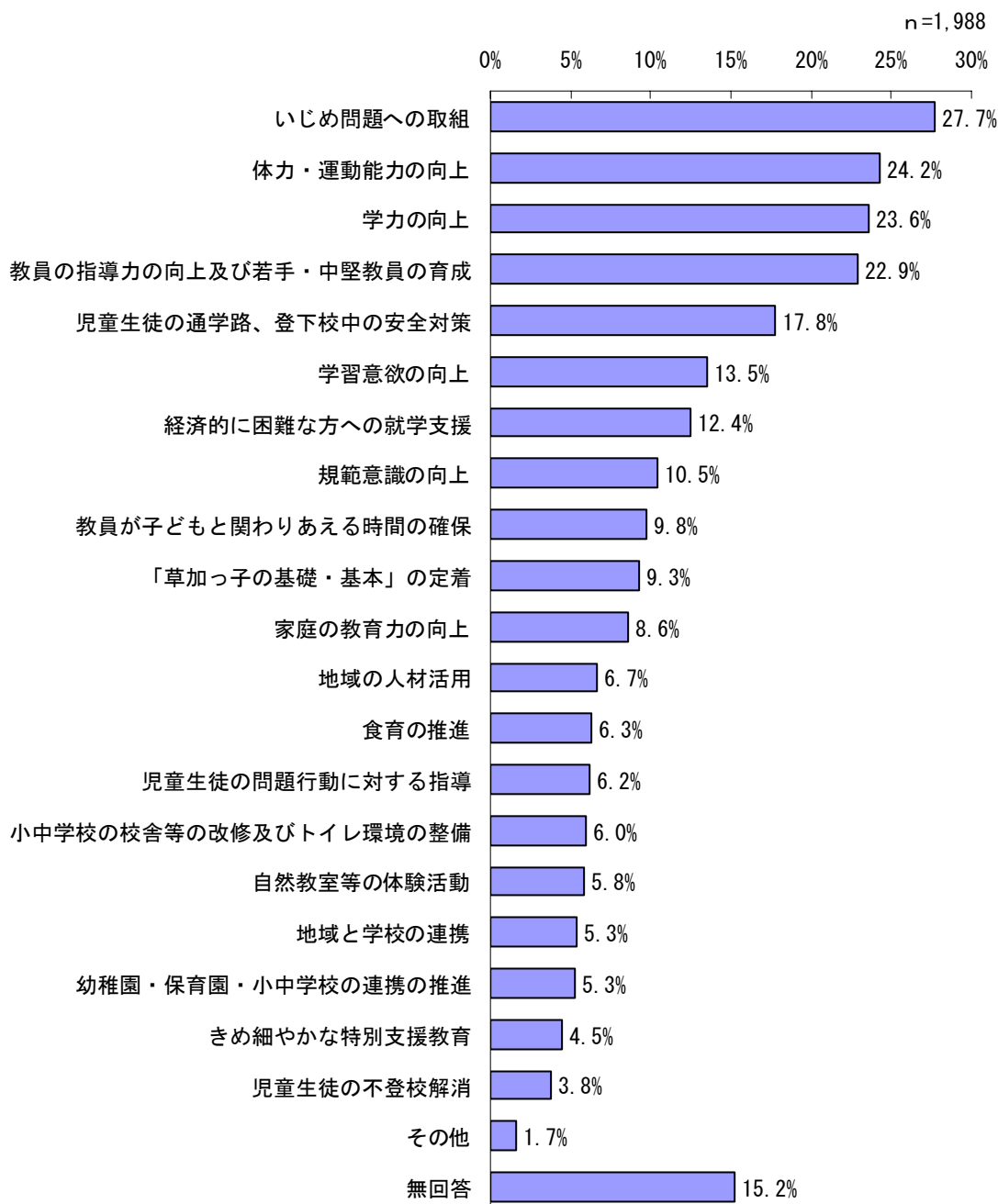
また逆に「子どもや親子で利用できる施設がない」は男性が32.7%、女性23.7%で、男性が女性より9.0ポイント高い。

居住年数別にみると、「子育てに関する情報がない」は「6～10年」、「経済的に負担が大きい」は「21年以上」の回答割合が他の居住年数に比べ多く、それ以外は「1年未満」の回答割合が多い。

(3) 小中学校教育で力を入れていくべきこと

問 28 あなたは、これからの草加市の小中学校教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

◎「いじめ問題への対応」が最も多いが、回答は分散傾向にある



草加市の小中学校教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、「いじめ問題への取組」が27.7%で最も多く、次いで「体力・運動能力の向上」24.2%、「学力の向上」23.6%、「教員の指導力の向上及び若手・中堅教員の育成」22.9%が20%を超えて多くなっている。

【18歳以下の子育てをしている方のクロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (1,988人)	いじめ問題への取組 27.7	体力・運動能力の向上 24.2	学力の向上 23.6	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 22.9	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 17.8
18歳以下の子どもを 育てている (224人)	いじめ問題への取組 32.1	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 31.7	学力の向上 31.3	体力・運動能力の向上 27.2	教員の指導力の向上及び若 手・中堅教員の育成 23.7

※ は、表の中で特徴的な項目を表す。

18歳以下の子育てをしている回答者を抽出すると、上位1位と3位は全体と同じ項目と順位である。

全体とは異なる項目として2位に「児童生徒の通学路、登下校中の安全対策」31.7%、4位に「体力・運動能力の向上」27.2%、5位に「教員の指導力の向上及び若手・中堅教員の育成」23.7%が入っている。

【年齢別クロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	いじめ問題への取組 27.7	体力・運動能力の向上 24.2	学力の向上 23.6	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 22.9	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 17.8	
年齢別	20歳代 (50人)	学力の向上 36.0	いじめ問題への取組 32.0	体力・運動能力の向上 30	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 24.0	学習意欲の向上 20.0
	30歳代 (181人)	いじめ問題への取組 34.8	体力・運動能力の向上 27.6	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 27.1	学力の向上 26.0	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 21.5
	40歳代 (184人)	いじめ問題への取組 37.0	学力の向上 30.4	体力・運動能力の向上 23.9	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 22.3	経済的に困難な方への 就学支援 18.5
	50歳代 (150人)	いじめ問題への取組 36.0	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 31.3	学力の向上 26.7	体力・運動能力の向上 22.7	学習意欲の向上 16.0
	60歳代 (452人)	いじめ問題への取組 31.2	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 27.0	体力・運動能力の向上 24.1	学力の向上 20.1	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 20.1
	70歳代 (718人)	体力・運動能力の向上 25.9	学力の向上 23.8	いじめ問題への取組 22.4	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 22.3	児童生徒の通学路、 登下校中の安全対策 15.9
	80歳以上 (212人)	学力の向上 20.3	体力・運動能力の向上 19.3	いじめ問題への取組 19.3	教員の指導力の向上及び 若手・中堅教員の育成 17.5	学習意欲の向上 15.1

草加市の小中学校教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、年齢別でみると、全体で1位の「いじめ問題への取組」は、「20歳代」の2位、「70歳代」と「80歳代以上」の3位となっている以外は、30～60歳代で1位となっている。

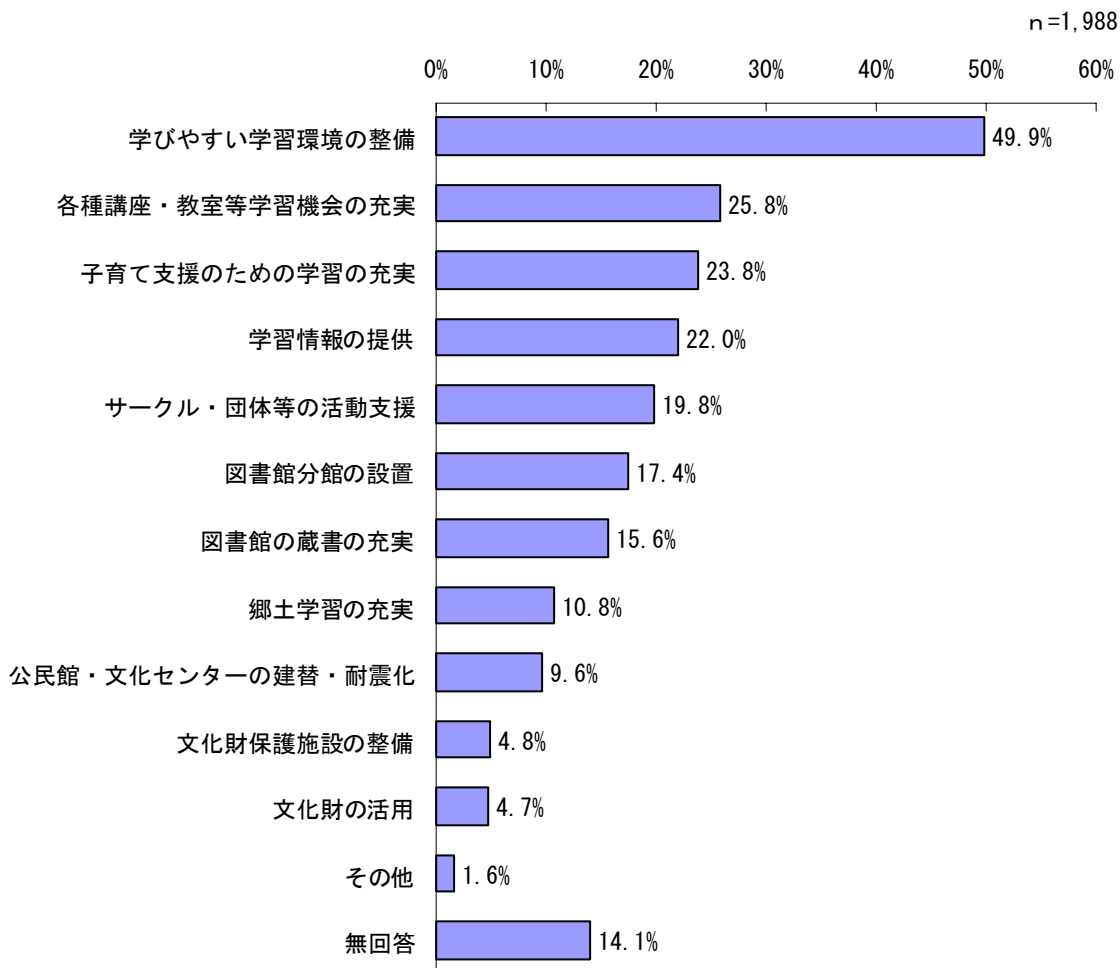
全体で2位の「体力・運動能力の向上」は、「20歳代」「40歳代」「60歳代」で3位、「80歳以上」で2位と、「50歳代」以外は全ての年代で上位3位以内に入っている。

また、全体で3位の「学力の向上」は「50歳代」以外の全ての年代で、全体の順位と異なっている。

(4) 生涯学習で力を入れていくべきこと

問 29 あなたは、これからの草加市の生涯学習を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

◎「学びやすい学習環境の整備」が約5割



草加市の生涯学習を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、「学びやすい学習環境の整備」が49.9%で約5割と最も多い。

次いで「各種講座・教室等学習機会の充実」25.8%、「子育て支援のための学習の充実」23.8%、「学習情報の提供」22.0%と多くなっている。

【性別・年齢別クロス集計・上位5位】

単位：％

区分		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (1,988人)		学びやすい学習環境 の整備 49.9	各種講座・教室等学習 機会の充実 25.8	子育て支援のための 学習の充実 23.8	学習情報の提供 22.0	サークル・団体等の 活動支援 19.8
性別	男性 (880人)	学びやすい学習環境 の整備 52.0	各種講座・教室等学習 機会の充実 25.7	子育て支援のための 学習の充実 25.1	学習情報の提供 24.3	サークル・団体等の 活動支援 20.9
	女性 (1,049人)	学びやすい学習環境 の整備 48.9	各種講座・教室等学習 機会の充実 26.8	子育て支援のための 学習の充実 23.7	学習情報の提供 20.7	サークル・団体等の 活動支援 19.4
年齢別	20歳代 (50人)	学びやすい学習環境 の整備 58.0	子育て支援のための 学習の充実 36.0	学習情報の提供 20.0	図書館分館の設置 14.0	公民館・文化センター の建替・耐震化 12.0
	30歳代 (181人)	学びやすい学習環境 の整備 56.4	子育て支援のための 学習の充実 38.7	図書館分館の設置 23.8	学習情報の提供 23.2	各種講座・教室等学習 機会の充実 23.2
	40歳代 (184人)	学びやすい学習環境 の整備 54.3	学習情報の提供 28.3	各種講座・教室等学習 機会の充実 27.2	図書館分館の設置 26.1	子育て支援のための 学習の充実 23.4
	50歳代 (150人)	学びやすい学習環境 の整備 57.3	各種講座・教室等学習 機会の充実 34.0	子育て支援のための 学習の充実 24.7	学習情報の提供 23.3	サークル・団体等の 活動支援 20.0
	60歳代 (452人)	学びやすい学習環境 の整備 46.7	各種講座・教室等学習 機会の充実 32.1	学習情報の提供 27.4	子育て支援のための 学習の充実 24.8	サークル・団体等の 活動支援 19.5
	70歳代 (718人)	学びやすい学習環境 の整備 49.9	サークル・団体等の活 動支援 24.4	各種講座・教室等学習 機会の充実 23.4	子育て支援のための 学習の充実 21.2	学習情報の提供 18.8
	80歳以上 (212人)	学びやすい学習環境 の整備 44.8	各種講座・教室等学習 機会の充実 21.7	子育て支援のための 学習の充実 19.3	学習情報の提供 17.0	サークル・団体等の 活動支援 17.0

※ 〇は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

草加市の生涯学習を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、性別でみると、男女ともに全体と同じ項目・順位となっている。

年齢別でみると、全体で1位の「学びやすい学習環境の整備」が全ての年代で1位に入っている。また、全体の上位5位に入っていない項目では、「図書館分館の設置」が「30歳代」で3位、「20歳代」と「40歳代」で4位に、「公民館・文化センターの建替・耐震化」が「20歳代」で5位に入っている。

【居住地域クロス集計・上位5位】

単位：%

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (1,988人)	学びやすい学習環境の整備 49.9	各種講座・教室等学習機会の充実 25.8	子育て支援のための学習の充実 23.8	学習情報の提供 22.0	サークル・団体等の活動支援 19.8	
居住地域別	新田西部 (324人)	学びやすい学習環境の整備 49.1	サークル・団体等の活動支援 26.9	各種講座・教室等学習機会の充実 25.9	図書館の蔵書の充実 23.1	子育て支援のための学習の充実 21.9
	新田東部 (262人)	学びやすい学習環境の整備 51.5	子育て支援のための学習の充実 26.7	サークル・団体等の活動支援 26.0	各種講座・教室等学習機会の充実 20.2	図書館の蔵書の充実 19.5
	草加川柳 (154人)	学びやすい学習環境の整備 44.2	各種講座・教室等学習機会の充実 26.0	子育て支援のための学習の充実 25.3	サークル・団体等の活動支援 25.3	図書館の蔵書の充実 24.7
	草加安行 (277人)	学びやすい学習環境の整備 53.8	サークル・団体等の活動支援 28.2	子育て支援のための学習の充実 26.4	文化財の活用 19.5	図書館の蔵書の充実 18.4
	草加西部 (230人)	学びやすい学習環境の整備 50.4	サークル・団体等の活動支援 25.7	子育て支援のための学習の充実 24.3	各種講座・教室等学習機会の充実 23.9	文化財保護施設の整備 19.1
	草加東部 (212人)	学びやすい学習環境の整備 47.2	文化財保護施設の整備 25.5	サークル・団体等の活動支援 24.1	各種講座・教室等学習機会の充実 23.1	子育て支援のための学習の充実 21.7
	草加稲荷 (67人)	学びやすい学習環境の整備 53.7	サークル・団体等の活動支援 28.4	図書館の蔵書の充実 23.9	各種講座・教室等学習機会の充実 22.4	子育て支援のための学習の充実 22.4
	谷塚西部 (202人)	学びやすい学習環境の整備 50.0	子育て支援のための学習の充実 23.8	サークル・団体等の活動支援 20.3	図書館の蔵書の充実 18.3	文化財保護施設の整備 18.3
	谷塚中央 (138人)	学びやすい学習環境の整備 47.8	サークル・団体等の活動支援 28.3	各種講座・教室等学習機会の充実 23.9	子育て支援のための学習の充実 22.5	図書館の蔵書の充実 21.0
	谷塚東部 (121人)	学びやすい学習環境の整備 51.2	各種講座・教室等学習機会の充実 27.3	サークル・団体等の活動支援 25.6	文化財保護施設の整備 23.1	図書館の蔵書の充実 22.3

※ は、表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

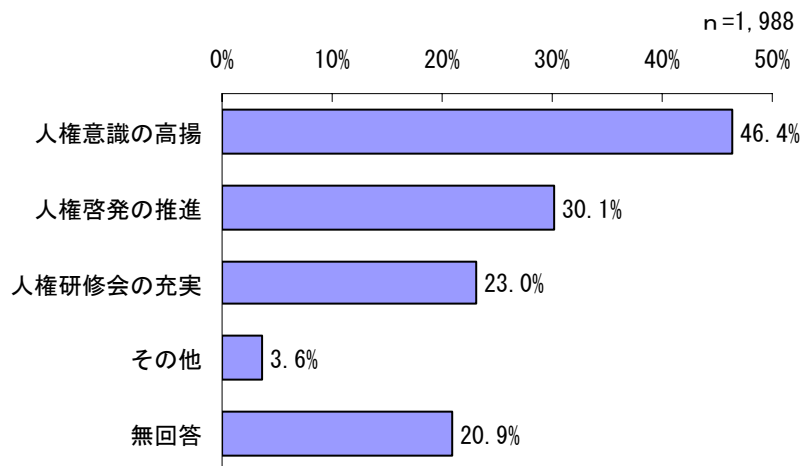
草加市の生涯学習を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、居住地域別でみると、全体で1位の「学びやすい学習環境の整備」が全ての居住地域で1位に入っている。

全体の上位5位に入っていない項目では、「図書館の蔵書の充実」が「草加稲荷」で3位、「新田西部」と「谷塚西部」で4位に、「新田東部」「草加川柳」「草加安行」「谷塚中央」「谷塚東部」で5位に入っている。また、「文化財の活用」が「草加安行」で4位、「文化財保護施設の整備」が「草加東部」で2位、「谷塚東部」で4位、「草加西部」と「谷塚西部」で5位に入っている。

(5) 人権教育で力を入れていくべきこと

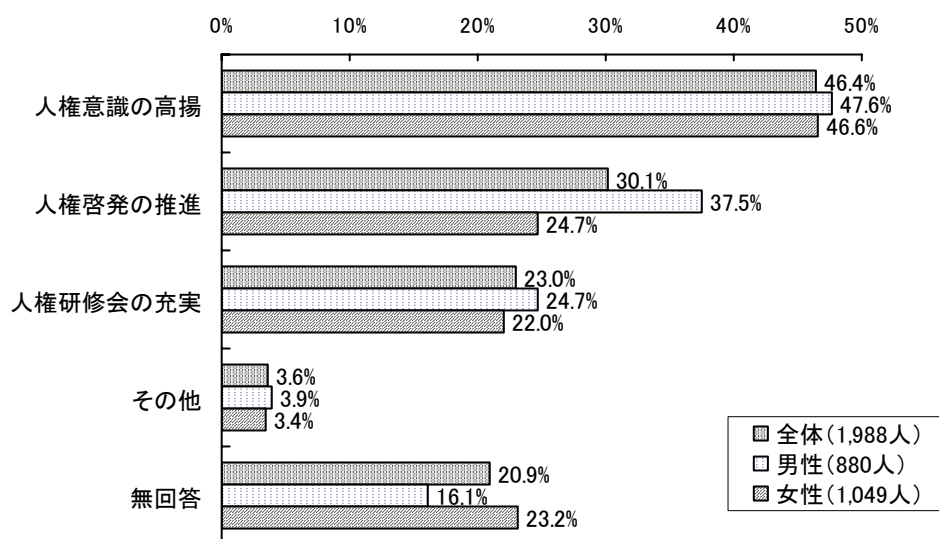
問 30 あなたは、これからの草加市の人権教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

◎「人権意識の高揚」が4割後半で最も多い



草加市の人権教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、「人権意識の高揚」が46.4%で最も多く、次いで「人権啓発の推進」30.1%、「人権研修会の充実」23.0%が続いている。

【性別クロス集計】



性別で見ると、男女差が5ポイント以上ついているものは「人権啓発の推進」で、男性37.5%が女性24.7%で、男性が女性を12.8ポイント上回っている。

【年齢別クロス集計】

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	人権意識の高揚	人権啓発の推進	人権研修会の充実	その他	無回答
全体		1,988 100.0	922 46.4	599 30.1	458 23.0	71 3.6	416 20.9
年齢	20歳代	50 100.0	27 54.0	14 28.0	7 14.0	2 4.0	8 16.0
	30歳代	181 100.0	89 49.2	58 32.0	28 15.5	16 8.8	20 11.0
	40歳代	184 100.0	93 50.5	68 37.0	31 16.8	11 6.0	14 7.6
	50歳代	150 100.0	79 52.7	54 36.0	19 12.7	1 0.7	20 13.3
	60歳代	452 100.0	217 48.0	135 29.9	116 25.7	12 2.7	69 15.3
	70歳代	718 100.0	317 44.2	205 28.6	193 26.9	23 3.2	198 27.6
	80歳以上	212 100.0	90 42.5	60 28.3	59 27.8	5 2.4	65 30.7

※ は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

草加市の人権教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきかについて、年齢別でみると、「人権意識の高揚」は「20歳代」54.0%、「50歳代」52.7%、「40歳代」50.5%の順に多く、いずれも5割を超えている。

「人権啓発の推進」は「40歳代」37.0%が最も高く、次いで「50歳代」36.0%、「30歳代」32.0%と3割を超えて多くなっている。

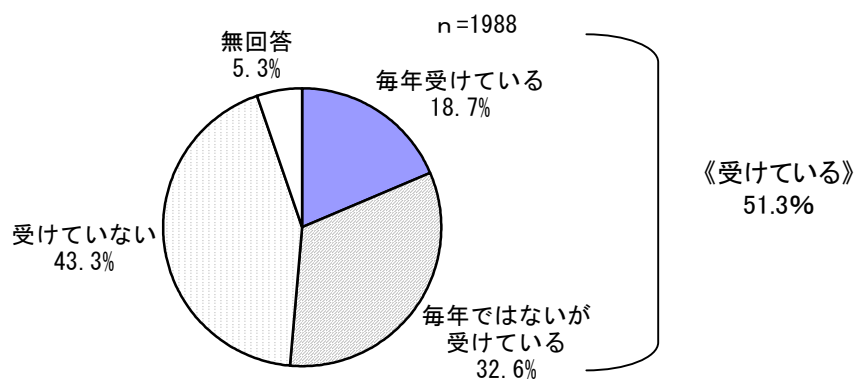
「人権研修会の充実」は、「80歳以上」27.8%が最も多く、次いで「70歳代」26.9%、「60歳代」25.7%となっている。

11 健康・スポーツ・医療について

(1) 胃がん検診受診の有無

問31 あなたは、胃がん検診を受けていますか。(〇は1つ)

◎ 《受けている》は5割、「受けていない」は4割を超える



胃がん検診を受けているかについて、「受けていない」が43.3%で最も多く、「毎年ではないが受けている」32.6%、「毎年受けている」18.7%と続いている。

「毎年受けている」と「毎年ではないが受けている」を合わせた《受けている》は51.3%で5割を超えている。

◆『受けていない』理由

「受けていない」と回答した316人の主な回答内容は下記の通りである。

- 別の健康診断を受けているから (42件)
- 異常がないから (32件)
- 必要ないから (31件)
- 機会がないから (31件)
- 健康だから (25件)

【性別・年齢別クロス集計】

単位：%

		毎年受けている	毎年ではないが受けている	受けていない	無回答	《受けている》
全体(1,988人)		18.7	32.6	43.3	5.3	51.3
〔性別〕	男性(880人)	20.7	34.9	40.5	4.0	55.6
	女性(1,049人)	17.3	31.2	46.0	5.4	48.5
20歳代(50人)		4.0	4.0	92.0		8.0
30歳代(181人)		8.8	15.5	74.0		24.3
〔年齢〕	40歳代(184人)	17.9	22.3	58.7		40.2
	50歳代(150人)	24.0	24.0	48.7	3.3	48.0
	60歳代(452人)	20.8	37.8	37.6	3.8	58.6
	70歳代(718人)	21.2	39.1	33.6	6.1	60.3
	80歳以上(212人)	17.0	36.3	35.8	10.8	53.3

注：3%未満の数値は表記していない

胃がん検診を受けているかについて、性別で見ると《受けている》は男性が女性を7.1ポイント上回っており、「受けていない」は女性が男性を5.5ポイント上回っている。

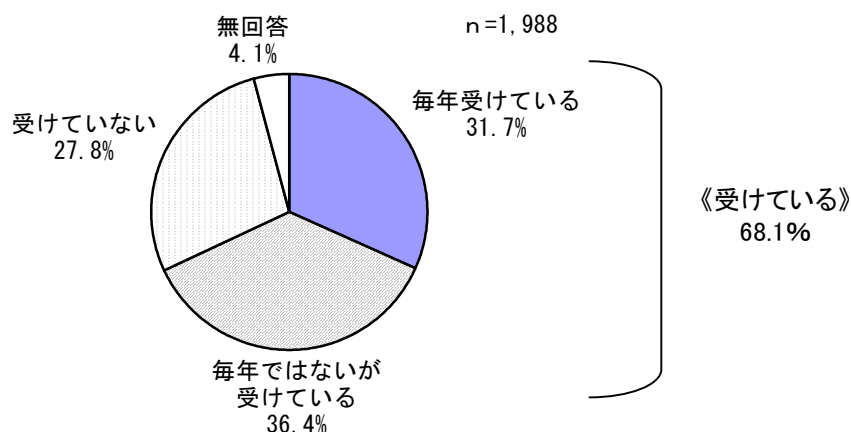
年齢別で見ると《受けている》は「70歳代」60.3%が最も多く6割を超えており、次いで「60歳代」58.6%、「80歳以上」53.3%と5割を超えて続いている。

「受けていない」は「20歳代」92.0%が9割を超えて多く、「30歳代」74.0%、「40歳代」58.7%と半数を超えている。

(2) 歯科健診受診の有無

問 32 あなたは、この一年間で歯科健診を受けていますか。(〇は1つ)

◎ 《受けている》は約7割



歯科健診を受けているかについて、「毎年ではないが受けている」が36.4%で最も多く、「毎年受けている」31.7%、「受けていない」27.8%と続いている。

「毎年受けている」と「毎年ではないが受けている」を合わせた《受けている》は68.1%で7割近くになっている。

◆ 『受けていない』理由

「受けていない」と回答した214人の主な回答内容は下記の通りである。

- 虫歯がない・痛みがないから (42件)
- 定期的に通院しているから (22件)
- 時間がないから (21件)
- 入れ歯だから (21件)
- 治療の際に見てもらおうから (16件)

【性別・年齢別クロス集計】

単位：%

		毎年受けている	毎年ではないが受けている	受けていない	無回答	《受けている》
全体(1,988人)		31.7	36.4	27.8	4.1	68.1
〔性別〕	男性(880人)	28.2	39.1	29.5	3.2	67.3
	女性(1,049人)	34.8	34.3	26.7	4.2	69.1
〔年齢〕	20歳代(50人)	18.0	30.0	52.0		48.0
	30歳代(181人)	23.2	32.6	42.5		55.8
	40歳代(184人)	21.7	38.0	39.7		59.8
	50歳代(150人)	24.0	39.3	32.7	4.0	63.3
	60歳代(452人)	33.6	37.6	25.2	3.5	71.2
	70歳代(718人)	36.6	38.0	21.3	4.0	74.7
	80歳以上(212人)	37.3	31.1	23.6	8.0	68.4

注：3%未満の数値は表記していない

歯科健診を受けているかについて、性別で見ると《受けている》は女性が69.1%で男性を1.8ポイント上回っており、「受けていない」は男性が29.5%で女性を2.8ポイント上回っている。

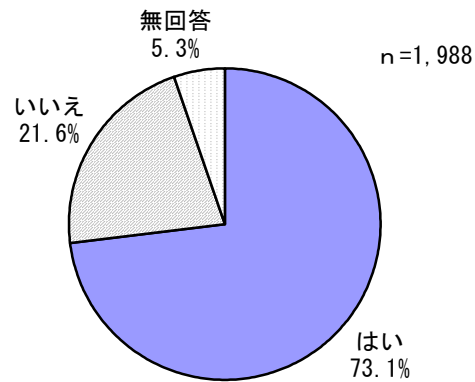
年齢別で見ると《受けている》は「70歳代」74.7%が最も多く、次に「60歳代」71.2%と7割を超えている。

「受けていない」は「20歳代」52.0%が5割を超えて最も多く、年代が高くなるにつれて減少傾向にあるが、「80歳以上」では最も少ない「70歳代」より若干増加している。

(3) スポーツに取り組みたいか

問 33 あなたは、健康を考え、スポーツに取り組みたいと思いますか。(〇は1つ)

◎ 「はい」は7割、「いいえ」は2割を超える



健康を考え、スポーツに取り組みたいと思っているかをたずねたところ、「はい」73.1%、「いいえ」21.6%である。

【過去の調査結果との比較】

	はい	いいえ	無回答
H26年度調査(1,988人)	73.1	21.6	5.3
H24年度調査(1,891人)	78.5	19.0	

注: 3%未満の数値は表記していない

健康を考え、スポーツに取り組みたいと思っているかについて、過去の調査結果と比較すると、「はい」は平成26年度を24年度と比較すると5.4ポイント減少した。

「いいえ」は、26年度は24年度と比較すると2.6ポイント増加した。

【性別・年齢別・居住地地域別クロス集計】

単位：%

		はい	いいえ	無回答
〔性別〕	全体(1,988人)	73.1	21.6	5.3
	男性(880人)	76.5	19.9	3.6
	女性(1,049人)	72.1	22.7	5.2
〔年齢〕	20歳代(50人)	94.0		6.0
	30歳代(181人)	80.7	17.1	
	40歳代(184人)	85.3	14.1	
	50歳代(150人)	72.0	24.7	3.3
	60歳代(452人)	74.8	21.2	4.0
	70歳代(718人)	70.5	24.2	5.3
	80歳以上(212人)	64.2	24.5	11.3
	〔居住地〕	新田西部(324人)	72.8	22.2
新田東部(262人)		73.3	21.4	5.3
草加川柳(154人)		72.7	24.0	3.2
草加安行(277人)		73.3	20.9	5.8
草加西部(230人)		74.8	18.3	7.0
草加東部(212人)		75.9	19.8	4.2
草加稻荷(67人)		77.6	16.4	6.0
谷塚西部(202人)		67.8	24.3	7.9
谷塚中央(138人)		73.2	23.2	3.6
谷塚東部(121人)		72.7	24.0	3.3

注：3%未満の数値は表記していない

健康を考え、スポーツに取り組みたいと思っているかについて、性別で見ると、「はい」は、男性76.5%が女性72.1%より4.4ポイント高い。女性は「いいえ」が2割を超えている。

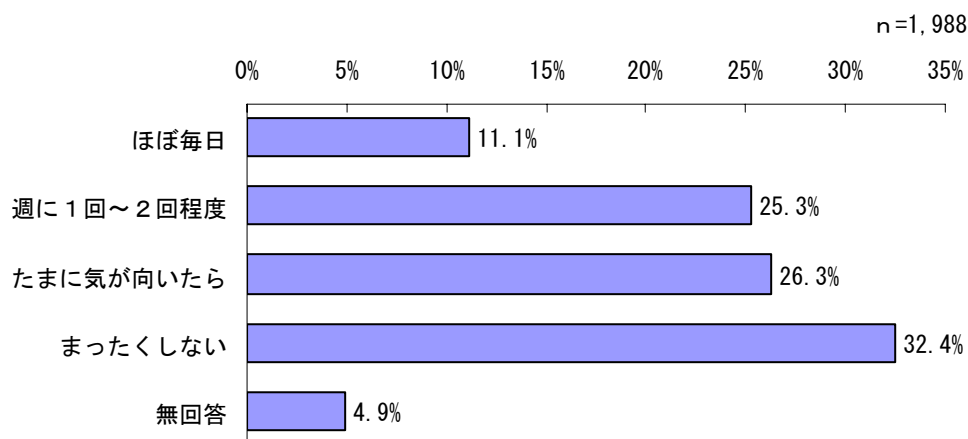
年齢別で見ると、「はい」は、「20歳代」から「40歳代」にかけていずれも8割を超えて多い。「いいえ」は50歳以上で2割を超えている。

居住地地域別で見ると、「はい」は、「草加稲荷」77.6%が最も多く、「谷塚西部」67.8%を除き全ての居住地で7割を超えている。

(4) スポーツを行う頻度

問 34 あなたは、1週間でどのくらいの頻度でスポーツを行っていますか。(〇は1つ)

◎「まったくしない」が最も多く、3割を超える



1週間あたりでスポーツを行う頻度は、「まったくしない」が32.4%で最も多く、次いで「たまに気が向いたら」26.3%、「週に1回～2回程度」25.3%、「ほぼ毎日」11.1%と続いている。

【過去の調査結果との比較】

単位：%

	ほぼ毎日	週に1回～2回程度	たまに気が向いたら	まったくしない	無回答
H26年度調査(1,988人)	11.1	25.3	26.3	32.4	4.9
H24年度調査(1,891人)	8.2	23.2	30.1	35.7	

注：3%未満の数値は表記していない

1週間あたりでスポーツを行う頻度について、過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は平成26年度を24年度と比較すると2.9ポイント、「週に1回～2回程度」は2.1ポイント増加した。

「たまに気が向いたら」は26年度を24年度と比較すると3.8ポイント、「まったくしない」は3.3ポイントそれぞれ減少した。

【性別・年齢別・居住地域別クロス集計】

単位：%

		ほぼ毎日	週に1回～ 2回程度	たまに気が 向いたら	まったくしない	無回答
全体(1,988人)		11.1	25.3	26.3	32.4	4.9
〔性別〕	男性(880人)	10.7	26.7	29.5	29.3	3.8
	女性(1,049人)	11.3	24.6	24.4	34.7	5.0
〔年齢〕	20歳代(50人)	14.0	44.0	40.0	0.0	
	30歳代(181人)	5.0	17.7	35.9	39.8	
	40歳代(184人)	3.8	21.7	36.4	37.5	
	50歳代(150人)	3.3	20.7	30.0	42.7	3.3
	60歳代(452人)	11.7	28.3	26.1	30.1	3.8
	70歳代(718人)	16.0	31.1	20.9	26.6	5.4
	80歳以上(212人)	12.3	17.5	23.1	36.8	10.4
	新田西部(324人)	13.0	25.9	23.5	33.6	4.0
〔居住地域〕	新田東部(262人)	9.5	29.0	26.3	30.2	5.0
	草加川柳(154人)	11.7	25.3	29.9	30.5	
	草加安行(277人)	13.0	24.5	23.5	35.4	3.6
	草加西部(230人)	12.6	26.1	25.2	29.1	7.0
	草加東部(212人)	9.4	23.6	30.7	32.5	3.8
	草加稲荷(67人)	11.9	22.4	25.4	32.8	7.5
	谷塚西部(202人)	8.4	23.8	27.2	32.7	7.9
	谷塚中央(138人)	10.9	26.8	31.2	29.0	
谷塚東部(121人)	9.1	20.7	24.0	38.8	7.4	

注：3%未満の数値は表記していない

1週間あたりでスポーツを行う頻度について、性別で見ると、「ほぼ毎日」「まったくしない」は女性が男性より多く、「週に1回～2回程度」「たまに気が向いたら」はいずれも男性が女性より多い。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日」「週に1回～2回程度」は「70歳代」が最も多く、「たまに気が向いたら」は「20歳代」44.0%、「まったくしない」は「50歳代」42.7%が最も多くなっている。

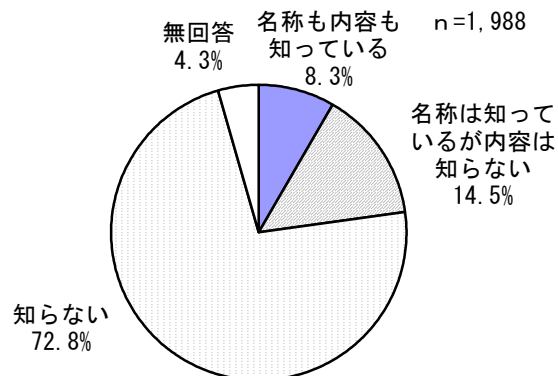
居住地域別で見ると、「ほぼ毎日」は、「新田西部」「草加安行」がともに13.0%で最も多い。一方、「まったくしない」は、「谷塚東部」38.8%、「草加安行」35.4%、「新田西部」33.6%の順に多い。

(5) SKT24の認知度

問 35 あなたは、草加市で推進している、ひとりひとりの生活に応じた運動を習慣とする健康づくりの取組「SKT24※」を知っていますか。(〇は1つ)

※SKT(エス・ケー・ティ)24……草加市が「スポーツ健康都市宣言」のもと、「S(スポーツ)・K(健康)・T(都市)・24(平成24年度から24万市民が週当たり24エクササイズの運動量を目指す)」として推進する、スポーツを通じた心と身体の健康づくり事業

◎「知らない」が7割を超える



SKT24について、「知らない」が72.8%で最も多く、「名称は知っているが内容は知らない」14.5%、「名称も内容も知っている」8.3%と続いている。

【性別・年齢別・居住地域別クロス集計】

単位：%

		名称も内容も知っている	名称は知っているが内容は知らない	知らない	無回答
全体(1,988人)		8.3	14.5	72.8	4.3
〔性別〕	男性(880人)	6.3	14.1	76.5	3.2
	女性(1,049人)	9.8	15.3	70.4	4.4
〔年齢〕	20歳代(50人)	8.0	8.0	82.0	
	30歳代(181人)	6.1	16.0	76.2	
	40歳代(184人)	3.8	19.0	76.6	
	50歳代(150人)	7.3	12.7	76.0	4.0
	60歳代(452人)	8.4	11.9	77.0	
	70歳代(718人)	9.9	17.1	67.8	5.2
	80歳以上(212人)	9.4	10.8	72.2	7.5
〔居住地域〕	新田西部(324人)	8.0	16.0	70.7	5.2
	新田東部(262人)	6.9	13.4	76.0	3.8
	草加川柳(154人)	8.4	8.4	81.2	
	草加安行(277人)	10.1	13.4	73.3	3.2
	草加西部(230人)	9.6	18.3	66.5	5.7
	草加東部(212人)	9.4	16.5	68.4	5.7
	草加稲荷(67人)	7.5	13.4	74.6	4.5
	谷塚西部(202人)	6.9	12.4	75.2	5.4
	谷塚中央(138人)	6.5	14.5	76.1	
	谷塚東部(121人)	8.3	17.4	71.1	3.3

注：3%未満の数値は表記していない

SKT24 について、性別で見ると、「名称も内容も知っている」「名称は知っているが内容は知らない」はいずれも女性が男性を上回っている。

年齢別で見ると、「名称も内容も知っている」は「70歳代」9.9%、「名称は知っているが内容は知らない」は「40歳代」19.0%が最も多く、「知らない」は「20歳代」82.0%が8割を超えて最も多い。

居住地域別で見ると、「名称も内容も知っている」は「草加安行」が10.1%、「名称は知っているが内容は知らない」は「草加西部」が18.3%で最も多く、一方、「知らない」は「草加川柳」で81.2%と8割を超え、最も多い。

(6) 行いたいスポーツ

問 36 あなたは、どのようなスポーツを行いたいと思いますか。自由にお書きください。

◎球技が最も多い

回答があった1,188人の内容を、下記にまとめた。

◆球技《687件》

- グラウンドゴルフ・ゲートボール・パークゴルフ (194件)
- テニス・スカッシュ・バウンドテニス・ミニテニス・インディアカ (92件)
- ゴルフ (91件)
- 野球・ソフトボール・キャッチボール (85件)
- 卓球 (65件)
- サッカー・フットサル (54件)
- バドミントン (42件)
- ボウリング (23件)
- バレーボール・ソフトバレーボール・ビーチバレー (20件)
- バスケットボール (19件)
- ラグビー (2件)

◆歩く・走る《455件》

- ウォーキング・散歩・ハイキング (231件)
- ランニング・ジョギング・マラソン・競歩 (209件)
- 山登り・トレッキング (15件)

◆体操・エクササイズ《155件》

- エクササイズ・ヨガ・ストレッチ・ピラティス・太極拳・気功・エアロビクス (107件)
- 体操・健康体操・ラジオ体操・リズム体操 (48件)

◆プール・海《127件》

- 水泳・プール (115件)
- サーフィン (6件)
- スキューバダイビング・ダイビング (3件)
- ヨット・カヌー (3件)

◆サイクリング《36件》

- サイクリング (35件)
- クロスバイク (1件)

◆ダンス《28件》

- ダンス・ジャズダンス・社交ダンス・フォークダンス・フラダンス・リズムダンス (27件)
- 民謡踊り (1件)

◆トレーニング《19件》

- 筋肉トレーニング・ウェイトトレーニング・器具を使ったトレーニング (19件)

◆武道・格闘技《10件》

- 剣道・柔道・空手・合気道 (7件)
- ボクシング (2件)
- 弓道 (1件)

◆ウィンタースポーツ《7件》

- スキー・スノーボード (6件)
- アイススケート (1件)

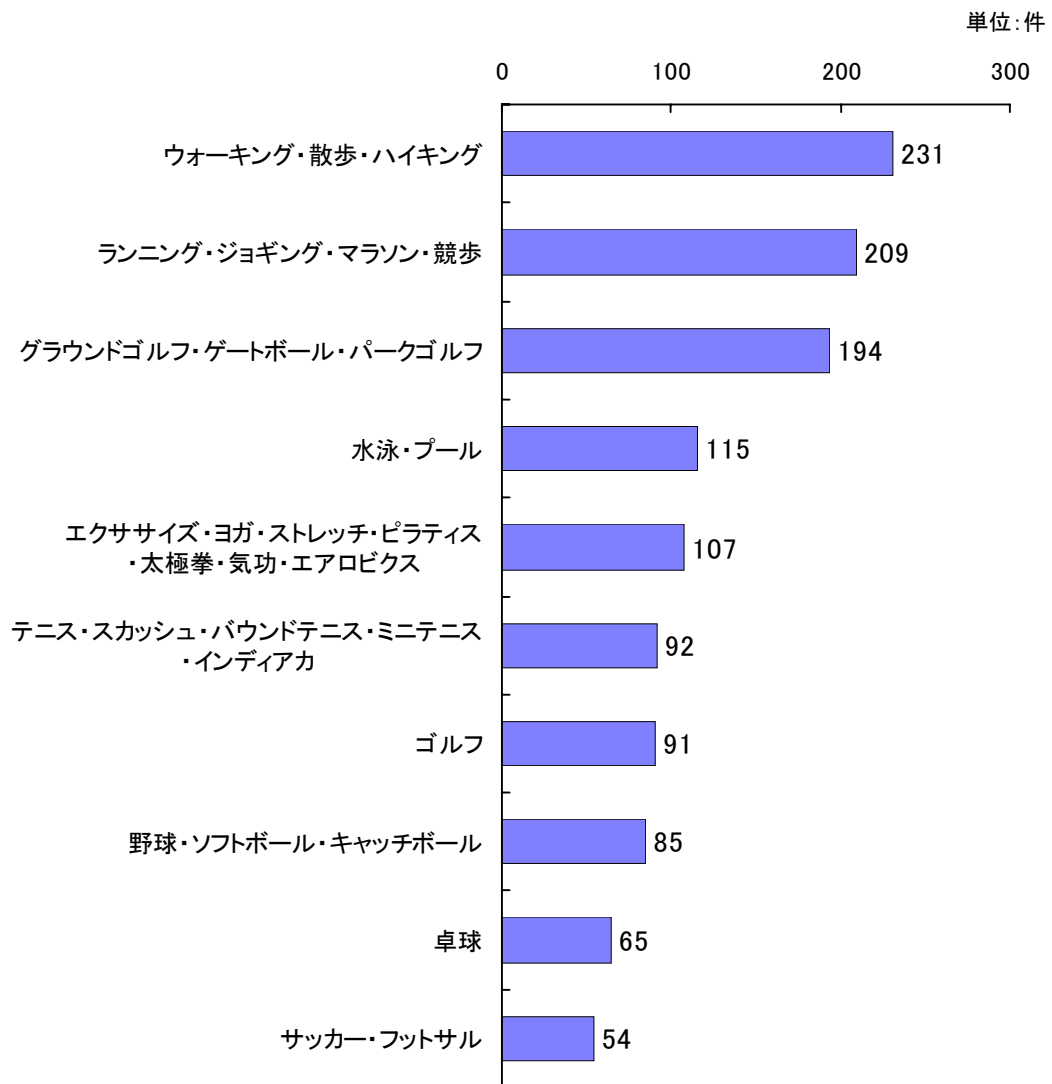
◆クライミング《3件》

- フリークライミング・ボルダリング (3件)

◆その他《40件》

- その他のスポーツ (スポーツ吹矢・ユニカール・ダーツ・釣り・室内でできるものなど) (40件)

【行いたいスポーツ・上位 10 位】

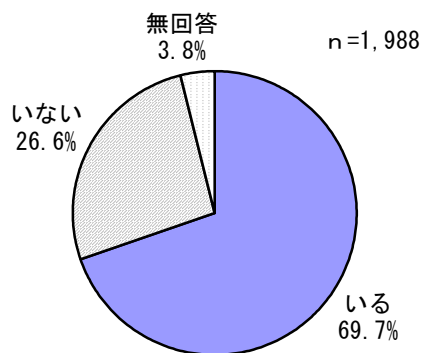


行いたいスポーツをまとめた 125～126 ページの結果から、上位 10 位をグラフで示した。

(7) 「かかりつけ医」の有無

問 37 あなたは、一次医療機関（地域の身近な診療所）の「かかりつけ医」がいますか。（○は1つ）

◎「いる」が約7割



一次医療機関の「かかりつけ医」がいるかについて、「いる」69.7%が約7割と「いない」26.6%を大きく上回っている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

単位：%

		いる	いない	無回答
〔性別〕	全体(1,988人)	69.7	26.6	3.8
	男性(880人)	68.4	28.9	
	女性(1,049人)	70.4	25.5	4.1
〔年齢〕	20歳代(50人)	32.0	68.0	
	30歳代(181人)	44.8	53.6	
	40歳代(184人)	45.7	53.3	
	50歳代(150人)	58.0	37.3	4.7
	60歳代(452人)	72.8	24.1	3.1
	70歳代(718人)	81.2	15.0	3.8
	80歳以上(212人)	84.0	9.0	7.1
〔居住年数〕	1年未満(57人)	29.8	68.4	
	1年～5年(134人)	35.1	63.4	
	6年～10年(13人)	69.2	30.8	
	11年～20年(40人)	70.0	25.0	5.0
	21年以上(1,719人)	73.7	22.5	3.8

注：3%未満の数値は表記していない

一次医療機関の「かかりつけ医」がいるかについて、性別で見ると、「いる」は女性70.4%が男性68.4%よりも若干多い。

年齢別で見ると、「いる」の回答割合は年代が高くなるにつれて増加傾向にあり、「80歳以上」84.0%が最も多い。

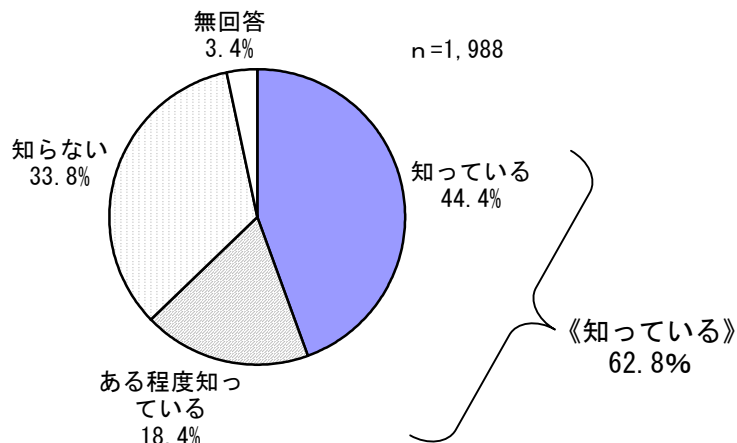
居住年数別で見ると、「いる」は居住年数が長くなるほど増加傾向にあり、「21年以上」73.7%が最も多い。

(8) 二次医療機関としての市立病院について

問 38 あなたは、市立病院が、二次医療機関※になっていることを知っていますか。(○は1つ)

※二次医療機関……一次医療機関である「かかりつけ医」から紹介を受けた、検査が必要な人、緊急を要する人、症状が重い人の診療や手術等を行う医療機関

◎ 《知っている》は6割、「知らない」は3割を超える



市立病院が二次医療機関になっていることについて、「知っている」44.4%「ある程度知っている」18.4%、「知らない」33.8%となっている。

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた《知っている》は62.8%で、「知らない」33.8%を大きく上回っている。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

単位：%

		知っている	ある程度 知っている	知らない	無回答	《知っている》
〔性別〕	全体(1,988人)	44.4	18.4	33.8	3.4	62.8
	男性(880人)	42.4	18.5	36.6		60.9
	女性(1,049人)	45.9	18.8	31.7	3.5	64.7
〔年齢〕	20歳代(50人)	24.0	8.0	68.0		32.0
	30歳代(181人)	31.5	18.2	48.6		49.7
	40歳代(184人)	39.1	20.7	40.2		59.8
	50歳代(150人)	42.0	13.3	40.0	4.7	55.3
	60歳代(452人)	50.0	17.0	30.3		67.0
	70歳代(718人)	47.4	21.0	28.1	3.5	68.4
	80歳以上(212人)	44.8	18.9	30.2	6.1	63.7

注：3%未満の数値は表記していない

市立病院が二次医療機関になっていることについて、性別で見ると、《知っている》は女性 64.7%が男性 60.9%より 3.8 ポイント高い。

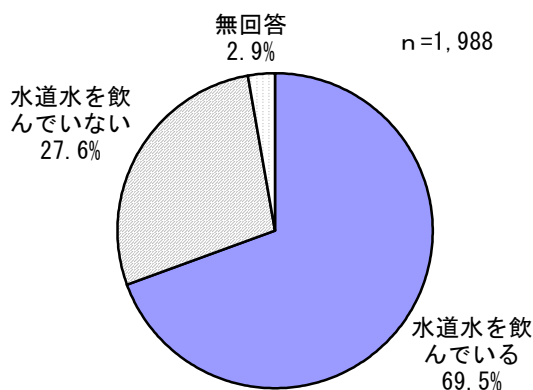
年齢別で見ると、《知っている》は「70 歳代」68.4%が最も多く、次いで「60 歳代」67.0%、「80 歳以上」63.7%が 6 割を超えて続いている。「知らない」は「20 歳代」68.0%が最も多く 7 割近くとなっている。

12 水道水について

(1) 自宅で水道水を飲んでいるか

問39 あなたは、自宅で飲用として水道水を飲んでいますか。(〇は1つ)

◎「水道水を飲んでいる」が約7割



自宅で飲用として「水道水を飲んでいる」69.5%、「水道水を飲んでいない」27.6%となっている。

【過去の調査結果との比較】

単位: %

	水道水を飲んでいる	水道水を飲んでいない	無回答
H26年度調査(1,988人)	69.5	27.6	
H24年度調査(1,891人)	59.8	37.8	

注: 3%未満の数値は表記していない

自宅で水道水を飲んでいるかについて、過去の調査結果と比較すると、「水道水を飲んでいる」は平成26年度を24年度と比べて9.7ポイント増加し、「水道水を飲んでいない」は10.2ポイント減少した。

【性別・年齢別・居住年数別クロス集計】

単位：%

		水道水を 飲んでいる	水道水を 飲んでいない	無回答
全体(1,988人)		69.5	27.6	
〔性別〕	男性(880人)	73.0	24.7	
	女性(1,049人)	66.0	31.1	3.0
〔年齢〕	20歳代(50人)	36.0	64.0	
	30歳代(181人)	58.6	39.8	
	40歳代(184人)	57.1	42.9	
	50歳代(150人)	64.0	32.0	4.0
	60歳代(452人)	69.0	27.9	3.1
	70歳代(718人)	75.8	21.4	
	80歳以上(212人)	79.2	16.0	4.7
〔居住年数〕	1年未満(57人)	54.4	45.6	
	1年～5年(134人)	47.0	52.2	
	6年～10年(13人)	46.2	53.8	
	11年～20年(40人)	72.5	25.0	
	21年以上(1,719人)	71.8	25.2	3.0

注：3%未満の数値は表記していない

自宅で水道水を飲んでいるかについて、性別で見ると、「水道水を飲んでいる」は男性 73.0%が女性 66.0%より高い。

年齢別で見ると、「水道水を飲んでいる」は「80歳以上」79.2%が最も多く、「40歳代」は「30歳代」より減少しているが、「40歳代」から「80歳以上」にかけて年齢が高くなるとともに増加傾向にある。

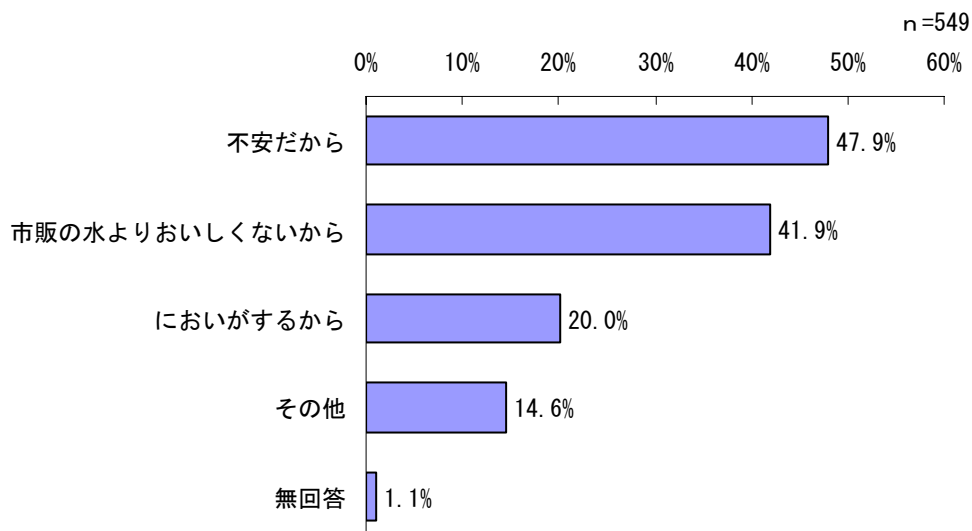
居住年数別で見ると、「水道水を飲んでいる」は「11年～20年」72.5%が最も多く、次いで「21年以上」71.8%と続いている。また、「1年～5年」「6年～10年」では5割を切っている。

(2) 自宅で水道水を飲まない理由

◇問 39 で「2 水道水を飲んでいない」とお答えの方にお伺いします。

問 39-1 水道水を飲まない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

◎「不安だから」「市販の水よりおいしくないから」が4割を超える



問 39 で「水道水を飲んでいない」と回答した 549 人にその理由をたずねたところ、「不安だから」47.9%、「市販の水よりおいしくないから」41.9%がそれぞれ4割を超えて多くなっている。

◆「その他」の主な内容

「その他」と回答した 83 人の主な回答は、下記の通りである。

- 市販の水やスーパーの無料サービスが一般的なため (17 件)
- 浄水器で浄水後飲んでいる (17 件)
- タンクや水道管の汚れが不安なため (13 件)
- 飲料水を飲まないため (7 件)
- 沸騰後に飲用・料理には使用している (6 件)
- 健康のため (3 件)

【性別・年齢別クロス集計】

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	市販の水よりおいしくないから	においがするから	不安だから	その他	無回答
全体		549 100.0	230 41.9	110 20.0	263 47.9	80 14.6	6 1.1
性別	男性	217 100.0	106 48.8	38 17.5	98 45.2	30 13.8	2 0.9
	女性	326 100.0	121 37.1	72 22.1	162 49.7	48 14.7	4 1.2
年齢	20歳代	32 100.0	16 50.0	5 15.6	19 59.4	2 6.3	0 0.0
	30歳代	72 100.0	24 33.3	13 18.1	45 62.5	15 20.8	0 0.0
	40歳代	79 100.0	35 44.3	16 20.3	43 54.4	9 11.4	2 2.5
	50歳代	48 100.0	23 47.9	6 12.5	20 41.7	8 16.7	0 0.0
	60歳代	126 100.0	54 42.9	28 22.2	60 47.6	14 11.1	0 0.0
	70歳代	154 100.0	69 44.8	32 20.8	54 35.1	25 16.2	3 1.9
	80歳以上	34 100.0	7 20.6	10 29.4	20 58.8	6 17.6	1 2.9

※ ■ は、性別については5ポイント以上の差があるもの、それ以外は表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

水道水を飲まない理由を性別でみると、「市販の水よりおいしくないから」は男性が女性より11.7ポイント高く、「においがするから」は4.6ポイント、「不安だから」は4.5ポイント女性が男性より高い。

年齢別でみると、「市販の水よりおいしくないから」は「20歳代」が50.0%、「においがするから」は「80歳以上」が29.4%、「不安だから」は「30歳代」が62.5%で最も多い。

【居住地域別クロス集計】

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		全体	市販の水よりおいしくないから	においがするから	不安だから	その他	無回答
全体		549 100.0	230 41.9	110 20.0	263 47.9	80 14.6	6 1.1
居住地域	新田西部	99 100.0	43 43.4	24 24.2	51 51.5	14 14.1	0 0.0
	新田東部	71 100.0	36 50.7	9 12.7	34 47.9	9 12.7	0 0.0
	草加川柳	45 100.0	16 35.6	6 13.3	23 51.1	9 20.0	0 0.0
	草加安行	67 100.0	29 43.3	14 20.9	30 44.8	11 16.4	1 1.5
	草加西部	76 100.0	35 46.1	20 26.3	34 44.7	11 14.5	0 0.0
	草加東部	59 100.0	18 30.5	12 20.3	31 52.5	10 16.9	3 5.1
	草加稲荷	10 100.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	谷塚西部	50 100.0	16 32.0	15 30.0	21 42.0	6 12.0	0 0.0
	谷塚中央	34 100.0	15 44.1	6 17.6	19 55.9	4 11.8	1 2.9
	谷塚東部	38 100.0	15 39.5	3 7.9	19 50.0	5 13.2	1 2.6

※ 表のグレー部分は、表頭の項目（表の上側にある選択肢欄）をそれぞれ縦にみて、割合が最も高かったもので主なものを表す。

水道水を飲まない理由を居住地域別で見ると、「市販の水よりおいしくないから」は、「草加稲荷」が70.0%、「においがするから」は「谷塚西部」が30.0%、「不安だから」は「谷塚中央」が55.9%で最も多い。

B 草加市の基本となる施策に関すること

問 40 草加市では第三次草加市総合振興計画・後期基本計画（平成 23 年度～平成 27 年度）を策定しています。「快適都市—草加—」の実現に向けて、取組を進めている次の 34 の基本施策についてあなたの“満足度”と“重要度”をお伺いします。

ここからは、草加市が進める「第三次草加市総合振興計画後期基本計画」（平成 23 年度～27 年度）の 34 の基本施策について満足度と重要度についてたずねた結果を掲載する。

満足度、重要度ともに選択肢が順序尺度となっていることから、下記のような配点を設定する。平均値を求め、評価の指標の 1 つとする。

「満足度」の 選択肢	点数 (点)	「重要度」の 選択肢	点数 (点)
満足	5	重要	5
やや満足	4	やや重要	4
どちらともいえない	3	どちらともいえない	3
やや不満足	2	あまり重要ではない	2
不満足	1	重要ではない	1

例) 計算方法

施策 1 【水環境の改善】の満足度

計算式：[満足]…(A) 5 点 × (B) 285 人 = 1,425 (同様に[やや満足]～[不満足]を計算)

$$\begin{aligned} \text{平均値 (D} \div \text{C)} &= \{(\text{D}) 1,425 + 2,912 + 1,959 + 250 + 79\} \div \\ &\quad \{(\text{C}) 285 + 728 + 653 + 125 + 79\} \\ &= 6,625 \div 1,870 \\ &= 3.543 \end{aligned}$$

選択肢	点数 (A)	回答者数 (B)	得点 (A × B)
満足	5	285	1,425
やや満足	4	728	2,912
どちらともいえない	3	653	1,959
やや不満足	2	125	250
不満足	1	79	79
合 計		1,870 (C)	6,625 (D)
平均値 (D ÷ C)			3.543

※重要度についても同様に計算する。

※平成 18 年度、20 年度、22 年度、24 年度の調査結果についても同様の計算方法で算出している。

1 34 施策の満足度

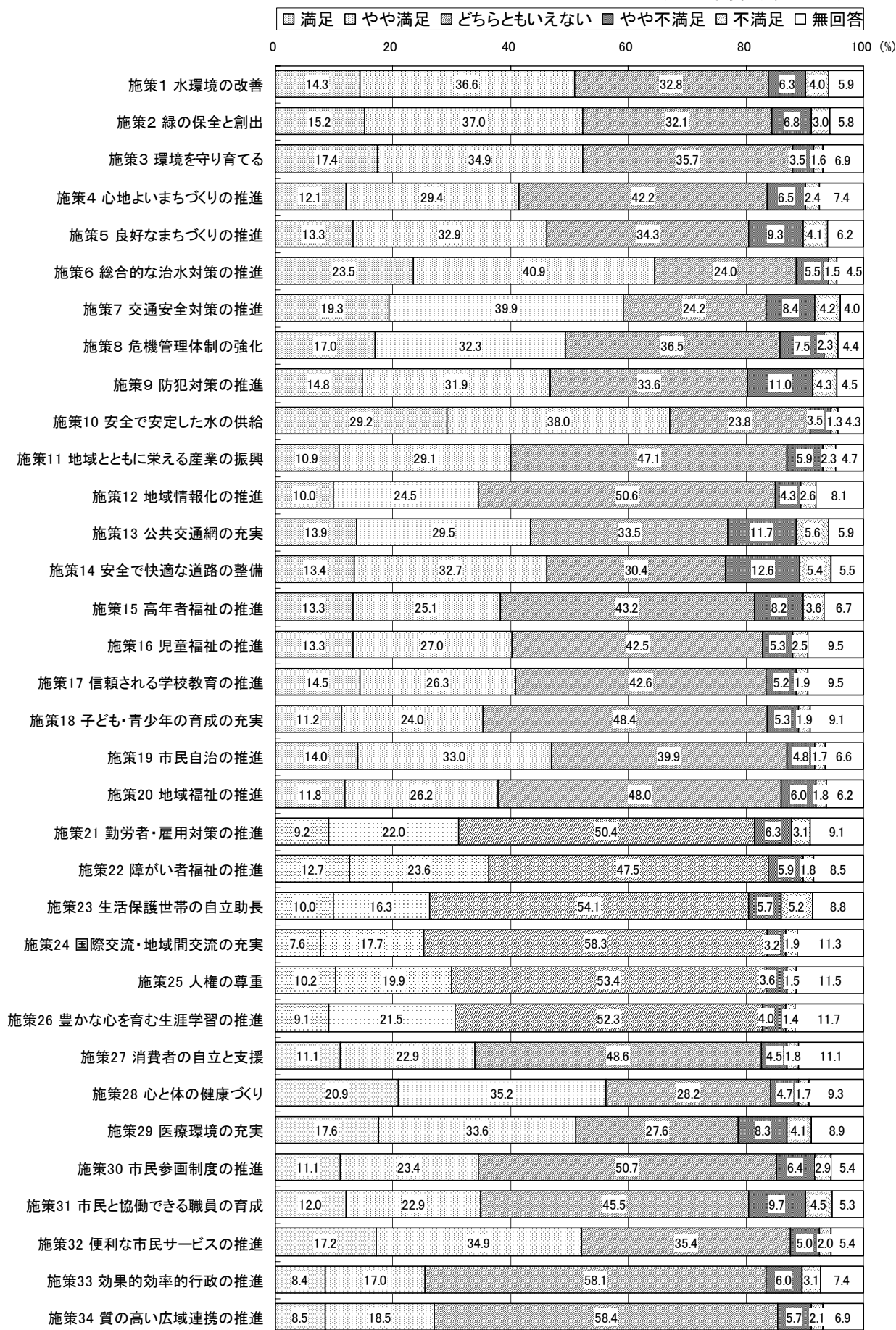
(1) 全体

単位: %

【満足度】	平成26年度 (1,988人)							
	《満足》		どちらともいえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや満足		やや不満足	不満足			
施策1 水環境の改善	14.3	36.6	32.8	6.3	4.0	51.0	10.3	3.543
施策2 緑の保全と創出	15.2	37.0	32.1	6.8	3.0	52.2	9.9	3.579
施策3 環境を守り育てる	17.4	34.9	35.7	3.5	1.6	52.3	5.1	3.677
施策4 心地よいまちづくりの推進	12.1	29.4	42.2	6.5	2.4	41.5	8.9	3.457
施策5 良好なまちづくりの推進	13.3	32.9	34.3	9.3	4.1	46.2	13.4	3.447
施策6 総合的な治水対策の推進	23.5	40.9	24.0	5.5	1.5	64.5	6.9	3.834
施策7 交通安全対策の推進	19.3	39.9	24.2	8.4	4.2	59.2	12.6	3.643
施策8 危機管理体制の強化	17.0	32.3	36.5	7.5	2.3	49.2	9.8	3.566
施策9 防犯対策の推進	14.8	31.9	33.6	11.0	4.3	46.7	15.2	3.439
施策10 安全で安定した水の供給	29.2	38.0	23.8	3.5	1.3	67.2	4.7	3.944
施策11 地域とともに栄える産業の振興	10.9	29.1	47.1	5.9	2.3	40.0	8.2	3.423
施策12 地域情報化の推進	10.0	24.5	50.6	4.3	2.6	34.5	6.8	3.381
施策13 公共交通網の充実	13.9	29.5	33.5	11.7	5.6	43.4	17.3	3.366
施策14 安全で快適な道路の整備	13.4	32.7	30.4	12.6	5.4	46.1	18.0	3.382
施策15 高年者福祉の推進	13.3	25.1	43.2	8.2	3.6	38.3	11.8	3.389
施策16 児童福祉の推進	13.3	27.0	42.5	5.3	2.5	40.2	7.7	3.479
施策17 信頼される学校教育の推進	14.5	26.3	42.6	5.2	1.9	40.8	7.1	3.511
施策18 子ども・青少年の育成の充実	11.2	24.0	48.4	5.3	1.9	35.2	7.2	3.410
施策19 市民自治の推進	14.0	33.0	39.9	4.8	1.7	47.0	6.4	3.567
施策20 地域福祉の推進	11.8	26.2	48.0	6.0	1.8	37.9	7.8	3.428
施策21 勤労者・雇用対策の推進	9.2	22.0	50.4	6.3	3.1	31.1	9.4	3.306
施策22 障がい者福祉の推進	12.7	23.6	47.5	5.9	1.8	36.3	7.7	3.432
施策23 生活保護世帯の自立助長	10.0	16.3	54.1	5.7	5.2	26.3	10.9	3.221
施策24 国際交流・地域間交流の充実	7.6	17.7	58.3	3.2	1.9	25.3	5.1	3.291
施策25 人権の尊重	10.2	19.9	53.4	3.6	1.5	30.0	5.1	3.380
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	9.1	21.5	52.3	4.0	1.4	30.5	5.4	3.371
施策27 消費者の自立と支援	11.1	22.9	48.6	4.5	1.8	34.0	6.3	3.416
施策28 心と体の健康づくり	20.9	35.2	28.2	4.7	1.7	56.1	6.4	3.760
施策29 医療環境の充実	17.6	33.6	27.6	8.3	4.1	51.2	12.4	3.574
施策30 市民参画制度の推進	11.1	23.4	50.7	6.4	2.9	34.6	9.3	3.354
施策31 市民と協働できる職員の育成	12.0	22.9	45.5	9.7	4.5	35.0	14.2	3.298
施策32 便利な市民サービスの推進	17.2	34.9	35.4	5.0	2.0	52.1	7.0	3.637
施策33 効果的効率的行政の推進	8.4	17.0	58.1	6.0	3.1	25.4	9.2	3.232
施策34 質の高い広域連携の推進	8.5	18.5	58.4	5.7	2.1	27.0	7.8	3.275

B 草加市の基本となる施策に関すること

平成 26 年度 (1,988 人)



(2) 全体・満足度順位

【満足度】平成26年度・全体（1,988人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.944
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.834
3	施策28 心と体の健康づくり	3.760
4	施策3 環境を守り育てる	3.677
5	施策7 交通安全対策の推進	3.643
6	施策32 便利な市民サービスの推進	3.637
7	施策2 緑の保全と創出	3.579
8	施策29 医療環境の充実	3.574
9	施策19 市民自治の推進	3.567
10	施策8 危機管理体制の強化	3.566
11	施策1 水環境の改善	3.543
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.511
13	施策16 児童福祉の推進	3.479
14	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.457
15	施策5 良好なまちづくりの推進	3.447
16	施策9 防犯対策の推進	3.439
17	施策22 障がい者福祉の推進	3.432
18	施策20 地域福祉の推進	3.428
19	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.423
20	施策27 消費者の自立と支援	3.416
21	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.410
22	施策15 高年者福祉の推進	3.389
23	施策14 安全で快適な道路の整備	3.382
24	施策12 地域情報化の推進	3.381
25	施策25 人権の尊重	3.380
26	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.371
27	施策13 公共交通網の充実	3.366
28	施策30 市民参画制度の推進	3.354
29	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.306
30	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.298
31	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.291
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.275
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.232
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.221

※詳しい分析は、164 ページ以降に記載するため、ここでは満足度の順位のみを掲載することとする。

(3) 性別・満足度順位

◆男性

【満足度】平成26年度・男性（880人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.973
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.822
3	施策28 心と体の健康づくり	3.714
4	施策3 環境を守り育てる	3.631
5	施策32 便利な市民サービスの推進	3.611
6	施策7 交通安全対策の推進	3.576
7	施策2 緑の保全と創出	3.563
8	施策29 医療環境の充実	3.561
9	施策19 市民自治の推進	3.546
10	施策1 水環境の改善	3.504
11	施策8 危機管理体制の強化	3.504
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.496
13	施策16 児童福祉の推進	3.459
14	施策5 良好なまちづくりの推進	3.423
15	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.415
16	施策22 障がい者福祉の推進	3.406
17	施策9 防犯対策の推進	3.394
18	施策20 地域福祉の推進	3.392
19	施策27 消費者の自立と支援	3.381
20	施策25 人権の尊重	3.377
21	施策12 地域情報化の推進	3.360
22	施策15 高年者福祉の推進	3.360
23	施策13 公共交通網の充実	3.354
24	施策30 市民参画制度の推進	3.348
25	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.348
26	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.345
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.340
28	施策14 安全で快適な道路の整備	3.329
29	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.285
30	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.279
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.277
32	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.262
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.233
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.210

◆女性

【満足度】平成26年度・女性（1,049人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.919
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.839
3	施策28 心と体の健康づくり	3.788
4	施策3 環境を守り育てる	3.716
5	施策7 交通安全対策の推進	3.697
6	施策32 便利な市民サービスの推進	3.664
7	施策8 危機管理体制の強化	3.616
8	施策2 緑の保全と創出	3.604
9	施策19 市民自治の推進	3.586
10	施策1 水環境の改善	3.576
11	施策29 医療環境の充実	3.570
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.517
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.496
14	施策16 児童福祉の推進	3.492
15	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.492
16	施策5 良好なまちづくりの推進	3.475
17	施策9 防犯対策の推進	3.475
18	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.461
19	施策20 地域福祉の推進	3.454
20	施策22 障がい者福祉の推進	3.452
21	施策27 消費者の自立と支援	3.438
22	施策14 安全で快適な道路の整備	3.423
23	施策15 高年者福祉の推進	3.407
24	施策12 地域情報化の推進	3.396
25	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.389
26	施策25 人権の尊重	3.381
27	施策13 公共交通網の充実	3.372
28	施策30 市民参画制度の推進	3.355
29	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.321
30	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.309
31	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.305
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.267
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.228
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.225

(4) 年齢別・満足度順位

◆20歳代

【満足度】平成26年度・20歳代（50人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策5 良好なまちづくりの推進	3.653
2	施策2 緑の保全と創出	3.571
3	施策17 信頼される学校教育の推進	3.571
4	施策29 医療環境の充実	3.553
5	施策3 環境を守り育てる	3.551
6	施策10 安全で安定した水の供給	3.540
7	施策32 便利な市民サービスの推進	3.510
8	施策20 地域福祉の推進	3.500
9	施策19 市民自治の推進	3.479
10	施策6 総合的な治水対策の推進	3.460
11	施策28 心と体の健康づくり	3.447
12	施策7 交通安全対策の推進	3.440
13	施策8 危機管理体制の強化	3.440
14	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.438
15	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.400
16	施策15 高齢者福祉の推進	3.388
17	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.367
18	施策22 障がい者福祉の推進	3.362
19	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.340
20	施策1 水環境の改善	3.327
21	施策30 市民参画制度の推進	3.327
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.319
23	施策25 人権の尊重	3.319
24	施策27 消費者の自立と支援	3.319
25	施策16 児童福祉の推進	3.280
26	施策12 地域情報化の推進	3.271
27	施策9 防犯対策の推進	3.240
28	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.213
29	施策14 安全で快適な道路の整備	3.204
30	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.204
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.204
32	施策13 公共交通網の充実	3.184
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.184
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.170

◆30歳代

【満足度】平成26年度・30歳代（181人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.564
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.542
3	施策28 心と体の健康づくり	3.469
4	施策19 市民自治の推進	3.461
5	施策32 便利な市民サービスの推進	3.448
6	施策2 緑の保全と創出	3.385
7	施策1 水環境の改善	3.368
8	施策5 良好なまちづくりの推進	3.360
9	施策7 交通安全対策の推進	3.348
10	施策3 環境を守り育てる	3.343
11	施策8 危機管理体制の強化	3.335
12	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.331
13	施策22 障がい者福祉の推進	3.328
14	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.326
15	施策29 医療環境の充実	3.305
16	施策20 地域福祉の推進	3.292
17	施策15 高齢者福祉の推進	3.281
18	施策12 地域情報化の推進	3.249
19	施策17 信頼される学校教育の推進	3.247
20	施策13 公共交通網の充実	3.232
21	施策16 児童福祉の推進	3.230
22	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.229
23	施策25 人権の尊重	3.224
24	施策9 防犯対策の推進	3.202
25	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.184
26	施策27 消費者の自立と支援	3.184
27	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.175
28	施策14 安全で快適な道路の整備	3.169
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.150
30	施策30 市民参画制度の推進	3.122
31	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.122
32	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.057
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.056
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.011

◆40 歳代

【満足度】平成26年度・40歳代（184人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.659
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.652
3	施策3 環境を守り育てる	3.517
4	施策2 緑の保全と創出	3.469
5	施策1 水環境の改善	3.458
6	施策28 心と体の健康づくり	3.418
7	施策19 市民自治の推進	3.392
8	施策32 便利な市民サービスの推進	3.353
9	施策7 交通安全対策の推進	3.326
10	施策8 危機管理体制の強化	3.319
11	施策12 地域情報化の推進	3.307
12	施策5 良好なまちづくりの推進	3.296
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.236
14	施策16 児童福祉の推進	3.235
15	施策15 高年者福祉の推進	3.218
16	施策17 信頼される学校教育の推進	3.212
17	施策25 人権の尊重	3.202
18	施策22 障がい者福祉の推進	3.199
19	施策20 地域福祉の推進	3.193
20	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.192
21	施策27 消費者の自立と支援	3.180
22	施策29 医療環境の充実	3.152
23	施策13 公共交通網の充実	3.140
24	施策9 防犯対策の推進	3.132
25	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.124
26	施策14 安全で快適な道路の整備	3.106
27	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.105
28	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.050
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.049
30	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.039
31	施策30 市民参画制度の推進	3.027
32	施策33 効果的効率的行政の推進	3.022
33	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.017
34	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.016

◆50 歳代

【満足度】平成26年度・50歳代（150人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.651
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.648
3	施策28 心と体の健康づくり	3.504
4	施策2 緑の保全と創出	3.465
5	施策1 水環境の改善	3.424
6	施策7 交通安全対策の推進	3.414
7	施策16 児童福祉の推進	3.389
8	施策32 便利な市民サービスの推進	3.385
9	施策3 環境を守り育てる	3.375
10	施策19 市民自治の推進	3.342
11	施策8 危機管理体制の強化	3.317
12	施策27 消費者の自立と支援	3.312
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.306
14	施策17 信頼される学校教育の推進	3.303
15	施策22 障がい者福祉の推進	3.262
16	施策5 良好なまちづくりの推進	3.252
17	施策29 医療環境の充実	3.246
18	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.240
19	施策9 防犯対策の推進	3.234
20	施策20 地域福祉の推進	3.234
21	施策12 地域情報化の推進	3.219
22	施策15 高年者福祉の推進	3.200
23	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.172
24	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.172
25	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.172
26	施策25 人権の尊重	3.170
27	施策14 安全で快適な道路の整備	3.158
28	施策30 市民参画制度の推進	3.141
29	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.127
30	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.113
31	施策13 公共交通網の充実	3.110
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.075
33	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.060
34	施策33 効果的効率的行政の推進	3.027

◆60歳代

【満足度】平成26年度・60歳代（452人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.966
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.876
3	施策3 環境を守り育てる	3.690
4	施策28 心と体の健康づくり	3.675
5	施策7 交通安全対策の推進	3.666
6	施策32 便利な市民サービスの推進	3.589
7	施策2 緑の保全と創出	3.569
8	施策19 市民自治の推進	3.560
9	施策8 危機管理体制の強化	3.535
10	施策1 水環境の改善	3.521
11	施策17 信頼される学校教育の推進	3.504
12	施策16 児童福祉の推進	3.484
13	施策29 医療環境の充実	3.438
14	施策9 防犯対策の推進	3.421
15	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.409
16	施策5 良好なまちづくりの推進	3.406
17	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.388
18	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.384
19	施策27 消費者の自立と支援	3.383
20	施策22 障がい者福祉の推進	3.369
21	施策20 地域福祉の推進	3.365
22	施策13 公共交通網の充実	3.346
23	施策14 安全で快適な道路の整備	3.342
24	施策15 高齢者福祉の推進	3.335
25	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.326
26	施策25 人権の尊重	3.312
27	施策12 地域情報化の推進	3.295
28	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.273
29	施策30 市民参画制度の推進	3.269
30	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.239
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.229
32	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.190
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.178
34	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.168

◆70歳代

【満足度】平成26年度・70歳代（718人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.152
2	施策28 心と体の健康づくり	3.991
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.965
4	施策3 環境を守り育てる	3.848
5	施策29 医療環境の充実	3.843
6	施策7 交通安全対策の推進	3.826
7	施策32 便利な市民サービスの推進	3.801
8	施策8 危機管理体制の強化	3.729
9	施策19 市民自治の推進	3.698
10	施策17 信頼される学校教育の推進	3.675
11	施策2 緑の保全と創出	3.650
12	施策1 水環境の改善	3.632
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.588
14	施策16 児童福祉の推進	3.587
15	施策22 障がい者福祉の推進	3.582
16	施策9 防犯対策の推進	3.581
17	施策20 地域福祉の推進	3.559
18	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.548
19	施策5 良好なまちづくりの推進	3.548
20	施策30 市民参画制度の推進	3.546
21	施策14 安全で快適な道路の整備	3.544
22	施策27 消費者の自立と支援	3.544
23	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.537
24	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.521
25	施策25 人権の尊重	3.508
26	施策15 高齢者福祉の推進	3.504
27	施策12 地域情報化の推進	3.498
28	施策13 公共交通網の充実	3.490
29	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.467
30	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.442
31	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.436
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.395
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.354
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.327

◆80歳以上

【満足度】平成26年度・80歳以上（212人）		
順位	施策番号・施策名	(平均値)
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.107
2	施策28 心と体の健康づくり	4.000
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.944
4	施策29 医療環境の充実	3.863
5	施策32 便利な市民サービスの推進	3.858
6	施策2 緑の保全と創出	3.790
7	施策3 環境を守り育てる	3.785
8	施策7 交通安全対策の推進	3.773
9	施策8 危機管理体制の強化	3.742
10	施策9 防犯対策の推進	3.695
11	施策16 児童福祉の推進	3.682
12	施策1 水環境の改善	3.661
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.654
14	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.642
15	施策17 信頼される学校教育の推進	3.634
16	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.621
17	施策25 人権の尊重	3.616
18	施策27 消費者の自立と支援	3.613
19	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.603
20	施策20 地域福祉の推進	3.588
21	施策30 市民参画制度の推進	3.585
22	施策19 市民自治の推進	3.582
23	施策14 安全で快適な道路の整備	3.570
24	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.568
25	施策22 障がい者福祉の推進	3.566
26	施策13 公共交通網の充実	3.561
27	施策5 良好なまちづくりの推進	3.553
28	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.548
29	施策12 地域情報化の推進	3.531
30	施策15 高年者福祉の推進	3.513
31	施策33 効果的効率的行政の推進	3.486
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.475
33	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.429
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.376

(5) 居住地域別・満足度順位

◆新田西部

【満足度】平成26年度・新田西部（324人）		
順位	施策番号・施策名	(平均値)
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.876
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.841
3	施策28 心と体の健康づくり	3.711
4	施策32 便利な市民サービスの推進	3.608
5	施策3 環境を守り育てる	3.579
6	施策2 緑の保全と創出	3.569
7	施策7 交通安全対策の推進	3.535
8	施策8 危機管理体制の強化	3.518
9	施策19 市民自治の推進	3.513
10	施策16 児童福祉の推進	3.503
11	施策29 医療環境の充実	3.502
12	施策1 水環境の改善	3.492
13	施策17 信頼される学校教育の推進	3.487
14	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.474
15	施策22 障がい者福祉の推進	3.468
16	施策9 防犯対策の推進	3.447
17	施策20 地域福祉の推進	3.436
18	施策27 消費者の自立と支援	3.432
19	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.408
20	施策12 地域情報化の推進	3.397
21	施策25 人権の尊重	3.396
22	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.385
23	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.383
24	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.359
25	施策15 高齢者福祉の推進	3.346
26	施策30 市民参画制度の推進	3.334
27	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.325
28	施策34 質の高い広域連携の推進	3.308
29	施策14 安全で快適な道路の整備	3.304
30	施策5 良好なまちづくりの推進	3.297
31	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.261
32	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.249
33	施策13 公共交通網の充実	3.242
34	施策33 効果的効率的行政の推進	3.216

◆新田東部

【満足度】平成26年度・新田東部（262人）		
順位	施策番号・施策名	(平均値)
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.964
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.888
3	施策28 心と体の健康づくり	3.813
4	施策2 緑の保全と創出	3.790
5	施策19 市民自治の推進	3.762
6	施策3 環境を守り育てる	3.747
7	施策32 便利な市民サービスの推進	3.715
8	施策29 医療環境の充実	3.678
9	施策8 危機管理体制の強化	3.642
10	施策7 交通安全対策の推進	3.635
11	施策16 児童福祉の推進	3.576
12	施策5 良好なまちづくりの推進	3.558
13	施策20 地域福祉の推進	3.550
14	施策22 障がい者福祉の推進	3.550
15	施策17 信頼される学校教育の推進	3.535
16	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.506
17	施策1 水環境の改善	3.482
18	施策9 防犯対策の推進	3.482
19	施策27 消費者の自立と支援	3.473
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.469
21	施策15 高齢者福祉の推進	3.466
22	施策14 安全で快適な道路の整備	3.460
23	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.454
24	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.433
25	施策30 市民参画制度の推進	3.425
26	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.425
27	施策25 人権の尊重	3.409
28	施策12 地域情報化の推進	3.392
29	施策13 公共交通網の充実	3.382
30	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.380
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.284
32	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.284
33	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.258
34	施策33 効果的効率的行政の推進	3.241

◆草加川柳

【満足度】平成26年度・草加川柳（154人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.907
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.893
3	施策3 環境を守り育てる	3.743
4	施策28 心と体の健康づくり	3.631
5	施策2 緑の保全と創出	3.631
6	施策19 市民自治の推進	3.577
7	施策1 水環境の改善	3.560
8	施策7 交通安全対策の推進	3.533
9	施策8 危機管理体制の強化	3.420
10	施策9 防犯対策の推進	3.407
11	施策16 児童福祉の推進	3.380
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.380
13	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.379
14	施策32 便利な市民サービスの推進	3.361
15	施策29 医療環境の充実	3.350
16	施策22 障がい者福祉の推進	3.340
17	施策20 地域福祉の推進	3.318
18	施策5 良好なまちづくりの推進	3.303
19	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.289
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.286
21	施策15 高齢者福祉の推進	3.283
22	施策27 消費者の自立と支援	3.273
23	施策25 人権の尊重	3.245
24	施策12 地域情報化の推進	3.222
25	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.217
26	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.209
27	施策14 安全で快適な道路の整備	3.184
28	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.159
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.153
30	施策33 効果的効率的行政の推進	3.110
31	施策30 市民参画制度の推進	3.109
32	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.095
33	施策13 公共交通網の充実	3.075
34	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.007

◆草加安行

【満足度】平成26年度・草加安行（277人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.941
2	施策28 心と体の健康づくり	3.759
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.758
4	施策3 環境を守り育てる	3.651
5	施策32 便利な市民サービスの推進	3.602
6	施策2 緑の保全と創出	3.598
7	施策7 交通安全対策の推進	3.570
8	施策5 良好なまちづくりの推進	3.570
9	施策17 信頼される学校教育の推進	3.545
10	施策8 危機管理体制の強化	3.541
11	施策19 市民自治の推進	3.525
12	施策29 医療環境の充実	3.494
13	施策1 水環境の改善	3.492
14	施策16 児童福祉の推進	3.469
15	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.451
16	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.446
17	施策9 防犯対策の推進	3.431
18	施策22 障がい者福祉の推進	3.421
19	施策30 市民参画制度の推進	3.418
20	施策27 消費者の自立と支援	3.397
21	施策20 地域福祉の推進	3.390
22	施策14 安全で快適な道路の整備	3.388
23	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.382
24	施策25 人権の尊重	3.376
25	施策12 地域情報化の推進	3.371
26	施策13 公共交通網の充実	3.361
27	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.360
28	施策15 高齢者福祉の推進	3.348
29	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.338
30	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.311
31	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.298
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.275
33	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.256
34	施策33 効果的効率的行政の推進	3.233

◆草加西部

【満足度】平成26年度・草加西部（230人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.884
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.814
3	施策28 心と体の健康づくり	3.741
4	施策7 交通安全対策の推進	3.720
5	施策32 便利な市民サービスの推進	3.674
6	施策29 医療環境の充実	3.580
7	施策3 環境を守り育てる	3.569
8	施策1 水環境の改善	3.556
9	施策16 児童福祉の推進	3.539
10	施策14 安全で快適な道路の整備	3.535
11	施策8 危機管理体制の強化	3.532
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.524
13	施策19 市民自治の推進	3.524
14	施策13 公共交通網の充実	3.486
15	施策5 良好なまちづくりの推進	3.474
16	施策15 高齢者福祉の推進	3.435
17	施策20 地域福祉の推進	3.423
18	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.414
19	施策2 緑の保全と創出	3.411
20	施策9 防犯対策の推進	3.405
21	施策22 障がい者福祉の推進	3.386
22	施策25 人権の尊重	3.384
23	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.383
24	施策27 消費者の自立と支援	3.369
25	施策12 地域情報化の推進	3.367
26	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.365
27	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.360
28	施策30 市民参画制度の推進	3.332
29	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.304
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.300
31	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.281
32	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.270
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.207
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.167

◆草加東部

【満足度】平成26年度・草加東部（212人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.911
2	施策28 心と体の健康づくり	3.814
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.790
4	施策32 便利な市民サービスの推進	3.716
5	施策7 交通安全対策の推進	3.693
6	施策3 環境を守り育てる	3.624
7	施策8 危機管理体制の強化	3.585
8	施策29 医療環境の充実	3.584
9	施策19 市民自治の推進	3.569
10	施策2 緑の保全と創出	3.569
11	施策1 水環境の改善	3.518
12	施策13 公共交通網の充実	3.512
13	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.507
14	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.467
15	施策17 信頼される学校教育の推進	3.454
16	施策27 消費者の自立と支援	3.453
17	施策5 良好なまちづくりの推進	3.444
18	施策20 地域福祉の推進	3.431
19	施策25 人権の尊重	3.425
20	施策14 安全で快適な道路の整備	3.417
21	施策12 地域情報化の推進	3.413
22	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.409
23	施策16 児童福祉の推進	3.387
24	施策9 防犯対策の推進	3.384
25	施策30 市民参画制度の推進	3.379
26	施策22 障がい者福祉の推進	3.376
27	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.372
28	施策15 高齢者福祉の推進	3.361
29	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.302
30	施策33 効果的効率的行政の推進	3.296
31	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.283
32	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.268
33	施策34 質の高い広域連携の推進	3.211
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.203

◆草加稲荷

【満足度】平成26年度・草加稲荷（67人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.141
2	施策7 交通安全対策の推進	4.032
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.967
4	施策28 心と体の健康づくり	3.950
5	施策1 水環境の改善	3.885
6	施策8 危機管理体制の強化	3.885
7	施策32 便利な市民サービスの推進	3.873
8	施策2 緑の保全と創出	3.852
9	施策3 環境を守り育てる	3.814
10	施策5 良好なまちづくりの推進	3.776
11	施策29 医療環境の充実	3.754
12	施策17 信頼される学校教育の推進	3.733
13	施策19 市民自治の推進	3.733
14	施策16 児童福祉の推進	3.712
15	施策15 高齢者福祉の推進	3.617
16	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.613
17	施策9 防犯対策の推進	3.594
18	施策12 地域情報化の推進	3.567
19	施策20 地域福祉の推進	3.567
20	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.525
21	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.525
22	施策22 障がい者福祉の推進	3.517
23	施策33 効果的効率的行政の推進	3.468
24	施策25 人権の尊重	3.441
25	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.438
26	施策14 安全で快適な道路の整備	3.435
27	施策13 公共交通網の充実	3.429
28	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.400
29	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.390
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.381
31	施策27 消費者の自立と支援	3.367
32	施策30 市民参画制度の推進	3.317
33	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.259
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.220

◆谷塚西部

【満足度】平成26年度・谷塚西部（202人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.005
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.847
3	施策28 心と体の健康づくり	3.775
4	施策3 環境を守り育てる	3.710
5	施策1 水環境の改善	3.616
6	施策29 医療環境の充実	3.601
7	施策32 便利な市民サービスの推進	3.585
8	施策7 交通安全対策の推進	3.571
9	施策8 危機管理体制の強化	3.490
10	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.481
11	施策17 信頼される学校教育の推進	3.473
12	施策2 緑の保全と創出	3.471
13	施策19 市民自治の推進	3.456
14	施策22 障がい者福祉の推進	3.426
15	施策20 地域福祉の推進	3.422
16	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.410
17	施策16 児童福祉の推進	3.399
18	施策27 消費者の自立と支援	3.393
19	施策13 公共交通網の充実	3.392
20	施策5 良好なまちづくりの推進	3.385
21	施策25 人権の尊重	3.369
22	施策9 防犯対策の推進	3.365
23	施策15 高齢者福祉の推進	3.347
24	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.343
25	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.311
26	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.311
27	施策12 地域情報化の推進	3.297
28	施策30 市民参画制度の推進	3.296
29	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.277
30	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.267
31	施策14 安全で快適な道路の整備	3.239
32	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.230
33	施策34 質の高い広域連携の推進	3.211
34	施策33 効果的効率的行政の推進	3.195

◆谷塚中央

【満足度】平成26年度・谷塚中央（138人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	3.984
2	施策7 交通安全対策の推進	3.824
3	施策6 総合的な治水対策の推進	3.769
4	施策28 心と体の健康づくり	3.764
5	施策3 環境を守り育てる	3.746
6	施策29 医療環境の充実	3.672
7	施策8 危機管理体制の強化	3.669
8	施策32 便利な市民サービスの推進	3.659
9	施策17 信頼される学校教育の推進	3.579
10	施策1 水環境の改善	3.574
11	施策19 市民自治の推進	3.545
12	施策27 消費者の自立と支援	3.480
13	施策9 防犯対策の推進	3.477
14	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.441
15	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.441
16	施策12 地域情報化の推進	3.439
17	施策2 緑の保全と創出	3.423
18	施策15 高年者福祉の推進	3.421
19	施策14 安全で快適な道路の整備	3.388
20	施策20 地域福祉の推進	3.379
21	施策25 人権の尊重	3.377
22	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.373
23	施策13 公共交通網の充実	3.368
24	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.364
25	施策16 児童福祉の推進	3.341
26	施策30 市民参画制度の推進	3.336
27	施策34 質の高い広域連携の推進	3.331
28	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.328
29	施策22 障がい者福祉の推進	3.325
30	施策5 良好なまちづくりの推進	3.303
31	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.276
32	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.248
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.236
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.234

◆谷塚東部

【満足度】平成26年度・谷塚東部（121人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.053
2	施策6 総合的な治水対策の推進	3.888
3	施策3 環境を守り育てる	3.858
4	施策28 心と体の健康づくり	3.759
5	施策7 交通安全対策の推進	3.741
6	施策32 便利な市民サービスの推進	3.724
7	施策29 医療環境の充実	3.721
8	施策8 危機管理体制の強化	3.675
9	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.611
10	施策1 水環境の改善	3.588
11	施策2 緑の保全と創出	3.579
12	施策5 良好なまちづくりの推進	3.574
13	施策16 児童福祉の推進	3.566
14	施策17 信頼される学校教育の推進	3.561
15	施策19 市民自治の推進	3.558
16	施策9 防犯対策の推進	3.557
17	施策30 市民参画制度の推進	3.534
18	施策14 安全で快適な道路の整備	3.522
19	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.513
20	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.513
21	施策13 公共交通網の充実	3.486
22	施策12 地域情報化の推進	3.486
23	施策27 消費者の自立と支援	3.486
24	施策22 障がい者福祉の推進	3.472
25	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.444
26	施策15 高年者福祉の推進	3.441
27	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.422
28	施策34 質の高い広域連携の推進	3.374
29	施策20 地域福祉の推進	3.372
30	施策25 人権の尊重	3.364
31	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.311
32	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.309
33	施策33 効果的効率的行政の推進	3.287
34	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.241

2 34 施策の重要度

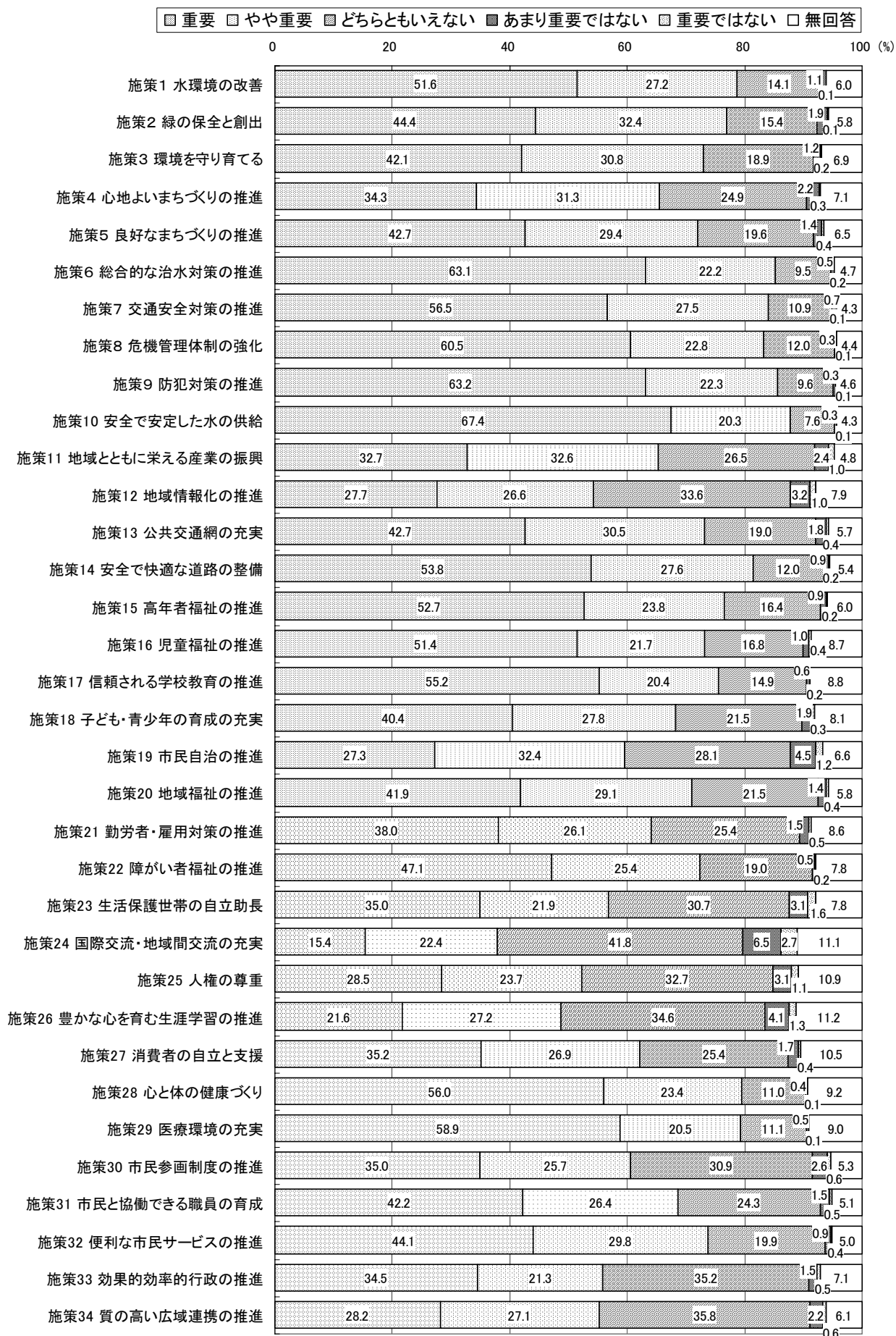
(1) 全体

単位：％

【重要度】 施策番号・施策名	平成26年度（1,988人）							
	《重要》		どちらともいえない	《重要ではない》		《重要》	《重要ではない》	（平均値）
	重要	やや重要		あまり重要ではない	重要ではない			
施策1 水環境の改善	51.6	27.2	14.1	1.1	0.1	78.8	1.1	4.375
施策2 緑の保全と創出	44.4	32.4	15.4	1.9	0.1	76.9	1.9	4.266
施策3 環境を守り育てる	42.1	30.8	18.9	1.2	0.2	72.9	1.4	4.218
施策4 心地よいまちづくりの推進	34.3	31.3	24.9	2.2	0.3	65.5	2.4	4.045
施策5 良好なまちづくりの推進	42.7	29.4	19.6	1.4	0.4	72.1	1.8	4.205
施策6 総合的な治水対策の推進	63.1	22.2	9.5	0.5	0.2	85.3	0.6	4.548
施策7 交通安全対策の推進	56.5	27.5	10.9	0.7	0.1	84.0	0.8	4.460
施策8 危機管理体制の強化	60.5	22.8	12.0	0.3	0.1	83.2	0.4	4.499
施策9 防犯対策の推進	63.2	22.3	9.6	0.3	0.1	85.5	0.3	4.555
施策10 安全で安定した水の供給	67.4	20.3	7.6	0.3	0.1	87.7	0.4	4.617
施策11 地域とともに栄える産業の振興	32.7	32.6	26.5	2.4	1.0	65.3	3.4	3.984
施策12 地域情報化の推進	27.7	26.6	33.6	3.2	1.0	54.2	4.2	3.833
施策13 公共交通網の充実	42.7	30.5	19.0	1.8	0.4	73.2	2.2	4.201
施策14 安全で快適な道路の整備	53.8	27.6	12.0	0.9	0.2	81.4	1.1	4.416
施策15 高齢者福祉の推進	52.7	23.8	16.4	0.9	0.2	76.5	1.1	4.361
施策16 児童福祉の推進	51.4	21.7	16.8	1.0	0.4	73.1	1.4	4.345
施策17 信頼される学校教育の推進	55.2	20.4	14.9	0.6	0.2	75.6	0.7	4.424
施策18 子ども・青少年の育成の充実	40.4	27.8	21.5	1.9	0.3	68.2	2.1	4.157
施策19 市民自治の推進	27.3	32.4	28.1	4.5	1.2	59.7	5.6	3.858
施策20 地域福祉の推進	41.9	29.1	21.5	1.4	0.4	70.9	1.8	4.175
施策21 勤労者・雇用対策の推進	38.0	26.1	25.4	1.5	0.5	64.1	2.0	4.090
施策22 障がい者福祉の推進	47.1	25.4	19.0	0.5	0.2	72.4	0.7	4.287
施策23 生活保護世帯の自立助長	35.0	21.9	30.7	3.1	1.6	56.8	4.6	3.929
施策24 国際交流・地域間交流の充実	15.4	22.4	41.8	6.5	2.7	37.9	9.3	3.465
施策25 人権の尊重	28.5	23.7	32.7	3.1	1.1	52.2	4.2	3.846
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	21.6	27.2	34.6	4.1	1.3	48.8	5.4	3.717
施策27 消費者の自立と支援	35.2	26.9	25.4	1.7	0.4	62.1	2.1	4.059
施策28 心と体の健康づくり	56.0	23.4	11.0	0.4	0.1	79.4	0.4	4.486
施策29 医療環境の充実	58.9	20.5	11.1	0.5	0.1	79.3	0.6	4.511
施策30 市民参画制度の推進	35.0	25.7	30.9	2.6	0.6	60.6	3.2	3.970
施策31 市民と協働できる職員の育成	42.2	26.4	24.3	1.5	0.5	68.6	2.0	4.142
施策32 便利な市民サービスの推進	44.1	29.8	19.9	0.9	0.4	73.8	1.3	4.225
施策33 効果的効率的行政の推進	34.5	21.3	35.2	1.5	0.5	55.8	1.9	3.947
施策34 質の高い広域連携の推進	28.2	27.1	35.8	2.2	0.6	55.3	2.8	3.853

第3章 調査結果の分析

平成 26 年度 (1,988 人)



(2) 全体・重要度順位

【重要度】平成26年度・全体（1,988人）		
順位	施策番号・施策名	(平均値)
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.617
2	施策9 防犯対策の推進	4.555
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.548
4	施策29 医療環境の充実	4.511
5	施策8 危機管理体制の強化	4.499
6	施策28 心と体の健康づくり	4.486
7	施策7 交通安全対策の推進	4.460
8	施策17 信頼される学校教育の推進	4.424
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.416
10	施策1 水環境の改善	4.375
11	施策15 高年者福祉の推進	4.361
12	施策16 児童福祉の推進	4.345
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.287
14	施策2 緑の保全と創出	4.266
15	施策32 便利な市民サービスの推進	4.225
16	施策3 環境を守り育てる	4.218
17	施策5 良好なまちづくりの推進	4.205
18	施策13 公共交通網の充実	4.201
19	施策20 地域福祉の推進	4.175
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.157
21	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.142
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.090
23	施策27 消費者の自立と支援	4.059
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.045
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.984
26	施策30 市民参画制度の推進	3.970
27	施策33 効果的効率的行政の推進	3.947
28	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.929
29	施策19 市民自治の推進	3.858
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.853
31	施策25 人権の尊重	3.846
32	施策12 地域情報化の推進	3.833
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.717
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.465

※詳しい分析は、164 ページ以降に記載するため、ここでは満足度の順位のみを掲載することとする。

(3) 性別・重要度順位

◆男性

【重要度】平成26年度・男性（880人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.655
2	施策9 防犯対策の推進	4.591
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.584
4	施策29 医療環境の充実	4.566
5	施策28 心と体の健康づくり	4.509
6	施策8 危機管理体制の強化	4.505
7	施策7 交通安全対策の推進	4.493
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.453
9	施策1 水環境の改善	4.442
10	施策17 信頼される学校教育の推進	4.427
11	施策16 児童福祉の推進	4.377
12	施策15 高齢者福祉の推進	4.377
13	施策2 緑の保全と創出	4.350
14	施策22 障がい者福祉の推進	4.288
15	施策5 良好なまちづくりの推進	4.259
16	施策32 便利な市民サービスの推進	4.231
17	施策13 公共交通網の充実	4.208
18	施策3 環境を守り育てる	4.207
19	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.158
20	施策20 地域福祉の推進	4.158
21	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.138
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.116
23	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.085
24	施策27 消費者の自立と支援	4.074
25	施策33 効果的効率的行政の推進	4.023
26	施策30 市民参画制度の推進	4.002
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.999
28	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.959
29	施策25 人権の尊重	3.885
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.878
31	施策19 市民自治の推進	3.874
32	施策12 地域情報化の推進	3.862
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.704
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.427

◆女性

【重要度】平成26年度・女性（1,049人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.592
2	施策9 防犯対策の推進	4.532
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.524
4	施策8 危機管理体制の強化	4.507
5	施策28 心と体の健康づくり	4.469
6	施策29 医療環境の充実	4.465
7	施策7 交通安全対策の推進	4.436
8	施策17 信頼される学校教育の推進	4.426
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.394
10	施策15 高齢者福祉の推進	4.358
11	施策1 水環境の改善	4.331
12	施策16 児童福祉の推進	4.329
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.292
14	施策3 環境を守り育てる	4.231
15	施策32 便利な市民サービスの推進	4.220
16	施策13 公共交通網の充実	4.203
17	施策2 緑の保全と創出	4.202
18	施策20 地域福祉の推進	4.193
19	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.179
20	施策5 良好なまちづくりの推進	4.169
21	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.129
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.075
23	施策27 消費者の自立と支援	4.050
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.020
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.978
26	施策30 市民参画制度の推進	3.945
27	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.905
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.886
29	施策19 市民自治の推進	3.847
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.829
31	施策12 地域情報化の推進	3.817
32	施策25 人権の尊重	3.815
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.728
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.495

(4) 年齢別・重要度順位

◆20歳代

【重要度】平成26年度・20歳代（50人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策8 危機管理体制の強化	4.420
2	施策9 防犯対策の推進	4.420
3	施策29 医療環境の充実	4.404
4	施策7 交通安全対策の推進	4.400
5	施策16 児童福祉の推進	4.360
6	施策17 信頼される学校教育の推進	4.347
7	施策2 緑の保全と創出	4.306
8	施策10 安全で安定した水の供給	4.300
9	施策6 総合的な治水対策の推進	4.260
10	施策28 心と体の健康づくり	4.255
11	施策5 良好なまちづくりの推進	4.224
12	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.188
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.170
14	施策12 地域情報化の推進	4.104
15	施策3 環境を守り育てる	4.102
16	施策1 水環境の改善	4.082
17	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.061
18	施策13 公共交通網の充実	4.061
19	施策14 安全で快適な道路の整備	4.061
20	施策20 地域福祉の推進	4.042
21	施策32 便利な市民サービスの推進	4.020
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.000
23	施策27 消費者の自立と支援	3.936
24	施策15 高年者福祉の推進	3.918
25	施策19 市民自治の推進	3.896
26	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.857
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.820
28	施策34 質の高い広域連携の推進	3.816
29	施策33 効果的効率的行政の推進	3.796
30	施策30 市民参画制度の推進	3.776
31	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.766
32	施策25 人権の尊重	3.745
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.702
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.489

◆30歳代

【重要度】平成26年度・30歳代（181人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策9 防犯対策の推進	4.624
2	施策29 医療環境の充実	4.609
3	施策16 児童福祉の推進	4.599
4	施策10 安全で安定した水の供給	4.581
5	施策7 交通安全対策の推進	4.559
6	施策17 信頼される学校教育の推進	4.537
7	施策8 危機管理体制の強化	4.531
8	施策28 心と体の健康づくり	4.529
9	施策6 総合的な治水対策の推進	4.475
10	施策14 安全で快適な道路の整備	4.392
11	施策2 緑の保全と創出	4.387
12	施策22 障がい者福祉の推進	4.335
13	施策15 高年者福祉の推進	4.298
14	施策1 水環境の改善	4.277
15	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.237
16	施策5 良好なまちづくりの推進	4.236
17	施策3 環境を守り育てる	4.218
18	施策32 便利な市民サービスの推進	4.217
19	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.175
20	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.167
21	施策13 公共交通網の充実	4.165
22	施策20 地域福祉の推進	4.113
23	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.044
24	施策23 生活保護世帯の自立助長	4.017
25	施策27 消費者の自立と支援	4.011
26	施策12 地域情報化の推進	3.989
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.843
28	施策19 市民自治の推進	3.808
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.799
30	施策30 市民参画制度の推進	3.789
31	施策33 効果的効率的行政の推進	3.788
32	施策25 人権の尊重	3.682
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.532
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.283

第3章 調査結果の分析

◆40 歳代

【重要度】平成26年度・40歳代（184人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策9 防犯対策の推進	4.681
2	施策10 安全で安定した水の供給	4.577
3	施策29 医療環境の充実	4.522
4	施策8 危機管理体制の強化	4.500
5	施策6 総合的な治水対策の推進	4.481
6	施策14 安全で快適な道路の整備	4.441
7	施策7 交通安全対策の推進	4.436
8	施策15 高齢者福祉の推進	4.385
9	施策28 心と体の健康づくり	4.382
10	施策1 水環境の改善	4.324
11	施策22 障がい者福祉の推進	4.315
12	施策16 児童福祉の推進	4.313
13	施策2 緑の保全と創出	4.307
14	施策17 信頼される学校教育の推進	4.291
15	施策13 公共交通網の充実	4.211
16	施策32 便利な市民サービスの推進	4.196
17	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.166
18	施策5 良好なまちづくりの推進	4.156
19	施策3 環境を守り育てる	4.140
20	施策20 地域福祉の推進	4.116
21	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.049
22	施策27 消費者の自立と支援	4.011
23	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.994
24	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.967
25	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.955
26	施策12 地域情報化の推進	3.944
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.907
28	施策25 人権の尊重	3.826
29	施策33 効果的効率的行政の推進	3.820
30	施策19 市民自治の推進	3.779
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.754
32	施策30 市民参画制度の推進	3.696
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.489
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.275

◆50 歳代

【重要度】平成26年度・50歳代（150人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策6 総合的な治水対策の推進	4.476
2	施策9 防犯対策の推進	4.469
3	施策10 安全で安定した水の供給	4.462
4	施策29 医療環境の充実	4.455
5	施策15 高齢者福祉の推進	4.432
6	施策8 危機管理体制の強化	4.428
7	施策28 心と体の健康づくり	4.401
8	施策7 交通安全対策の推進	4.366
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.336
10	施策17 信頼される学校教育の推進	4.315
11	施策16 児童福祉の推進	4.281
12	施策1 水環境の改善	4.250
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.178
14	施策5 良好なまちづくりの推進	4.175
15	施策2 緑の保全と創出	4.125
16	施策3 環境を守り育てる	4.105
17	施策32 便利な市民サービスの推進	4.087
18	施策13 公共交通網の充実	4.048
19	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.027
20	施策20 地域福祉の推進	4.000
21	施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.993
22	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.979
23	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.952
24	施策27 消費者の自立と支援	3.951
25	施策31 市民と協働できる職員の育成	3.927
26	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.862
27	施策30 市民参画制度の推進	3.820
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.797
29	施策12 地域情報化の推進	3.731
30	施策19 市民自治の推進	3.707
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.649
32	施策25 人権の尊重	3.648
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.497
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.141

◆60 歳代

【重要度】平成26年度・60歳代（452人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.651
2	施策6 総合的な治水対策の推進	4.605
3	施策9 防犯対策の推進	4.555
4	施策8 危機管理体制の強化	4.490
5	施策28 心と体の健康づくり	4.463
6	施策17 信頼される学校教育の推進	4.459
7	施策7 交通安全対策の推進	4.433
8	施策29 医療環境の充実	4.425
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.412
10	施策1 水環境の改善	4.372
11	施策15 高年者福祉の推進	4.355
12	施策16 児童福祉の推進	4.354
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.277
14	施策2 緑の保全と創出	4.270
15	施策3 環境を守り育てる	4.226
16	施策13 公共交通網の充実	4.211
17	施策32 便利な市民サービスの推進	4.177
18	施策5 良好なまちづくりの推進	4.171
19	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.161
20	施策20 地域福祉の推進	4.157
21	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.111
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.095
23	施策27 消費者の自立と支援	3.981
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.977
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.961
26	施策33 効果的効率的行政の推進	3.936
27	施策30 市民参画制度の推進	3.934
28	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.890
29	施策25 人権の尊重	3.812
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.788
31	施策19 市民自治の推進	3.782
32	施策12 地域情報化の推進	3.726
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.696
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.370

◆70 歳代

【重要度】平成26年度・70歳代（718人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.684
2	施策6 総合的な治水対策の推進	4.603
3	施策9 防犯対策の推進	4.549
4	施策29 医療環境の充実	4.545
5	施策28 心と体の健康づくり	4.542
6	施策8 危機管理体制の強化	4.531
7	施策7 交通安全対策の推進	4.493
8	施策1 水環境の改善	4.482
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.465
10	施策17 信頼される学校教育の推進	4.449
11	施策15 高年者福祉の推進	4.394
12	施策16 児童福祉の推進	4.316
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.305
14	施策32 便利な市民サービスの推進	4.293
15	施策2 緑の保全と創出	4.285
16	施策3 環境を守り育てる	4.275
17	施策20 地域福祉の推進	4.263
18	施策5 良好なまちづくりの推進	4.245
19	施策13 公共交通網の充実	4.239
20	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.228
21	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.217
22	施策27 消費者の自立と支援	4.158
23	施策30 市民参画制度の推進	4.104
24	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.099
25	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.092
26	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.065
27	施策33 効果的効率的行政の推進	4.036
28	施策19 市民自治の推進	3.975
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.945
30	施策25 人権の尊重	3.933
31	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.918
32	施策12 地域情報化の推進	3.851
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.837
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.641

第3章 調査結果の分析

◆80歳以上

【重要度】平成26年度・80歳以上（212人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.600
2	施策29 医療環境の充実	4.571
3	施策28 心と体の健康づくり	4.541
4	施策6 総合的な治水対策の推進	4.521
5	施策9 防犯対策の推進	4.520
6	施策8 危機管理体制の強化	4.479
7	施策7 交通安全対策の推進	4.444
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.421
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.398
10	施策15 高齢者福祉の推進	4.369
11	施策1 水環境の改善	4.363
12	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.328
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.316
14	施策16 児童福祉の推進	4.294
15	施策32 便利な市民サービスの推進	4.286
16	施策13 公共交通網の充実	4.246
17	施策5 良好なまちづくりの推進	4.229
18	施策20 地域福祉の推進	4.205
19	施策3 環境を守り育てる	4.197
20	施策30 市民参画制度の推進	4.173
21	施策2 緑の保全と創出	4.167
22	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.145
23	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.116
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.104
25	施策27 消費者の自立と支援	4.090
26	施策33 効果的効率的行政の推進	4.081
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.015
28	施策25 人権の尊重	3.988
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.984
30	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.983
31	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.934
32	施策19 市民自治の推進	3.841
33	施策12 地域情報化の推進	3.789
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.680

(5) 居住地域別・重要度順位

◆新田西部

【重要度】平成26年度・新田西部（324人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.676
2	施策9 防犯対策の推進	4.647
3	施策29 医療環境の充実	4.572
4	施策6 総合的な治水対策の推進	4.556
5	施策8 危機管理体制の強化	4.527
6	施策28 心と体の健康づくり	4.518
7	施策7 交通安全対策の推進	4.510
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.445
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.435
10	施策1 水環境の改善	4.420
11	施策15 高齢者福祉の推進	4.404
12	施策16 児童福祉の推進	4.325
13	施策22 障がい者福祉の推進	4.318
14	施策5 良好なまちづくりの推進	4.313
15	施策2 緑の保全と創出	4.292
16	施策32 便利な市民サービスの推進	4.272
17	施策20 地域福祉の推進	4.248
18	施策13 公共交通網の充実	4.230
19	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.183
20	施策3 環境を守り育てる	4.179
21	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.168
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.147
23	施策27 消費者の自立と支援	4.145
24	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.145
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.016
26	施策30 市民参画制度の推進	3.965
27	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.964
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.948
29	施策19 市民自治の推進	3.902
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.881
31	施策12 地域情報化の推進	3.869
32	施策25 人権の尊重	3.865
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.730
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.529

◆新田東部

【重要度】平成26年度・新田東部（262人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.611
2	施策9 防犯対策の推進	4.563
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.552
4	施策8 危機管理体制の強化	4.504
5	施策29 医療環境の充実	4.492
6	施策28 心と体の健康づくり	4.481
7	施策1 水環境の改善	4.437
8	施策15 高齢者福祉の推進	4.433
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.420
10	施策16 児童福祉の推進	4.411
11	施策7 交通安全対策の推進	4.408
12	施策14 安全で快適な道路の整備	4.403
13	施策2 緑の保全と創出	4.344
14	施策22 障がい者福祉の推進	4.339
15	施策3 環境を守り育てる	4.221
16	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.213
17	施策32 便利な市民サービスの推進	4.211
18	施策5 良好なまちづくりの推進	4.201
19	施策20 地域福祉の推進	4.191
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.166
21	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.147
22	施策13 公共交通網の充実	4.127
23	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.012
24	施策30 市民参画制度の推進	4.004
25	施策19 市民自治の推進	3.992
26	施策27 消費者の自立と支援	3.983
27	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.980
28	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.940
29	施策33 効果的効率的行政の推進	3.924
30	施策25 人権の尊重	3.833
31	施策12 地域情報化の推進	3.816
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.805
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.763
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.492

第3章 調査結果の分析

◆草加川柳

【重要度】平成26年度・草加川柳（154人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.570
2	施策9 防犯対策の推進	4.543
3	施策29 医療環境の充実	4.497
4	施策6 総合的な治水対策の推進	4.493
5	施策8 危機管理体制の強化	4.460
6	施策28 心と体の健康づくり	4.451
7	施策7 交通安全対策の推進	4.447
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.423
9	施策13 公共交通網の充実	4.409
10	施策15 高齢者福祉の推進	4.388
11	施策17 信頼される学校教育の推進	4.379
12	施策16 児童福祉の推進	4.303
13	施策1 水環境の改善	4.248
14	施策3 環境を守り育てる	4.219
15	施策22 障がい者福祉の推進	4.216
16	施策20 地域福祉の推進	4.166
17	施策2 緑の保全と創出	4.154
18	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.140
19	施策32 便利な市民サービスの推進	4.134
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.133
21	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.096
22	施策5 良好なまちづくりの推進	4.027
23	施策23 生活保護世帯の自立助長	4.000
24	施策27 消費者の自立と支援	3.929
25	施策30 市民参画制度の推進	3.919
26	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.911
27	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.900
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.886
29	施策19 市民自治の推進	3.834
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.743
31	施策25 人権の尊重	3.706
32	施策12 地域情報化の推進	3.658
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.599
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.394

◆草加安行

【重要度】平成26年度・草加安行（277人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.594
2	施策6 総合的な治水対策の推進	4.533
3	施策8 危機管理体制の強化	4.504
4	施策28 心と体の健康づくり	4.474
5	施策7 交通安全対策の推進	4.462
6	施策29 医療環境の充実	4.456
7	施策9 防犯対策の推進	4.442
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.422
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.388
10	施策1 水環境の改善	4.373
11	施策16 児童福祉の推進	4.307
12	施策15 高齢者福祉の推進	4.296
13	施策5 良好なまちづくりの推進	4.291
14	施策2 緑の保全と創出	4.287
15	施策22 障がい者福祉の推進	4.281
16	施策3 環境を守り育てる	4.232
17	施策32 便利な市民サービスの推進	4.223
18	施策13 公共交通網の充実	4.195
19	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.179
20	施策27 消費者の自立と支援	4.167
21	施策20 地域福祉の推進	4.156
22	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.117
23	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.097
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.086
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.048
26	施策30 市民参画制度の推進	4.046
27	施策33 効果的効率的行政の推進	4.000
28	施策25 人権の尊重	3.962
29	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.920
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.899
31	施策12 地域情報化の推進	3.836
32	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.799
33	施策19 市民自治の推進	3.795
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.583

◆草加西部

【重要度】平成26年度・草加西部（230人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.659
2	施策9 防犯対策の推進	4.589
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.554
4	施策8 危機管理体制の強化	4.546
5	施策7 交通安全対策の推進	4.521
6	施策28 心と体の健康づくり	4.507
7	施策29 医療環境の充実	4.502
8	施策14 安全で快適な道路の整備	4.469
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.435
10	施策1 水環境の改善	4.414
11	施策16 児童福祉の推進	4.388
12	施策15 高齢者福祉の推進	4.388
13	施策2 緑の保全と創出	4.336
14	施策22 障がい者福祉の推進	4.316
15	施策3 環境を守り育てる	4.273
16	施策32 便利な市民サービスの推進	4.245
17	施策5 良好なまちづくりの推進	4.190
18	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.171
19	施策13 公共交通網の充実	4.169
20	施策20 地域福祉の推進	4.139
21	施策27 消費者の自立と支援	4.137
22	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.110
23	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.102
24	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.076
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.009
26	施策33 効果的効率的行政の推進	3.995
27	施策30 市民参画制度の推進	3.972
28	施策12 地域情報化の推進	3.903
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.897
30	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.892
31	施策25 人権の尊重	3.877
32	施策19 市民自治の推進	3.812
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.793
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.451

◆草加東部

【重要度】平成26年度・草加東部（212人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策29 医療環境の充実	4.559
2	施策10 安全で安定した水の供給	4.540
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.515
4	施策28 心と体の健康づくり	4.497
5	施策9 防犯対策の推進	4.495
6	施策8 危機管理体制の強化	4.418
7	施策17 信頼される学校教育の推進	4.370
8	施策7 交通安全対策の推進	4.358
9	施策1 水環境の改善	4.338
10	施策16 児童福祉の推進	4.307
11	施策14 安全で快適な道路の整備	4.283
12	施策22 障がい者福祉の推進	4.268
13	施策15 高齢者福祉の推進	4.264
14	施策32 便利な市民サービスの推進	4.231
15	施策20 地域福祉の推進	4.204
16	施策2 緑の保全と創出	4.201
17	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.141
18	施策3 環境を守り育てる	4.131
19	施策13 公共交通網の充実	4.125
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.124
21	施策5 良好なまちづくりの推進	4.102
22	施策33 効果的効率的行政の推進	4.021
23	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.016
24	施策27 消費者の自立と支援	3.967
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.965
26	施策30 市民参画制度の推進	3.965
27	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.941
28	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.933
29	施策34 質の高い広域連携の推進	3.927
30	施策12 地域情報化の推進	3.883
31	施策19 市民自治の推進	3.878
32	施策25 人権の尊重	3.863
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.652
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.467

◆草加稲荷

【重要度】平成26年度・草加稲荷（67人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策6 総合的な治水対策の推進	4.797
2	施策10 安全で安定した水の供給	4.688
3	施策8 危機管理体制の強化	4.644
4	施策7 交通安全対策の推進	4.635
5	施策28 心と体の健康づくり	4.600
6	施策29 医療環境の充実	4.583
7	施策9 防犯対策の推進	4.578
8	施策17 信頼される学校教育の推進	4.576
9	施策14 安全で快適な道路の整備	4.492
10	施策15 高齢者福祉の推進	4.443
11	施策3 環境を守り育てる	4.383
12	施策1 水環境の改善	4.377
13	施策5 良好なまちづくりの推進	4.368
14	施策16 児童福祉の推進	4.356
15	施策22 障がい者福祉の推進	4.356
16	施策2 緑の保全と創出	4.344
17	施策32 便利な市民サービスの推進	4.323
18	施策13 公共交通網の充実	4.226
19	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.224
20	施策20 地域福祉の推進	4.217
21	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.180
22	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.167
23	施策27 消費者の自立と支援	4.100
24	施策33 効果的効率的行政の推進	4.081
25	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.079
26	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.068
27	施策19 市民自治の推進	3.949
28	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.915
29	施策25 人権の尊重	3.915
30	施策30 市民参画制度の推進	3.889
31	施策34 質の高い広域連携の推進	3.873
32	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.847
33	施策12 地域情報化の推進	3.817
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.448

◆谷塚西部

【重要度】平成26年度・谷塚西部（202人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.608
2	施策9 防犯対策の推進	4.567
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.519
4	施策14 安全で快適な道路の整備	4.513
5	施策7 交通安全対策の推進	4.511
6	施策28 心と体の健康づくり	4.495
7	施策8 危機管理体制の強化	4.474
8	施策29 医療環境の充実	4.443
9	施策17 信頼される学校教育の推進	4.422
10	施策16 児童福祉の推進	4.377
11	施策13 公共交通網の充実	4.360
12	施策1 水環境の改善	4.354
13	施策15 高齢者福祉の推進	4.305
14	施策22 障がい者福祉の推進	4.268
15	施策2 緑の保全と創出	4.258
16	施策32 便利な市民サービスの推進	4.176
17	施策3 環境を守り育てる	4.168
18	施策20 地域福祉の推進	4.157
19	施策5 良好なまちづくりの推進	4.134
20	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.123
21	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.080
22	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.050
23	施策27 消費者の自立と支援	3.983
24	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.968
25	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.916
26	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.862
27	施策30 市民参画制度の推進	3.856
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.842
29	施策12 地域情報化の推進	3.812
30	施策34 質の高い広域連携の推進	3.773
31	施策19 市民自治の推進	3.737
32	施策25 人権の尊重	3.729
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.545
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.330

◆谷塚中央

【重要度】平成26年度・谷塚中央（138人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.674
2	施策9 防犯対策の推進	4.602
3	施策6 総合的な治水対策の推進	4.600
4	施策29 医療環境の充実	4.594
5	施策8 危機管理体制の強化	4.508
6	施策17 信頼される学校教育の推進	4.476
7	施策28 心と体の健康づくり	4.468
8	施策7 交通安全対策の推進	4.466
9	施策1 水環境の改善	4.414
10	施策15 高齢者福祉の推進	4.383
11	施策16 児童福祉の推進	4.370
12	施策3 環境を守り育てる	4.339
13	施策14 安全で快適な道路の整備	4.328
14	施策22 障がい者福祉の推進	4.325
15	施策32 便利な市民サービスの推進	4.242
16	施策2 緑の保全と創出	4.208
17	施策5 良好なまちづくりの推進	4.198
18	施策20 地域福祉の推進	4.197
19	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.197
20	施策21 勤労者・雇用対策の推進	4.157
21	施策27 消費者の自立と支援	4.144
22	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.121
23	施策4 心地よいまちづくりの推進	4.110
24	施策13 公共交通網の充実	4.090
25	施策11 地域とともに栄える産業の振興	4.024
26	施策30 市民参画制度の推進	4.016
27	施策33 効果的効率的行政の推進	3.930
28	施策34 質の高い広域連携の推進	3.906
29	施策25 人権の尊重	3.887
30	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.814
31	施策12 地域情報化の推進	3.811
32	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.795
33	施策19 市民自治の推進	3.771
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.447

◆谷塚東部

【重要度】平成26年度・谷塚東部（121人）		
順位	施策番号・施策名	（平均値）
1	施策10 安全で安定した水の供給	4.540
2	施策6 総合的な治水対策の推進	4.534
3	施策9 防犯対策の推進	4.509
4	施策17 信頼される学校教育の推進	4.472
5	施策8 危機管理体制の強化	4.465
6	施策29 医療環境の充実	4.450
7	施策14 安全で快適な道路の整備	4.375
8	施策28 心と体の健康づくり	4.373
9	施策15 高齢者福祉の推進	4.364
10	施策7 交通安全対策の推進	4.353
11	施策16 児童福祉の推進	4.287
12	施策1 水環境の改善	4.263
13	施策18 子ども・青少年の育成の充実	4.211
14	施策5 良好なまちづくりの推進	4.204
15	施策32 便利な市民サービスの推進	4.193
16	施策3 環境を守り育てる	4.188
17	施策2 緑の保全と創出	4.149
18	施策31 市民と協働できる職員の育成	4.123
19	施策22 障がい者福祉の推進	4.119
20	施策13 公共交通網の充実	4.100
21	施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.983
22	施策20 地域福祉の推進	3.982
23	施策30 市民参画制度の推進	3.974
24	施策27 消費者の自立と支援	3.935
25	施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.927
26	施策19 市民自治の推進	3.912
27	施策4 心地よいまちづくりの推進	3.904
28	施策33 効果的効率的行政の推進	3.850
29	施策12 地域情報化の推進	3.838
30	施策23 生活保護世帯の自立助長	3.835
31	施策25 人権の尊重	3.774
32	施策34 質の高い広域連携の推進	3.765
33	施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.639
34	施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.333

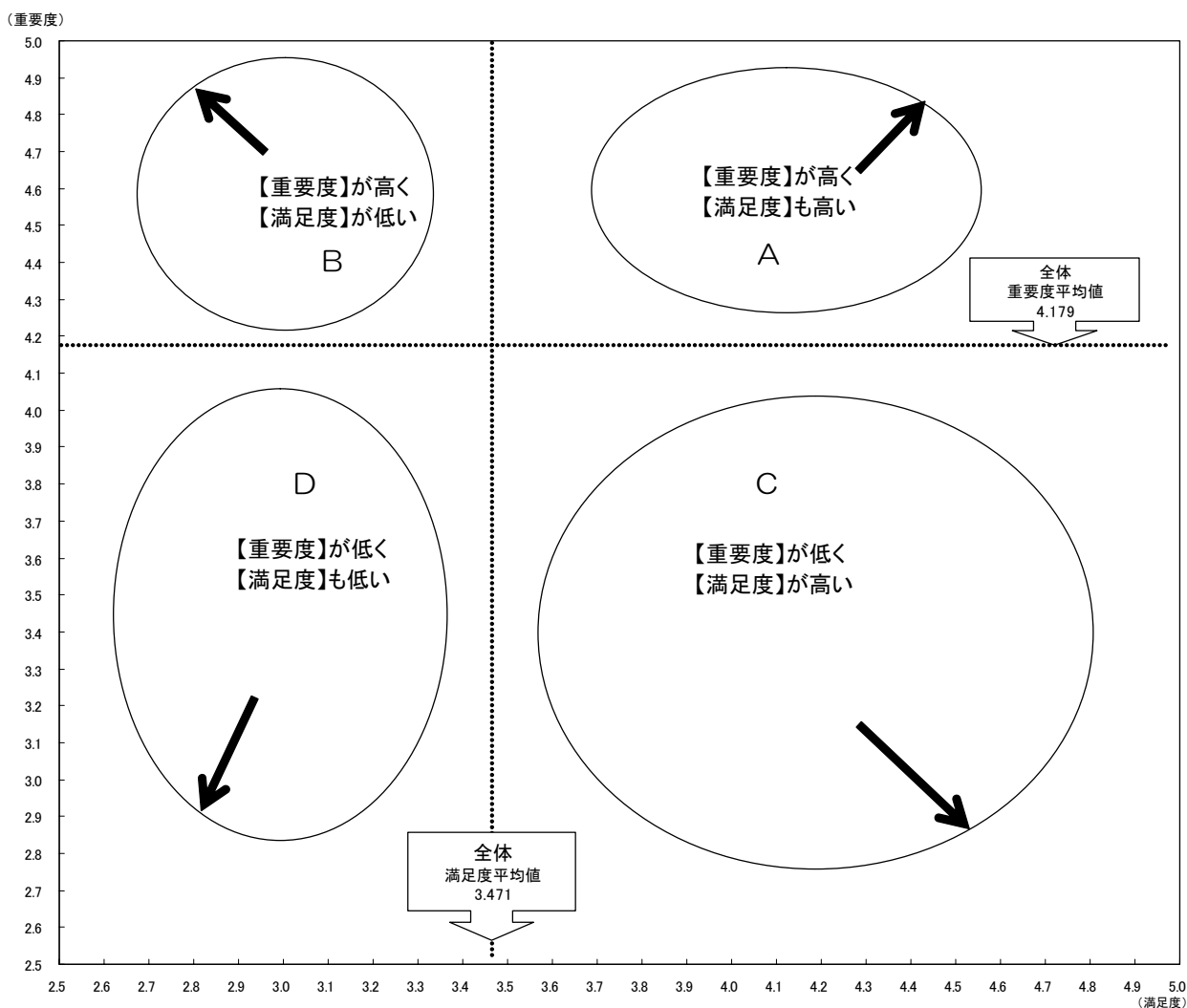
3

34 施策の散布図

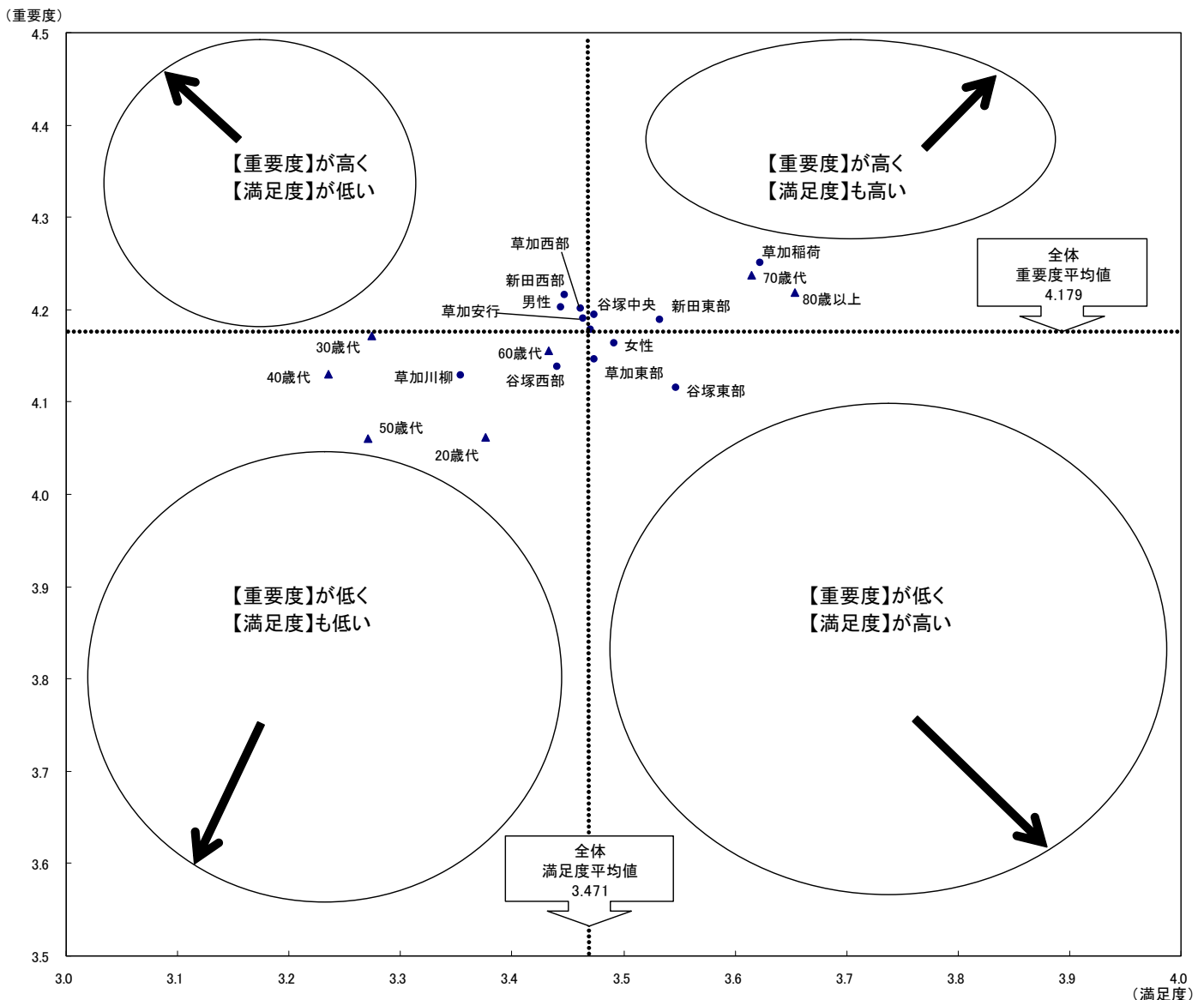
(1) 散布図の考え方

満足度を横軸に、重要度を縦軸にした散布図で、満足度と重要度の相関関係を見る。34 施策の平均点（満足度 3.471、重要度 4.179）を座標で示し、その座標点を原点として縦横の軸を引きA、B、C、Dのエリアでそれらの特性をみる。

- A：右上に位置するほど《【重要度】が高く【満足度】も高い施策》
- B：左上に位置するほど《【重要度】が高く【満足度】が低い施策》
- C：右下に位置するほど《【重要度】が低く【満足度】が高い施策》
- D：左下に位置するほど《【重要度】が低く【満足度】も低い施策》



(2) 性別・年齢別・居住地域別平均値の比較



満足度、重要度の全体の平均値と、性別の平均値を比較すると、男性は全体より重要度が高いが満足度は低い。一方、女性は全体より重要度が低いが満足度は高い。

年齢別の平均値を比較すると、全体より重要度、満足度ともに高いのは「70歳代」「80歳以上」であり、重要度、満足度ともに低いのは「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」である。

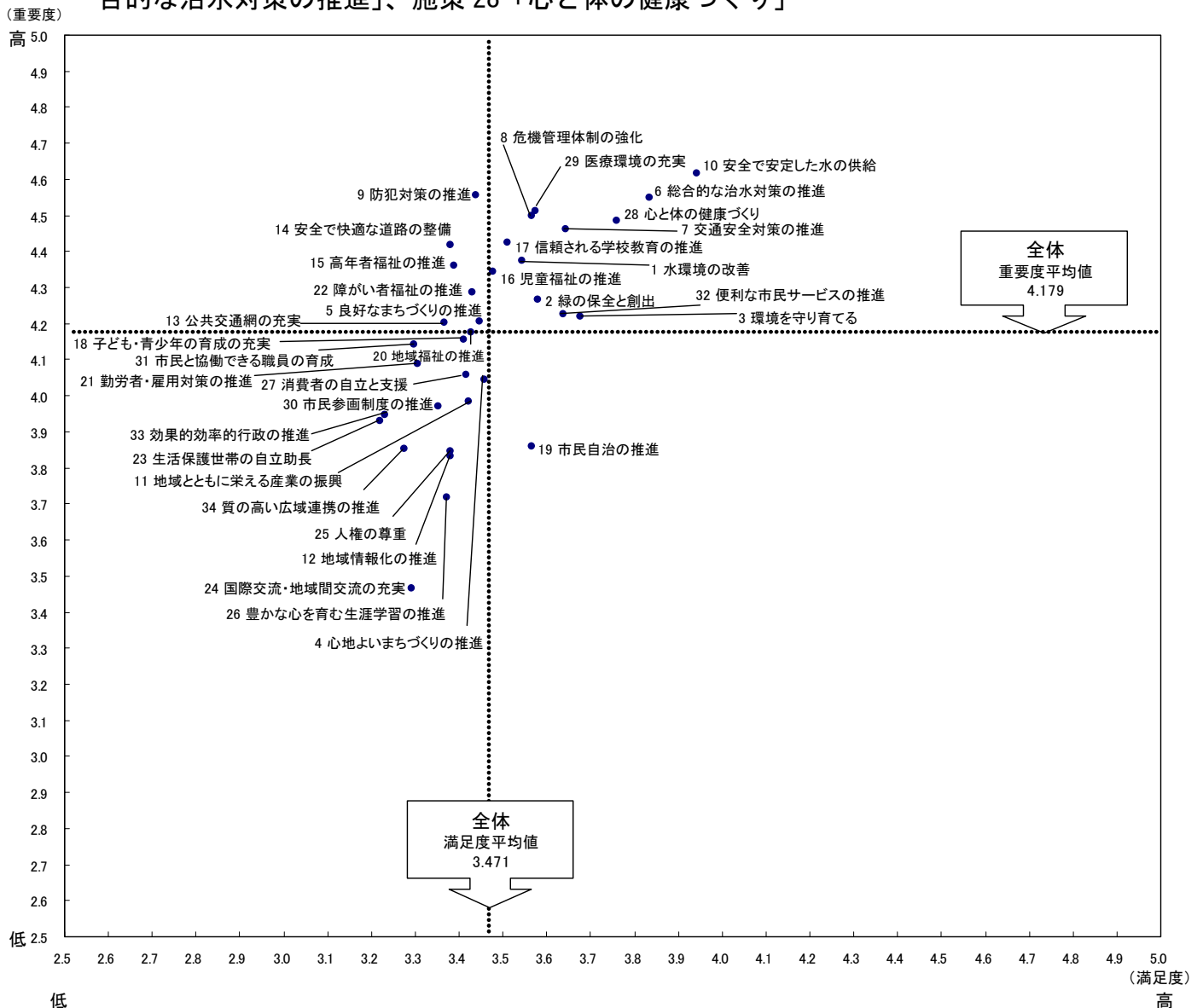
居住地域別の平均値を比較すると、全体より重要度、満足度がともに高い居住地域は「草加稲荷」「新田東部」「谷塚中央」である。重要度が高いが満足度は低い居住地域は「新田西部」「草加西部」「草加安行」である。重要度が低いが満足度は高い居住地域は「谷塚東部」「草加東部」である。重要度、満足度ともに低い居住地域は「谷塚西部」「草加川柳」である。

(3) 全体

平成 26 年度全体 : 1,988 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.543	4.375
施策2 緑の保全と創出	3.579	4.266
施策3 環境を守り育てる	3.677	4.218
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.457	4.045
施策5 良好なまちづくりの推進	3.447	4.205
施策6 総合的な治水対策の推進	3.834	4.548
施策7 交通安全対策の推進	3.643	4.460
施策8 危機管理体制の強化	3.566	4.499
施策9 防犯対策の推進	3.439	4.555
施策10 安全で安定した水の供給	3.944	4.617
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.423	3.984
施策12 地域情報化の推進	3.381	3.833
施策13 公共交通網の充実	3.366	4.201
施策14 安全で快適な道路の整備	3.382	4.416
施策15 高年者福祉の推進	3.389	4.361
施策16 児童福祉の推進	3.479	4.345
施策17 信頼される学校教育の推進	3.511	4.424
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.410	4.157
施策19 市民自治の推進	3.567	3.858
施策20 地域福祉の推進	3.428	4.175
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.306	4.090
施策22 障がい者福祉の推進	3.432	4.287
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.221	3.929
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.291	3.465
施策25 人権の尊重	3.380	3.846
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.371	3.717
施策27 消費者の自立と支援	3.416	4.059
施策28 心と体の健康づくり	3.760	4.486
施策29 医療環境の充実	3.574	4.511
施策30 市民参画制度の推進	3.354	3.970
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.298	4.142
施策32 便利な市民サービスの推進	3.637	4.225
施策33 効果的効率的行政の推進	3.232	3.947
施策34 質の高い広域連携の推進	3.275	3.853
	満足度	重要度
全体平均	3.471	4.179

●重要度・満足度ともに高い施策は施策10「安全で安定した水の供給」、施策6「6 総合的な治水対策の推進」、施策28「心と体の健康づくり」



全体の散布図をみると、《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが高満足度の高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「33 効果的効率的行政の推進」「25 人権の尊重」「12 地域情報化の推進」などがあげられる。

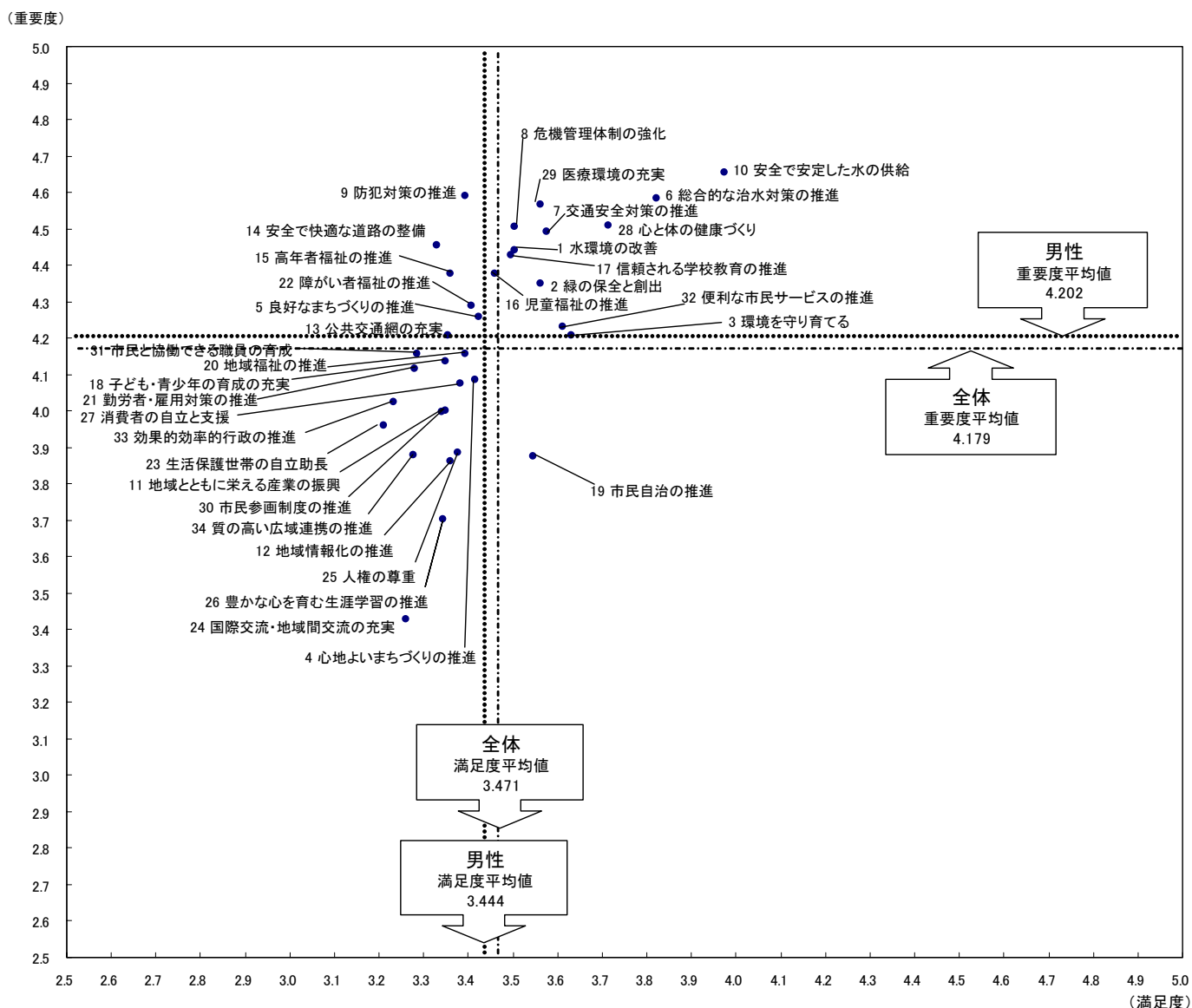
(4) 性別

◆男性

男性：880人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.504	4.442
施策2 緑の保全と創出	3.563	4.350
施策3 環境を守り育てる	3.631	4.207
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.415	4.085
施策5 良好なまちづくりの推進	3.423	4.259
施策6 総合的な治水対策の推進	3.822	4.584
施策7 交通安全対策の推進	3.576	4.493
施策8 危機管理体制の強化	3.504	4.505
施策9 防犯対策の推進	3.394	4.591
施策10 安全で安定した水の供給	3.973	4.655
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.340	3.999
施策12 地域情報化の推進	3.360	3.862
施策13 公共交通網の充実	3.354	4.208
施策14 安全で快適な道路の整備	3.329	4.453
施策15 高年者福祉の推進	3.360	4.377
施策16 児童福祉の推進	3.459	4.377
施策17 信頼される学校教育の推進	3.496	4.427
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.348	4.138
施策19 市民自治の推進	3.546	3.874
施策20 地域福祉の推進	3.392	4.158
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.279	4.116
施策22 障がい者福祉の推進	3.406	4.288
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.210	3.959
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.262	3.427
施策25 人権の尊重	3.377	3.885
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.345	3.704
施策27 消費者の自立と支援	3.381	4.074
施策28 心と体の健康づくり	3.714	4.509
施策29 医療環境の充実	3.561	4.566
施策30 市民参画制度の推進	3.348	4.002
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.285	4.158
施策32 便利な市民サービスの推進	3.611	4.231
施策33 効果的効率的行政の推進	3.233	4.023
施策34 質の高い広域連携の推進	3.277	3.878
	満足度	重要度
男性平均	3.444	4.202

B 草加市の基本となる施策に関すること



男性の散布図をみると、重要度平均値は4.202と全体より0.023ポイント高く、満足度平均値は3.444と全体より0.027ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが高満足度の施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

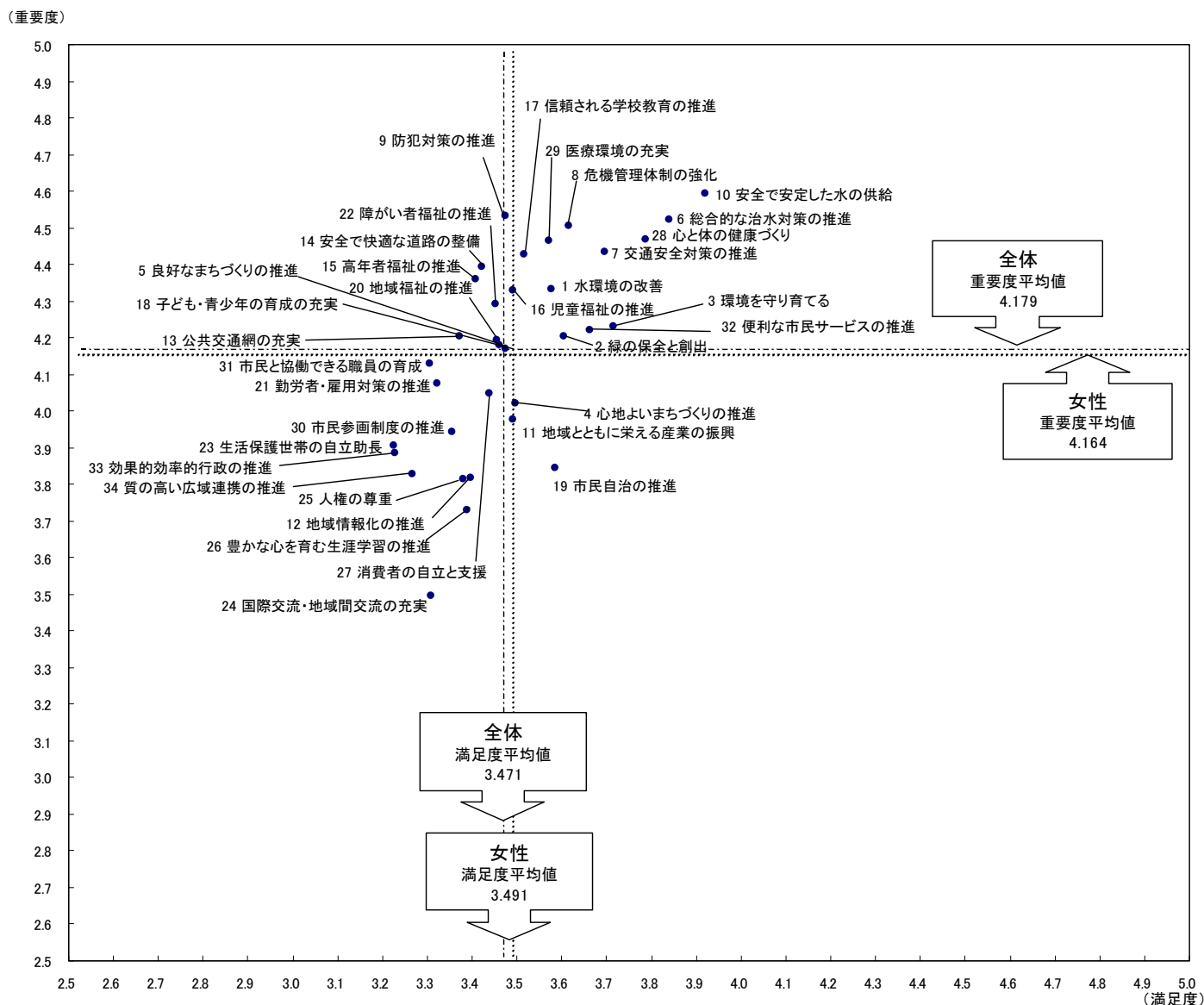
《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「12 地域情報化の推進」などがあげられる。

◆女性

女性：1,049人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.576	4.331
施策2 緑の保全と創出	3.604	4.202
施策3 環境を守り育てる	3.716	4.231
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.496	4.020
施策5 良好なまちづくりの推進	3.475	4.169
施策6 総合的な治水対策の推進	3.839	4.524
施策7 交通安全対策の推進	3.697	4.436
施策8 危機管理体制の強化	3.616	4.507
施策9 防犯対策の推進	3.475	4.532
施策10 安全で安定した水の供給	3.919	4.592
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.492	3.978
施策12 地域情報化の推進	3.396	3.817
施策13 公共交通網の充実	3.372	4.203
施策14 安全で快適な道路の整備	3.423	4.394
施策15 高齢者福祉の推進	3.407	4.358
施策16 児童福祉の推進	3.492	4.329
施策17 信頼される学校教育の推進	3.517	4.426
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.461	4.179
施策19 市民自治の推進	3.586	3.847
施策20 地域福祉の推進	3.454	4.193
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.321	4.075
施策22 障がい者福祉の推進	3.452	4.292
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.225	3.905
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.309	3.495
施策25 人権の尊重	3.381	3.815
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.389	3.728
施策27 消費者の自立と支援	3.438	4.050
施策28 心と体の健康づくり	3.788	4.469
施策29 医療環境の充実	3.570	4.465
施策30 市民参画制度の推進	3.355	3.945
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.305	4.129
施策32 便利な市民サービスの推進	3.664	4.220
施策33 効果的効率的行政の推進	3.228	3.886
施策34 質の高い広域連携の推進	3.267	3.829
	満足度	重要度
女性平均	3.491	4.164

B 草加市の基本となる施策に関すること



女性の散布図をみると、重要度平均値は4.164と全体より0.015ポイント低く、満足度平均値は3.491と全体より0.020ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」「7 交通安全対策の推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「15 高齢者福祉の推進」「14 安全で快適な道路の整備」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「25 人権の尊重」「33 効果的効率的行政の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」などがあげられる。

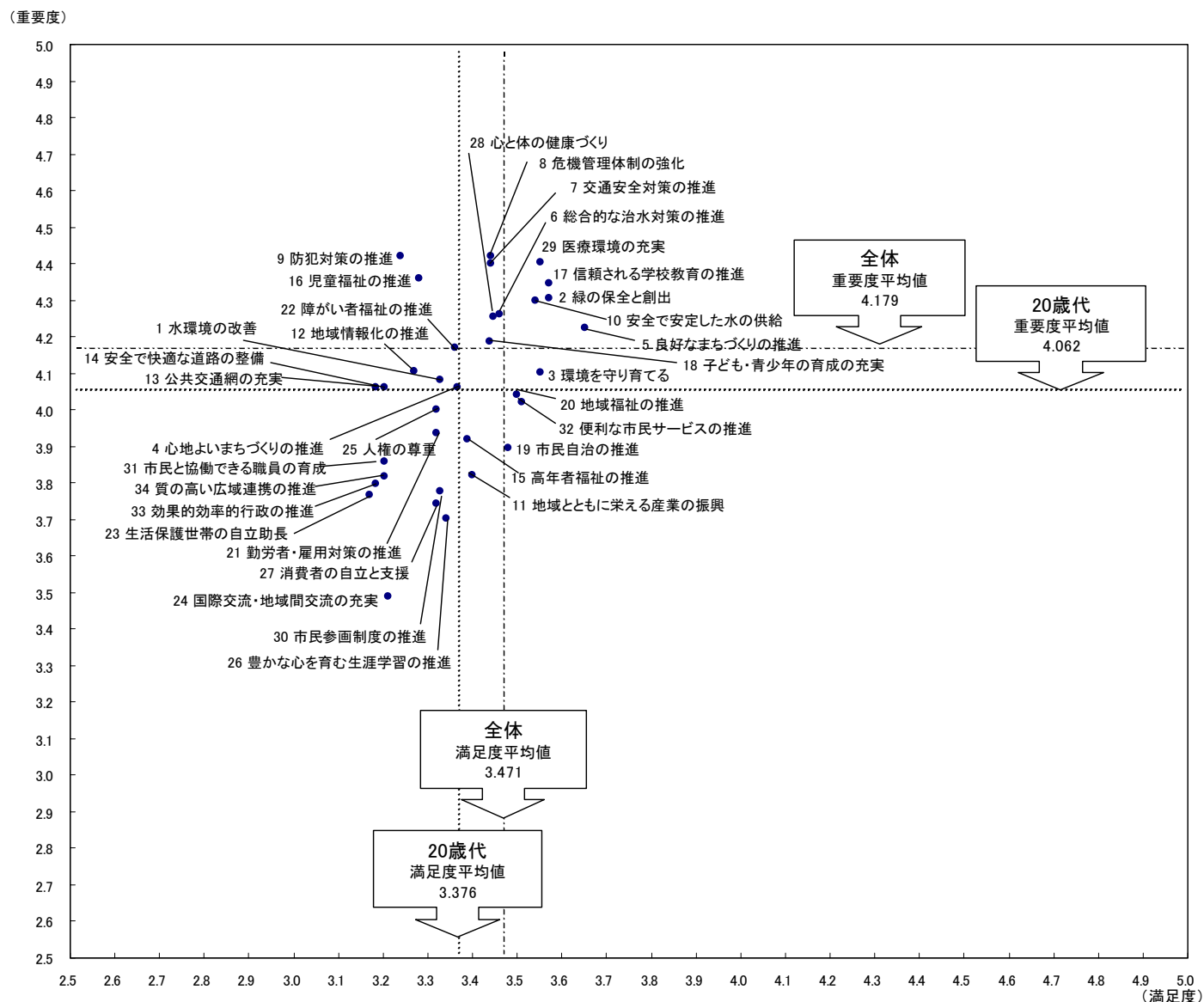
(5) 年齢別

◆20歳代

平成26年度20歳代：50人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.327	4.082
施策2 緑の保全と創出	3.571	4.306
施策3 環境を守り育てる	3.551	4.102
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.367	4.061
施策5 良好なまちづくりの推進	3.653	4.224
施策6 総合的な治水対策の推進	3.460	4.260
施策7 交通安全対策の推進	3.440	4.400
施策8 危機管理体制の強化	3.440	4.420
施策9 防犯対策の推進	3.240	4.420
施策10 安全で安定した水の供給	3.540	4.300
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.400	3.820
施策12 地域情報化の推進	3.271	4.104
施策13 公共交通網の充実	3.184	4.061
施策14 安全で快適な道路の整備	3.204	4.061
施策15 高齢者福祉の推進	3.388	3.918
施策16 児童福祉の推進	3.280	4.360
施策17 信頼される学校教育の推進	3.571	4.347
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.438	4.188
施策19 市民自治の推進	3.479	3.896
施策20 地域福祉の推進	3.500	4.042
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.319	4.000
施策22 障がい者福祉の推進	3.362	4.170
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.170	3.766
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.213	3.489
施策25 人権の尊重	3.319	3.745
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.340	3.702
施策27 消費者の自立と支援	3.319	3.936
施策28 心と体の健康づくり	3.447	4.255
施策29 医療環境の充実	3.553	4.404
施策30 市民参画制度の推進	3.327	3.776
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.204	3.857
施策32 便利な市民サービスの推進	3.510	4.020
施策33 効果的効率的行政の推進	3.184	3.796
施策34 質の高い広域連携の推進	3.204	3.816
	満足度	重要度
20歳代平均	3.376	4.062

B 草加市の基本となる施策に関すること



20歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.062で全体より0.117ポイント低い。満足度平均値は3.376で全体より0.095ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「29 医療環境の充実」「17 信頼される学校教育の推進」「10 安全で安定した水の供給」「2 緑の保全と創出」「5 良好なまちづくりの推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「16 児童福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「23 生活保護世帯の自立助長」「33 効果的効率的行政の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「31 市民と協働できる職員の育成」などがあげられる。

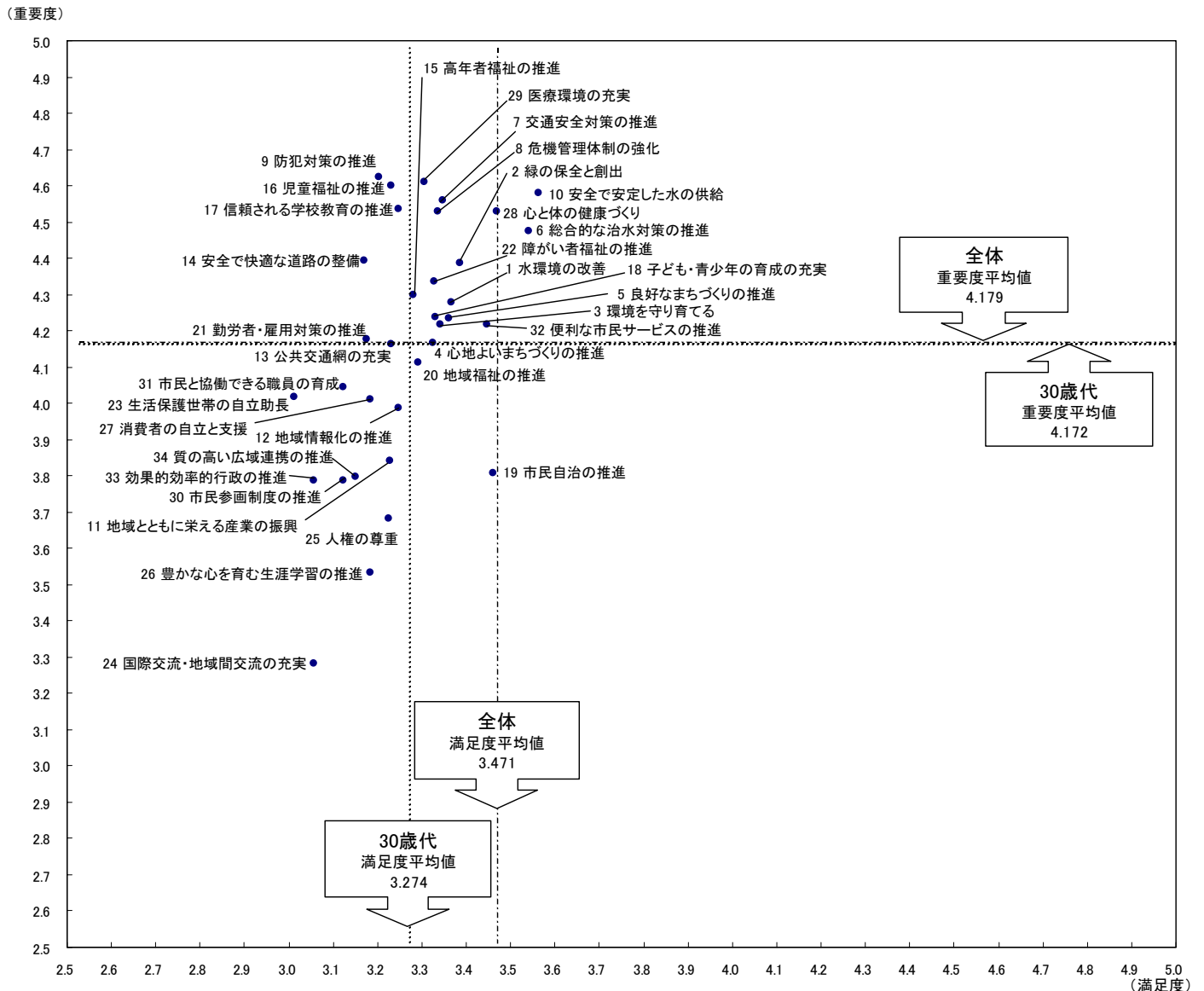
第3章 調査結果の分析

◆30 歳代

平成 26 年度 30 歳代 : 181 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.368	4.277
施策2 緑の保全と創出	3.385	4.387
施策3 環境を守り育てる	3.343	4.218
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.326	4.167
施策5 良好なまちづくりの推進	3.360	4.236
施策6 総合的な治水対策の推進	3.542	4.475
施策7 交通安全対策の推進	3.348	4.559
施策8 危機管理体制の強化	3.335	4.531
施策9 防犯対策の推進	3.202	4.624
施策10 安全で安定した水の供給	3.564	4.581
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.229	3.843
施策12 地域情報化の推進	3.249	3.989
施策13 公共交通網の充実	3.232	4.165
施策14 安全で快適な道路の整備	3.169	4.392
施策15 高齢者福祉の推進	3.281	4.298
施策16 児童福祉の推進	3.230	4.599
施策17 信頼される学校教育の推進	3.247	4.537
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.331	4.237
施策19 市民自治の推進	3.461	3.808
施策20 地域福祉の推進	3.292	4.113
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.175	4.175
施策22 障がい者福祉の推進	3.328	4.335
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.011	4.017
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.057	3.283
施策25 人権の尊重	3.224	3.682
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.184	3.532
施策27 消費者の自立と支援	3.184	4.011
施策28 心と体の健康づくり	3.469	4.529
施策29 医療環境の充実	3.305	4.609
施策30 市民参画制度の推進	3.122	3.789
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.122	4.044
施策32 便利な市民サービスの推進	3.448	4.217
施策33 効果的効率的行政の推進	3.056	3.788
施策34 質の高い広域連携の推進	3.150	3.799
	満足度	重要度
30歳代平均	3.274	4.172

Ｂ 草加市の基本となる施策に関すること



30歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.172で全体とほぼ同じだが、満足度平均値は3.274で全体より0.197ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「28 心と体の健康づくり」「6 総合的な治水対策の推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「16 児童福祉の推進」「17 信頼される学校教育の推進」「14 安全で快適な道路の整備」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「25 人権の尊重」「30 市民参画制度の推進」「33 効果的効率的行政の推進」「34 質の高い広域連携の推進」などがあげられる。

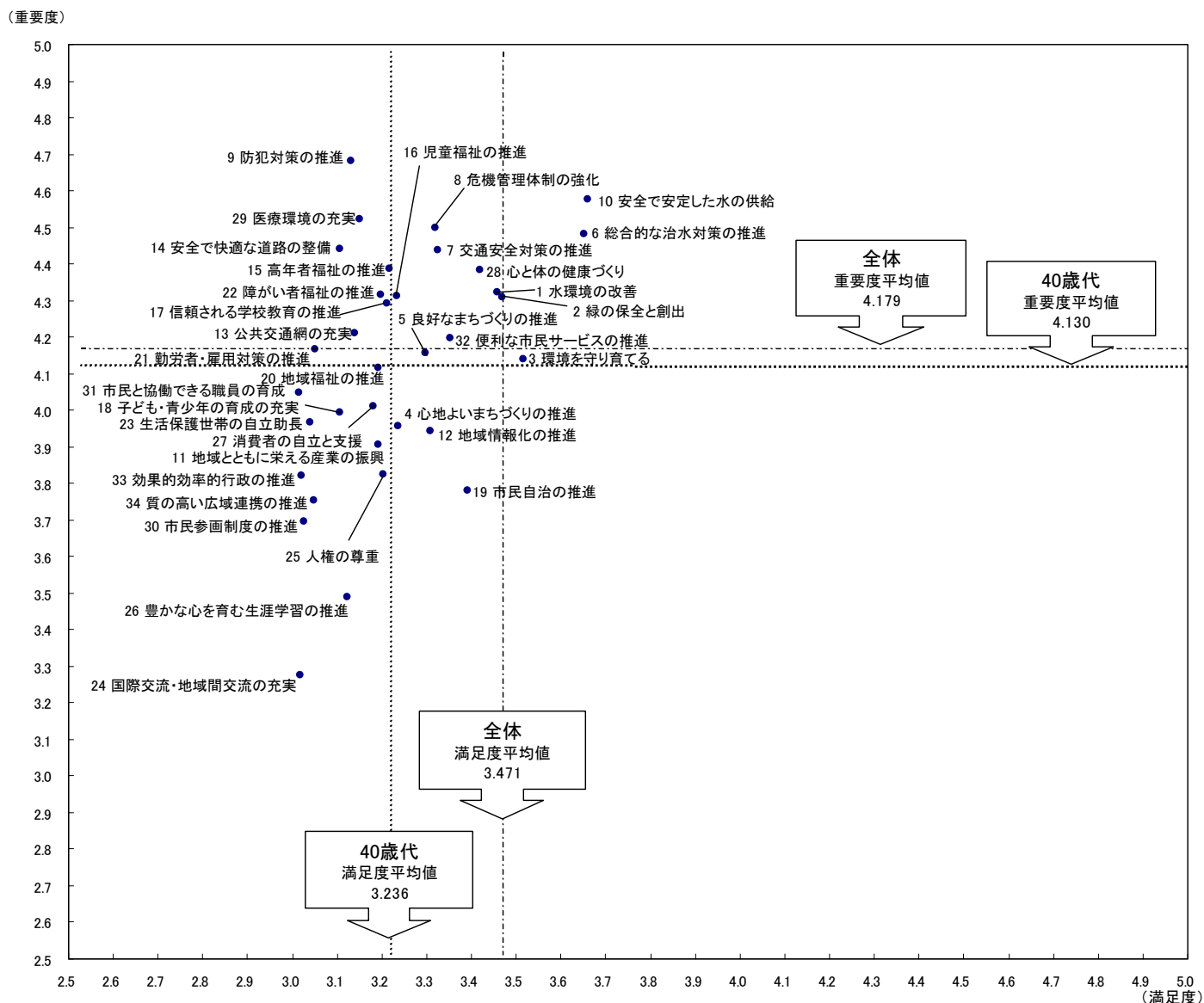
第3章 調査結果の分析

◆40 歳代

平成 26 年度 40 歳代 : 184 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.458	4.324
施策2 緑の保全と創出	3.469	4.307
施策3 環境を守り育てる	3.517	4.140
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.236	3.955
施策5 良好なまちづくりの推進	3.296	4.156
施策6 総合的な治水対策の推進	3.652	4.481
施策7 交通安全対策の推進	3.326	4.436
施策8 危機管理体制の強化	3.319	4.500
施策9 防犯対策の推進	3.132	4.681
施策10 安全で安定した水の供給	3.659	4.577
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.192	3.907
施策12 地域情報化の推進	3.307	3.944
施策13 公共交通網の充実	3.140	4.211
施策14 安全で快適な道路の整備	3.106	4.441
施策15 高齢者福祉の推進	3.218	4.385
施策16 児童福祉の推進	3.235	4.313
施策17 信頼される学校教育の推進	3.212	4.291
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.105	3.994
施策19 市民自治の推進	3.392	3.779
施策20 地域福祉の推進	3.193	4.116
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.050	4.166
施策22 障がい者福祉の推進	3.199	4.315
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.039	3.967
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.017	3.275
施策25 人権の尊重	3.202	3.826
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.124	3.489
施策27 消費者の自立と支援	3.180	4.011
施策28 心と体の健康づくり	3.418	4.382
施策29 医療環境の充実	3.152	4.522
施策30 市民参画制度の推進	3.027	3.696
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.016	4.049
施策32 便利な市民サービスの推進	3.353	4.196
施策33 効果的効率的行政の推進	3.022	3.820
施策34 質の高い広域連携の推進	3.049	3.754
	満足度	重要度
40歳代平均	3.236	4.130

B 草加市の基本となる施策に関すること



40歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.130で全体より0.049ポイント低い。満足度平均値は3.236で全体より0.235ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「8 危機管理体制の強化」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「29 医療環境の充実」「14 安全で快適な道路の整備」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」「12 地域情報化の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「30 市民参画制度の推進」「34 質の高い広域連携の推進」などがあげられる。

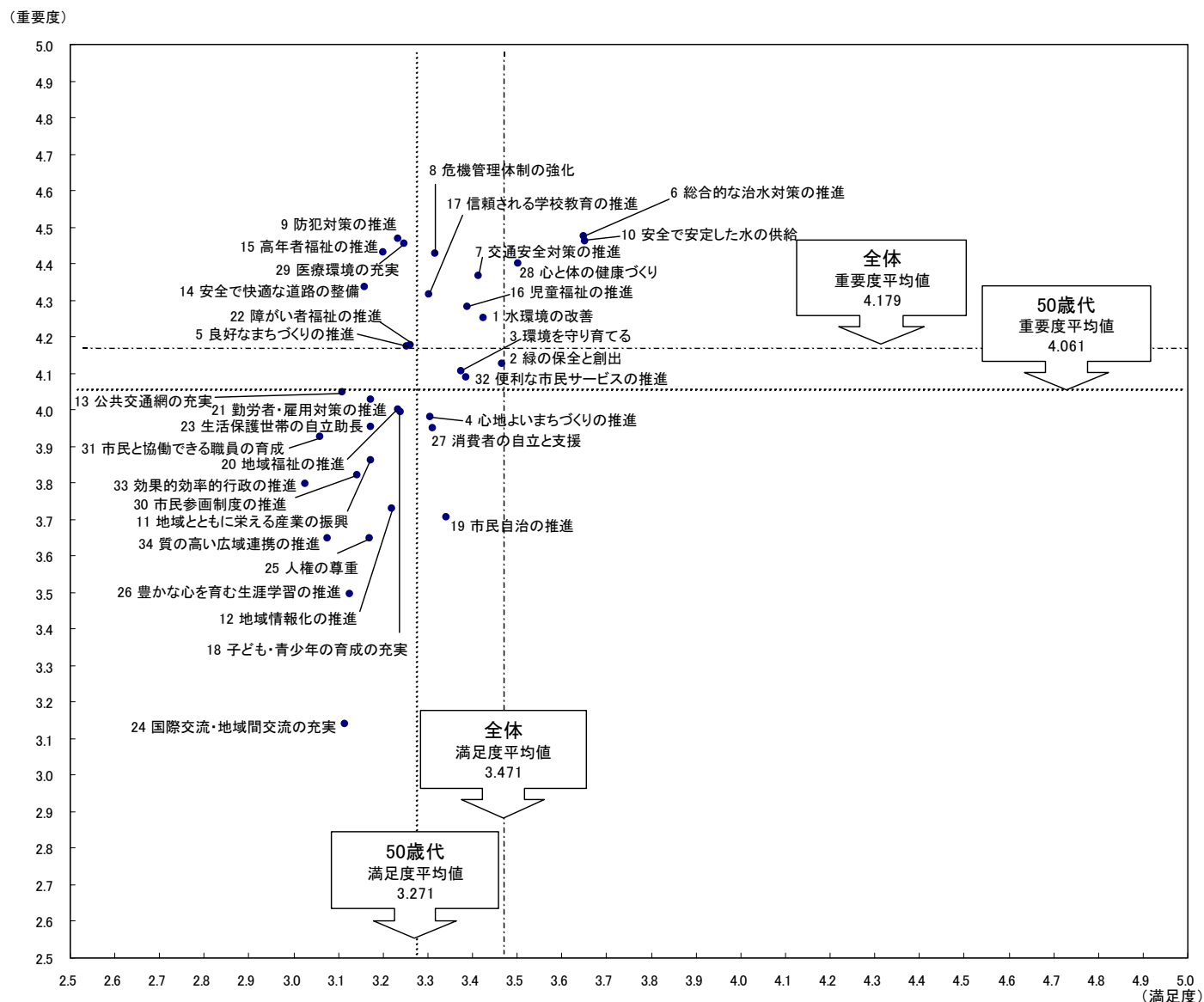
第3章 調査結果の分析

◆50 歳代

平成 26 年度 50 歳代：150 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.424	4.250
施策2 緑の保全と創出	3.465	4.125
施策3 環境を守り育てる	3.375	4.105
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.306	3.979
施策5 良好なまちづくりの推進	3.252	4.175
施策6 総合的な治水対策の推進	3.648	4.476
施策7 交通安全対策の推進	3.414	4.366
施策8 危機管理体制の強化	3.317	4.428
施策9 防犯対策の推進	3.234	4.469
施策10 安全で安定した水の供給	3.651	4.462
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.172	3.862
施策12 地域情報化の推進	3.219	3.731
施策13 公共交通網の充実	3.110	4.048
施策14 安全で快適な道路の整備	3.158	4.336
施策15 高齢者福祉の推進	3.200	4.432
施策16 児童福祉の推進	3.389	4.281
施策17 信頼される学校教育の推進	3.303	4.315
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.240	3.993
施策19 市民自治の推進	3.342	3.707
施策20 地域福祉の推進	3.234	4.000
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.172	4.027
施策22 障がい者福祉の推進	3.262	4.178
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.172	3.952
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.113	3.141
施策25 人権の尊重	3.170	3.648
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.127	3.497
施策27 消費者の自立と支援	3.312	3.951
施策28 心と体の健康づくり	3.504	4.401
施策29 医療環境の充実	3.246	4.455
施策30 市民参画制度の推進	3.141	3.820
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.060	3.927
施策32 便利な市民サービスの推進	3.385	4.087
施策33 効果的効率的行政の推進	3.027	3.797
施策34 質の高い広域連携の推進	3.075	3.649
	満足度	重要度
50歳代平均	3.271	4.061

B 草加市の基本となる施策に関すること



50歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.061で全体より0.118ポイント低い。満足度平均値は3.271で全体より0.200ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「6 総合的な治水対策の推進」「10 安全で安定した水の供給」「28 心と体の健康づくり」「7 交通安全対策の推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「25 人権の尊重」などがあげられる。

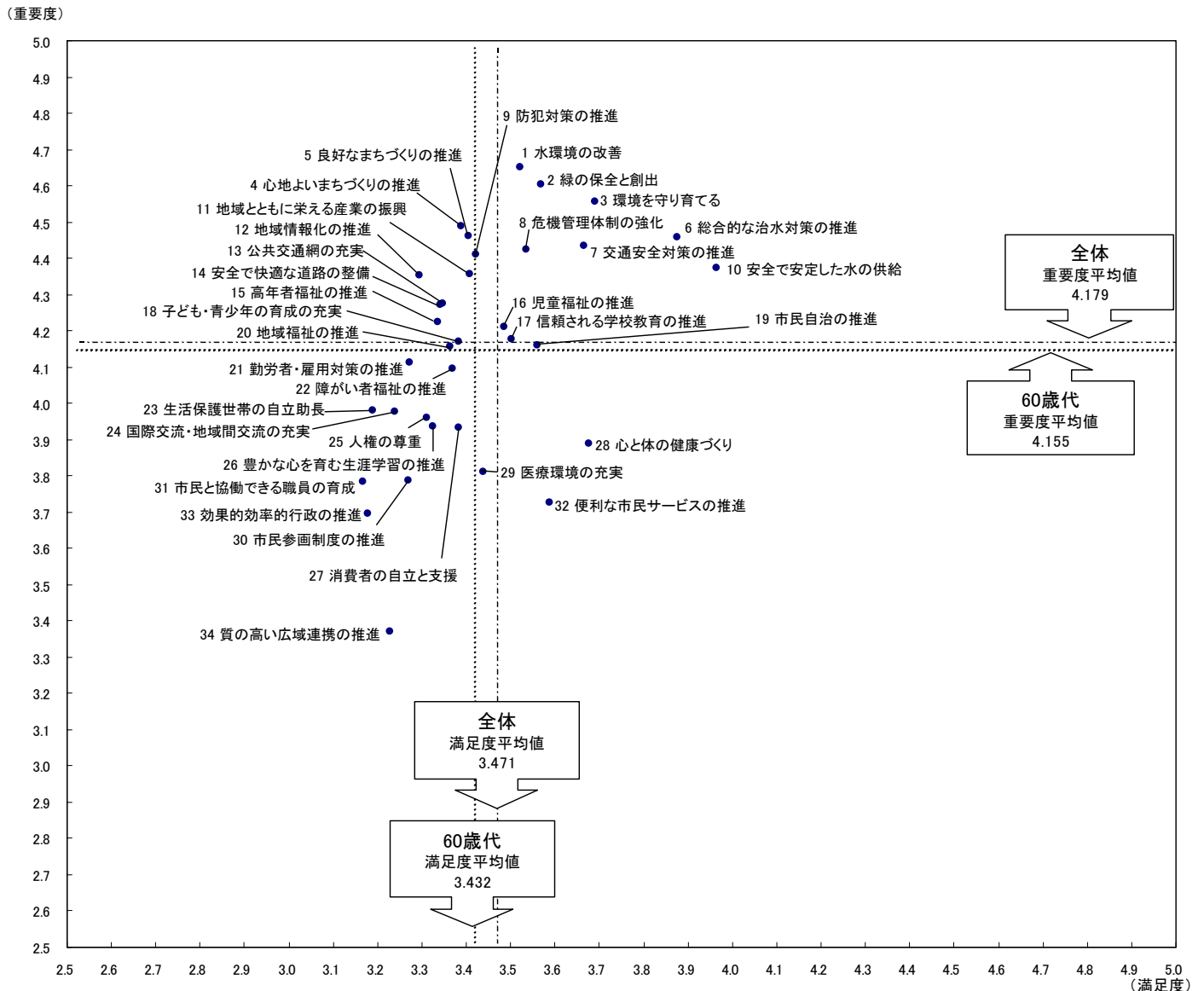
第3章 調査結果の分析

◆60 歳代

平成 26 年度 60 歳代：452 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.521	4.651
施策2 緑の保全と創出	3.569	4.605
施策3 環境を守り育てる	3.690	4.555
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.388	4.490
施策5 良好なまちづくりの推進	3.406	4.463
施策6 総合的な治水対策の推進	3.876	4.459
施策7 交通安全対策の推進	3.666	4.433
施策8 危機管理体制の強化	3.535	4.425
施策9 防犯対策の推進	3.421	4.412
施策10 安全で安定した水の供給	3.966	4.372
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.409	4.355
施策12 地域情報化の推進	3.295	4.354
施策13 公共交通網の充実	3.346	4.277
施策14 安全で快適な道路の整備	3.342	4.270
施策15 高齢者福祉の推進	3.335	4.226
施策16 児童福祉の推進	3.484	4.211
施策17 信頼される学校教育の推進	3.504	4.177
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.384	4.171
施策19 市民自治の推進	3.560	4.161
施策20 地域福祉の推進	3.365	4.157
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.273	4.111
施策22 障がい者福祉の推進	3.369	4.095
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.190	3.981
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.239	3.977
施策25 人権の尊重	3.312	3.961
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.326	3.936
施策27 消費者の自立と支援	3.383	3.934
施策28 心と体の健康づくり	3.675	3.890
施策29 医療環境の充実	3.438	3.812
施策30 市民参画制度の推進	3.269	3.788
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.168	3.782
施策32 便利な市民サービスの推進	3.589	3.726
施策33 効果的効率的行政の推進	3.178	3.696
施策34 質の高い広域連携の推進	3.229	3.370
	満足度	重要度
60歳代平均	3.432	4.155

B 草加市の基本となる施策に関すること



60歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.155で全体より0.024ポイント低い。満足度平均値は3.432で全体より0.039ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「3 環境を守り育てる」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「4 心地よいまちづくりの推進」「12 地域情報化の推進」「5 良好なまちづくりの推進」「9 防犯対策の推進」「11 地域とともに栄える産業の振興」「13 公共交通機関の充実」「14 安全で快適な道路の整備」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「32 便利な市民サービスの推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「34 質の高い広域連携の推進」「33 効果的効率的行政の推進」「31 市民と協働できる職員の育成」「30 市民参画制度の推進」などがあげられる。

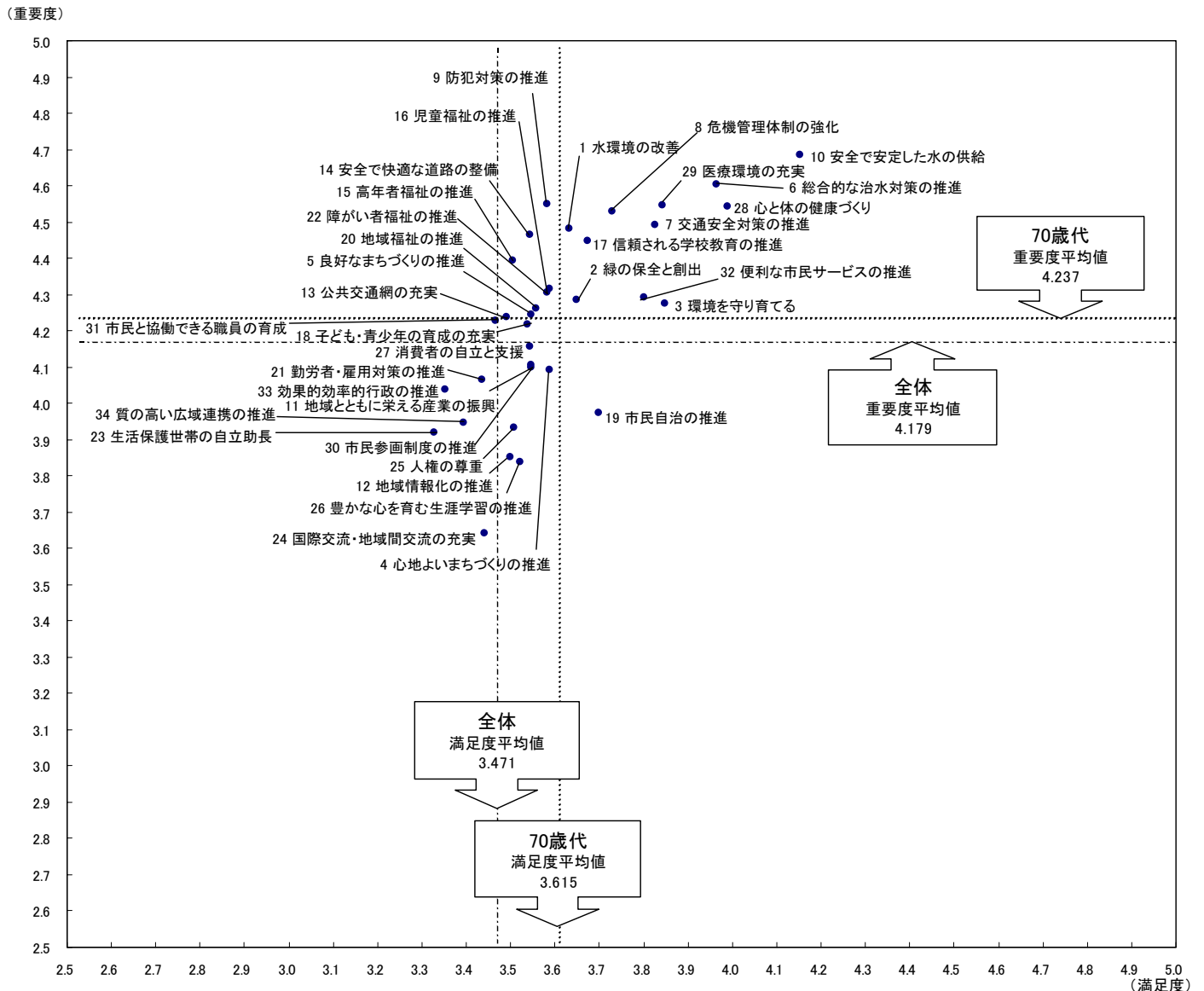
第3章 調査結果の分析

◆70 歳代

平成 26 年度 70 歳代 : 718 人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.632	4.482
施策2 緑の保全と創出	3.650	4.285
施策3 環境を守り育てる	3.848	4.275
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.588	4.092
施策5 良好なまちづくりの推進	3.548	4.245
施策6 総合的な治水対策の推進	3.965	4.603
施策7 交通安全対策の推進	3.826	4.493
施策8 危機管理体制の強化	3.729	4.531
施策9 防犯対策の推進	3.581	4.549
施策10 安全で安定した水の供給	4.152	4.684
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.548	4.099
施策12 地域情報化の推進	3.498	3.851
施策13 公共交通網の充実	3.490	4.239
施策14 安全で快適な道路の整備	3.544	4.465
施策15 高齢者福祉の推進	3.504	4.394
施策16 児童福祉の推進	3.587	4.316
施策17 信頼される学校教育の推進	3.675	4.449
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.537	4.217
施策19 市民自治の推進	3.698	3.975
施策20 地域福祉の推進	3.559	4.263
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.436	4.065
施策22 障がい者福祉の推進	3.582	4.305
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.327	3.918
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.442	3.641
施策25 人権の尊重	3.508	3.933
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.521	3.837
施策27 消費者の自立と支援	3.544	4.158
施策28 心と体の健康づくり	3.991	4.542
施策29 医療環境の充実	3.843	4.545
施策30 市民参画制度の推進	3.546	4.104
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.467	4.228
施策32 便利な市民サービスの推進	3.801	4.293
施策33 効果的効率的行政の推進	3.354	4.036
施策34 質の高い広域連携の推進	3.395	3.945
	満足度	重要度
70歳代平均	3.615	4.237

B 草加市の基本となる施策に関すること



70歳代の散布図をみると、重要度平均値は4.237で全体より0.058ポイント高い。満足度平均値は3.615で全体より0.144ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「29 医療環境の充実」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「23 生活保護世帯の自立助長」「34 質の高い広域連携の推進」などがあげられる。

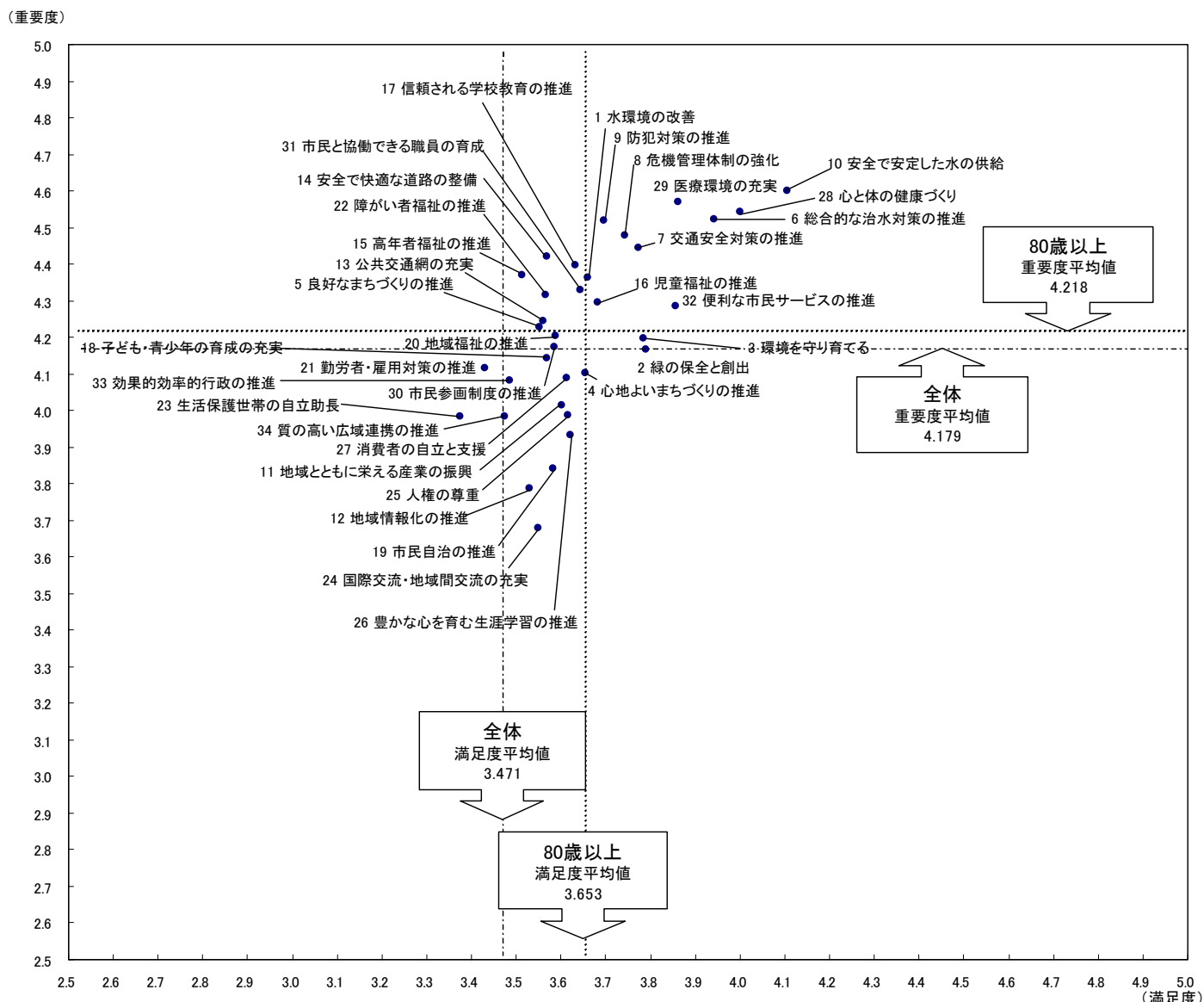
第3章 調査結果の分析

◆80歳以上

平成26年度80歳以上：212人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.661	4.363
施策2 緑の保全と創出	3.790	4.167
施策3 環境を守り育てる	3.785	4.197
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.654	4.104
施策5 良好なまちづくりの推進	3.553	4.229
施策6 総合的な治水対策の推進	3.944	4.521
施策7 交通安全対策の推進	3.773	4.444
施策8 危機管理体制の強化	3.742	4.479
施策9 防犯対策の推進	3.695	4.520
施策10 安全で安定した水の供給	4.107	4.600
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.603	4.015
施策12 地域情報化の推進	3.531	3.789
施策13 公共交通網の充実	3.561	4.246
施策14 安全で快適な道路の整備	3.570	4.421
施策15 高齢者福祉の推進	3.513	4.369
施策16 児童福祉の推進	3.682	4.294
施策17 信頼される学校教育の推進	3.634	4.398
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.568	4.145
施策19 市民自治の推進	3.582	3.841
施策20 地域福祉の推進	3.588	4.205
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.429	4.116
施策22 障がい者福祉の推進	3.566	4.316
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.376	3.983
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.548	3.680
施策25 人権の尊重	3.616	3.988
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.621	3.934
施策27 消費者の自立と支援	3.613	4.090
施策28 心と体の健康づくり	4.000	4.541
施策29 医療環境の充実	3.863	4.571
施策30 市民参画制度の推進	3.585	4.173
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.642	4.328
施策32 便利な市民サービスの推進	3.858	4.286
施策33 効果的効率的行政の推進	3.486	4.081
施策34 質の高い広域連携の推進	3.475	3.984
	満足度	重要度
80歳以上平均	3.653	4.218

Ｂ 草加市の基本となる施策に関すること



80歳以上の散布図をみると、重要度平均値は4.218で全体より0.039ポイント高い。満足度平均値は3.653で全体より0.182ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「28 心と体の健康づくり」「6 総合的な治水対策の推進」「29 医療環境の充実」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「15 高齢者福祉の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「17 信頼される学校教育の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「2 緑の保全と創出」「3 環境を守り育てる」「4 心地よいまちづくりの推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「12 地域情報化の推進」などがあげられる。

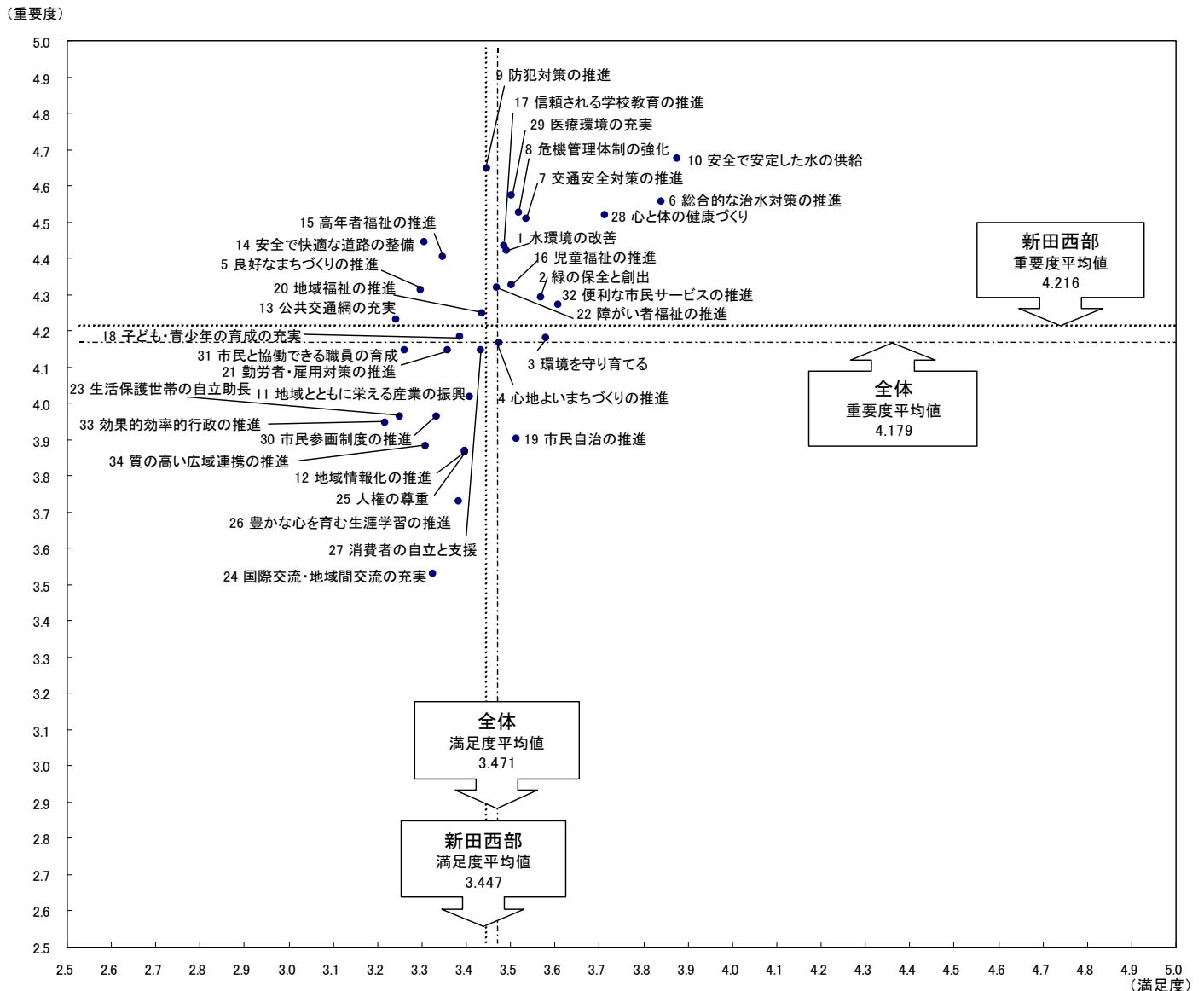
(6) 居住地域別

◆新田西部

平成26年度新田西部：324人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.492	4.420
施策2 緑の保全と創出	3.569	4.292
施策3 環境を守り育てる	3.579	4.179
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.474	4.168
施策5 良好なまちづくりの推進	3.297	4.313
施策6 総合的な治水対策の推進	3.841	4.556
施策7 交通安全対策の推進	3.535	4.510
施策8 危機管理体制の強化	3.518	4.527
施策9 防犯対策の推進	3.447	4.647
施策10 安全で安定した水の供給	3.876	4.676
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.408	4.016
施策12 地域情報化の推進	3.397	3.869
施策13 公共交通網の充実	3.242	4.230
施策14 安全で快適な道路の整備	3.304	4.445
施策15 高齢者福祉の推進	3.346	4.404
施策16 児童福祉の推進	3.503	4.325
施策17 信頼される学校教育の推進	3.487	4.435
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.385	4.183
施策19 市民自治の推進	3.513	3.902
施策20 地域福祉の推進	3.436	4.248
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.359	4.147
施策22 障がい者福祉の推進	3.468	4.318
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.249	3.964
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.325	3.529
施策25 人権の尊重	3.396	3.865
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.383	3.730
施策27 消費者の自立と支援	3.432	4.145
施策28 心と体の健康づくり	3.711	4.518
施策29 医療環境の充実	3.502	4.572
施策30 市民参画制度の推進	3.334	3.965
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.261	4.145
施策32 便利な市民サービスの推進	3.608	4.272
施策33 効果的効率的行政の推進	3.216	3.948
施策34 質の高い広域連携の推進	3.308	3.881
	満足度	重要度
新田西部平均	3.447	4.216

Ｂ 草加市の基本となる施策に関すること



新田西部の散布図をみると、重要度平均値は 4.216 で全体より 0.037 ポイント高い。満足度平均値は 3.447 で全体より 0.024 ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「14 安全で快適な道路の整備」「15 高年者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「25 人権の尊重」「12 地域情報化の推進」「33 効果的効率的行政の推進」などがあげられる。

新田西部は、全体と比較して「5 良好なまちづくりの推進」の満足度が 0.150 ポイント低く、「13 公共交通網の充実」の満足度が 0.124 ポイント低い。「4 心地よいまちづくりの推進」の重要度が 0.123 ポイント高く、「5 良好なまちづくりの推進」の重要度が 0.108 ポイント高い。

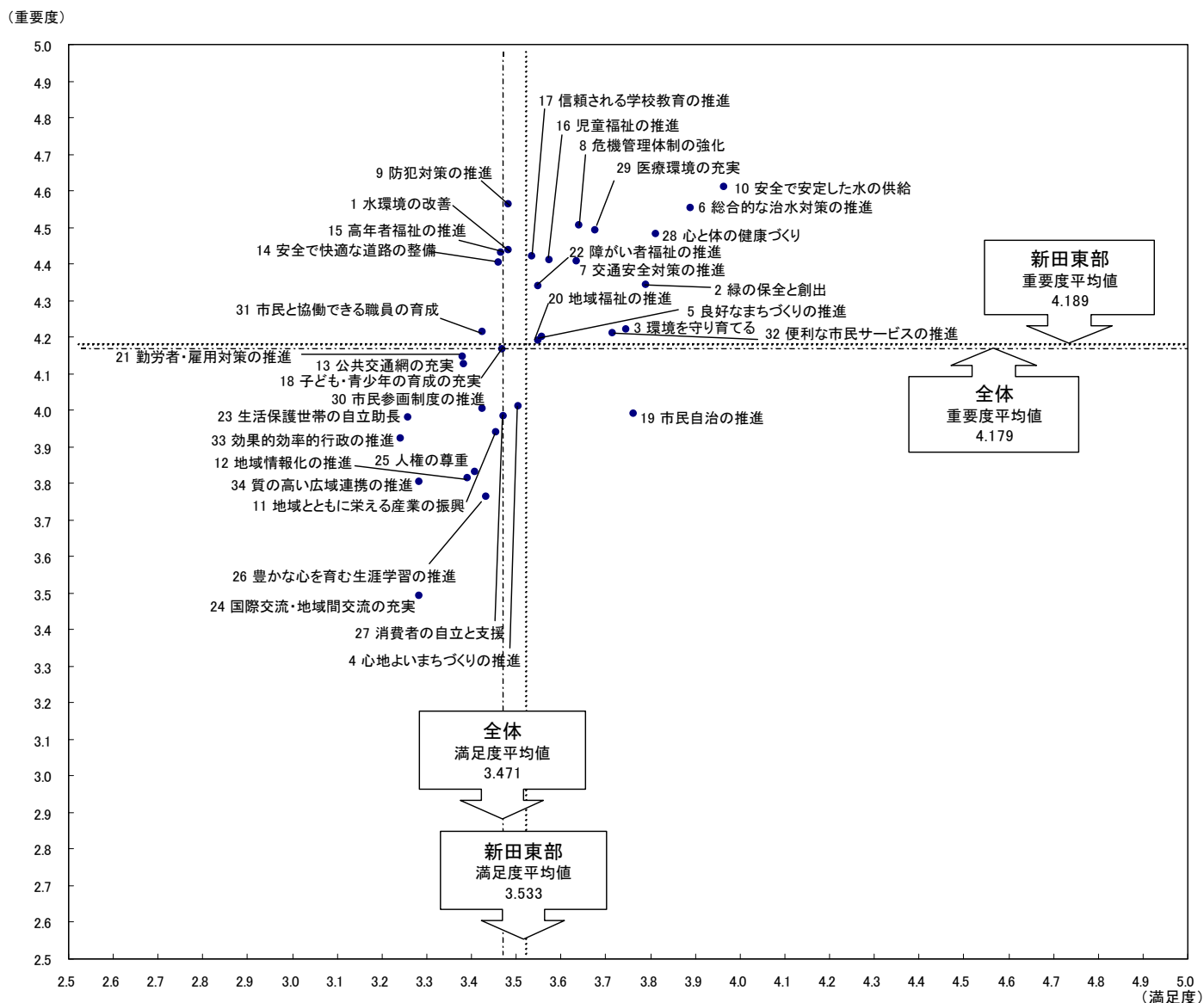
第3章 調査結果の分析

◆新田東部

平成26年度新田東部：262人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.482	4.437
施策2 緑の保全と創出	3.790	4.344
施策3 環境を守り育てる	3.747	4.221
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.506	4.012
施策5 良好なまちづくりの推進	3.558	4.201
施策6 総合的な治水対策の推進	3.888	4.552
施策7 交通安全対策の推進	3.635	4.408
施策8 危機管理体制の強化	3.642	4.504
施策9 防犯対策の推進	3.482	4.563
施策10 安全で安定した水の供給	3.964	4.611
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.454	3.940
施策12 地域情報化の推進	3.392	3.816
施策13 公共交通網の充実	3.382	4.127
施策14 安全で快適な道路の整備	3.460	4.403
施策15 高齢者福祉の推進	3.466	4.433
施策16 児童福祉の推進	3.576	4.411
施策17 信頼される学校教育の推進	3.535	4.420
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.469	4.166
施策19 市民自治の推進	3.762	3.992
施策20 地域福祉の推進	3.550	4.191
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.380	4.147
施策22 障がい者福祉の推進	3.550	4.339
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.258	3.980
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.284	3.492
施策25 人権の尊重	3.409	3.833
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.433	3.763
施策27 消費者の自立と支援	3.473	3.983
施策28 心と体の健康づくり	3.813	4.481
施策29 医療環境の充実	3.678	4.492
施策30 市民参画制度の推進	3.425	4.004
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.425	4.213
施策32 便利な市民サービスの推進	3.715	4.211
施策33 効果的効率的行政の推進	3.241	3.924
施策34 質の高い広域連携の推進	3.284	3.805
	満足度	重要度
新田東部平均	3.533	4.189

B 草加市の基本となる施策に関すること



新田東部の散布図をみると、重要度平均値は 4.189 で全体より 0.010 ポイント高い。満足度平均値は 3.533 で全体より 0.062 ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「15 高齢者福祉の推進」「1 水環境の改善」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「34 質の高い広域連携の推進」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「12 地域情報化の推進」「25 人権の尊重」などがあげられる。

新田東部は、全体と比較して「2 緑の保全と創出」の満足度が 0.211 ポイント高く、「19 市民自治の推進」の満足度が 0.195 ポイント高い。「19 市民自治の推進」の重要度が 0.134 ポイント高い。

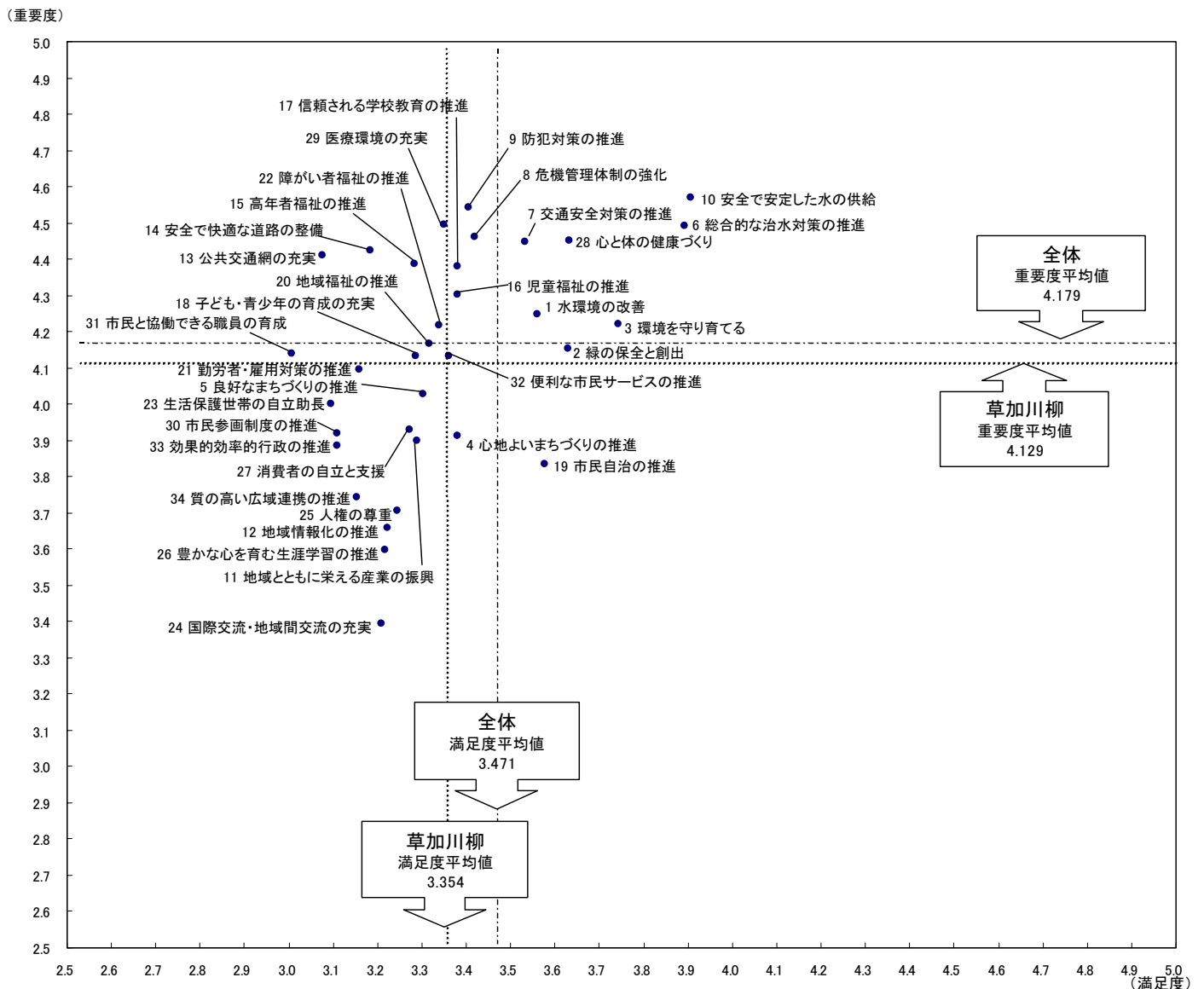
第3章 調査結果の分析

◆草加川柳

平成26年度草加川柳：154人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.560	4.248
施策2 緑の保全と創出	3.631	4.154
施策3 環境を守り育てる	3.743	4.219
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.379	3.911
施策5 良好なまちづくりの推進	3.303	4.027
施策6 総合的な治水対策の推進	3.893	4.493
施策7 交通安全対策の推進	3.533	4.447
施策8 危機管理体制の強化	3.420	4.460
施策9 防犯対策の推進	3.407	4.543
施策10 安全で安定した水の供給	3.907	4.570
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.289	3.900
施策12 地域情報化の推進	3.222	3.658
施策13 公共交通網の充実	3.075	4.409
施策14 安全で快適な道路の整備	3.184	4.423
施策15 高齢者福祉の推進	3.283	4.388
施策16 児童福祉の推進	3.380	4.303
施策17 信頼される学校教育の推進	3.380	4.379
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.286	4.133
施策19 市民自治の推進	3.577	3.834
施策20 地域福祉の推進	3.318	4.166
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.159	4.096
施策22 障がい者福祉の推進	3.340	4.216
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.095	4.000
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.209	3.394
施策25 人権の尊重	3.245	3.706
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.217	3.599
施策27 消費者の自立と支援	3.273	3.929
施策28 心と体の健康づくり	3.631	4.451
施策29 医療環境の充実	3.350	4.497
施策30 市民参画制度の推進	3.109	3.919
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.007	4.140
施策32 便利な市民サービスの推進	3.361	4.134
施策33 効果的効率的行政の推進	3.110	3.886
施策34 質の高い広域連携の推進	3.153	3.743
	満足度	重要度
草加川柳平均	3.354	4.129

B 草加市の基本となる施策に関すること



草加川柳の散布図をみると、重要度平均値は 4.129 で全体より 0.050 ポイント低い。満足度平均値は 3.354 で全体より 0.117 ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「13 公共交通網の充実」「14 安全で快適な道路の整備」「29 医療環境の充実」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「12 地域情報化の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「25 人権の尊重」などがあげられる。

草加川柳は、全体と比較して「13 公共交通網の充実」「31 市民と協働できる職員の育成」の満足度がそれぞれ 0.291 ポイント低く、「13 公共交通網の充実」の重要度が 0.208 ポイント高い。

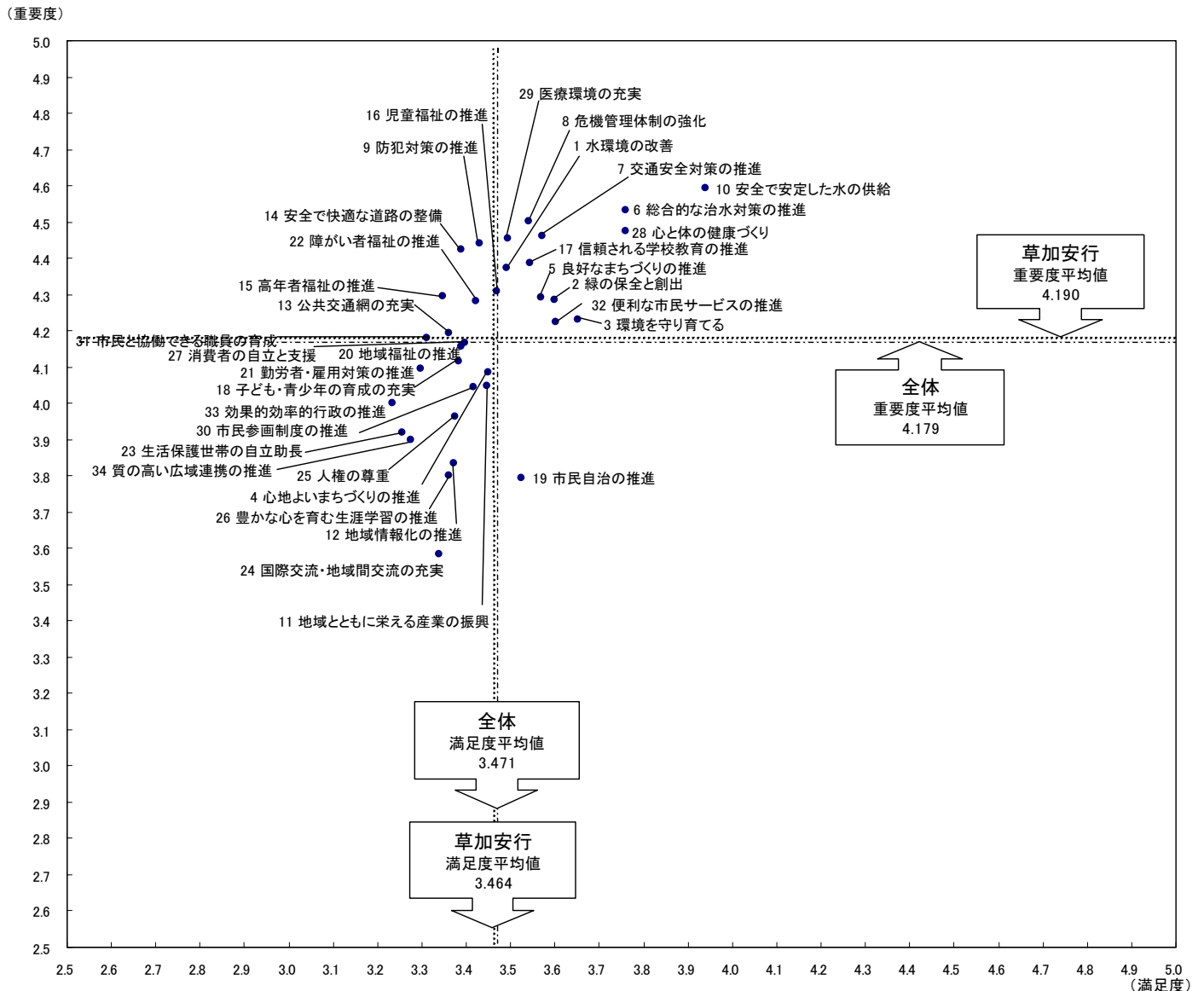
第3章 調査結果の分析

◆草加安行

平成26年度草加安行：277人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.492	4.373
施策2 緑の保全と創出	3.598	4.287
施策3 環境を守り育てる	3.651	4.232
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.451	4.086
施策5 良好なまちづくりの推進	3.570	4.291
施策6 総合的な治水対策の推進	3.758	4.533
施策7 交通安全対策の推進	3.570	4.462
施策8 危機管理体制の強化	3.541	4.504
施策9 防犯対策の推進	3.431	4.442
施策10 安全で安定した水の供給	3.941	4.594
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.446	4.048
施策12 地域情報化の推進	3.371	3.836
施策13 公共交通網の充実	3.361	4.195
施策14 安全で快適な道路の整備	3.388	4.422
施策15 高齢者福祉の推進	3.348	4.296
施策16 児童福祉の推進	3.469	4.307
施策17 信頼される学校教育の推進	3.545	4.388
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.382	4.117
施策19 市民自治の推進	3.525	3.795
施策20 地域福祉の推進	3.390	4.156
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.298	4.097
施策22 障がい者福祉の推進	3.421	4.281
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.256	3.920
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.338	3.583
施策25 人権の尊重	3.376	3.962
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.360	3.799
施策27 消費者の自立と支援	3.397	4.167
施策28 心と体の健康づくり	3.759	4.474
施策29 医療環境の充実	3.494	4.456
施策30 市民参画制度の推進	3.418	4.046
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.311	4.179
施策32 便利な市民サービスの推進	3.602	4.223
施策33 効果的効率的行政の推進	3.233	4.000
施策34 質の高い広域連携の推進	3.275	3.899
	満足度	重要度
草加安行平均	3.464	4.190

B 草加市の基本となる施策に関すること



草加安行の散布図をみると、重要度平均値は 4.190 で全体より 0.011 ポイント高く、満足度平均値は 3.464 で全体より 0.007 ポイント低い、ほぼ同じである。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「14 安全で快適な道路の整備」「9 防犯対策の推進」「15 高齢者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「12 地域情報化の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」などがあげられる。

草加安行は、全体と比較して「5 良好なまちづくりの推進」の満足度が全体より 0.123 ポイント高い。「24 国際交流・地域間交流の充実」重要度が 0.118 ポイント高く、「25 人権の尊重」の重要度が 0.116 ポイント高い。

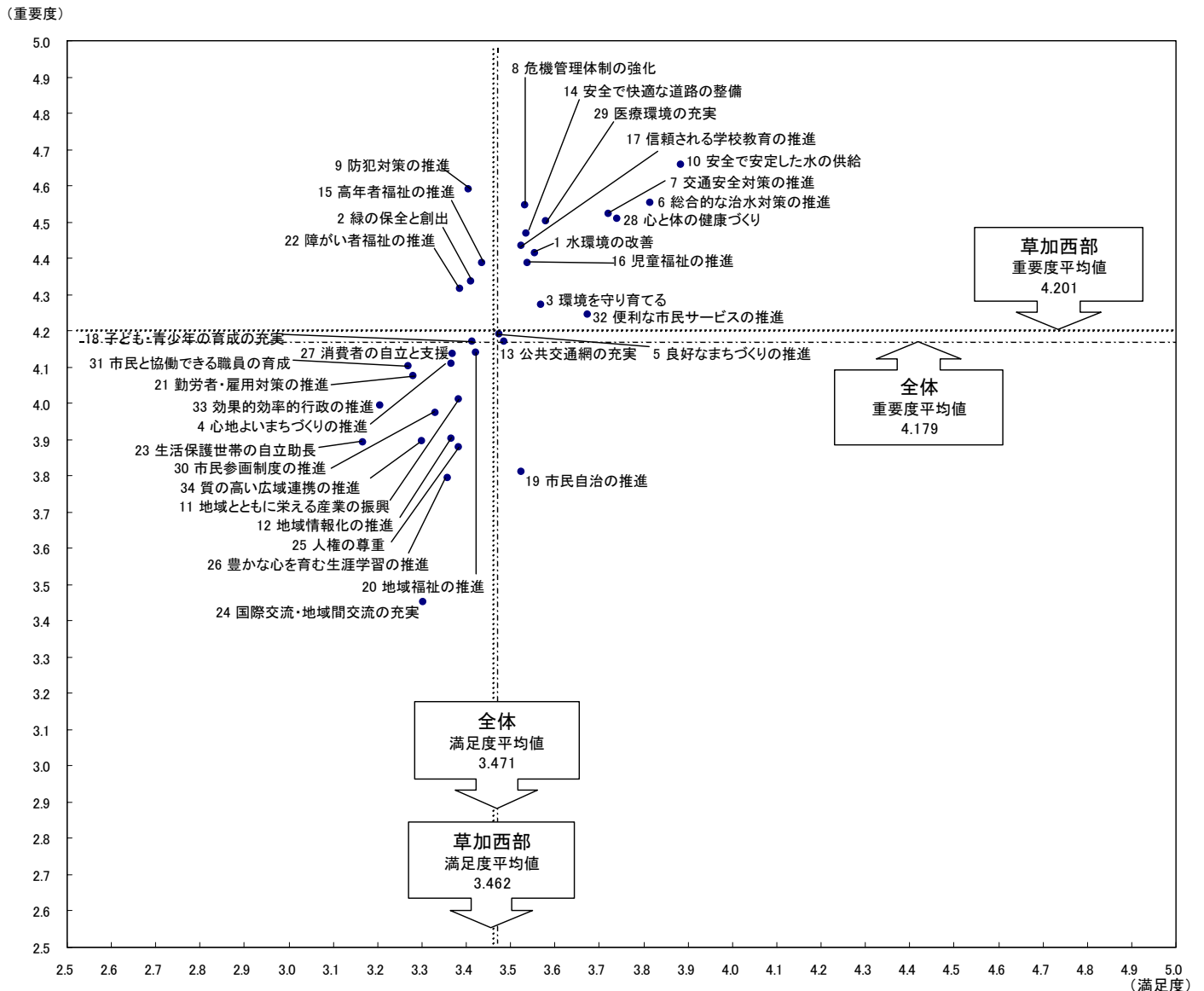
第3章 調査結果の分析

◆草加西部

平成26年度草加西部：230人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.556	4.414
施策2 緑の保全と創出	3.411	4.336
施策3 環境を守り育てる	3.569	4.273
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.365	4.110
施策5 良好なまちづくりの推進	3.474	4.190
施策6 総合的な治水対策の推進	3.814	4.554
施策7 交通安全対策の推進	3.720	4.521
施策8 危機管理体制の強化	3.532	4.546
施策9 防犯対策の推進	3.405	4.589
施策10 安全で安定した水の供給	3.884	4.659
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.383	4.009
施策12 地域情報化の推進	3.367	3.903
施策13 公共交通網の充実	3.486	4.169
施策14 安全で快適な道路の整備	3.535	4.469
施策15 高齢者福祉の推進	3.435	4.388
施策16 児童福祉の推進	3.539	4.388
施策17 信頼される学校教育の推進	3.524	4.435
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.414	4.171
施策19 市民自治の推進	3.524	3.812
施策20 地域福祉の推進	3.423	4.139
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.281	4.076
施策22 障がい者福祉の推進	3.386	4.316
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.167	3.892
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.304	3.451
施策25 人権の尊重	3.384	3.877
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.360	3.793
施策27 消費者の自立と支援	3.369	4.137
施策28 心と体の健康づくり	3.741	4.507
施策29 医療環境の充実	3.580	4.502
施策30 市民参画制度の推進	3.332	3.972
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.270	4.102
施策32 便利な市民サービスの推進	3.674	4.245
施策33 効果的効率的行政の推進	3.207	3.995
施策34 質の高い広域連携の推進	3.300	3.897
	満足度	重要度
草加西部平均	3.462	4.201

B 草加市の基本となる施策に関すること



草加西部の散布図をみると、重要度平均値は 4.201 で全体より 0.022 ポイント高い。満足度平均値は 3.462 で全体よりも 0.009 ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「7 交通安全対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「15 高齢者福祉の推進」「22 障がい者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「34 質の高い広域連携の推進」などがあげられる。

草加西部は、全体と比較して「14 安全で快適な道路の整備」満足度が 0.153 ポイント高く、「13 公共交通網の充実」の満足度が 0.120 ポイント高い。

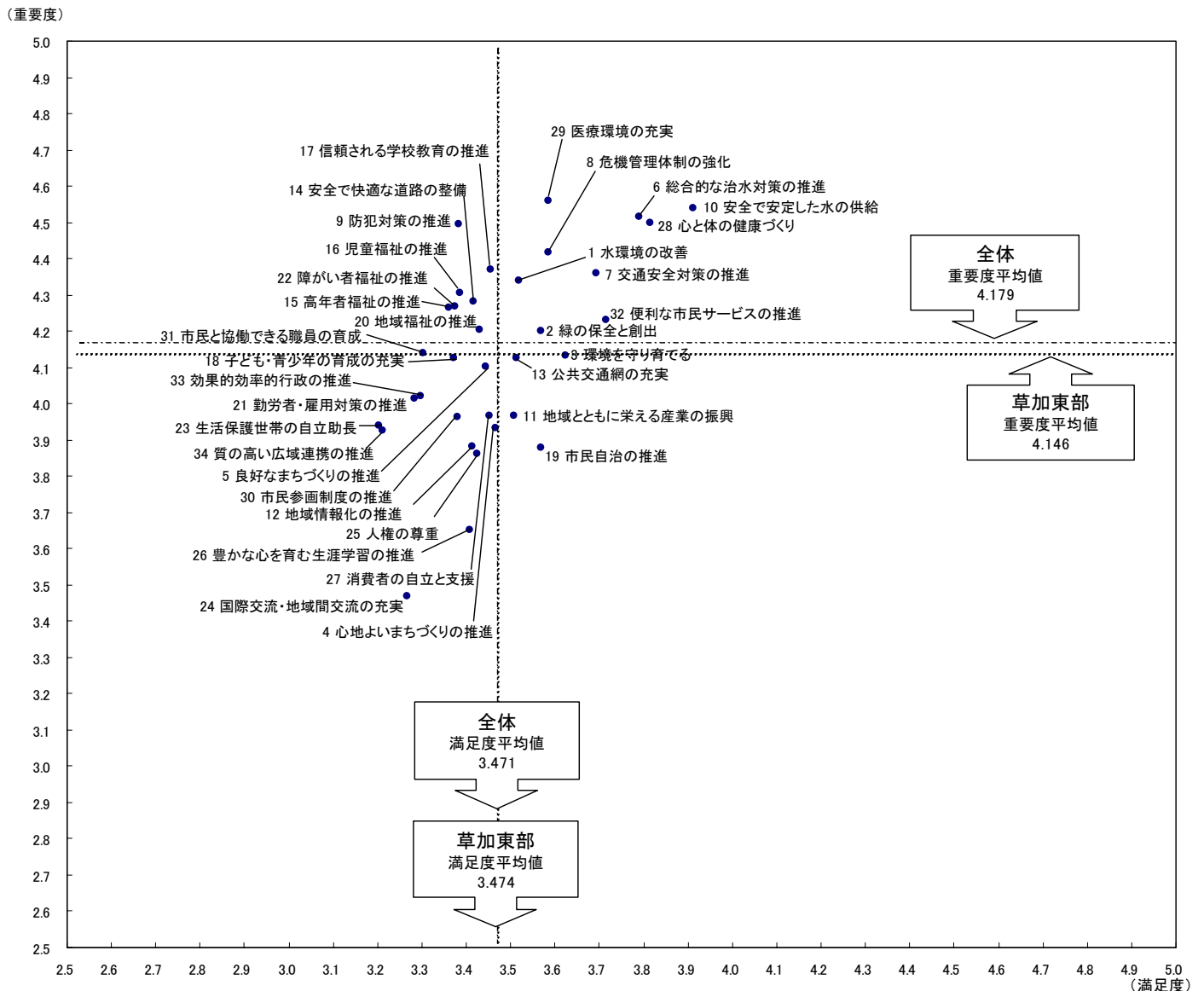
第3章 調査結果の分析

◆草加東部

平成26年度草加東部：212人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.518	4.338
施策2 緑の保全と創出	3.569	4.201
施策3 環境を守り育てる	3.624	4.131
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.467	3.933
施策5 良好なまちづくりの推進	3.444	4.102
施策6 総合的な治水対策の推進	3.790	4.515
施策7 交通安全対策の推進	3.693	4.358
施策8 危機管理体制の強化	3.585	4.418
施策9 防犯対策の推進	3.384	4.495
施策10 安全で安定した水の供給	3.911	4.540
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.507	3.965
施策12 地域情報化の推進	3.413	3.883
施策13 公共交通網の充実	3.512	4.125
施策14 安全で快適な道路の整備	3.417	4.283
施策15 高齢者福祉の推進	3.361	4.264
施策16 児童福祉の推進	3.387	4.307
施策17 信頼される学校教育の推進	3.454	4.370
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.372	4.124
施策19 市民自治の推進	3.569	3.878
施策20 地域福祉の推進	3.431	4.204
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.283	4.016
施策22 障がい者福祉の推進	3.376	4.268
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.203	3.941
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.268	3.467
施策25 人権の尊重	3.425	3.863
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.409	3.652
施策27 消費者の自立と支援	3.453	3.967
施策28 心と体の健康づくり	3.814	4.497
施策29 医療環境の充実	3.584	4.559
施策30 市民参画制度の推進	3.379	3.965
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.302	4.141
施策32 便利な市民サービスの推進	3.716	4.231
施策33 効果的効率的行政の推進	3.296	4.021
施策34 質の高い広域連携の推進	3.211	3.927
	満足度	重要度
草加東部平均	3.474	4.146

B 草加市の基本となる施策に関すること



草加東部の散布図をみると、重要度平均値は 4.146 で全体より 0.033 ポイント低い。満足度平均値は 3.474 で全体とほぼ同じである。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「16 児童福祉の推進」「17 信頼される学校教育の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」などがあげられる。

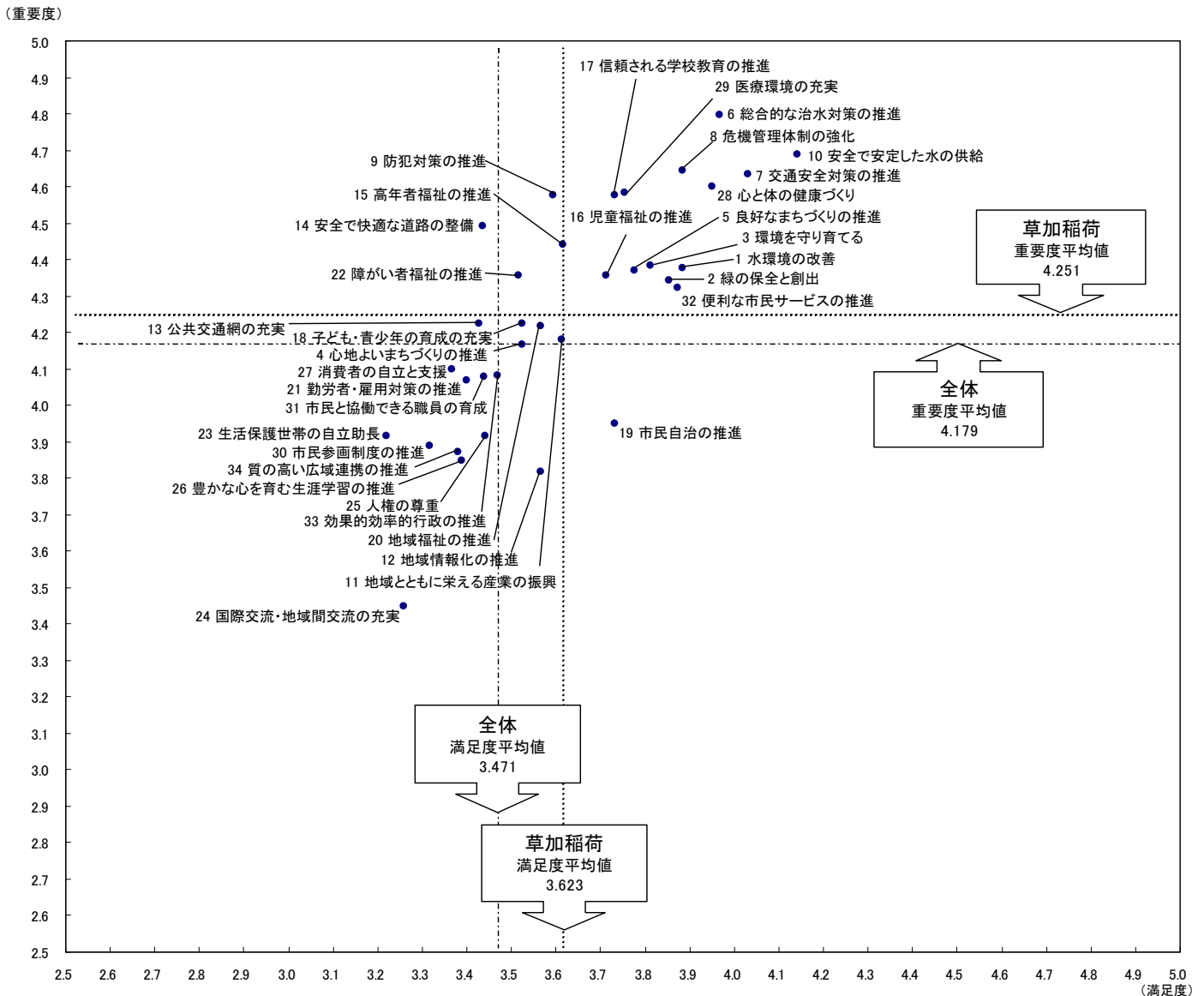
草加東部では、全体と比較して「13 公共交通網の充実」の満足度が 0.146 ポイント高い。「4 心地よいまちづくりの推進」の重要度が 0.112 ポイント低く、「5 良好なまちづくりの推進」の重要度が 0.103 ポイント低い。

◆草加稲荷

平成26年度草加稲荷：67人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.885	4.377
施策2 緑の保全と創出	3.852	4.344
施策3 環境を守り育てる	3.814	4.383
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.525	4.224
施策5 良好なまちづくりの推進	3.776	4.368
施策6 総合的な治水対策の推進	3.967	4.797
施策7 交通安全対策の推進	4.032	4.635
施策8 危機管理体制の強化	3.885	4.644
施策9 防犯対策の推進	3.594	4.578
施策10 安全で安定した水の供給	4.141	4.688
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.613	4.180
施策12 地域情報化の推進	3.567	3.817
施策13 公共交通網の充実	3.429	4.226
施策14 安全で快適な道路の整備	3.435	4.492
施策15 高齢者福祉の推進	3.617	4.443
施策16 児童福祉の推進	3.712	4.356
施策17 信頼される学校教育の推進	3.733	4.576
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.525	4.167
施策19 市民自治の推進	3.733	3.949
施策20 地域福祉の推進	3.567	4.217
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.400	4.068
施策22 障がい者福祉の推進	3.517	4.356
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.220	3.915
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.259	3.448
施策25 人権の尊重	3.441	3.915
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.390	3.847
施策27 消費者の自立と支援	3.367	4.100
施策28 心と体の健康づくり	3.950	4.600
施策29 医療環境の充実	3.754	4.583
施策30 市民参画制度の推進	3.317	3.889
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.438	4.079
施策32 便利な市民サービスの推進	3.873	4.323
施策33 効果的効率的行政の推進	3.468	4.081
施策34 質の高い広域連携の推進	3.381	3.873
	満足度	重要度
草加稲荷平均	3.623	4.251

B 草加市の基本となる施策に関すること



草加稲荷の散布図をみると、重要度平均値は 4.251 で全体より 0.072 ポイント高い。満足度平均値は 3.623 で全体より 0.152 ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「7 交通安全対策の推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「9 防犯対策の推進」「14 安全で快適な道路の整備」「22 障がい者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「34 質の高い広域連携の推進」「30 市民参画制度の推進」などがあげられる。

草加稲荷は、全体と比較して「7 交通安全対策の推進」「1 水環境の改善」「5 良好なまちづくりの推進」の満足度がそれぞれ 0.3 ポイント以上高い。「6 総合的な治水対策の推進」の重要度が 0.249 ポイント高く、「11 地域とともに栄える産業の振興」の重要度が 0.196 ポイント高い。

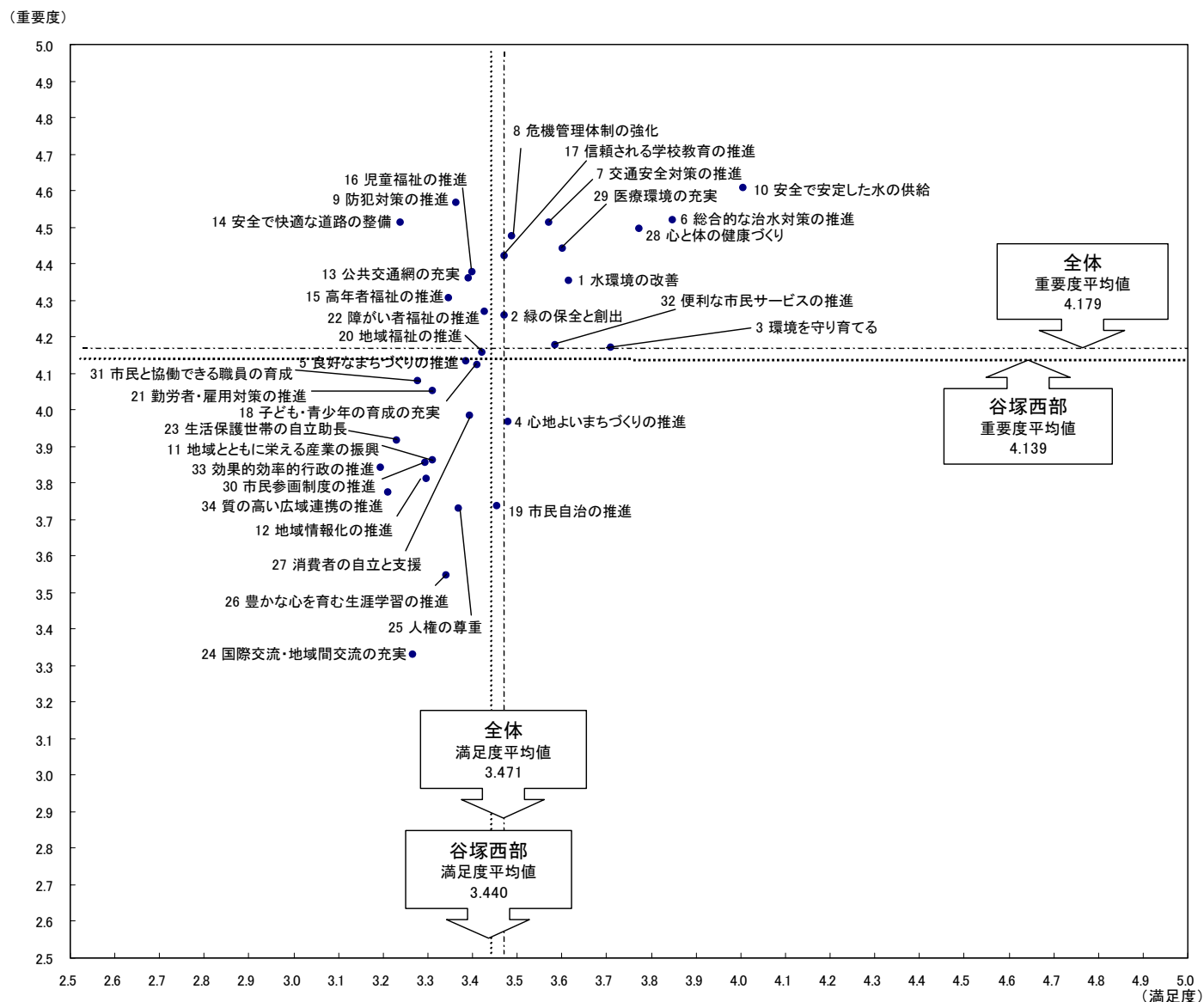
第3章 調査結果の分析

◆谷塚西部

平成26年度谷塚西部：202人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.616	4.354
施策2 緑の保全と創出	3.471	4.258
施策3 環境を守り育てる	3.710	4.168
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.481	3.968
施策5 良好なまちづくりの推進	3.385	4.134
施策6 総合的な治水対策の推進	3.847	4.519
施策7 交通安全対策の推進	3.571	4.511
施策8 危機管理体制の強化	3.490	4.474
施策9 防犯対策の推進	3.365	4.567
施策10 安全で安定した水の供給	4.005	4.608
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.311	3.862
施策12 地域情報化の推進	3.297	3.812
施策13 公共交通網の充実	3.392	4.360
施策14 安全で快適な道路の整備	3.239	4.513
施策15 高齢者福祉の推進	3.347	4.305
施策16 児童福祉の推進	3.399	4.377
施策17 信頼される学校教育の推進	3.473	4.422
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.410	4.123
施策19 市民自治の推進	3.456	3.737
施策20 地域福祉の推進	3.422	4.157
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.311	4.050
施策22 障がい者福祉の推進	3.426	4.268
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.230	3.916
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.267	3.330
施策25 人権の尊重	3.369	3.729
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.343	3.545
施策27 消費者の自立と支援	3.393	3.983
施策28 心と体の健康づくり	3.775	4.495
施策29 医療環境の充実	3.601	4.443
施策30 市民参画制度の推進	3.296	3.856
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.277	4.080
施策32 便利な市民サービスの推進	3.585	4.176
施策33 効果的効率的行政の推進	3.195	3.842
施策34 質の高い広域連携の推進	3.211	3.773
	満足度	重要度
谷塚西部平均	3.440	4.139

B 草加市の基本となる施策に関すること



谷塚西部の散布図をみると、重要度平均値は 4.139 で全体より 0.031 ポイント低い。満足度平均値は 3.440 で全体より 0.040 ポイント低い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「14 安全で快適な道路の整備」「9 防犯対策の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」「4 心地よいまちづくりの推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「33 効果的効率的行政の推進」「25 人権の尊重」などがあげられる。

谷塚西部は、全体と比較して「14 安全で快適な道路の整備」の満足度が 0.143 ポイント低く、「19 市民自治の推進」の満足度が 0.111 ポイント低い。「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」の重要度が 0.172 ポイント低く、「13 公共交通網の充実」の重要度が 0.159 ポイント高い。

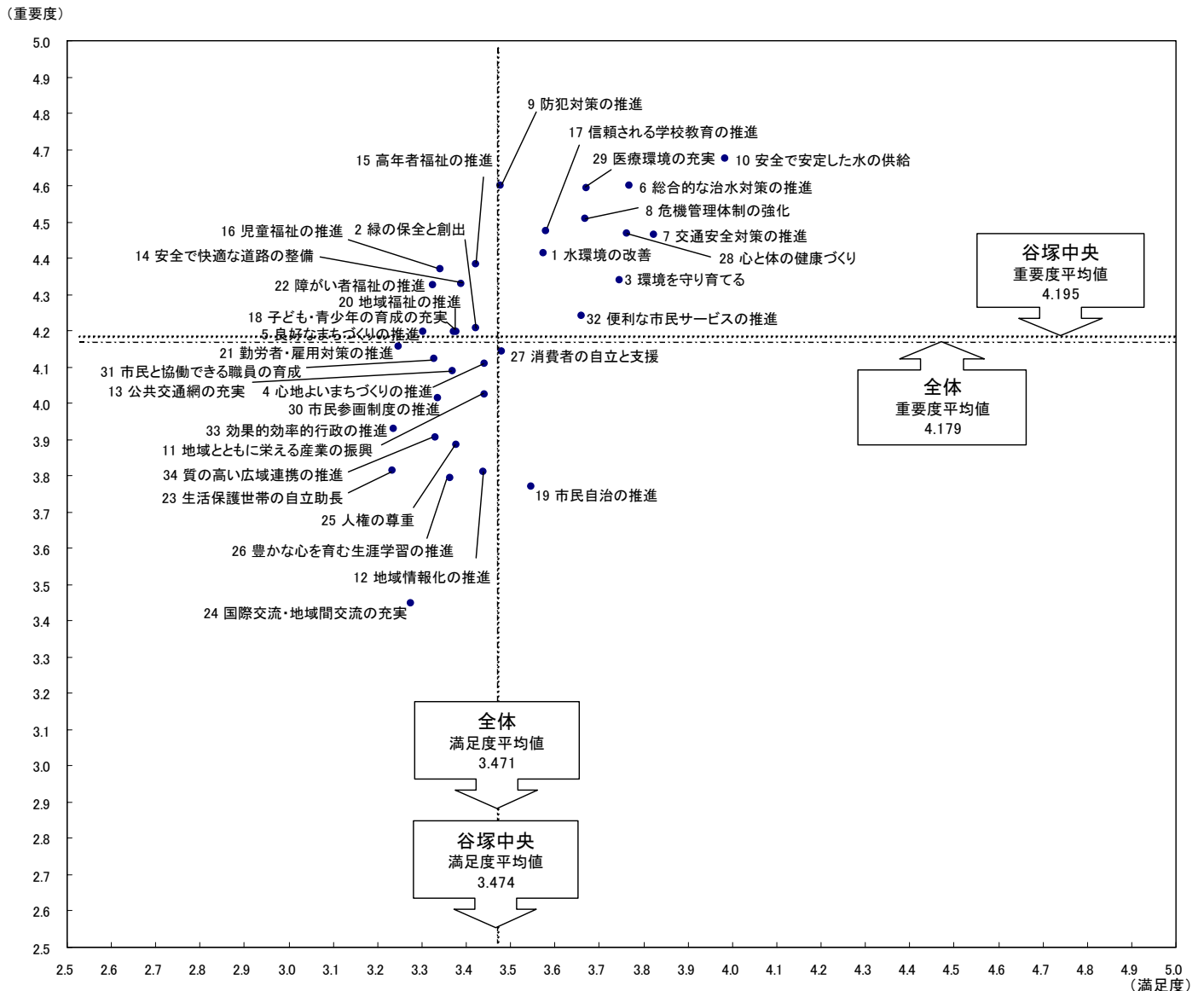
第3章 調査結果の分析

◆谷塚中央

平成26年度谷塚中央：138人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.574	4.414
施策2 緑の保全と創出	3.423	4.208
施策3 環境を守り育てる	3.746	4.339
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.441	4.110
施策5 良好なまちづくりの推進	3.303	4.198
施策6 総合的な治水対策の推進	3.769	4.600
施策7 交通安全対策の推進	3.824	4.466
施策8 危機管理体制の強化	3.669	4.508
施策9 防犯対策の推進	3.477	4.602
施策10 安全で安定した水の供給	3.984	4.674
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.441	4.024
施策12 地域情報化の推進	3.439	3.811
施策13 公共交通網の充実	3.368	4.090
施策14 安全で快適な道路の整備	3.388	4.328
施策15 高齢者福祉の推進	3.421	4.383
施策16 児童福祉の推進	3.341	4.370
施策17 信頼される学校教育の推進	3.579	4.476
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.373	4.197
施策19 市民自治の推進	3.545	3.771
施策20 地域福祉の推進	3.379	4.197
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.248	4.157
施策22 障がい者福祉の推進	3.325	4.325
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.234	3.814
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.276	3.447
施策25 人権の尊重	3.377	3.887
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.364	3.795
施策27 消費者の自立と支援	3.480	4.144
施策28 心と体の健康づくり	3.764	4.468
施策29 医療環境の充実	3.672	4.594
施策30 市民参画制度の推進	3.336	4.016
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.328	4.121
施策32 便利な市民サービスの推進	3.659	4.242
施策33 効果的効率的行政の推進	3.236	3.930
施策34 質の高い広域連携の推進	3.331	3.906
	満足度	重要度
谷塚中央平均	3.474	4.195

B 草加市の基本となる施策に関すること



谷塚中央の散布図をみると、重要度平均値は 4.195 で全体より 0.016 ポイント高い。満足度平均値は 3.474 で全体とほぼ同じである。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」「7 交通安全対策の推進」「29 医療環境の充実」「28 心と体の健康づくり」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「16 児童福祉の推進」「22 障がい者福祉の推進」「15 高年者福祉の推進」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」などがあげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「33 効果的効率的行政の推進」「34 質の高い広域連携の推進」「12 地域情報化の推進」「25 人権の尊重」などがあげられる。

谷塚中央は、全体と比較して「2 緑の保全と創出」の満足度が 0.156 ポイント低く、「7 交通安全対策の推進」の満足度が 0.181 ポイント高い。「13 公共交通網の充実」の重要度が 0.111 ポイント低く、「3 環境を守り育てる」の重要度が 0.121 ポイント高い。

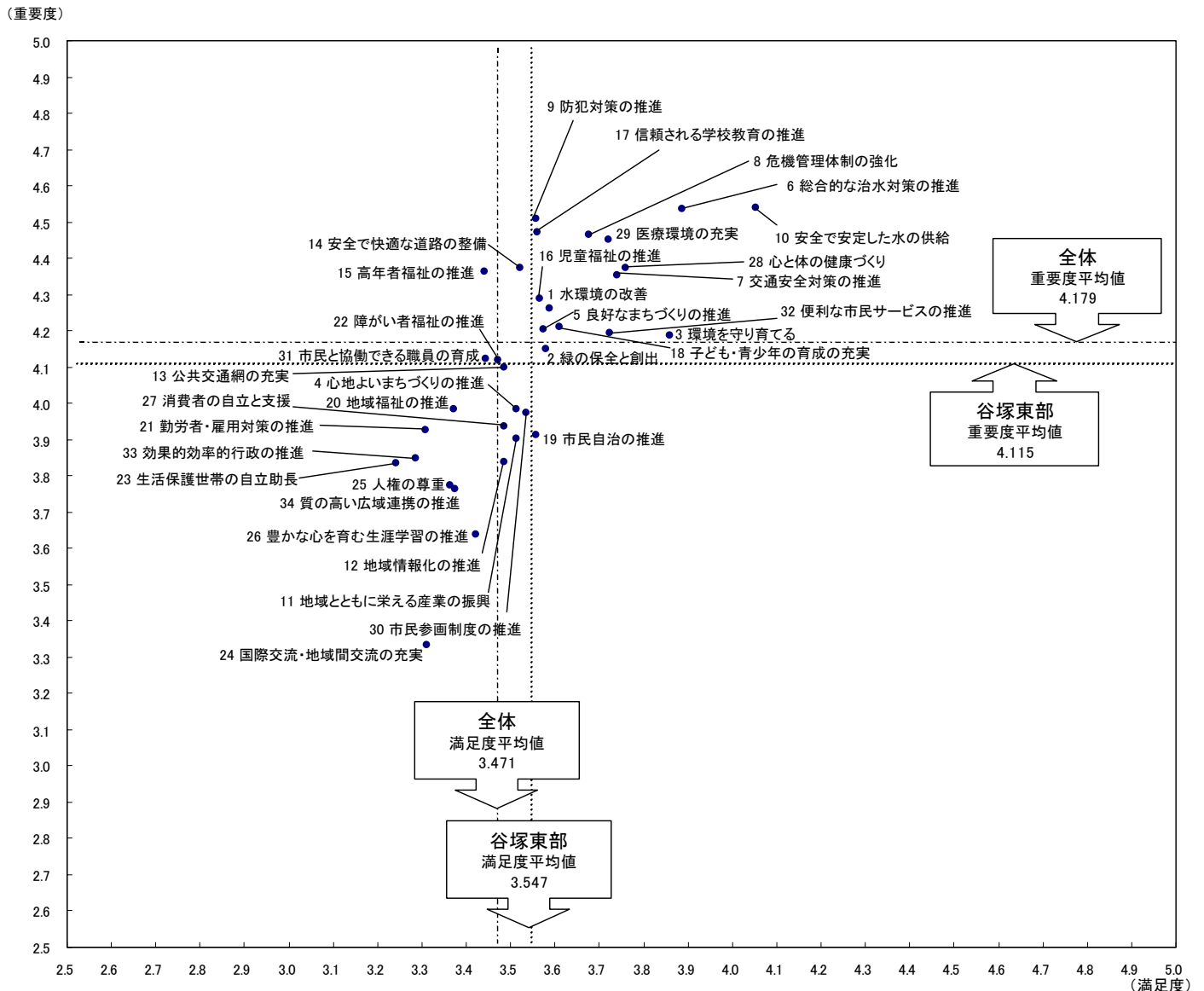
第3章 調査結果の分析

◆谷塚東部

平成26年度谷塚東部：121人

施策項目	満足度	重要度
施策1 水環境の改善	3.588	4.263
施策2 緑の保全と創出	3.579	4.149
施策3 環境を守り育てる	3.858	4.188
施策4 心地よいまちづくりの推進	3.513	3.904
施策5 良好なまちづくりの推進	3.574	4.204
施策6 総合的な治水対策の推進	3.888	4.534
施策7 交通安全対策の推進	3.741	4.353
施策8 危機管理体制の強化	3.675	4.465
施策9 防犯対策の推進	3.557	4.509
施策10 安全で安定した水の供給	4.053	4.540
施策11 地域とともに栄える産業の振興	3.513	3.983
施策12 地域情報化の推進	3.486	3.838
施策13 公共交通網の充実	3.486	4.100
施策14 安全で快適な道路の整備	3.522	4.375
施策15 高齢者福祉の推進	3.441	4.364
施策16 児童福祉の推進	3.566	4.287
施策17 信頼される学校教育の推進	3.561	4.472
施策18 子ども・青少年の育成の充実	3.611	4.211
施策19 市民自治の推進	3.558	3.912
施策20 地域福祉の推進	3.372	3.982
施策21 勤労者・雇用対策の推進	3.309	3.927
施策22 障がい者福祉の推進	3.472	4.119
施策23 生活保護世帯の自立助長	3.241	3.835
施策24 国際交流・地域間交流の充実	3.311	3.333
施策25 人権の尊重	3.364	3.774
施策26 豊かな心を育む生涯学習の推進	3.422	3.639
施策27 消費者の自立と支援	3.486	3.935
施策28 心と体の健康づくり	3.759	4.373
施策29 医療環境の充実	3.721	4.450
施策30 市民参画制度の推進	3.534	3.974
施策31 市民と協働できる職員の育成	3.444	4.123
施策32 便利な市民サービスの推進	3.724	4.193
施策33 効果的効率的行政の推進	3.287	3.850
施策34 質の高い広域連携の推進	3.374	3.765
	満足度	重要度
谷塚東部平均	3.547	4.115

B 草加市の基本となる施策に関すること



谷塚東部の散布図をみると、重要度平均値は 4.115 で全体より 0.064 ポイント低い。満足度平均値は 3.547 で全体より 0.076 ポイント高い。

《重要度が高く満足度も高い施策》として、「10 安全で安定した水の供給」「6 総合的な治水対策の推進」などがあげられる。

《重要度は高いが満足度が低い施策》として、「15 高齢者福祉の推進」「14 安全で快適な道路の整備」などがあげられる。

《重要度は低いが満足度が高い施策》として、「19 市民自治の推進」があげられる。

《重要度が低く満足度も低い施策》として、「24 国際交流・地域間交流の充実」「26 豊かな心を育む生涯学習の推進」「23 生活保護世帯の自立助長」「33 効果的効率的行政の推進」「25 人権の尊重」「34 質の高い広域連携の推進」などがあげられる。

谷塚東部は、全体と比較して「18 子ども・青少年の育成の充実」の満足度が 0.201 ポイント高く、「3 環境を守り育てる」「30 市民参画制度の推進」の満足度がそれぞれ 0.180 ポイント高い。「20 地域福祉の推進」の重要度が 0.193 ポイント低く、「22 障がい者福祉の推進」の重要度が 0.168 ポイント低い。

4 各施策の満足度・重要度・経年比較

施策1 水環境の改善

《満足》満足度は5割を超える

《重要》重要度は7割台後半

①満足度

単位: %

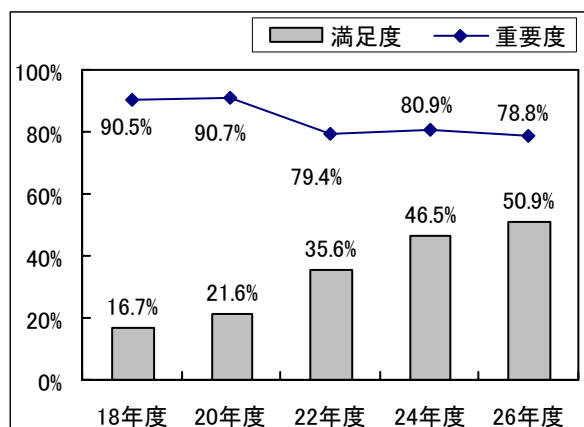
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	14.3	36.6	32.8	6.3	4.0	50.9	10.3	3.543
平成24年度(1,891人)	10.7	35.8	37.0	9.7	5.2	46.5	14.9	3.376
平成22年度(1,973人)	5.9	29.7	36.6	17.0	8.1	35.6	25.1	3.085
平成20年度(1,831人)	3.7	17.9	28.4	27.3	20.5	21.6	47.8	2.558
平成18年度(1,789人)	1.9	14.8	26.8	27.4	27.1	16.7	54.5	2.358

②重要度

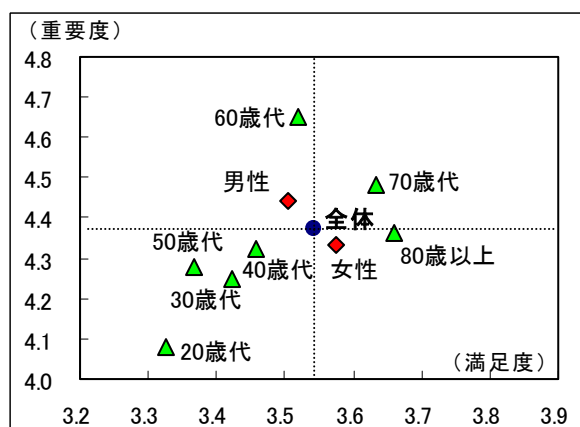
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	51.6	27.2	14.1	1.1	0.1	78.8	1.2	4.375
平成24年度(1,891人)	47.1	33.8	16.0	1.0	0.4	80.9	1.4	4.286
平成22年度(1,973人)	45.9	33.5	13.2	2.1	0.6	79.4	2.7	4.279
平成20年度(1,831人)	61.7	29.0	7.1	1.0	0.2	90.7	1.2	4.525
平成18年度(1,789人)	63.7	26.8	7.6	1.0	0.0	90.5	1.0	4.547

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加し、平成26年度は18年度より34.2ポイント高い。重要度は、18年度、20年度は9割、22～26年度は8割前後と減少傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度、女性は重要度が低い。20～50歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策2 緑の保全と創出

《満足》 満足度は5割台前半

《重要》 重要度は前回調査より低下し、7割台後半

①満足度

単位：%

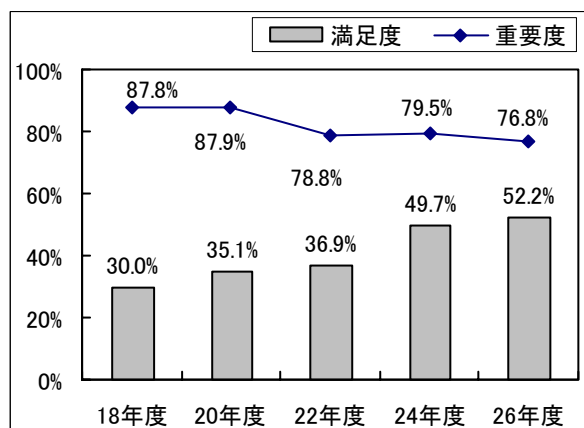
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	15.2	37.0	32.1	6.8	3.0	52.2	9.8	3.579
平成24年度(1,891人)	13.5	36.2	35.2	8.8	4.4	49.7	13.2	3.465
平成22年度(1,973人)	6.7	30.2	32.2	18.5	8.6	36.9	27.1	3.081
平成20年度(1,831人)	6.4	28.7	22.4	26.1	15.3	35.1	41.4	2.845
平成18年度(1,789人)	4.2	25.8	22.4	28.5	18.4	30.0	46.9	2.687

②重要度

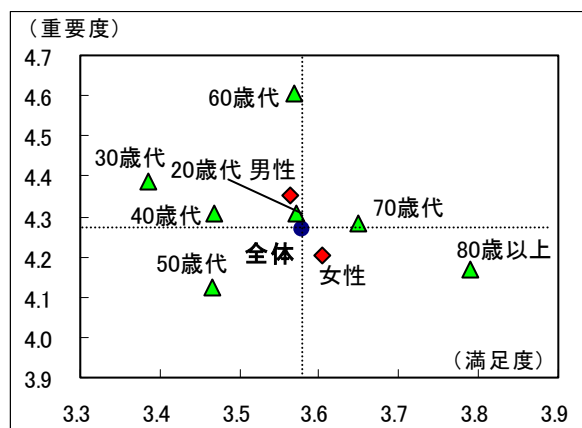
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	44.4	32.4	15.4	1.9	0.1	76.8	2.0	4.266
平成24年度(1,891人)	43.1	36.4	16.9	1.5	0.4	79.5	1.9	4.224
平成22年度(1,973人)	46.9	31.9	13.1	2.4	0.6	78.8	3.0	4.287
平成20年度(1,831人)	52.2	35.7	9.6	1.5	0.3	87.9	1.8	4.392
平成18年度(1,789人)	54.4	33.4	9.8	1.3	0.3	87.8	1.6	4.412

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、重要度は横ばい傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高く、重要度が低い一方、男性は重要度が高く満足度が低い。80歳以上は満足度、60歳代は重要度が高く、50歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策3 環境を守り育てる

《満足》満足度は5割台前半

《重要》重要度は前回調査より低下し、7割台前半

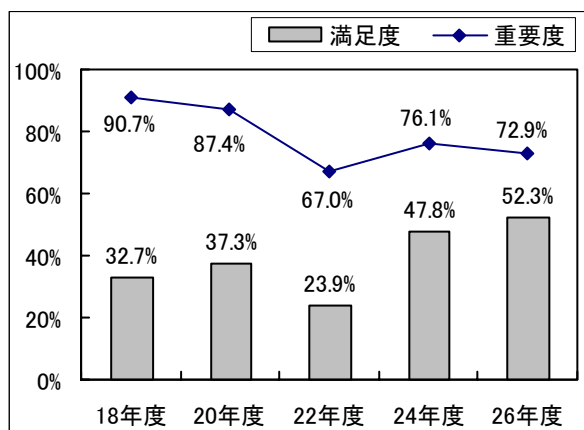
①満足度

年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	17.4	34.9	35.7	3.5	1.6	52.3	5.1	3.677
平成24年度(1,891人)	13.4	34.4	41.1	6.6	2.5	47.8	9.1	3.506
平成22年度(1,973人)	3.8	20.1	55.0	12.7	4.9	23.9	17.6	3.053
平成20年度(1,831人)	6.3	31.0	37.5	18.2	5.6	37.3	23.8	3.144
平成18年度(1,789人)	5.0	27.7	35.2	21.1	9.8	32.7	30.9	2.969

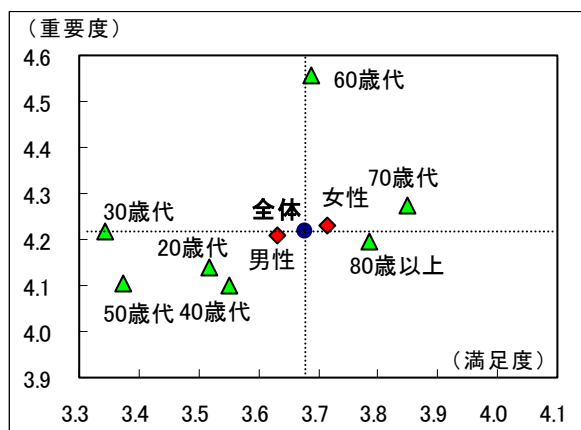
②重要度

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	42.1	30.8	18.9	1.2	0.2	72.9	1.4	4.218
平成24年度(1,891人)	40.7	35.4	20.1	1.5	0.3	76.1	1.8	4.093
平成22年度(1,973人)	30.5	36.5	23.3	3.9	1.1	67.0	5.0	3.819
平成20年度(1,831人)	60.0	27.4	10.2	1.0	0.4	87.4	1.4	3.697
平成18年度(1,789人)	64.8	25.9	7.9	0.7	0.1	90.7	0.8	3.733

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度・重要度ともに平成22年度で減少しているが、24年度・26年度ともに増加傾向にある。18年度と比較すると26年度の満足度は19.6ポイント増加している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度がやや高いが、男性はやや低い。

60歳代は重要度が高く、70歳代、80歳以上は満足度が高く、20～50歳代はいずれも低い。

施策4 心地よいまちづくりの推進

《満足》満足度は4割台前半

《重要》重要度は6割台半ば

①満足度

単位: %

年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)	
	満足	やや満足		やや不満足	不満足				
平成26年度(1,988人)	12.1	29.4	42.2	6.5	2.4	41.5	8.9	3.457	
平成24年度(1,891人)	11.6	27.2	46.7	8.2	3.5	38.8	11.7	3.362	
(1)美しい 景観の創 出	平成22年度(1,973人)	4.0	17.4	48.8	12.8	6.4	21.4	19.2	2.998
	平成20年度(1,831人)	3.3	21.8	36.8	25.0	11.6	25.1	36.6	2.800
	平成18年度(1,789人)	2.6	17.7	39.6	23.5	15.1	20.3	38.6	2.687
(2)ユニ バーサル デザイン の推進	平成22年度(1,973人)	4.0	18.3	47.8	17.4	7.1	22.3	24.5	2.942
	平成20年度(1,831人)	2.6	12.3	55.5	16.8	9.3	14.9	26.1	2.813
	平成18年度(1,789人)	1.7	9.9	56.9	16.5	12.0	11.6	28.5	2.720

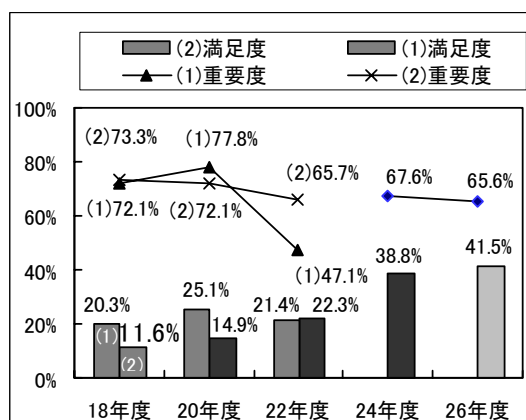
②重要度

単位: %

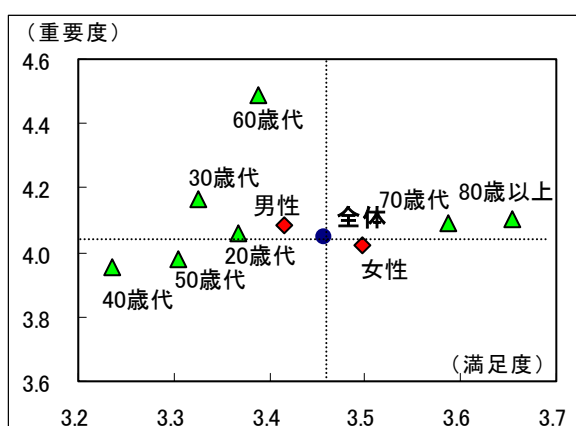
年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)	
	重要	やや重要		あまり重要ではない	重要ではない				
平成26年度(1,988人)	34.3	31.3	24.9	2.2	0.3	65.6	2.5	4.045	
平成24年度(1,891人)	33.6	34.0	26.0	3.2	0.6	67.6	3.8	3.993	
(1)美しい 景観の創 出	平成22年度(1,973人)	18.9	28.2	29.5	9.0	2.8	47.1	11.8	3.581
	平成20年度(1,831人)	37.8	40.0	17.5	3.0	0.3	77.8	3.3	4.135
	平成18年度(1,789人)	34.9	37.2	21.2	5.1	0.3	72.1	5.4	4.025
(2)ユニ バーサル デザイン の推進	平成22年度(1,973人)	34.0	31.7	22.0	4.7	1.4	65.7	6.1	3.983
	平成20年度(1,831人)	42.2	29.9	22.7	3.2	0.5	72.1	3.7	4.119
	平成18年度(1,789人)	43.0	30.3	21.6	3.3	0.4	73.3	3.7	4.137

※平成18年度から22年度においては、「(1)美しい景観の創出」と「(2)ユニバーサルデザインの推進」の2つについてそれぞれ満足度と重要度を調査した。平成24・26年度では「心地よいまちづくりの推進」のみの調査であるため、22年度以前の満足度・重要度平均値と単純比較は行わず、「平均値の経年変化の散布図」は作成していない。

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、平成26年度は満足度が41.5%と、22年度までの「(1)美しい景観の創出」「(2)ユニバーサルデザインの推進」の満足度に比べると増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代、80歳以上は満足度が高い。60歳代は重要度が高い。40歳代、50歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策5 良好なまちづくりの推進

《満足》 満足度は4割台後半

《重要》 重要度は7割台前半

①満足度

単位: %

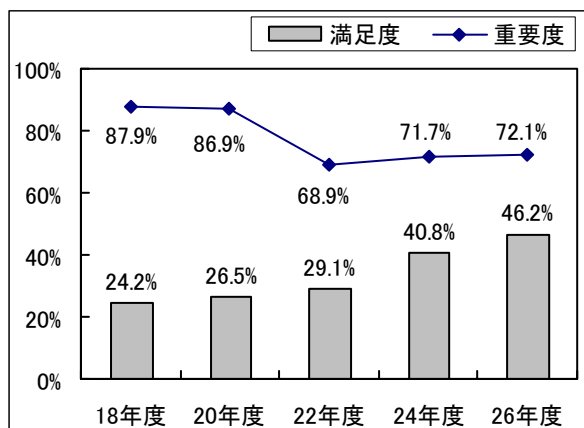
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	13.3	32.9	34.3	9.3	4.1	46.2	13.4	3.447
平成24年度(1,891人)	11.6	29.2	40.0	11.9	5.3	40.8	17.2	3.306
平成22年度(1,973人)	6.1	23.0	39.7	15.9	10.4	29.1	26.3	2.985
平成20年度(1,831人)	2.5	24.0	27.3	27.9	17.4	26.5	45.3	2.660
平成18年度(1,789人)	3.2	21.0	23.0	31.2	21.0	24.2	52.2	2.541

②重要度

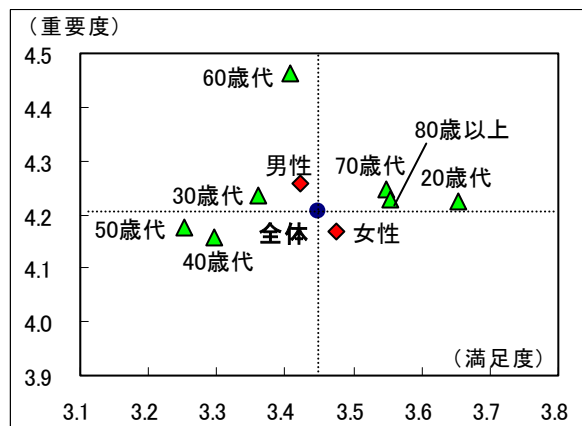
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	42.7	29.4	19.6	1.4	0.4	72.1	1.8	4.205
平成24年度(1,891人)	38.7	33.0	24.1	1.9	0.5	71.7	2.4	4.095
平成22年度(1,973人)	36.3	32.6	21.2	2.9	1.3	68.9	4.2	4.056
平成20年度(1,831人)	56.9	30.0	8.9	1.6	0.7	86.9	2.3	4.436
平成18年度(1,789人)	59.5	28.4	7.3	1.9	0.3	87.9	2.2	4.486

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にある一方、重要度は平成18年度、20年度は8割半ばだったのが、22～26年度は7割前後となっている。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は重要度が高いが、女性は低い。

20歳代、70歳代、80歳以上は満足度・重要度が高く、60歳代は重要度が高い。40歳代、50歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策6 総合的な治水対策の推進

《満足》 満足度は6割台半ば

《重要》 重要度は8割台半ば

①満足度

単位: %

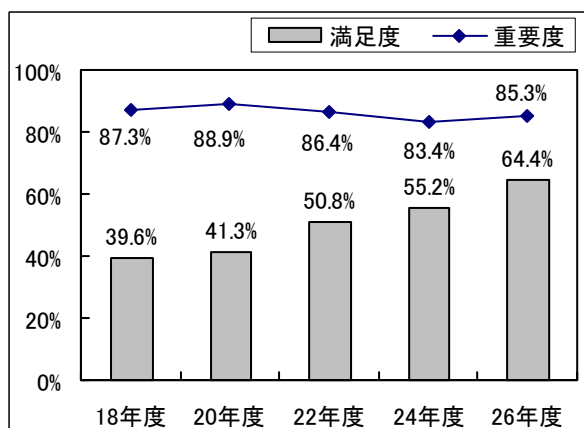
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	23.5	40.9	24.0	5.5	1.5	64.4	7.0	3.834
平成24年度(1,891人)	19.2	36.0	31.2	6.4	1.9	55.2	8.3	3.678
平成22年度(1,973人)	11.8	39.0	29.3	10.4	6.4	50.8	16.8	3.406
平成20年度(1,831人)	9.5	31.8	38.2	13.6	5.6	41.3	19.2	3.264
平成18年度(1,789人)	7.8	31.8	35.6	14.0	9.0	39.6	23.0	3.156

②重要度

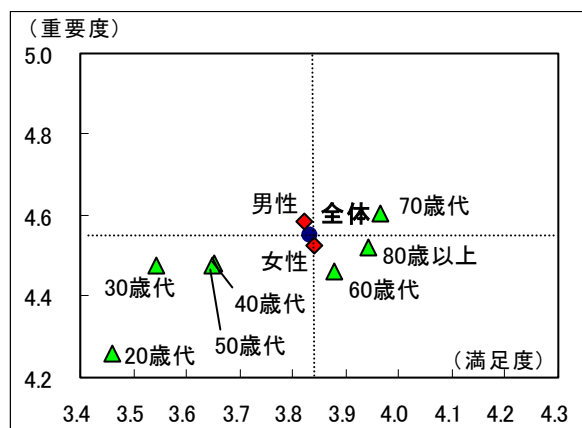
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	63.1	22.2	9.5	0.5	0.2	85.3	0.7	4.548
平成24年度(1,891人)	58.0	25.4	10.4	0.7	0.2	83.4	0.9	4.482
平成22年度(1,973人)	61.4	25.0	8.1	1.1	0.3	86.4	1.4	4.525
平成20年度(1,831人)	61.3	27.6	9.7	0.6	0.1	88.9	0.7	4.505
平成18年度(1,789人)	59.8	27.5	10.5	1.2	0.1	87.3	1.3	4.470

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、重要度は8割台で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、60歳代、80歳以上は満足度が高く、20～50歳代は満足度・重要度ともに低い。70歳代は満足度・重要度ともに高い。

施策7 交通安全対策の推進

《満足》 満足度は6割弱

《重要》 重要度は8割台半ば

①満足度

単位: %

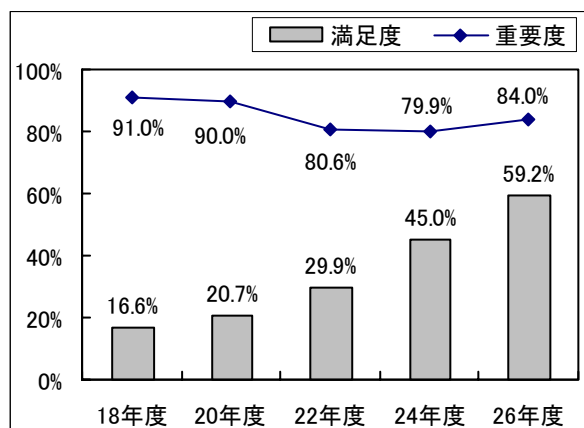
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	19.3	39.9	24.2	8.4	4.2	59.2	12.6	3.643
平成24年度(1,891人)	13.5	31.5	31.5	12.7	5.6	45.0	18.3	3.365
平成22年度(1,973人)	6.1	23.8	41.2	16.1	9.2	29.9	25.3	3.015
平成20年度(1,831人)	3.1	17.6	36.2	25.8	16.7	20.7	42.5	2.643
平成18年度(1,789人)	1.3	15.3	32.6	27.7	21.6	16.6	49.3	2.463

②重要度

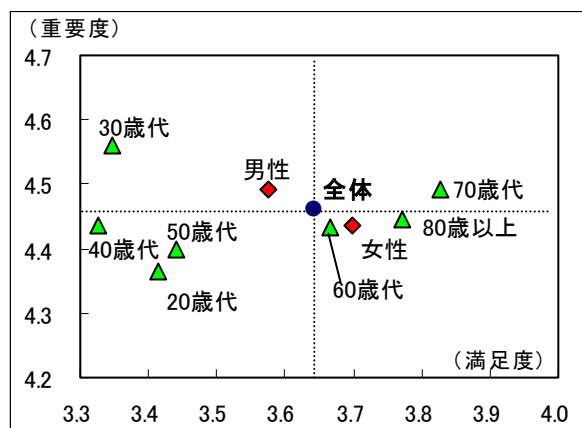
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	56.5	27.5	10.9	0.7	0.1	84.0	0.8	4.460
平成24年度(1,891人)	48.4	31.5	13.4	1.1	0.4	79.9	1.5	4.334
平成22年度(1,973人)	55.9	24.7	13.0	1.3	0.6	80.6	1.9	4.404
平成20年度(1,831人)	65.0	25.0	7.9	0.9	0.2	90.0	1.1	4.554
平成18年度(1,789人)	70.5	20.5	7.2	0.6	0.1	91.0	0.7	4.625

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より42.6ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度が低く、重要度が高い。一方、女性は重要度が低く、満足度が高い。

60歳代、80歳以上は満足度が高く、70歳代は満足度・重要度ともに高い。20歳代、40歳代、50歳代は満足度・重要度ともに低い。30歳代は満足度は低いが、重要度は高い。

施策 8 危機管理体制の強化

《満足》 満足度は5割弱

《重要》 重要度は8割台前半

①満足度

単位: %

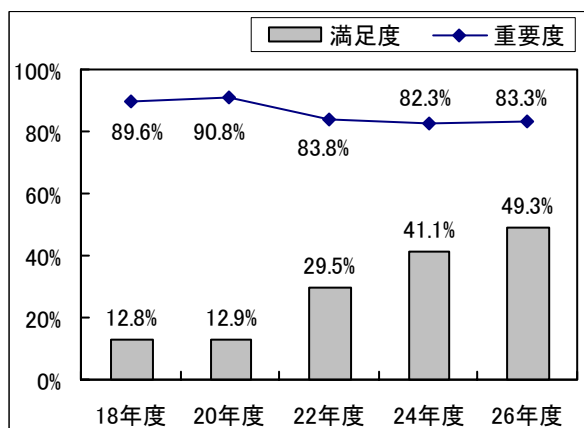
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	17.0	32.3	36.5	7.5	2.3	49.3	9.8	3.566
平成24年度(1,891人)	14.0	27.1	40.5	9.4	3.5	41.1	12.9	3.409
平成22年度(1,973人)	6.8	22.7	49.3	12.2	5.4	29.5	17.6	3.138
平成20年度(1,831人)	1.9	11.0	57.0	17.5	10.9	12.9	28.4	2.750
平成18年度(1,789人)	1.6	11.2	51.8	18.6	14.6	12.8	33.2	2.658

②重要度

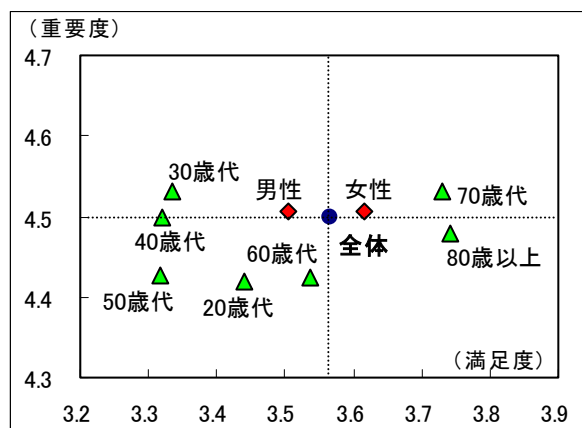
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	60.5	22.8	12.0	0.3	0.1	83.3	0.4	4.499
平成24年度(1,891人)	58.6	23.7	11.6	0.5	0.2	82.3	0.7	4.480
平成22年度(1,973人)	61.0	22.8	10.8	0.8	0.2	83.8	1.0	4.503
平成20年度(1,831人)	73.0	17.8	8.1	0.4	0.1	90.8	0.5	4.642
平成18年度(1,789人)	74.7	14.9	9.1	0.4	0.0	89.6	0.4	4.655

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より36.5ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。70歳代は満足度・重要度ともに高く、80歳以上は満足度が高い。30歳代は満足度が低く重要度が高いが、20歳代、50歳代、60歳代は満足度・重要度がともに低い。40歳代は満足度が低い。

施策9 防犯対策の推進

《満足》 満足度は4割台後半

《重要》 重要度は8割台半ば

①満足度

単位: %

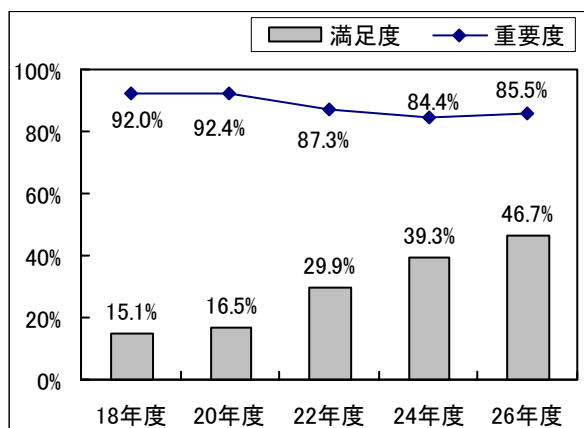
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	14.8	31.9	33.6	11.0	4.3	46.7	15.3	3.439
平成24年度(1,891人)	13.1	26.2	34.3	13.4	7.9	39.3	21.3	3.244
平成22年度(1,973人)	6.5	23.4	33.7	21.3	11.6	29.9	32.9	2.915
平成20年度(1,831人)	1.9	14.6	40.3	25.7	16.3	16.5	42.0	2.596
平成18年度(1,789人)	1.9	13.2	36.2	27.4	20.0	15.1	47.4	2.490

②重要度

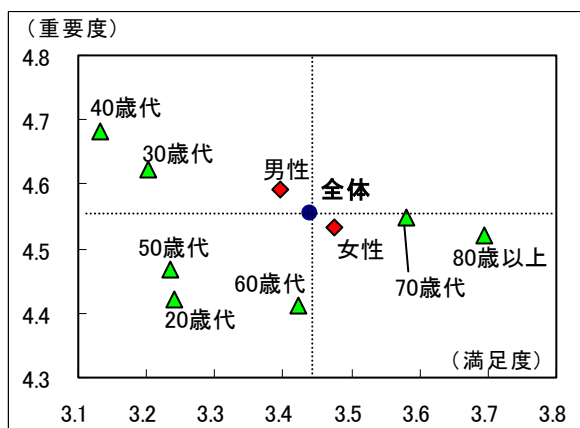
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	63.2	22.3	9.6	0.3	0.1	85.5	0.4	4.555
平成24年度(1,891人)	62.5	21.9	10.2	0.4	0.2	84.4	0.6	4.536
平成22年度(1,973人)	66.0	21.3	7.6	0.4	0.4	87.3	0.8	4.591
平成20年度(1,831人)	73.7	18.7	5.6	0.4	0.1	92.4	0.5	4.678
平成18年度(1,789人)	73.3	18.7	6.1	0.7	0.2	92.0	0.9	4.658

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より31.6ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代、80歳以上は満足度が高く、30～40歳代は重要度が高いが、満足度は低い。20歳代、50～60歳代は満足度・重要度がともに低い。

施策 10 安全で安定した水の供給

《満足》 満足度は6割台後半

《重要》 重要度は8割台後半

①満足度

単位: %

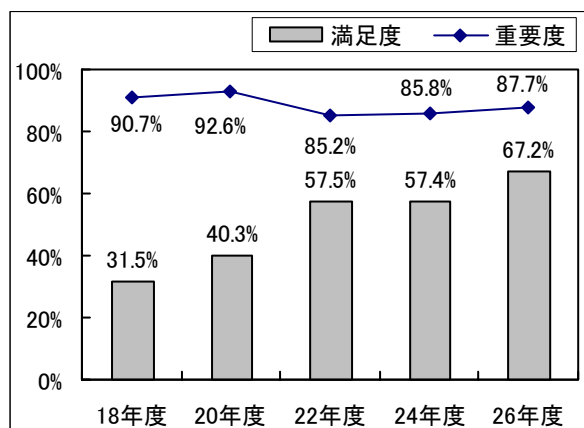
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	29.2	38.0	23.8	3.5	1.3	67.2	4.8	3.944
平成24年度(1,891人)	21.3	36.1	29.5	6.3	2.0	57.4	8.3	3.720
平成22年度(1,973人)	18.3	39.2	30.1	5.8	2.5	57.5	8.3	3.678
平成20年度(1,831人)	12.0	28.3	33.7	15.1	9.6	40.3	24.7	3.183
平成18年度(1,789人)	8.3	23.2	35.7	18.1	13.8	31.5	31.9	2.942

②重要度

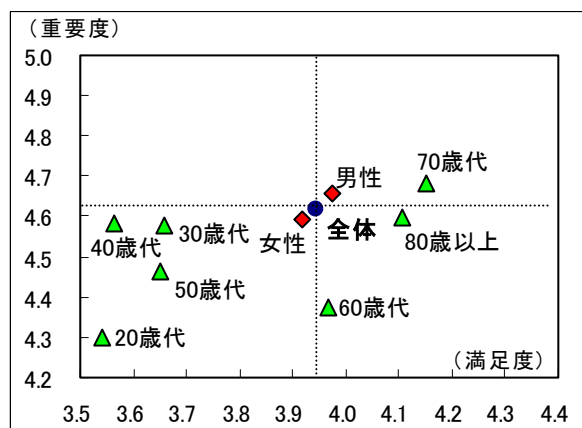
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	67.4	20.3	7.6	0.3	0.1	87.7	0.4	4.617
平成24年度(1,891人)	64.3	21.5	8.9	0.3	0.1	85.8	0.4	4.574
平成22年度(1,973人)	60.8	24.4	8.4	0.9	0.2	85.2	1.1	4.530
平成20年度(1,831人)	69.6	23.0	5.9	0.3	0.1	92.6	0.4	4.636
平成18年度(1,789人)	70.4	20.3	7.9	0.5	0.0	90.7	0.5	4.621

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は増加傾向にあり、平成26年度は18年度より35.7ポイント高い。重要度は、9割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度・重要度がともに高く、女性は満足度・重要度がともに低い。60歳代、80歳以上は満足度が高く、70歳代は満足度・重要度がともに高い。20～50歳代は満足度・重要度がともに低い。

施策 11 地域とともに栄える産業の振興

《満足》 満足度は4割

《重要》 重要度は6割台半ば

①満足度

単位: %

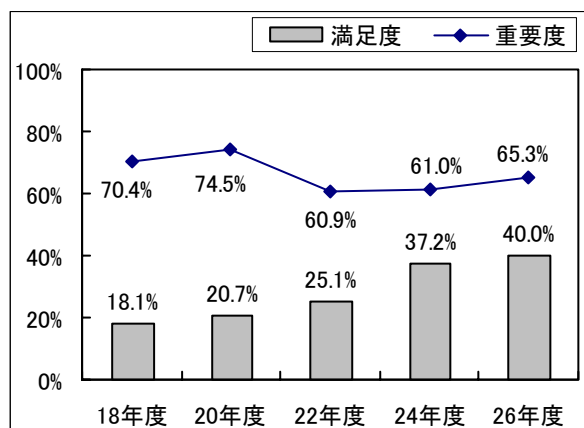
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	10.9	29.1	47.1	5.9	2.3	40.0	8.2	3.423
平成24年度(1,891人)	9.9	27.3	47.9	6.9	2.6	37.2	9.5	3.370
平成22年度(1,973人)	4.3	20.8	52.0	13.4	4.8	25.1	18.2	3.066
平成20年度(1,831人)	3.1	17.6	56.1	14.4	6.6	20.7	21.0	2.961
平成18年度(1,789人)	3.2	14.9	58.5	14.5	6.8	18.1	21.3	2.930

②重要度

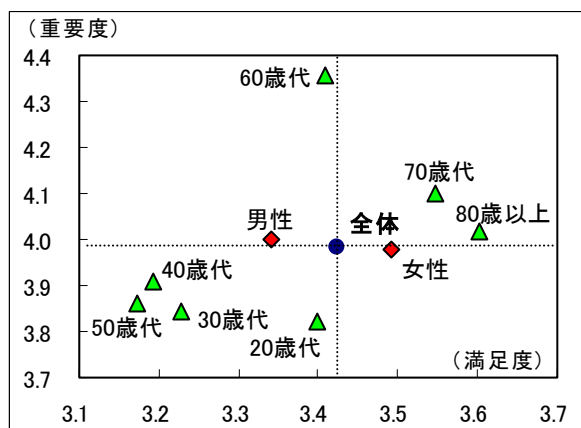
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	32.7	32.6	26.5	2.4	1.0	65.3	3.4	3.984
平成24年度(1,891人)	27.0	34.0	28.8	3.7	1.3	61.0	5.0	3.862
平成22年度(1,973人)	26.1	34.8	26.8	5.2	1.3	60.9	6.5	3.841
平成20年度(1,831人)	41.8	32.7	20.9	2.1	0.6	74.5	2.7	4.153
平成18年度(1,789人)	37.1	33.3	24.4	3.0	0.6	70.4	3.6	4.049

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。

70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い。20～50歳代は満足度・重要度ともに低い。60歳代は重要度が高い。

施策 12 地域情報化の推進

《満足》 満足度は3割台半ば

《重要》 重要度は5割台半ば

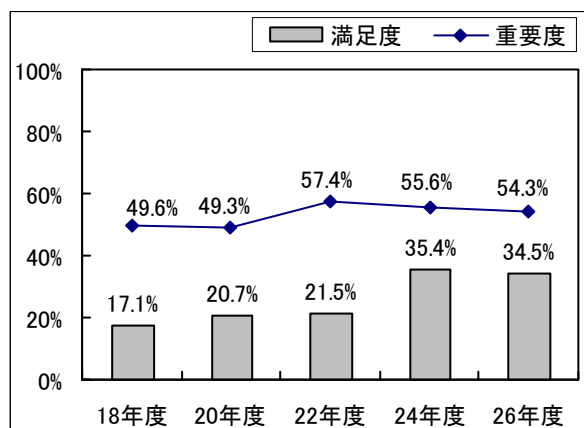
①満足度

年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
	平成26年度(1,988人)	10.0		24.5	50.6			
平成24年度(1,891人)	9.9	25.5	52.0	6.9	2.9	35.4	9.8	3.336
平成22年度(1,973人)	3.6	17.9	56.1	12.6	4.5	21.5	17.1	3.039
平成20年度(1,831人)	4.4	16.3	64.7	8.0	3.8	20.7	11.8	3.097
平成18年度(1,789人)	2.8	14.3	67.4	7.9	5.1	17.1	13.0	3.017

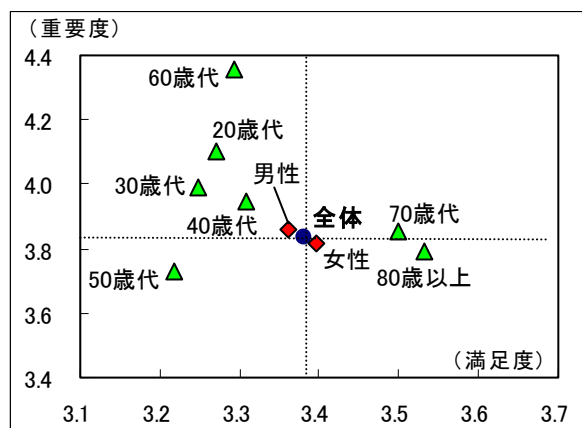
②重要度

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
	平成26年度(1,988人)	27.7		26.6	33.6			
平成24年度(1,891人)	25.6	30.0	35.7	4.7	1.5	55.6	6.2	3.756
平成22年度(1,973人)	27.5	29.9	29.7	5.2	1.6	57.4	6.8	3.814
平成20年度(1,831人)	23.2	26.1	41.3	5.3	1.3	49.3	6.6	3.664
平成18年度(1,789人)	23.1	26.5	41.0	6.2	1.3	49.6	7.5	3.651

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成24年度まで増加傾向にあるが、平成26年度はやや減少し、18年度より17.4ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代は満足度・重要度がともに高く、80歳以上は満足度が高く重要度は低い。20～40歳代、60歳代は重要度が高い。50歳代は満足度・重要度がともに低い。

施策 13 公共交通網の充実

《満足》 満足度は4割前半

《重要》 重要度は7割前半

①満足度

単位: %

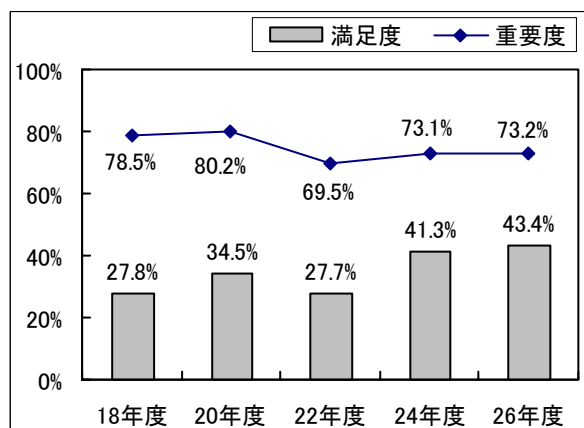
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	13.9	29.5	33.5	11.7	5.6	43.4	17.3	3.366
平成24年度(1,891人)	11.5	29.8	38.2	13.0	5.6	41.3	18.6	3.294
平成22年度(1,973人)	6.5	21.2	40.8	17.3	9.4	27.7	26.7	2.981
平成20年度(1,831人)	7.2	27.3	32.3	21.6	9.7	34.5	31.3	3.008
平成18年度(1,789人)	5.4	22.4	33.5	21.7	15.0	27.8	36.7	2.810

②重要度

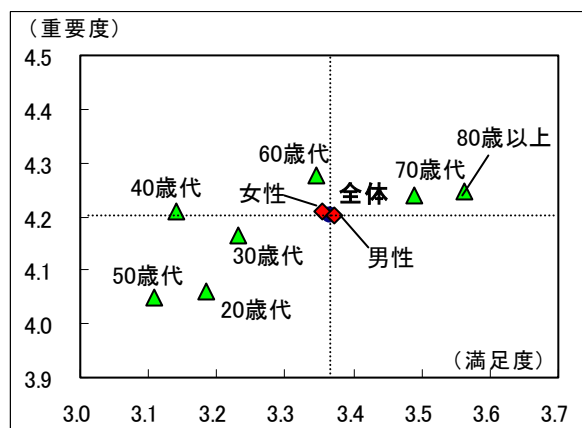
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	42.7	30.5	19.0	1.8	0.4	73.2	2.2	4.201
平成24年度(1,891人)	36.3	36.8	21.4	2.9	0.6	73.1	3.5	4.073
平成22年度(1,973人)	37.3	32.2	19.7	3.8	1.6	69.5	5.4	4.055
平成20年度(1,831人)	44.1	36.1	15.9	1.9	0.5	80.2	2.4	4.231
平成18年度(1,789人)	44.1	34.4	17.4	2.7	0.2	78.5	2.9	4.208

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成18年度から22年度は3割前後で推移していたが、24・26年度では4割台と高く、26年度は18年度より15.6ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代、80歳以上は満足度・重要度がともに高く、20～30歳代、50歳代は満足度・重要度がともに低い。40歳代は満足度が低い。

施策 14 安全で快適な道路の整備

《満足》 満足度は 4 割台後半

《重要》 重要度は 8 割台前半

①満足度

単位: %

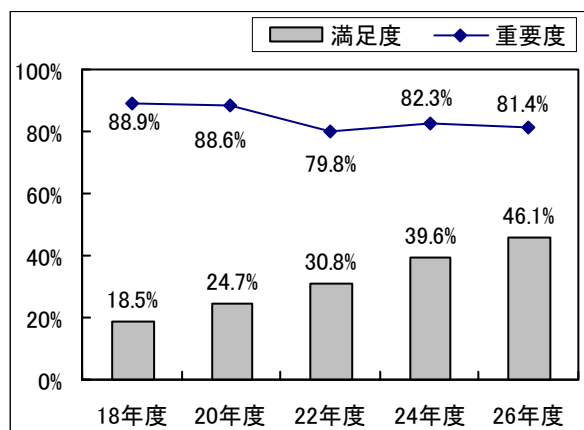
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	13.4	32.7	30.4	12.6	5.4	46.1	18.0	3.382
平成24年度(1,891人)	10.9	28.7	35.3	16.1	7.1	39.6	23.2	3.206
平成22年度(1,973人)	5.6	25.2	34.7	19.3	10.8	30.8	30.1	2.954
平成20年度(1,831人)	3.1	21.6	28.3	28.6	17.1	24.7	45.7	2.647
平成18年度(1,789人)	2.2	16.3	27.3	29.8	22.9	18.5	52.7	2.444

②重要度

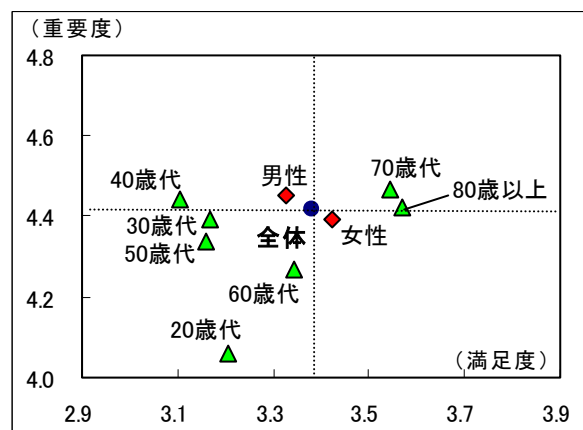
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	53.8	27.6	12.0	0.9	0.2	81.4	1.1	4.416
平成24年度(1,891人)	47.0	35.3	14.0	1.6	0.6	82.3	2.2	4.286
平成22年度(1,973人)	45.8	34.0	12.9	1.7	0.7	79.8	2.4	4.289
平成20年度(1,831人)	59.9	28.7	9.0	1.0	0.3	88.6	1.3	4.485
平成18年度(1,789人)	61.2	27.7	9.1	0.8	0.2	88.9	1.0	4.502

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成 26 年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向あり、平成 26 年度は 18 年度より 27.6 ポイント高い。重要度は 8 割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、80 歳以上は満足度が高く、70 歳代は重要度も高い。20～30 歳代、50～60 歳代は満足度・重要度がともに低い。

施策 15 高年者福祉の推進

《満足》 満足度は3割台後半

《重要》 重要度は7割台後半

①満足度

単位: %

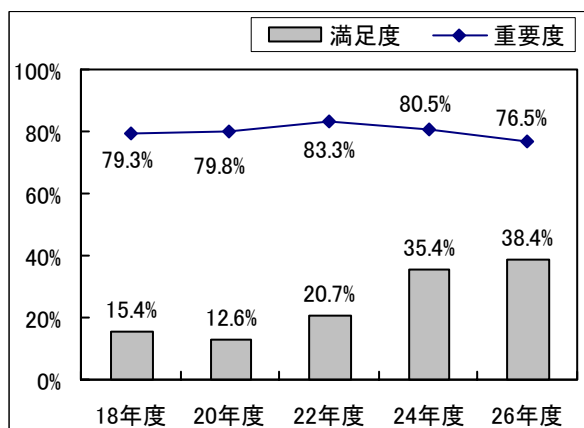
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	13.3	25.1	43.2	8.2	3.6	38.4	11.8	3.389
平成24年度(1,891人)	11.3	24.1	49.1	9.7	3.4	35.4	13.1	3.308
平成22年度(1,973人)	4.9	15.8	50.4	15.1	9.4	20.7	24.5	2.913
平成20年度(1,831人)	2.6	10.0	59.9	15.7	9.7	12.6	25.4	2.797
平成18年度(1,789人)	2.0	13.4	58.1	13.9	11.1	15.4	25.0	2.810

②重要度

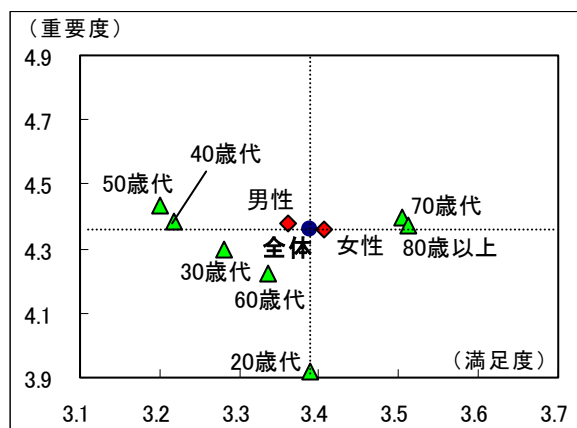
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	52.7	23.8	16.4	0.9	0.2	76.5	1.1	4.361
平成24年度(1,891人)	51.7	28.8	16.0	1.3	0.5	80.5	1.8	4.321
平成22年度(1,973人)	61.3	22.0	10.5	0.9	0.5	83.3	1.4	4.498
平成20年度(1,831人)	50.9	28.9	17.1	1.3	0.7	79.8	2.0	4.293
平成18年度(1,789人)	48.7	30.6	17.9	1.5	0.3	79.3	1.8	4.273

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成20年度から26年度にかけて増加傾向にあり、26年度は18年度より23.0ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代、80歳以上は満足度が高く、30歳代、60歳代は満足度・重要度ともに低い。20歳代は重要度が低い。

施策 16 児童福祉の推進

《満足》 満足度は4割を超える

《重要》 重要度は7割台前半

①満足度

単位: %

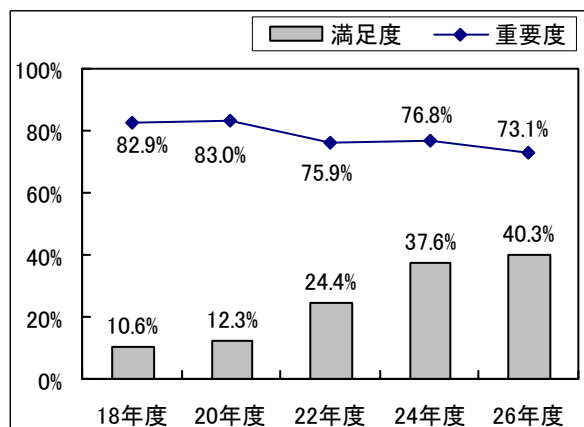
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	13.3	27.0	42.5	5.3	2.5	40.3	7.8	3.479
平成24年度(1,891人)	12.4	25.2	45.2	7.9	4.7	37.6	12.6	3.342
平成22年度(1,973人)	5.8	18.6	45.7	14.1	10.1	24.4	24.2	2.956
平成20年度(1,831人)	1.3	11.0	53.7	17.8	12.8	12.3	30.6	2.690
平成18年度(1,789人)	1.1	9.5	52.4	15.9	16.6	10.6	32.5	2.609

②重要度

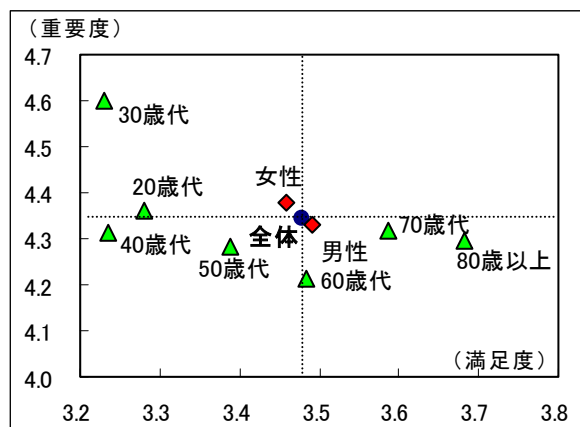
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	51.4	21.7	16.8	1.0	0.4	73.1	1.4	4.345
平成24年度(1,891人)	53.0	23.8	17.5	1.1	0.5	76.8	1.6	4.331
平成22年度(1,973人)	53.0	22.9	15.8	1.5	1.0	75.9	2.5	4.330
平成20年度(1,831人)	63.8	19.2	8.8	0.7	0.1	83.0	0.8	4.579
平成18年度(1,789人)	64.1	18.8	8.2	0.4	0.2	82.9	0.6	4.594

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より29.7ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、60歳代、70歳代、80歳以上は満足度が高く、20～50歳代は満足度が低い。このうち、30歳代は満足度がきわめて低い一方で、重要度はきわめて高い。

施策 17 信頼される学校教育の推進

《満足》 満足度は4割を超える

《重要》 重要度は7割台半ば

①満足度

単位: %

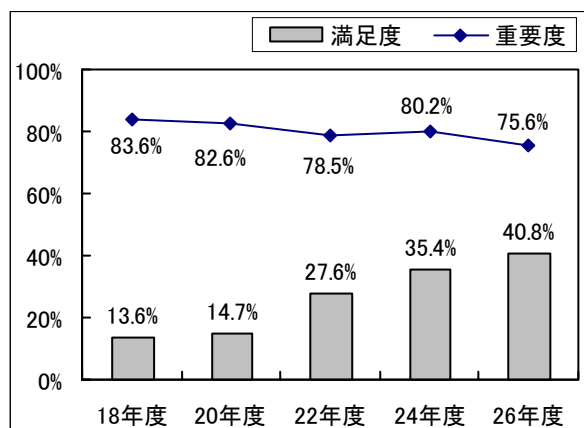
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	14.5	26.3	42.6	5.2	1.9	40.8	7.1	3.511
平成24年度(1,891人)	11.8	23.6	45.8	8.5	5.9	35.4	14.4	3.281
平成22年度(1,973人)	5.8	21.8	47.7	12.3	6.6	27.6	18.9	3.084
平成20年度(1,831人)	3.1	11.6	57.2	14.1	7.3	14.7	21.4	2.883
平成18年度(1,789人)	1.9	11.7	54.9	13.6	10.3	13.6	23.9	2.796

②重要度

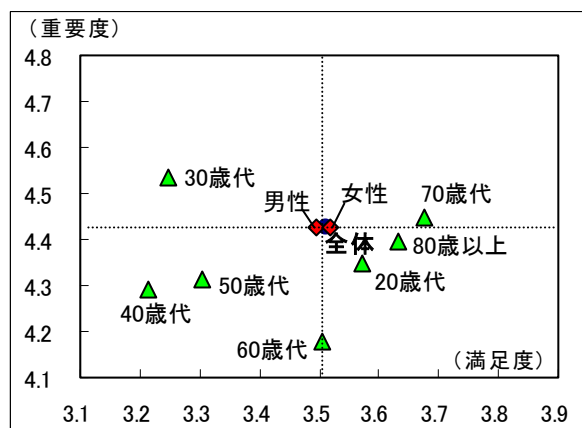
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	55.2	20.4	14.9	0.6	0.2	75.6	0.8	4.424
平成24年度(1,891人)	58.0	22.2	15.0	0.8	0.5	80.2	1.3	4.415
平成22年度(1,973人)	54.9	23.6	13.8	1.1	0.8	78.5	1.9	4.390
平成20年度(1,831人)	62.4	20.2	12.3	0.5	0.1	82.6	0.6	4.509
平成18年度(1,789人)	64.1	19.5	11.3	0.6	0.1	83.6	0.7	4.538

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より27.2ポイント高い

性別・年齢別の平均値散布図をみると、30歳代は重要度が高いが満足度は低く40～50歳代は満足度・重要度ともに低い。20歳代、80歳以上は満足度が高い。70歳代は満足度・重要度ともに高い。60歳代は重要度がきわめて低い。

施策 18 子ども・青少年の育成の充実

《満足》 満足度は3割台半ば

《重要》 重要度は6割台後半

①満足度

単位：%

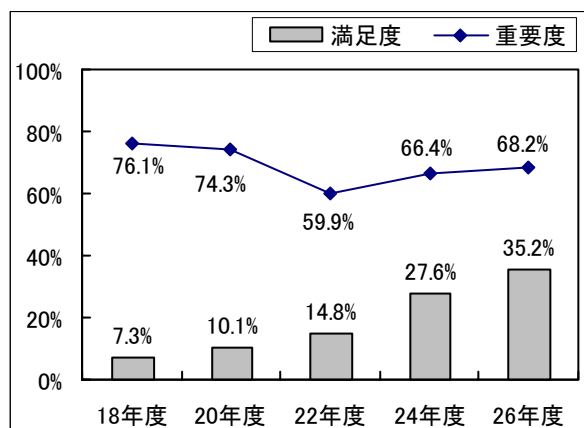
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	11.2	24.0	48.4	5.3	1.9	35.2	7.2	3.410
平成24年度(1,891人)	9.2	18.4	53.7	8.3	4.0	27.6	12.3	3.220
平成22年度(1,973人)	3.1	11.7	60.1	13.1	6.6	14.8	19.7	2.912
平成20年度(1,831人)	1.4	8.7	63.8	15.0	6.6	10.1	21.6	2.825
平成18年度(1,789人)	0.9	6.4	60.5	15.5	11.6	7.3	27.1	2.679

②重要度

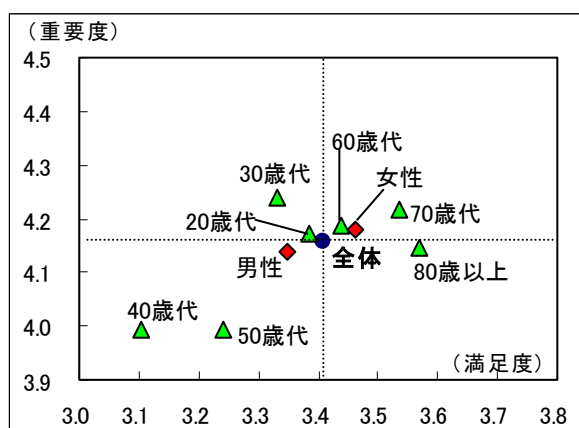
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	40.4	27.8	21.5	1.9	0.3	68.2	2.2	4.157
平成24年度(1,891人)	38.1	28.3	24.5	2.1	1.0	66.4	3.1	4.069
平成22年度(1,973人)	31.1	28.8	27.5	4.7	2.0	59.9	6.7	3.874
平成20年度(1,831人)	48.3	26.0	20.9	1.2	0.4	74.3	1.6	4.247
平成18年度(1,789人)	48.7	27.4	19.3	0.7	0.4	76.1	1.1	4.278

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は、調査ごとに増加傾向にある。重要度は平成22年度で20年度より14.4ポイント減少したものの、26年度にかけて増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。60歳代、70歳代は満足度・重要度ともに高い。80歳以上は満足度が高い。40～50歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 19 市民自治の推進

《満足》 満足度は4割台後半

《重要》 重要度は6割弱

①満足度

単位: %

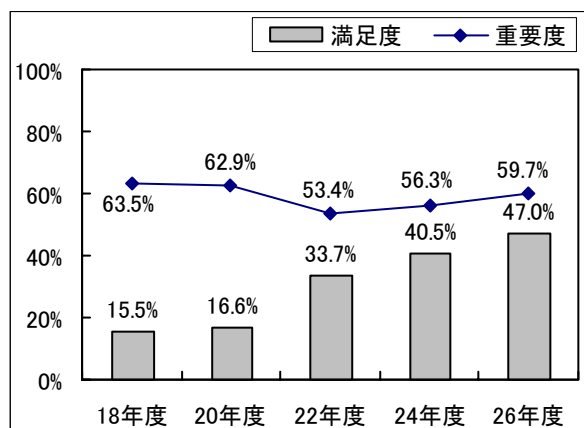
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	14.0	33.0	39.9	4.8	1.7	47.0	6.5	3.567
平成24年度(1,891人)	10.5	30.0	48.6	4.6	2.1	40.5	6.7	3.440
平成22年度(1,973人)	7.8	25.9	48.5	9.4	3.7	33.7	13.1	3.259
平成20年度(1,831人)	2.6	14.0	69.2	6.8	3.6	16.6	10.4	3.054
平成18年度(1,789人)	1.6	13.9	66.4	7.8	4.2	15.5	12.0	3.007

②重要度

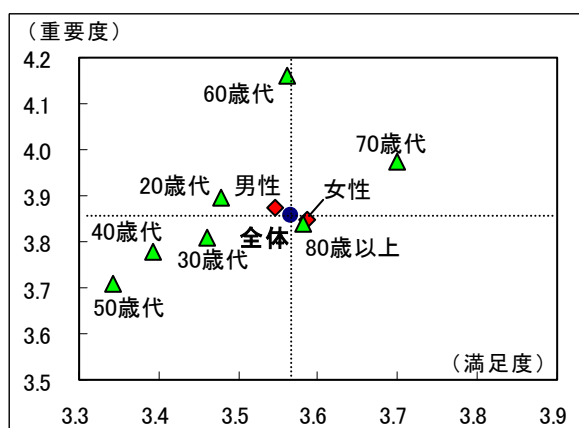
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	27.3	32.4	28.1	4.5	1.2	59.7	5.7	3.858
平成24年度(1,891人)	22.3	34.0	33.2	5.0	1.7	56.3	6.7	3.730
平成22年度(1,973人)	19.5	33.9	32.3	5.8	2.6	53.4	8.4	3.657
平成20年度(1,831人)	25.9	37.0	29.5	3.9	0.7	62.9	4.6	3.862
平成18年度(1,789人)	25.4	38.1	29.0	4.0	1.0	63.5	5.0	3.850

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より31.5ポイント高い。重要度は5～6割台で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代は満足度・重要度がともに高く、60歳代は重要度が高い。30～50歳代は満足度・重要度がともに低い。20歳代は満足度が低い。

施策 20 地域福祉の推進

《満足》 満足度は3割台後半

《重要》 重要度は7割を超える

①満足度

単位: %

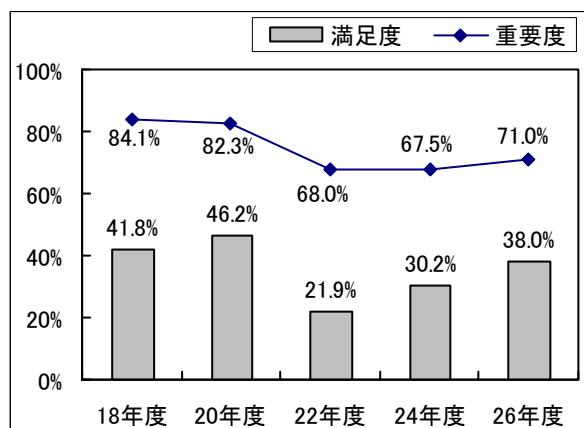
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	11.8	26.2	48.0	6.0	1.8	38.0	7.8	3.428
平成24年度(1,891人)	8.8	21.4	55.3	6.8	3.5	30.2	10.3	3.262
平成22年度(1,973人)	3.8	18.1	56.6	12.1	4.6	21.9	16.7	3.046
平成20年度(1,831人)	6.0	40.2	29.8	15.9	6.4	46.2	22.3	3.239
平成18年度(1,789人)	6.0	35.8	27.2	19.4	9.7	41.8	29.1	3.092

②重要度

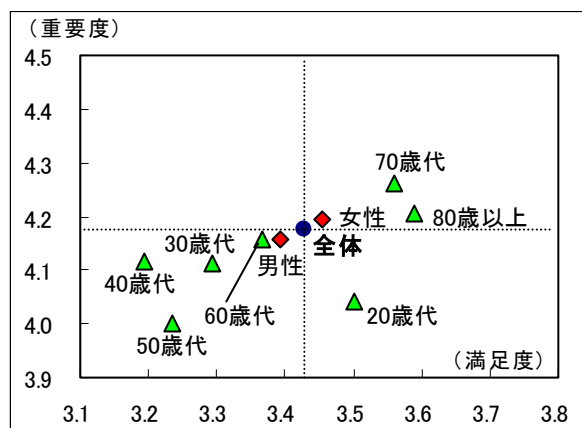
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	41.9	29.1	21.5	1.4	0.4	71.0	1.8	4.175
平成24年度(1,891人)	35.3	32.2	25.3	2.7	0.6	67.5	3.3	4.030
平成22年度(1,973人)	34.5	33.5	23.2	2.4	0.8	68.0	3.2	4.045
平成20年度(1,831人)	52.9	29.4	14.1	0.8	0.3	82.3	1.1	4.372
平成18年度(1,789人)	54.8	29.3	12.9	0.8	0.1	84.1	0.9	4.407

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成18年度から20年度は4割台だったが、22年度は2割台に減少し、26年度にかけて3割台と増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度・重要度ともに低く、女性は満足度・重要度ともに高い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度がともに高く、20歳代は満足度は高いが重要度は低い。30～60歳代は満足度・重要度がともに低い。

施策 21 勤労者・雇用対策の推進

《満足》満足度は3割前半

《重要》重要度は6割台半ば

①満足度

単位：%

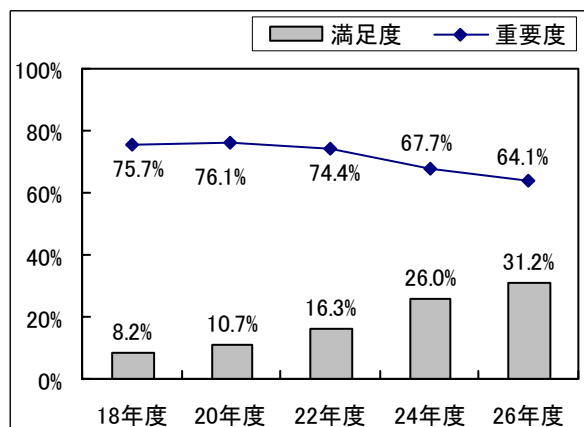
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	9.2	22.0	50.4	6.3	3.1	31.2	9.4	3.306
平成24年度(1,891人)	7.8	18.2	53.6	10.1	4.4	26.0	14.5	3.157
平成22年度(1,973人)	3.6	12.7	52.3	16.4	9.5	16.3	25.9	2.837
平成20年度(1,831人)	1.2	9.5	64.8	13.5	8.0	10.7	21.5	2.819
平成18年度(1,789人)	1.2	7.0	65.5	13.8	9.1	8.2	22.9	2.767

②重要度

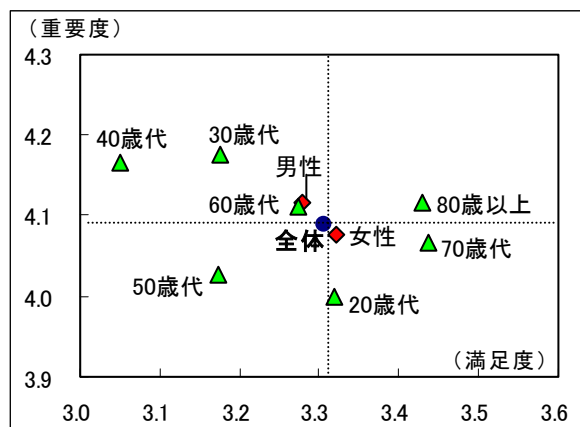
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	38.0	26.1	25.4	1.5	0.5	64.1	2.0	4.090
平成24年度(1,891人)	40.3	27.4	24.5	1.5	0.8	67.7	2.3	4.110
平成22年度(1,973人)	45.2	29.2	16.8	2.2	0.8	74.4	3.0	4.228
平成20年度(1,831人)	47.6	28.5	19.6	1.2	0.3	76.1	1.5	4.255
平成18年度(1,789人)	45.7	30.0	20.6	0.8	0.3	75.7	1.1	4.232

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より23.0ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は重要度が高く、満足度が低い。女性はほぼ平均値となっている。70歳代は満足度が高く、80歳以上は満足度・重要度ともに高い。

一方、30～40歳代、60歳代は満足度が低く、重要度が高い。50歳代は満足度・重要度がともに低い。20歳代は重要度が低い。

施策 22 障がい者福祉の推進

《満足》 満足度は3割台後半

《重要》 重要度は7割台前半

①満足度

単位：%

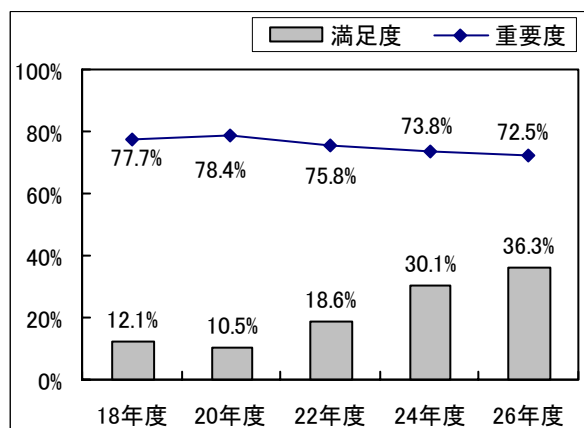
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	12.7	23.6	47.5	5.9	1.8	36.3	7.7	3.432
平成24年度(1,891人)	10.0	20.1	54.5	6.8	3.1	30.1	9.9	3.288
平成22年度(1,973人)	4.3	14.3	61.1	9.8	5.1	18.6	14.9	3.031
平成20年度(1,831人)	2.0	8.5	72.3	8.7	4.4	10.5	13.1	2.946
平成18年度(1,789人)	2.1	10.0	67.2	9.9	7.3	12.1	17.2	2.893

②重要度

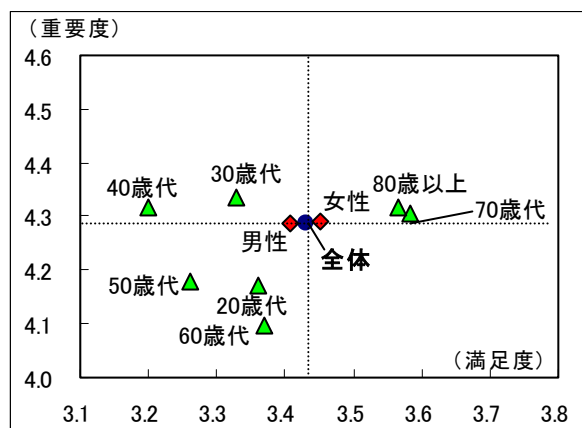
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	47.1	25.4	19.0	0.5	0.2	72.5	0.7	4.287
平成24年度(1,891人)	45.8	28.0	20.1	0.8	0.5	73.8	1.3	4.239
平成22年度(1,973人)	47.0	28.8	17.3	0.7	0.5	75.8	1.2	4.285
平成20年度(1,831人)	50.6	27.8	17.9	0.6	0.3	78.4	0.9	4.316
平成18年度(1,789人)	50.8	26.9	18.3	1.0	0.2	77.7	1.2	4.308

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成18年度、20年度は1割強だったのが、22年度から26年度にかけては増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い。20歳代、50～60歳代は満足度・重要度がともに低い。30～40歳代は満足度が低い、重要度は高い。

施策 23 生活保護世帯の自立助長

《満足》 満足度は2割台後半

《重要》 重要度は5割台後半

①満足度

単位: %

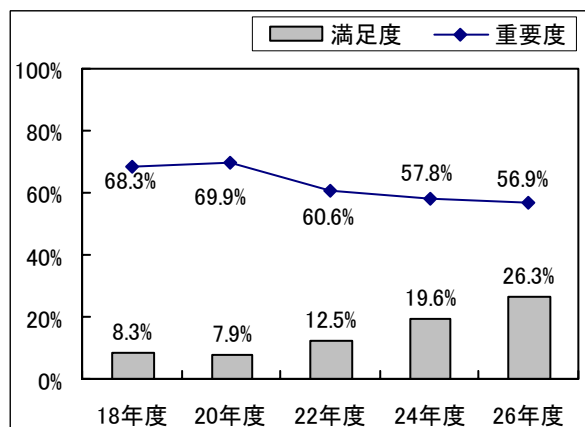
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	10.0	16.3	54.1	5.7	5.2	26.3	10.9	3.221
平成24年度(1,891人)	7.5	12.1	60.6	7.6	6.7	19.6	14.3	3.066
平成22年度(1,973人)	4.1	8.4	67.8	8.3	5.7	12.5	14.0	2.966
平成20年度(1,831人)	1.4	6.5	75.3	6.6	4.9	7.9	11.5	2.926
平成18年度(1,789人)	2.0	6.3	73.4	6.6	6.2	8.3	12.8	2.906

②重要度

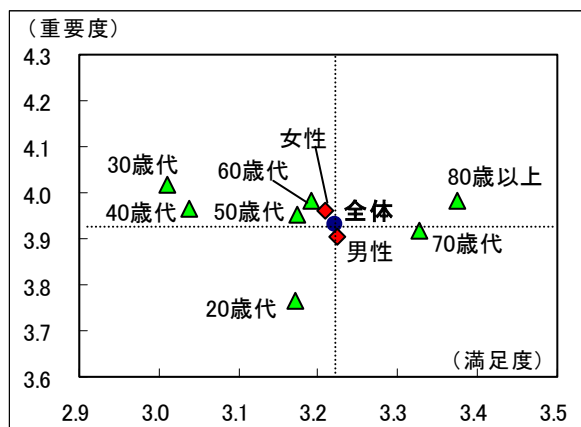
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	35.0	21.9	30.7	3.1	1.6	56.9	4.7	3.929
平成24年度(1,891人)	34.8	23.0	31.2	4.1	2.0	57.8	6.1	3.889
平成22年度(1,973人)	33.0	27.6	28.4	3.1	2.2	60.6	5.3	3.914
平成20年度(1,831人)	44.9	25.0	24.9	1.9	0.4	69.9	2.3	4.155
平成18年度(1,789人)	42.6	25.7	25.8	2.1	0.8	68.3	2.9	4.105

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成20年度から増加傾向にあり、26年度は18年度より18ポイント高い。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は重要度が高いが、男性は低い。70歳代は満足度が高く、80歳以上は満足度・重要度ともに高い。30～60歳代は満足度が低く、重要度が高い。20歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 24 国際交流・地域間交流の充実

《満足》満足度は2割台半ば

《重要》重要度は3割台後半

①満足度

単位: %

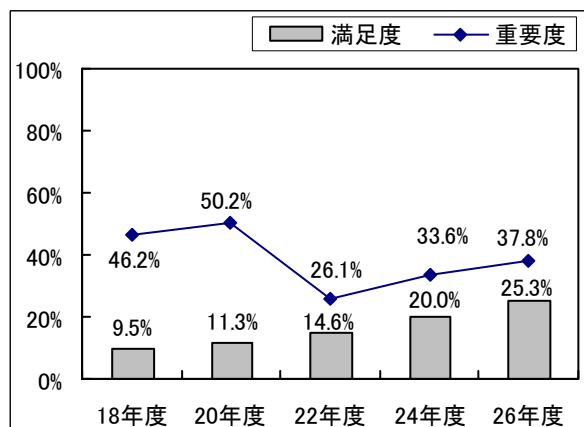
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	7.6	17.7	58.3	3.2	1.9	25.3	5.1	3.291
平成24年度(1,891人)	6.1	13.9	68.2	4.7	2.8	20.0	7.5	3.166
平成22年度(1,973人)	3.1	11.5	72.2	4.9	2.8	14.6	7.7	3.075
平成20年度(1,831人)	1.7	9.6	77.8	4.9	2.3	11.3	7.2	3.037
平成18年度(1,789人)	1.6	7.9	78.8	4.9	2.8	9.5	7.7	3.008

②重要度

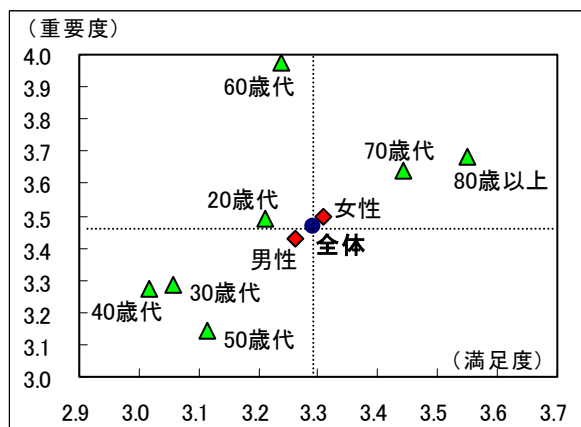
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	15.4	22.4	41.8	6.5	2.7	37.8	9.2	3.465
平成24年度(1,891人)	13.7	19.9	47.0	10.5	5.1	33.6	15.6	3.277
平成22年度(1,973人)	8.6	17.5	46.7	14.2	7.3	26.1	21.5	3.063
平成20年度(1,831人)	18.5	31.7	40.6	5.9	1.1	50.2	7.0	3.620
平成18年度(1,789人)	16.6	29.6	41.9	6.6	2.2	46.2	8.8	3.534

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあるが、重要度は平成20年度を境に2～3割台で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度・重要度ともに低い一方、女性は男性に比べ満足度・重要度ともに高い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高く、30～50歳代は満足度・重要度ともに低い。60歳代は重要度が高い。20歳代はほぼ平均値となっている。

施策 25 人権の尊重

《満足》 満足度は3割

《重要》 重要度は5割台前半

①満足度

単位：%

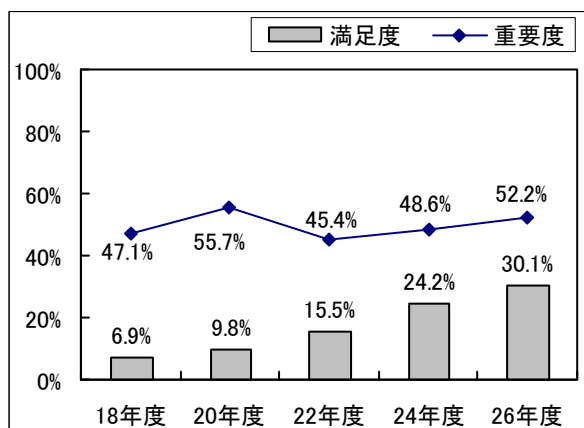
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	10.2	19.9	53.4	3.6	1.5	30.1	5.1	3.380
平成24年度(1,891人)	8.2	16.0	64.9	5.0	2.0	24.2	7.0	3.246
平成22年度(1,973人)	3.4	12.1	71.1	5.5	2.7	15.5	8.2	3.085
平成20年度(1,831人)	2.1	7.7	79.9	4.4	1.7	9.8	6.1	3.043
平成18年度(1,789人)	1.2	5.7	79.7	4.5	2.3	6.9	6.8	2.989

②重要度

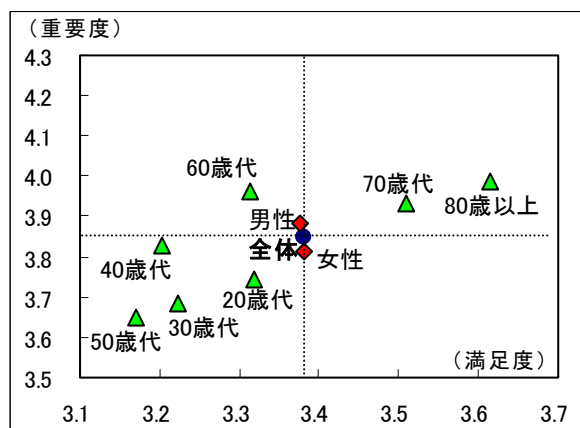
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	28.5	23.7	32.7	3.1	1.1	52.2	4.2	3.846
平成24年度(1,891人)	25.0	23.6	38.9	6.6	2.4	48.6	9.0	3.646
平成22年度(1,973人)	21.6	23.8	38.3	7.3	3.2	45.4	10.5	3.564
平成20年度(1,831人)	25.8	29.9	35.6	3.5	1.0	55.7	4.5	3.792
平成18年度(1,789人)	23.1	24.0	43.9	4.0	0.7	47.1	4.7	3.679

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より23.2ポイント高い。重要度は5割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は重要度が高いが、女性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高く、20～50歳代は満足度・重要度ともに低い。60歳代は満足度が低い、重要度は高い。

施策 26 豊かな心を育む生涯学習の推進

《満足》 満足度は3割を超える

《重要》 重要度は4割台後半

①満足度

単位: %

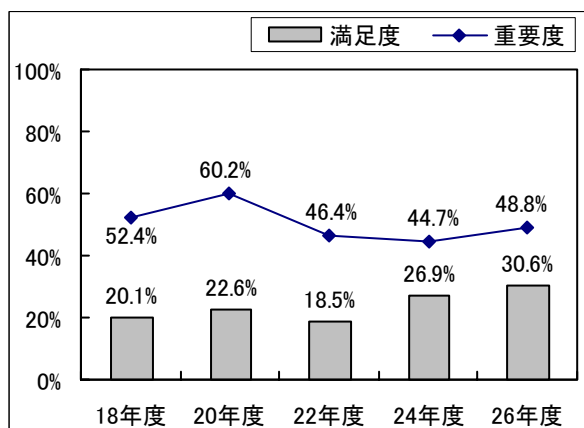
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	9.1	21.5	52.3	4.0	1.4	30.6	5.4	3.371
平成24年度(1,891人)	6.6	20.3	61.6	5.5	2.2	26.9	7.7	3.245
平成22年度(1,973人)	3.2	15.3	63.5	9.3	3.2	18.5	12.5	3.064
平成20年度(1,831人)	3.4	19.2	60.1	10.3	4.0	22.6	14.3	3.078
平成18年度(1,789人)	2.7	17.4	61.1	10.1	4.1	20.1	14.2	3.047

②重要度

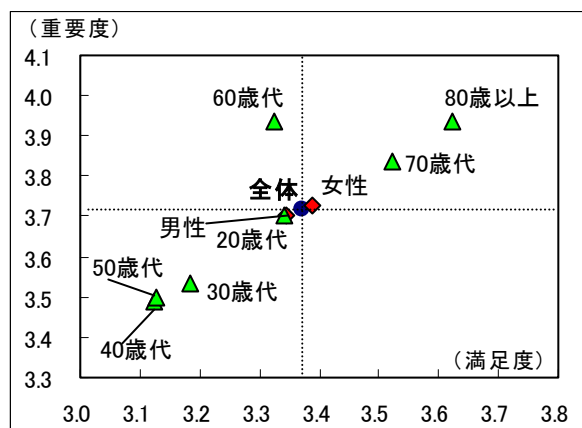
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	21.6	27.2	34.6	4.1	1.3	48.8	5.4	3.717
平成24年度(1,891人)	16.6	28.1	41.5	6.8	3.3	44.7	10.1	3.498
平成22年度(1,973人)	17.1	29.3	38.5	7.0	2.3	46.4	9.3	3.549
平成20年度(1,831人)	22.3	37.9	31.9	4.3	0.8	60.2	5.1	3.788
平成18年度(1,789人)	19.3	33.1	37.2	6.5	1.0	52.4	7.5	3.651

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成22年度で減少しているが、26年度にかけて増加傾向にある。重要度は22年度・24年度ともに減少しているが、26年度には増加している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高く、30～50歳代は満足度・重要度ともに低い。60歳代は重要度が高い。20歳代はほぼ平均値となっている。

施策 27 消費者の自立と支援

《満足》 満足度は3割台半ば

《重要》 重要度は6割台前半

①満足度

単位：%

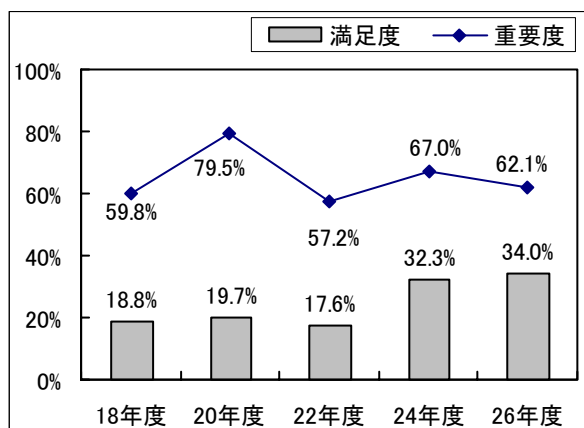
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	11.1	22.9	48.6	4.5	1.8	34.0	6.3	3.416
平成24年度(1,891人)	9.6	22.7	56.7	5.1	1.9	32.3	7.0	3.346
平成22年度(1,973人)	4.1	13.5	65.6	8.0	3.4	17.6	11.4	3.073
平成20年度(1,831人)	2.2	17.5	55.1	16.4	6.1	19.7	22.5	2.932
平成18年度(1,789人)	2.3	16.5	59.6	12.5	6.1	18.8	18.6	2.964

②重要度

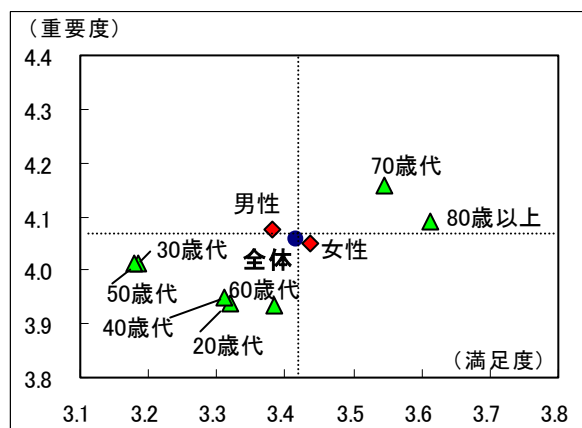
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	35.2	26.9	25.4	1.7	0.4	62.1	2.1	4.059
平成24年度(1,891人)	32.3	34.7	26.3	2.2	1.2	67.0	3.4	3.981
平成22年度(1,973人)	24.2	33.0	32.2	3.9	0.8	57.2	4.7	3.808
平成20年度(1,831人)	45.5	34.0	15.9	1.9	0.5	79.5	2.4	4.247
平成18年度(1,789人)	30.6	29.2	32.6	3.4	0.5	59.8	3.9	3.893

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成22年度で減少しているが、26年度にかけて増加傾向にある。重要度は年度によりばらつきがみられる。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い一方、20～60歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 28 心と体の健康づくり

《満足》 満足度は5割台後半

《重要》 重要度は8割弱

①満足度

単位: %

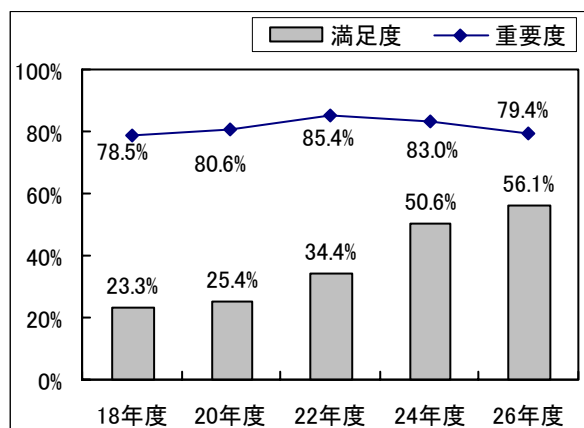
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	20.9	35.2	28.2	4.7	1.7	56.1	6.4	3.760
平成24年度(1,891人)	15.0	35.6	36.1	8.0	2.4	50.6	10.4	3.542
平成22年度(1,973人)	7.8	26.6	35.0	17.9	8.4	34.4	26.3	3.077
平成20年度(1,831人)	4.0	21.4	54.5	12.4	5.4	25.4	17.8	3.063
平成18年度(1,789人)	3.7	19.6	55.5	12.7	5.5	23.3	18.2	3.034

②重要度

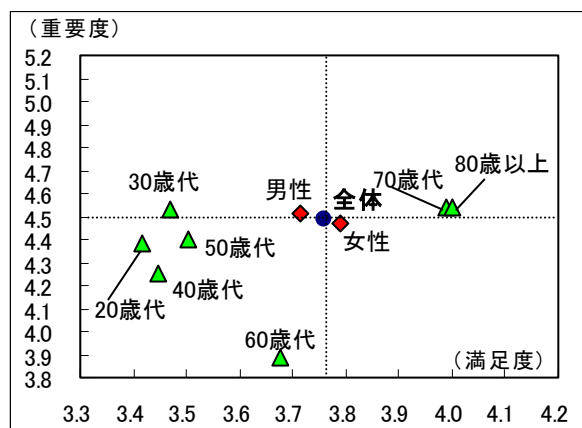
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	56.0	23.4	11.0	0.4	0.1	79.4	0.5	4.486
平成24年度(1,891人)	54.0	29.0	12.6	1.3	0.3	83.0	1.6	4.389
平成22年度(1,973人)	62.3	23.1	8.6	0.5	0.3	85.4	0.8	4.548
平成20年度(1,831人)	46.1	34.5	15.8	1.6	0.4	80.6	2.0	4.262
平成18年度(1,789人)	45.8	32.7	16.7	2.1	0.3	78.5	2.4	4.244

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より32.8ポイント高い。重要度は各年とも8割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、女性は満足度が高いが、男性は低い。70歳代、80歳以上は満足度が高いが、30歳代は低い。20歳代、40～60歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 29 医療環境の充実

《満足》 満足度は5割台前半

《重要》 重要度は8割弱

①満足度

単位: %

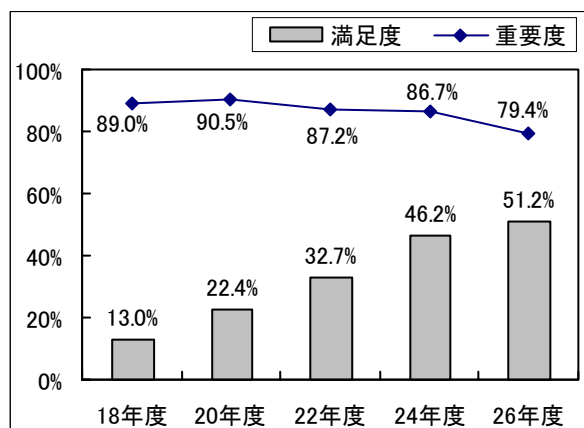
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	17.6	33.6	27.6	8.3	4.1	51.2	12.4	3.574
平成24年度(1,891人)	14.5	31.7	32.9	12.0	6.4	46.2	18.4	3.369
平成22年度(1,973人)	7.4	25.3	28.5	18.5	15.7	32.7	34.2	2.898
平成20年度(1,831人)	5.7	16.7	37.7	20.0	16.7	22.4	36.7	2.738
平成18年度(1,789人)	3.6	9.4	34.3	21.3	28.7	13.0	50.0	2.362

②重要度

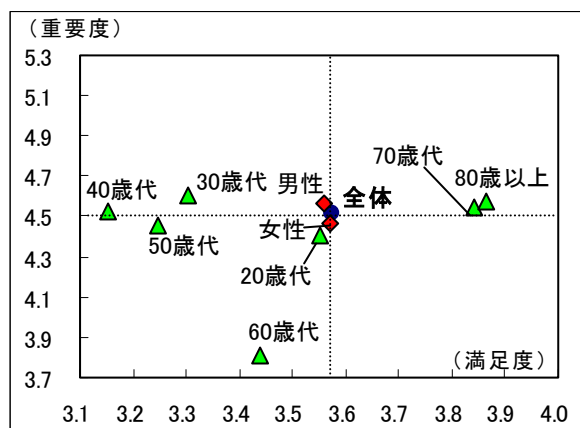
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	58.9	20.5	11.1	0.5	0.1	79.4	0.6	4.511
平成24年度(1,891人)	62.9	23.8	9.7	0.7	0.4	86.7	1.1	4.520
平成22年度(1,973人)	69.5	17.7	6.5	0.7	0.5	87.2	1.2	4.637
平成20年度(1,831人)	76.6	13.9	6.6	0.9	0.5	90.5	1.4	4.675
平成18年度(1,789人)	74.2	14.8	7.5	1.1	0.6	89.0	1.7	4.640

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より38.2ポイント高い。重要度は減少傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、70歳代、80歳以上は満足度が高く、30～60歳代は低い。このうち、60歳代の重要度はかなり低い。20歳代はほぼ平均値となっている。

施策 30 市民参画制度の推進

《満足》満足度は3割台半ば

《重要》重要度は6割を超える

①満足度

単位: %

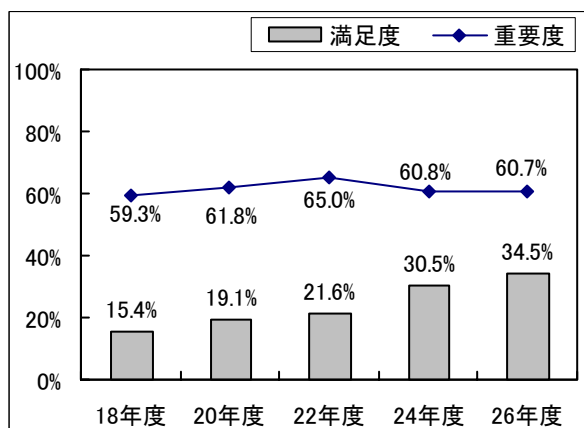
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	11.1	23.4	50.7	6.4	2.9	34.5	9.3	3.354
平成24年度(1,891人)	8.8	21.7	53.7	8.2	3.5	30.5	11.7	3.249
平成22年度(1,973人)	4.3	17.3	52.6	13.0	7.9	21.6	20.9	2.968
平成20年度(1,831人)	3.2	15.9	64.2	8.2	5.6	19.1	13.8	3.029
平成18年度(1,789人)	2.9	12.5	65.7	9.4	5.5	15.4	14.9	2.978

②重要度

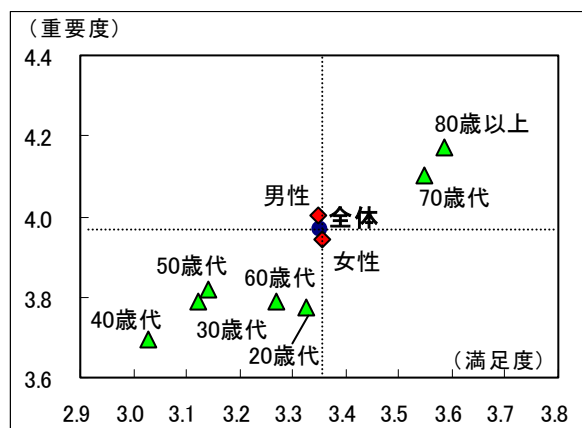
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	35.0	25.7	30.9	2.6	0.6	60.7	3.2	3.970
平成24年度(1,891人)	31.4	29.4	30.9	3.5	1.0	60.8	4.5	3.900
平成22年度(1,973人)	35.9	29.1	26.1	2.0	1.4	65.0	3.4	4.018
平成20年度(1,831人)	31.8	30.0	33.0	1.8	0.7	61.8	2.5	3.930
平成18年度(1,789人)	31.0	28.3	34.4	2.4	0.6	59.3	3.0	3.898

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は調査ごとに増加傾向にあり、平成26年度は18年度より19.1ポイント高い。重要度は各年とも6割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は重要度が高いが、女性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い一方、20～60歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 31 市民と協働できる職員の育成

《満足》 満足度は3割台半ば

《重要》 重要度は6割台後半

①満足度

単位: %

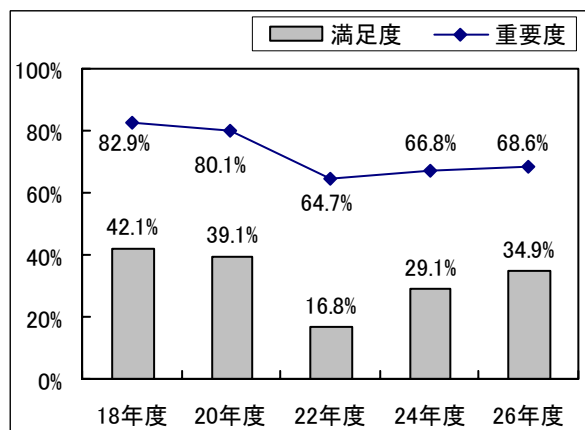
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	12.0	22.9	45.5	9.7	4.5	34.9	14.2	3.298
平成24年度(1,891人)	8.9	20.2	49.9	10.7	6.4	29.1	17.1	3.151
平成22年度(1,973人)	3.4	13.4	53.4	15.5	9.8	16.8	25.3	2.843
平成20年度(1,831人)	11.0	28.1	34.7	15.6	8.9	39.1	24.5	3.170
平成18年度(1,789人)	11.1	31.0	31.9	15.9	8.1	42.1	24.0	3.215

②重要度

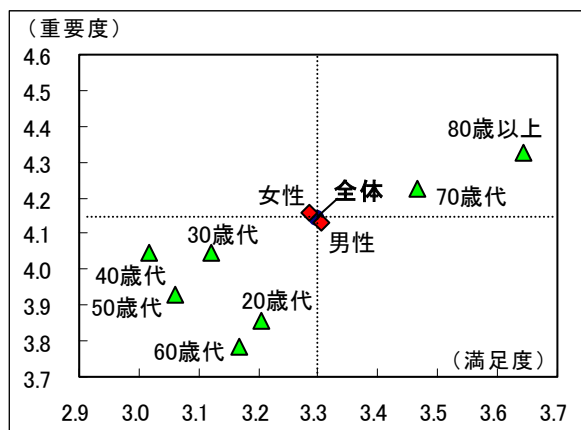
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	42.2	26.4	24.3	1.5	0.5	68.6	2.0	4.142
平成24年度(1,891人)	38.4	28.4	25.5	3.0	1.1	66.8	4.1	4.037
平成22年度(1,973人)	35.7	29.0	24.5	3.7	1.7	64.7	5.4	3.986
平成20年度(1,831人)	52.2	27.9	15.6	2.0	0.4	80.1	2.4	4.322
平成18年度(1,789人)	54.6	28.3	12.9	1.7	0.3	82.9	2.0	4.384

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度・重要度ともに平成22年度で減少しているが、26年度にかけて増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性・女性ともにほぼ平均値となっている。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い一方、20～60歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 32 便利な市民サービスの推進

《満足》 満足度は5割前半

《重要》 重要度は7割前半

①満足度

単位: %

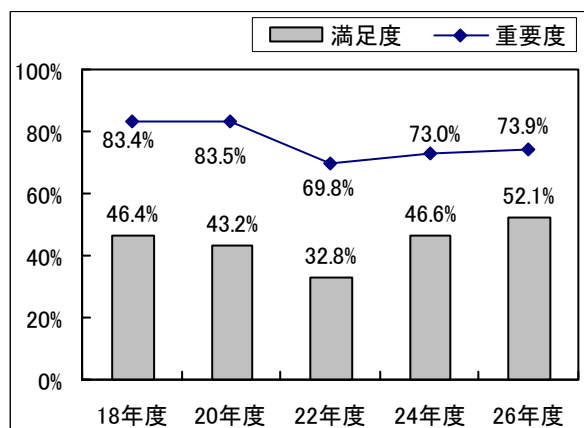
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	17.2	34.9	35.4	5.0	2.0	52.1	7.0	3.637
平成24年度(1,891人)	12.9	33.7	38.9	7.0	3.5	46.6	10.5	3.472
平成22年度(1,973人)	6.6	26.2	46.0	10.6	5.9	32.8	16.5	3.178
平成20年度(1,831人)	12.1	31.1	35.9	11.7	7.5	43.2	19.2	3.292
平成18年度(1,789人)	12.4	34.0	31.7	12.0	7.0	46.4	19.0	3.337

②重要度

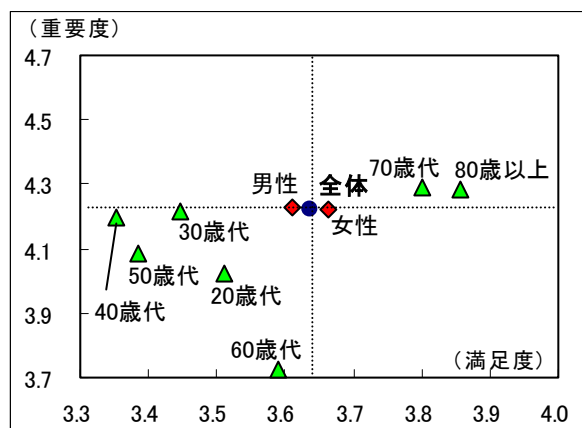
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	44.1	29.8	19.9	0.9	0.4	73.9	1.3	4.225
平成24年度(1,891人)	39.9	33.1	21.5	1.3	0.6	73.0	1.9	4.144
平成22年度(1,973人)	36.2	33.6	22.2	1.7	0.8	69.8	2.5	4.086
平成20年度(1,831人)	51.8	31.7	13.1	1.3	0.1	83.5	1.4	4.364
平成18年度(1,789人)	48.5	34.9	12.7	1.1	0.2	83.4	1.3	4.340

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度・重要度ともに平成22年度で減少しているが、26年度にかけて増加傾向にある。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度が低いが、女性は高い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度がともに高く、20～60歳代は低い。とりわけ60歳代の重要度はかなり低い値となっている。

施策 33 効果的効率的行政の推進

《満足》 満足度は2割台半ば

《重要》 重要度は5割台半ば

①満足度

単位: %

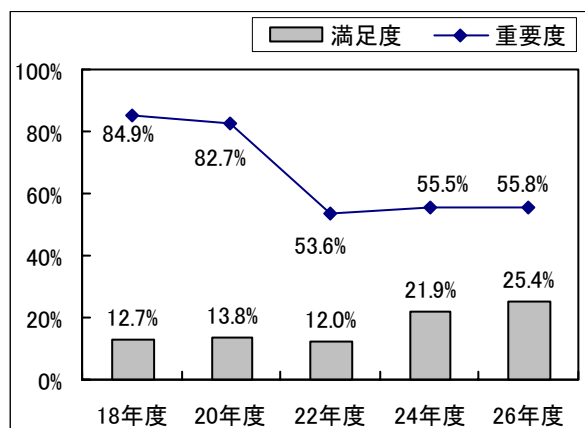
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	8.4	17.0	58.1	6.0	3.1	25.4	9.1	3.232
平成24年度(1,891人)	6.5	15.4	62.4	7.5	3.6	21.9	11.1	3.143
平成22年度(1,973人)	2.3	9.7	65.3	10.1	6.8	12.0	16.9	2.901
平成20年度(1,831人)	2.3	11.5	61.8	13.4	8.1	13.8	21.5	2.862
平成18年度(1,789人)	1.9	10.8	55.9	15.7	11.2	12.7	26.9	2.754

②重要度

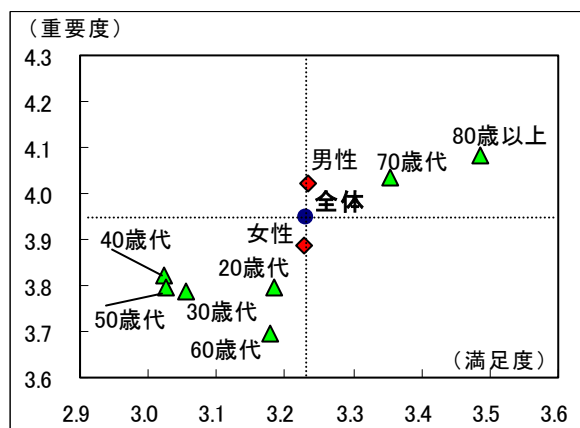
単位: %

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	34.5	21.3	35.2	1.5	0.5	55.8	2.0	3.947
平成24年度(1,891人)	33.2	22.3	37.4	2.0	0.7	55.5	2.7	3.893
平成22年度(1,973人)	31.7	21.9	37.1	2.2	0.9	53.6	3.1	3.869
平成20年度(1,831人)	63.9	18.8	13.8	0.4	0.1	82.7	0.5	4.505
平成18年度(1,789人)	67.5	17.4	11.4	0.3	0.1	84.9	0.4	4.569

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図 (平成26年度)



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成18年度から22年度は1割強だったが、24年度、26年度では2割台に増加した。重要度は、18年度、20年度は8割台だったが、22～26年度では5割台に減少した。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は重要度が高いが、女性は低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い一方、20～60歳代は満足度・重要度ともに低い。

施策 34 質の高い広域連携の推進

《満足》 満足度は2割台後半

《重要》 重要度は5割台半ば

①満足度

単位：%

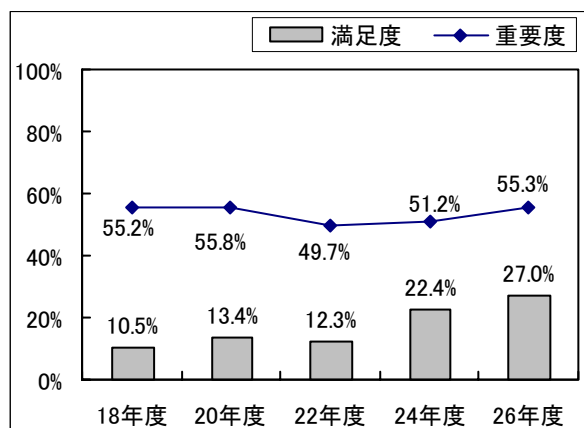
年度	《満足》		どちらとも いえない	《不満足》		《満足》	《不満足》	平均値 (点)
	満足	やや 満足		やや 不満足	不満足			
平成26年度(1,988人)	8.5	18.5	58.4	5.7	2.1	27.0	7.8	3.275
平成24年度(1,891人)	6.4	16.0	62.6	6.8	3.5	22.4	10.3	3.157
平成22年度(1,973人)	2.2	10.1	66.6	9.0	5.9	12.3	14.9	2.933
平成20年度(1,831人)	1.6	11.8	74.6	5.3	3.4	13.4	8.7	3.031
平成18年度(1,789人)	1.6	8.9	72.7	6.9	3.5	10.5	10.4	2.981

②重要度

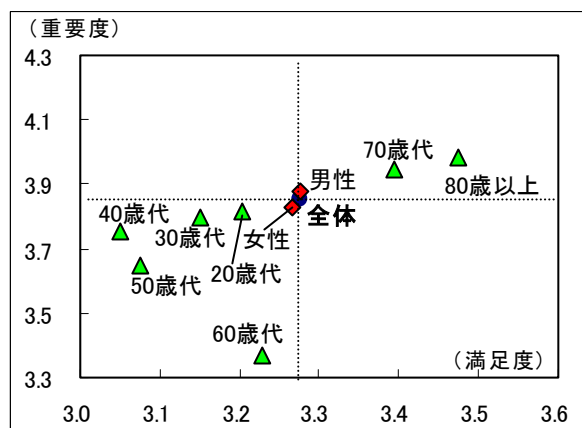
単位：%

年度	《重要》		どちらとも いえない	《重要ではない》		《重要》	《重要で はない》	平均値 (点)
	重要	やや 重要		あまり 重要では ない	重要では ない			
平成26年度(1,988人)	28.2	27.1	35.8	2.2	0.6	55.3	2.8	3.853
平成24年度(1,891人)	24.1	27.1	39.6	3.9	1.0	51.2	4.9	3.726
平成22年度(1,973人)	22.0	27.7	37.9	4.6	1.3	49.7	5.9	3.691
平成20年度(1,831人)	23.1	32.7	36.0	3.4	0.9	55.8	4.3	3.767
平成18年度(1,789人)	22.6	32.6	34.7	3.6	0.6	55.2	4.2	3.775

◆満足度・重要度の経年変化



◆性別・年齢別の平均値散布図（平成26年度）



満足度・重要度の経年変化をみると、満足度は平成18年度から22年度は1割強だったが、24年度、26年度では2割台に増加した。重要度は5割前後で推移している。

性別・年齢別の平均値散布図をみると、男性は満足度・重要度ともにわずかに高いが、女性は満足度・重要度ともにわずかに低い。70歳代、80歳以上は満足度・重要度ともに高い一方、20～60歳代は満足度・重要度ともに低い。このうち、60歳代は重要度がかなり低い。

C 市の行政やまちづくりについてのご意見・ご要望

市政全般について、540 人の方から 885 件の多様なご意見、ご要望をいただいた。これらを集計し、項目別に分類した結果は以下の通りである。

	件数
■都市基盤	128
道路の整備（幅員増大・段差の解消等）	24
歩道の整備	19
冠水対策	13
街路灯の追加・整備・見直し	12
新田駅の整備	12
その他駅周辺の整備	12
自転車道の整備	10
駐車場の整備	5
駐輪場の整備	4
上下水道の整備	4
電柱・電線の整備・地中化	3
鉄道の利便性向上	3
道路工事について	2
街並みに計画性がない	2
その他	3
■道路交通	98
バス路線の整備	26
自転車走行マナーの悪さ・自転車事故が多い	15
交通網の整備	9
市立病院への交通が不便	9
信号の整備・増設	6
駅前の駐輪場について	6
道路へのカーブミラー・停止線や白線等の設置	6
交通違反对策・取締りの強化	4
放置自転車対策	4
交通規制	2
その他	11

■環境 83

河川・水路の整備・浄化	17
緑を増やす	9
「草加松原」、松並木について	8
カラス等の野鳥対策	4
個人宅の植物の管理状況について	4
街中のごみ、ポイ捨て	4
騒音	4
路上喫煙禁止条例	4
葛西用水の整備	3
ペットの飼い主のマナーが悪い	3
ごみの分別について	3
街路樹、植え込み等の整備・掃除	2
資源ごみの持ち去りについて	2
ごみ収集時間を早めてほしい	2
道路の傷みによる振動	2
その他	12

■福祉・子育て 70

高年者福祉の充実	16
生活保護制度の見直し	14
子育て支援の充実	13
保育所増設、定員増、時間延長、保育料減額	7
障がい者に配慮した街づくり	5
健康診断の充実（検査項目を増やす・無料化）	3
福祉の充実	3
福祉の情報がほしい	3
検診・治療補助	2
妊婦への援助	2
その他	2

■公共施設 64

公園の整備・拡充	15
運動用施設・設備の充実、利用料軽減	12
公共施設の充実	9

第3章 調査結果の分析

子ども用施設、スペースの充実	7
トイレを設置してほしい	5
ベンチがほしい	2
図書館の増設	2
その他	12

■安全・治安 37

防犯対策・強化	13
風俗店・飲食店への苦情	6
治安の悪さ	6
防災無線が聞こえない	5
災害対策	4
暴力団排除	2
その他	1

■病院 32

市立病院のスタッフ・サービスの質の低さ、体制不備	16
市立病院の改善・拡充	5
市立病院の診療時間の延長	2
病院の誘致	2
その他	7

■文化・観光施策 32

イベントへの要望	11
観光資源を生かした街づくり	7
草加せんべいを評価する意見	3
イベントが多い・不要	2
その他	9

■教育 22

幼稚園の拡充、補助金の増額	4
学業以外の教育	3
教育にかかる費用について	3
学校・設備の充実	2
児童・生徒の安全について	2
通学路の安全について	2
その他	6

■産業・雇用 21

企業・商店・ショッピングモール等の誘致	11
市内経済活性化、雇用創出	5
その他	5

■行政 176

市政への感謝、励まし、期待	30
広報紙の改善・強化、情報開示	19
市議会議員・市議選について（意見、議員定数等）	15
市政の進め方への要望	14
住民税・保険料が高い	13
市長への期待・感謝	12
市政への不満	11
市職員への好意的意見	9
市職員の態度が悪い	9
市政に興味がない・関わりがない	6
市民協働について	4
税金の有効利用	4
行政サービスについて	3
財政の健全化	2
納税について	2
水道料金が低い	2
その他	21

■市民アンケート 75

アンケートが難解	17
アンケート項目が多い・長い	12
選ばないでほしい・他の人を選んでほしい	10
アンケートが無駄、意味がない、悪い	7
返信用封筒・ボールペンに対する苦情	6
アンケート方法についての意見	4
アンケートの有効活用を期待	4
アンケートは重要	3
施策の満足度・重要度への回答がしづらい	2
その他	10

■その他 47

暮らしやすい・草加市が好き	18
制度・生活に対する今後の不安（家賃について、補助金について等）	8
近隣住民への不満・近所付き合い	5
町会・自治会についての意見・不満	4
その他	12

資 料

調 查 票

草 加 市 民 ア ン ケ ー ト

平成 26 年 11 月

アンケートにご協力をいただきましてありがとうございます。次の記入方法等をご確認いただき、回答をお願いいたします。

- この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。
- この調査には、あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
(注：自由意見欄には、ご記入いただいても構いません。)
- 調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いますので、個々のお考えの内容や皆様の個人情報外部に漏れることは一切ありません。
- ご返送いただいた調査票は、調査終了後に市が責任をもって廃棄いたします。

《 ご記入にあたってのお願い 》

- ◆あて名のご本人がお答えください。
 - ◆ご記入は、同封のボールペンをご利用ください。
 - ◆お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、()内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
 - ◆お答えは、設問ごとに（○は1つ、○は2つまで、○はいくつでも）等と指定させていただきますので、間違いのないようお気をつけください。
 - ◆設問によっては、お答えいただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。
 - ◆ご記入いただいた調査票は、11月25日(火)までに、同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、投函してください。同封のボールペンは、返信用封筒に入れずに、ご家庭でお使いください。
- ※返信用封筒に印刷されているバーコードは、郵便局の仕分け業務に必要なもので、住所、氏名等を特定するものではありません。

本調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

草加市役所 市長室 広聴相談課

電話：048-922-0566 FAX：048-922-3173

草加市のイメージや将来像についてお伺いします

問1 あなたは、草加市全体とお住まいの地域についてどのようなイメージをお持ちですか。(ア～コの手紙で該当する番号に○を)

・草加市全体について	そう思う	思わない		そう思う	思わない
ア. 明るい	1	2	カ. 快適だ	1	2
イ. 便利だ	1	2	キ. よい環境・自然がある	1	2
ウ. 豊かだ	1	2	ク. 文化・歴史がある	1	2
エ. 都会的だ	1	2	ケ. あたたかみがある	1	2
オ. 安全・安心だ	1	2	コ. 活気がある	1	2

・お住まいの地域について	そう思う	思わない		そう思う	思わない
ア. 明るい	1	2	カ. 快適だ	1	2
イ. 便利だ	1	2	キ. よい環境・自然がある	1	2
ウ. 豊かだ	1	2	ク. 文化・歴史がある	1	2
エ. 都会的だ	1	2	ケ. あたたかみがある	1	2
オ. 安全・安心だ	1	2	コ. 活気がある	1	2

問2 あなたが、草加市の自然・歴史・文化・産業・生活環境等で自慢できるもの、誇れるものは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 国の名勝指定を受けた草加松原、綾瀬川沿い等の景観 | 8 商業が盛んなこと |
| 2 日光街道、草加宿、芭蕉等の歴史・文化 | 9 農業が盛んなこと |
| 3 草加せんべい、皮革、浴衣等の伝統産業 | 10 交通が便利なこと |
| 4 スポーツ、レクリエーションが盛んなこと | 11 祭りが盛んなこと |
| 5 文化活動が盛んなこと | 12 住みよい地域社会であること |
| 6 大学等高等教育機関があること | 13 その他 (.....) |
| 7 工業が盛んなこと | 14 特になし |

問3 あなたは、草加市が目指すべき将来像として、最も望ましいと思うものはどのようなものですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 水のきれいな清潔なまち | 12 子育てや教育のしやすい、子どもが育つまち |
| 2 緑豊かな環境にやさしいまち | 13 雇用・労働環境が安定した働きやすいまち |
| 3 うつくしい街並みや都市景観のあるまち | 14 世代間交流を積極的に推進するまち |
| 4 防災意識の高い、災害に強いまち | 15 地域間交流(福島県昭和村等)が活発なまち |
| 5 事故・犯罪対策の充実した安全なまち | 16 国際交流を通し、多文化が相互理解できるまち |
| 6 公共交通や道路が整備された便利なまち | 17 歴史・伝統や芸術を尊重する文化的なまち |
| 7 医療体制が整った安心して暮らせるまち | 18 商工農業・観光業等、産業がさかんなまち |
| 8 健康づくりやスポーツが盛んな健康的なまち | 19 市民・企業・行政の強い連携で市民力が高いまち |
| 9 情報化による便利な市民サービスのあるまち | 20 ボランティアや地域行事等住民活動の活発なまち |
| 10 社会・経済的な立場の弱い人にやさしいまち | 21 その他 (.....) |
| 11 生涯学習でこころ豊かな生活のあるまち | |

問4 これからの草加市の知名度を高めるために有効だと思われる取組はどのようなものだと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 テレビ、新聞、雑誌等のメディアにもっと取り上げられるような取組をすること
- 2 インターネット上のSNS*や動画投稿サイト等新しいメディアを使って、情報発信すること
- 3 「ご当地キャラ」や「B級グルメ」等を使って町おこしを行うこと
- 4 映画、ドラマ、アニメ等の舞台となることで、作品ファンに草加市を訪れてもらうこと
- 5 スポーツ・音楽、展示会等の定期的な集客イベントを誘致すること
- 6 全国から応募を得て表彰できるような、文化活動に関するコンクールや賞を設立すること
- 7 その他(.....)

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) ……利用者間の交流を目的とするサービス
例) twitter、Facebook、LINE、mixi 等

国指定名勝「草加松原」についてお伺いします

問5 平成26年3月に、松尾芭蕉も訪れた「おくのほそ道」ゆかりの地「草加松原」が、国を代表する「おくのほそ道の風景地」として国指定名勝になりましたが、あなたは名勝に指定されていたことを知っていましたか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-------------------|
| 1 知っている | 3 「草加松原」自体を知らなかった |
| 2 知らなかった | |



問6 あなたは、「草加松原」を訪れたことがありますか。(〇は1つ)

- 1 たびたび訪れている(目的:.....)
- 2 1度は訪れたことがある(訪れた理由:.....)
- 3 訪れたことはないが、行ってみたい
- 4 訪れたことはなく、これからも予定はない(理由:.....)

問7 あなたは、「草加松原」をPRする場合、どのような側面をアピールするべきだと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 「おくのほそ道の風景地」という歴史的・文化的な場所として
- 2 松並木の続く川沿いの遊歩道として
- 3 公園やせせらぎ、あずまや等の憩いの場として
- 4 草加市を象徴するランドマークとして
- 5 イベントや催し物を行う場所として
- 6 草加市の代表的観光スポットとして
- 7 その他(.....)

問8 あなたは、「草加松原」を末永く保存・管理していくため、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1 綾瀬川的环境整備 | 7 周辺景観の整備・規制指導 |
| 2 遊歩道の整備 | 8 基金やサポーター制度の設立 |
| 3 トイレの改修・設置 | 9 草加松原の歴史や文化財的価値の紹介 |
| 4 松の植樹、手入れ | 10 将来を担う子どもたちの郷土意識の育成 |
| 5 休憩所の設置 | 11 その他(_____) |
| 6 案内人の常駐 | _____) |

市の暮らしやすさ・日ごろのことについてお伺いします

問9 あなたは、今住んでいる草加市を暮らしやすい所であると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 暮らしやすい | 4 どちらかといえば暮らしにくい |
| 2 どちらかといえば暮らしやすい | 5 暮らしにくい |
| 3 ふつう | 6 わからない |

問9で「1 暮らしやすい」または「2 どちらかといえば暮らしやすい」とお答えの方にお伺いします。

問9で「4 どちらかといえば暮らしにくい」または「5 暮らしにくい」とお答えの方にお伺いします。

問9-1 その理由として、最も近いものを下から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 自然環境がよい
- 2 道路の状況がよい
- 3 公園、下水道等の公共施設が充実している
- 4 通勤・通学・買物の便がよい
- 5 子どもの教育環境がよい
- 6 雇用の場が多い
- 7 地域の間関係がよい
- 8 騒音・振動・大気汚染等の公害がない
- 9 災害の心配が少ない
- 10 商売や事業がしやすい
- 11 住み慣れている
- 12 治安がよい
- 13 その他(_____)

問9-2 その理由として、最も近いものを下から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 自然環境がよくない
- 2 道路の状況がよくない
- 3 公園、下水道等の公共施設が不十分である
- 4 通勤・通学・買物の便がよくない
- 5 子どもの教育環境がよくない
- 6 雇用の場が少ない
- 7 地域の間関係がよくない
- 8 騒音・振動・大気汚染等の公害がある
- 9 災害の心配がある
- 10 商売や事業がしにくい
- 11 住み慣れていない
- 12 治安がよくない
- 13 その他(_____)

問 10 あなたは、今後も草加市に住み続けたいとお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 ずっと住んでいたい | 3 移転の予定である(移転予定先: _____) |
| 2 当分住んでいたい | 4 移転したい(移転希望先: _____) |
| | 5 わからない |

問 10 で「3」または「4」のいずれかをお答えの方にお伺いします。

問 10-1 その移転予定または移転希望の理由として、最も近いものを下から選んでください。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 転勤または進学・就職のため | 5 近隣住民とのトラブルのため |
| 2 介護や子どもの学校等家庭の都合のため | 6 結婚・出産等家庭環境の変化のため |
| 3 これからの人生設計のため | 7 よりよい公共サービスのため |
| 4 よりよい生活環境のため | 8 その他(_____) |

問 11 あなたが最も多く利用する駅の乗降口はどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|---------------|
| 1 谷塚駅東口 | 6 松原団地駅西口 | 11 戸塚安行駅 |
| 2 谷塚駅西口 | 7 新田駅東口 | 12 新越谷駅・南越谷駅 |
| 3 草加駅東口 | 8 新田駅西口 | 13 越谷レイクタウン駅 |
| 4 草加駅西口 | 9 竹ノ塚駅 | 14 その他(_____) |
| 5 松原団地駅東口 | 10 見沼代親水公園駅 | |
| | | 15 鉄道は利用しない |

問 11 で「1」から「14」のいずれかをお答えの方にお伺いします。

問 11-1 あなたが最も多く利用する駅の周辺は、商業、コミュニティ、交通の拠点として、安全で快適に利用できていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 そう思う | 4 あまりそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | |

問 12 あなたは、食品、日用品のお買い物をどのようにされていますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 自宅近くのお店に徒歩や自転車で行く |
| 2 最寄り駅の近くにあるお店に徒歩や自転車で行く |
| 3 市内のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く |
| 4 市外のお店に自動車・バイク等や公共交通機関を利用して行く(市外にある職場近くのお店を利用する場合を含む) |

問 13 草加市には、悪質商法等の相談窓口として消費生活センター※があります。あなたはご存知ですか。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1 利用したことがある |
| 2 知っているが利用したことはない |
| 3 知らない(理由: _____) |

※消費生活センターは、勤労福祉会館(旭町六丁目)内にあります。

防災の取組についてお伺いします

問 14 東日本大震災の教訓として、今後、地震に強いまちづくりが求められていくと考えられますが、草加市では具体的に何を進めていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 老朽化した木造住宅の密集した市街地の震災対応を進める
- 2 保育園、公民館、庁舎等の公共施設の建替え・耐震補強等を進める
- 3 商店街、駅等の多くの人が集まる施設の安全性を強化する
- 4 建築物の落下対策、ブロック塀の倒壊防止等の安全性を強化する
- 5 避難場所としての、学校、公園等を整備する
- 6 耐震性、耐火性に配慮した建物づくりの促進やその支援体制を強化する
- 7 避難、延焼防止、物資輸送のため、幹線的な道路を整備する
- 8 電気、水道、ガス、電話等のライフライン施設の耐震性を強化する
- 9 地域の防災体制や自主防災組織を強化する
- 10 その他 (.....)
- 11 わからない

問 15 あなたは、災害時に備えてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

- 1 非常持ち出し品や備蓄品(3日分程度の食糧等)を準備している
- 2 全ての家具等の転倒防止対策をしている
- 3 一部の家具等の転倒防止対策をしている
- 4 お互いに助け合えるよう、近所同士で声かけをしたり、町会・自治会主催の防災訓練に参加している
- 5 自宅の最寄りの避難場所を確認している
- 6 特にしていない

市民自治についてお伺いします

問 16 あなたがお住まいの地域の町会・自治会に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 防災訓練等の防災活動 | 5 運動会や夏祭り等の親睦活動 |
| 2 見守りパトロール等の防犯活動 | 6 町会会館等の維持・管理 |
| 3 清掃や古紙回収等の環境・美化活動 | 7 回覧等による行政等からの情報の伝達 |
| 4 高年者の見守りや募金等の福祉活動 | 8 その他 (.....) |

問 17 あなたは、地域活動については、どのようなかたちで参加・協力できると思いますか。(〇は2つまで)

- 1 まちづくりについての話し合いがあれば参加する
- 2 家等を建てる時に、必要であれば高さや色、看板等について周囲の環境との調和を図る
- 3 公園や遊び場に行ったときには、ゴミや空き缶等を持ち帰る
- 4 建物の周囲等に緑を増やし、うるおいのあるまちなみの形成に協力する
- 5 町内会等の地域活動に積極的に参加する
- 6 自宅の周辺を清掃する
- 7 公園やスポーツ施設等の公共施設を清掃する
- 8 その他 (.....)
- 9 特にない

駐輪対策についてお伺いします

問 18 草加駅周辺に一定時間無料の駐輪ラックや駐輪場が開設され、路上駐輪がなくなりましたが、こうした駐輪対策の現状についてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 良くなった(理由: _____)
- 2 悪くなった(理由: _____)
- 3 変わらない
- 4 駐輪対策が実施されたことを知らなかった



(対策実施前)



(対策実施後)

問 19 あなたは、自転車で駅周辺のお店等を訪れる際、駅前に地下駐輪場があったら利用しますか。(〇は1つ)

- 1 ちょっとした用事でも利用する
- 2 上り下りが大変なので利用しない
- 3 その他の理由で利用しない(理由: _____)

まちづくりについてお伺いします

◆都市計画・整備について

問 20 あなたは、今の草加市がより良くなるためのまちづくり計画は何であると思いますか。(〇は2つまで)

- 1 空いている土地を住宅地、商業地、工業地、農地等に整備・活用する
- 2 道路・交通の利便性を向上させる
- 3 災害に強いまちづくりを推進する
- 4 緑や水が豊かできれいな公園や歩道を増やす
- 5 まちなみや景観の良さを重視したまちづくりをする
- 6 子どもや高齢者、障がい者等に優しい、安心して暮らせるまちづくりをする
- 7 その他(_____)
- 8 特にない

問 21 道路には、国道4号のような幅の広い幹線道路から、市民の生活に密着した身のまわりの生活道路までがあります。あなたは、こうした道路整備をしていく上で特に何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 災害時の避難や救急活動、延焼防止機能を有する幹線的な道路を整備する
- 2 日常生活に密着した生活道路の道幅を広くする
- 3 歩行者の安全を配慮して、歩道を設置する
- 4 車を排除して安全で快適に散策やサイクリングができる道づくりをする
- 5 バス路線においては、円滑な通行が図れるよう道幅を広くしたり、バス停に停車用の専用スペース等を設ける
- 6 まちなみに配慮した街路樹やベンチ等憩いやゆとりのある道路の整備を図る
- 7 駅前等人が多く利用する道路においては、防災やまちなみに配慮して電線類を地中化していく
- 8 高齢者や障がい者に配慮して、歩道と車道の段差をなくす
- 9 交差点での見通しをよくする
- 10 その他(.....)
- 11 わからない

◆**景観について**

問 22 あなたは、草加市のまちなみや風景が美しく心地よいと感じていますか。(〇は1つ)

- 1 そう感じている
- 2 そう感じてはいない

問 23 あなたは、草加市の良好なまちなみ景観づくりのため、建築物等に対してどのような基準(ルールづくり)が重要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 景観をそこなわない色に関する基準
- 2 街並みに違和感のないデザインに関する基準
- 3 日照や見晴らしのための高さに関する基準
- 4 すっきりした建物の配置に関する基準
- 5 夜間の照明に関する基準
- 6 敷地内の緑化に関する基準
- 7 看板等屋外広告物等に関する基準
- 8 その他(.....)

市の観光についてお伺いします

問 24 あなたは、草加市が観光として市外から訪れてみたいと思う魅力的なところだと思いますか。(〇は1つ)

- 1 思う(理由:.....)
- 2 思わない(理由:.....)
- 3 わからない

問 25 あなたは、草加市の観光資源といえば、何をイメージしますか。(〇は2つまで)

- 1 国指定名勝「草加松原」(松並木等)
- 2 松尾芭蕉像(札場河岸公園等)
- 3 歴史的文化財(寺社・仏閣・古民家等)
(具体的にあれば:.....)
- 4 地場産業(せんべい・ゆかた・皮革等)
- 5 「ふささら祭り」等のイベント
- 6 企業・会社・民間施設等
(具体的にあれば:.....)
- 7 その他(.....)
- 8 特にない

男女共同参画社会についてお伺いします

問 26 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 男性の方が優遇されている | 4 どちらかといえば、女性の方が優遇されている |
| 2 どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 5 女性の方が優遇されている |
| 3 平等 | |

子育て・教育についてお伺いします

問 27 あなたは現在、0歳～18歳のお子さんの子育てをしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 27 で「1 はい」とお答えの方にお伺いします。

問 27-1 子育てに楽しみや喜びを感じますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1 非常に感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや感じる | 4 まったく感じない |

問 27-2 子育てをしていて悩みや不安はありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 しつけや教育に自信が持てない | 6 心や身体の発育が心配である |
| 2 気軽に相談する場所・相手がいない | 7 子どもや親子で利用できる施設がない |
| 3 子育てに関する情報がない | 8 その他(_____) |
| 4 経済的に負担が大きい | 9 特に悩みや不安を感じていることはない |
| 5 配偶者が協力してくれない | |

問 28 あなたは、これからの草加市の小中学校教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 学力の向上 | 12 経済的に困難な方への就学支援 |
| 2 体力・運動能力の向上 | 13 教員の指導力の向上及び若手・中堅教員の育成 |
| 3 規範意識の向上 | 14 教員が子どもと関わりあえる時間の確保 |
| 4 学習意欲の向上 | 15 幼稚園・保育園・小中学校の連携の推進 ^{※3} |
| 5 食育の推進 | 16 小中学校の校舎等の改修及びトイレ環境の整備 |
| 6 「草加っ子の基礎・基本」 ^{※1} の定着 | 17 児童生徒の通学路、登下校中の安全対策 |
| 7 児童生徒の不登校解消 | 18 地域の人材活用 |
| 8 児童生徒の問題行動に対する指導 | 19 家庭の教育力の向上 |
| 9 いじめ問題への取組 | 20 地域と学校の連携 |
| 10 自然教室等の体験活動 | 21 その他(_____) |
| 11 きめ細やかな特別支援教育 ^{※2} | |

※1 「草加っ子の基礎・基本」…「基礎学力」「規律ある生活」「健康・体力」の3本柱について、市内の児童・生徒に身につけさせたい内容を達成目標として設定し、「生きる力」の育成を図っている。

※2 特別支援教育…障がいのある児童・生徒及び教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な教育を行うこと。

※3 草加市では「子ども教育連携推進室」をもうけ、小・中学校入学時などの環境の変化に対する不適応(小1プロブレム・中1ギャップ)を減らしてスムーズに移行させ、自ら学ぶ力、考える力などの育成につなげる取組をしている。

問 29 あなたは、これからの草加市の生涯学習を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 学びやすい学習環境の整備 | 7 郷土学習の充実 |
| 2 学習情報の提供 | 8 文化財保護施設の整備 |
| 3 子育て支援のための学習の充実 | 9 文化財の活用 |
| 4 公民館・文化センターの建替・耐震化 | 10 図書館の蔵書の充実 |
| 5 各種講座・教室等学習機会の充実 | 11 図書館分館の設置 |
| 6 サークル・団体等の活動支援 | 12 その他(.....) |

問 30 あなたは、これからの草加市の人権教育を充実・発展させていく上で、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 人権意識の高揚 | 3 人権研修会の充実 |
| 2 人権啓発の推進 | 4 その他(.....) |

健康・スポーツ・医療についてお伺いします

問 31 あなたは、胃がん検診を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 毎年受けている | 3 受けていない(理由:.....) |
| 2 毎年ではないが受けている | |

問 32 あなたは、この一年間で歯科健診を受診していますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 毎年受けている | 3 受けていない(理由:.....) |
| 2 毎年ではないが受けている | |

問 33 あなたは、健康を考え、スポーツに取り組みたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 34 あなたは、1週間でどのくらいの頻度でスポーツを行っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 たまに気が向いたら |
| 2 週に1回~2回程度 | 4 まったくしない |

問 35 あなたは、草加市で推進している、ひとりひとりの生活に応じた運動を習慣とする健康づくりの取組「SKT24※」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 名称も内容も知っている | 3 知らない |
| 2 名称は知っているが内容は知らない | |

※SKT(エス・ケー・ティ)24……草加市が「スポーツ健康都市宣言」のもと、「S(スポーツ)・K(健康)・T(都市)・24(平成24年度から24万市民が週当たり24エクササイズ(運動量)を目指す)」として推進する、スポーツを通じた心と身体の健康づくり事業

問 36 あなたは、どのようなスポーツを行いたいと思いますか。自由にお書きください。

例) 野球、サッカー、ランニング、グラウンドゴルフ等

問 37 あなたは、一次医療機関（地域の身近な診療所）の「かかりつけ医」がいますか。（○は1つ）

1 いる

2 いない

問 38 あなたは、市立病院が、二次医療機関*になっていることを知っていますか。（○は1つ）

1 知っている

3 知らない

2 ある程度知っている

※二次医療機関……一次医療機関である「かかりつけ医」から紹介を受けた、検査が必要な人、緊急を要する人、症状が重い人の診療や手術等を行う医療機関

水道水についてお伺いします

問 39 あなたは、自宅で飲用として水道水を飲んでいますか。（○は1つ）

1 水道水を飲んでいる

2 水道水を飲んでいない

問 39 で「2 飲んでいない」とお答えの方にお伺いします。

問 39-1 水道水を飲まない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 市販の水よりおいしくないから

3 不安だから

2 においがするから

4 その他（_____）

草加市の基本となる施策についてお伺いします

問 40 草加市では第三次草加市総合振興計画・後期基本計画（平成 23 年度～平成 27 年度）を策定しています。「快適都市一草加一」の実現に向けて、取組を進めている次の 34 の基本施策についてあなたの“満足度”と“重要度”をお伺いします。

施策 1 水環境の改善

- 【市が行っていること】
 綾瀬川をはじめとする市内河川の水質浄化を図っています
 公共下水道の普及率を向上させています
 葛西用水路を整備し親水空間を創造しています

【目的】 市民にとって身近な河川に戻します

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 2 緑の保全と創出

- 【市が行っていること】
 緑を後世に残すため、保全しています
 市内の公園・広場等の数や面積を増やしています
 市民との協働による公園・広場等の維持管理や緑化活動を推進することにより、市民が公園や緑を身近に感じられるようにしています

【目的】 快適な生活環境を形成するため、緑とオープンスペース（緑地）の保全・整備及び緑化を進めます

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策3 環境を守り育てる

- 【市が行っていること】○市内のビオトープ（生物生息空間）の整備を進めています
○環境負荷の少ない循環型社会の構築のために、古紙類及び古着等資源の回収を行っている団体に対する奨励金交付や可燃ごみの排出量削減を図っています
○環境学習を推進し、地球環境についての意識向上を図っています

【目的】○身近な自然の保全と環境負荷の低減を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策4 心地よいまちづくりの推進

- 【市が行っていること】○景観計画に基づく届出制度により良好なまちなみ景観へと誘導しています
○ユニバーサルデザイン（年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が快適に利用できるように、建物、生活空間、製品等をデザインすること）や人と自然の共生を目指し、安心して利用できる公共施設を整備しています

【目的】○美しい景観を創出するとともに、誰もが安全に不自由なく利用できる施設を整備します

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策5 良好なまちづくりの推進

- 【市が行っていること】○谷塚駅、草加駅、松原団地駅、新田駅周辺の市街地整備や周辺部の良好な市街地の整備を図っています
○市営住宅の供給戸数を増やしたり住宅関連情報を市民へ発信したりすることで、良質な住環境の形成を図っています
○既存住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を補助しています

【目的】○良好な市街地の形成を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策6 総合的な治水対策の推進

【市が行っていること】○治水施設の整備を進めています

【目的】○水害から市民を守ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策7 交通安全対策の推進

【市が行っていること】○交通事故発生率を低減させるため、交通安全意識の啓発・高揚を図っています
○被害者の救済対策として、市民会員相互による交通災害共済制度を整備しています
○自転車の放置を防止するため、駐輪場への誘導や撤去等を行っています

【目的】○安全な交通環境の確保を図り、交通事故から市民を守ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策8 危機管理体制の強化

【市が行っていること】○市民の防災知識の普及と防災行動力の強化、また、自主防災組織等による防止体制の強化、防災施設・設備の整備等を進めています
○火災、救急・救助体制等の消防力の充実強化を図るとともに、自然災害に対しても必要な備えや体制の充実を図り、被害を最小限に抑えるための施策を強化しています

【目的】○災害に強いまちづくりを推進します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策9 防犯対策の推進

【市が行っていること】○市民との協力や関係機関との連携により、防犯思想の普及促進、防犯体制の確立、防犯施設の整備を図り、犯罪のない明るく住みよいまちづくりを推進しています

【目的】○市民の防犯意識を高め、犯罪の減少を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策10 安全で安定した水の供給

【市が行っていること】○毎年の水質検査計画や検査結果を公表するとともに、配水管網の整備促進や既存施設の適切な維持管理等により、安定した水の供給を図っています

【目的】○市民の求める安全で良質な水の安定供給を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策11 地域とともに栄える産業の振興

【市が行っていること】○観光推進事業や商店街元気倍増事業を推進することにより、にぎわいの創出を図っています

○研究開発、展示会出展、ISO取得等の補助金交付等により、ものづくりの振興を支援しています

○草加せんべい、皮革、浴衣を中心とした伝統産業の育成や、地産地消の推進による都市農業の振興を図っています

【目的】○市内産業の活性化を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 12 地域情報化の推進

- 【市が行っていること】○インターネットを利用したオンライン申請等、行政サービスを容易に受けられるようにしています
○市民の個人情報を守るため、情報セキュリティ管理の徹底を図り、安全で質の高い行政サービスを提供しています

【目的】○電子市役所の実現により、市民の利便性向上と内部事務の効率化を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 13 公共交通網の充実

- 【市が行っていること】○関係機関と調整しながら公共交通網の充実を図っています
○バス不便地域の解消のため、バス路線網の整備を促進しています

【目的】○市民の交通の利便性を確保します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 14 安全で快適な道路の整備

- 【市が行っていること】○交通の利便性や安全性の向上を図るため、幹線道路、生活道路、橋りょうの整備を行っています
○道路等の機能確保のため、維持補修・管理を行っています

【目的】○安全な道路の通行を確保します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 15 高年者福祉の推進

- 【市が行っていること】
- ひとり暮らしの高年者に対し、高年者在宅生活支援サービスを行っています
 - 高年者健康づくり推進事業等の実施により、高年者の社会参加と生きがいを促進しています
 - 高年者が安心して暮らせるよう、介護保険制度の適正化や事務の効率化に努めています

【目的】○高年者の自立と社会参加を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 16 児童福祉の推進

- 【市が行っていること】
- 児童の健全育成の拠点として、児童館・児童センターで様々な事業を展開しています
 - 良質な保育環境をつくるため、民間保育園の誘致等による定員増を図り、待機児童の解消に努めるとともに、児童クラブの運営と子育て支援の拠点整備を進めています
 - 発達に心配がある子どもを対象とした発達支援を行っています
 - 子育てに係る経済的不安の軽減のため、医療費助成、各種手当を支給しています

【目的】○子育て環境を整備し、子どもたちの健全な育成を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 17 信頼される学校教育の推進

- 【市が行っていること】
- 児童生徒の知育、徳育、体育の向上を目指し、確かな学力の育成を図っています
 - 学校・家庭・地域社会が一体となった取組や、教職員の資質向上、学校施設をはじめとする教育環境の整備を図っています
 - 児童生徒の悩みの解決、非行・問題行動の防止や自己実現を目的として、教育相談の充実を図っています
 - 小・中学校の校舎の耐震補強工事及びトイレ改修等を計画的に推進しています

【目的】○全員が等しく教育を受けられるようにし、人間として調和のとれた子どもを育成します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 18 子ども・青少年の育成の充実

【市が行っていること】○家庭、学校、地域社会等の市民が相互の協調と連携の輪を広げるとともに、子どもや青少年自身の主体的な活動を支援・推進しています
○冒険遊び場や放課後子ども教室を実施し、子どもの居場所をつくります

【目的】○ふるさと意識のもてる子ども・青少年を育成します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 19 市民自治の推進

【市が行っていること】○町会連合会及び各町会の活動費助成や町会・自治会による地縁活動の充実を図っています
○市民活動団体の主体的な公益に対する取組に対して初動期の支援をするため、ふるさとまちづくり応援基金による助成を行っています
○ふるさとづくりの推進として、草加ふささら祭り、草加宿場まつり、市民納涼大花火大会等を支援しています

【目的】○市民が、自主的・主体的にまちづくりを進めるようにします

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 20 地域福祉の推進

【市が行っていること】○地域福祉の推進に取組、関係機関・団体との連携を強化し、支え合いの仕組みづくりを進めています

【目的】○すべての市民が住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことのできる環境をつくります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 21 勤労者・雇用対策の推進

- 【市が行っていること】○ハローワーク、埼玉県、商工会議所等と連携を図りながら、就労支援を目的とした講習会やセミナー等を開催しています
○就労の安定支援のため、就職情報の提供、職業の適性相談等の総合的な相談事業を実施しています
○勤労者施設（勤労福祉会館、勤労青少年ホーム）を管理・運営しています

【目的】○勤労者福祉の増進及び就労の安定を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 22 障がい者福祉の推進

- 【市が行っていること】○障がい者の就労を支援するため、障がい者就労支援センターで新たな就労機会の創出に取り組んでいます
○障がい者の自立を支援するため、移動手段の確保や居宅介護支援、施設入所による支援等、障がい者の状況に合わせた支援を行っています

【目的】○障がい者が、安心して生活ができるようにします

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 23 生活保護世帯の自立助長

- 【市が行っていること】○生活保護世帯の状況に応じた自立更生計画による指導援助を推進しています

【目的】○生活保護世帯が社会的に自立できるようにします

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 24 国際交流・地域間交流の充実

【市が行っていること】○カーソン市（国際姉妹都市）や安陽市（国際友好都市）との国際交流、福島県昭和村（姉妹都市）との地域間交流を通して、相互理解の充実を図っています

【目的】○様々な交流を通して、相互の文化を理解します

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 25 人権の尊重

【市が行っていること】○講演会や研修会等を通して、基本的人権が尊重され、差別されることのない平和で安心して暮らせるまちづくりを目指しています
○社会のあらゆる分野で積極的な男女共同参画を促進しています

【目的】○人権尊重の精神を培うことができますようにします

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 26 豊かな心を育む生涯学習の推進

【市が行っていること】○市民が自己実現を図るため、ライフスタイルに合わせた生涯学習活動ができるよう支援しています
○「おくのほそ道」・芭蕉企画事業をはじめ、文化の振興に努めています

【目的】○市民が自発的な意志に基づいて、自己に適した手法・方法を選び、生涯を通じて主体的に学習やスポーツをするライフスタイルの形成を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 27 消費者の自立と支援

【市が行っていること】○消費生活に関して必要な知識と情報を提供するとともに、トラブルが起きた場合は、消費者と事業者間の調整や市民の被害を救済するため、消費生活相談事業を行ったり、消費生活センターを運営しています

【目的】○消費者としての権利の尊重とその自立を進めます

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 28 心と体の健康づくり

【市が行っていること】○乳幼児から高年者までの健康の保持・増進を図り、市民が健やかな生活を送れるよう、一次予防に重点をおくとともに、健康教育、健康診査等の事業を推進しています

○国民健康保険の保険財政の健全化、医療費の適正化を図っています

【目的】○疾病の予防、早期発見、治療等を通じて、市民の心と体の健康づくりを促進します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 29 医療環境の充実

【市が行っていること】○一次、二次医療の適切な利用（かかりつけ医をもつこと）が浸透するよう普及・啓発を進めています

○医師会との協働を推進し、地域医療連携の強化を図っています

○市立病院は、二次救急と高度専門医療を提供する中核病院として整備します

【目的】○安全で安心な医療環境の実現を目指します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 30 市民参画制度の推進

【市が行っていること】○市民が市政に関心を持ち、参画できるようにするために、市の施策や事務事業を積極的に公表・公開するとともに、パートナーシップ（協働）によるまちづくりをいっそう進めています

【目的】○市民に開かれた市役所を確立します

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 31 市民と協働できる職員の育成

【市が行っていること】○職員の知識、能力の向上及び意識改革を目的に研修を行い、草加市が必要とする人材を確保しています

○勤務意欲の向上を図るため、人材育成システムの実施や人事制度の改善・充実を図るとともに、市民の利便性に即した組織の編成と適材適所の職員配置を行っています

【目的】○プロ意識をもった職員・組織をつくり、市民とともにまちづくりを進める職員を育成します

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 32 便利な市民サービスの推進

【市が行っていること】○市民の利便性の向上のため、ワンストップサービスを目的とする総合窓口や水曜夜間窓口・日曜窓口の開設を行っています

○市民の納得度の向上のため、窓口アンケートを実施し、意見に対する改善策を検討するとともに、職員の接遇向上に努め、職員の窓口対応の改善を行っています

○地方分権の推進を目指し、積極的に権限移譲の受入を進めています

【目的】○市民の利便性の向上を図ります

問① この施策にどの程度満足していますか。（○は1つ）

1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 33 効果的効率的行政の推進

- 【市が行っていること】○総合振興計画やその具体的な推進となる基本計画を策定し、中長期的な視点に立って計画行政を推進しています
○財源の確保や適切な財産管理等により、的確な財政状況の把握を行い、健全な財政運営のもと効果的・効率的な行政運営に努めています

【目的】○総合振興計画の後期基本計画の財政フレーム（計画的な財政運営のための予算の枠組）に基づき、効果的効率的な行政を推進します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

施策 34 質の高い広域連携の推進

- 【市が行っていること】○他自治体や大学、民間企業等との連携を深め、そこで得た成果を施策へ反映させる等、質の高いサービスを効率的に提供できるようにしています

【目的】○市民に質の高いサービスを効果的に提供します

問① この施策にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満足 5 不満足

問② この施策を推進することは、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない

最後に、あなたご自身のことについてお伺いします

F 1 あなたの性別をお答えください。
(○は1つ)

- 1 男性 2 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。
(○は1つ)

- 1 20歳代 4 50歳代 7 80歳以上
2 30歳代 5 60歳代
3 40歳代 6 70歳代

F 3 あなたの職業をお答えください。
(○は1つ)

- 1 自営業 5 家事専業
2 正社員、正職員 6 学生
3 契約社員、派遣社員 7 無職
4 アルバイト、パート 8 その他(_____)

F 4 あなたの（同居している）家族構成をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 親と子と孫（3世代世帯） |
| 2 夫婦のみ | 5 その他（_____） |
| 3 親と子（2世代世帯） | _____ |

F 5 お住まいの住宅の形態をお答えください。（○は1つ）

- | |
|------------------|
| 1 戸建て（自己所有） |
| 2 中高層集合住宅（自己所有） |
| 3 民間賃貸アパート、マンション |
| 4 公営賃貸住宅 |
| 5 社宅、宿舎、官舎 |
| 6 その他（_____） |

F 6 同居のご家族に、65歳以上の方はいますか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

F 7 あなたの草加市での居住年数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 4 11年～20年 |
| 2 1年～5年 | 5 21年以上 |
| 3 6年～10年 | |

ご意見・ご要望をお聞かせください

市の行政やまちづくりについて、ご意見やご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。
 ※具体的なお要望は、詳しい内容・場所をお知らせいただくか、お名前、ご連絡先をご記入ください。市役所からご連絡をさし上げる場合があります。

**最後までご記入いただき
 まことにありがとうございました。**


場所・ご住所： _____

お名前： _____

ご連絡先： _____

*ご記入いただいた調査票は、11月25日（火）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に3つ折りにして入れ、ポストに投函してください。
 *同封のボールペンは返信用封筒に入れずに、ご家庭でお使いください。
 *ページ右下の番号は、お住まいの地区を判別するための番号です。個人を特定するものではありません。

この冊子は環境に配慮して再生紙を使用しています。



地区番号

**平成 26 年度
草加市民アンケート報告書**

平成 27 年 3 月

調査主体：草加市役所 市長室広聴相談課
〒340-8550 草加市高砂一丁目 1 番 1 号
電話 048-922-0566（直通）

調査実施：株式会社 アイアールエス
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目 16 番 11 号
電話 03-3357-7181

